

降矢静夫書簡集



降矢静夫夫妻

目次 安孫子昭二宛

書簡	1986～1992	(1～184)
書簡	1993～1996	(185～323)
書簡	1997～2000	(324～444)
書簡	2001～2003	(445～499)

昭和六十二（1987）年 降矢 77歳

降矢静夫書簡集（安孫子昭二宛）

例言

1. 本書簡集は、昭和六十二年（1987）五月二六日から平成十（2000）一月十七日に至る十六年間で、降矢静夫から安孫子昭二に寄せられた書簡四九九通を日付けの順に構成した。
2. 書簡は、宅配の農作物に副えられた簡易な文面、郵便投函の都合から複数通が同封されたものもあるが、一通と数えた。なお、¹⁰⁵・¹³⁹の二通は中川勇の書簡であるが、降矢とも関係するのでこれに加えた。
3. 書簡の通例としての頭語・結語ならびに文頭・文末の挨拶文等は割愛した。
4. 個人情報なるべく割愛した。
5. 本書簡の公開にあたっては故降矢の承諾を得ているわけではないが、木俣美樹男「山村農人の教養」降矢静夫 20世紀の山里暮らし」（『民族植物学ノート』14号 2021）における降矢の暮らしの哲学を理解する上で関連性があり、一助となり得ることを考慮してのことである。

1（5／16） ほどよける しめりもたらす めぐみ雨

西原は峠を越えねば他所に出られなかった土地で、昔は山を伝い相武・甲信を通じ生活していたんでせう。砂漠化するかと思う。水不足で青いのは麦・馬鈴薯・蕎麦ぐらいで他の作物は枯れ死 又発芽せず、整地しても立ったままで何処も同じでせう。ですから昔から山村の生活は厳しく、準備工夫を重ね、残った雑穀はみんなその中から残ったものだろう。雑穀に関する資料誌御礼いたします。

山村ではわずかな伝承と経験が基本で学理 基原は知らないんです。大変参考になります。あの日急いだ為、稗の種は取り落とししました。稗もありました。保存に一番耐える作物と云われています。

十三日夜より慈雨来たる。遅れたが作り直し、蒔替です。

2（5／19） 私の処には雑穀の種を求めに訪れる方々があります。然し種の保存も年齢のためか限界になりました。山村の手造り農業は崩れて了ひました。

慈雨以来 作り直しや蒔替えに迫られます。七十日位遅れましたが、秋には是がどの程度影響しますか。

3（6／13） 雑穀 日照り最中の蒔きつけで無事発芽なされましたか？

私のは照りの被害で満足に行ったものは有りません。本年は穂もろこし・稗・粟は休みました。普通より早く作った夏蕎麦、実がつきはじめました。四国稗を久し振りで苗代を造り移植栽培です。是が本格です。二〇日から二二日に植える予定です。黍は五月のは日照りで発芽不良、六月新しく二回目を作りました。是も四五日続いた高温でどうなる事か。照りでもう二回被害を受けました。異常気象はいつまで続くか。先日的高温は山野の草木も葉が日焼けしたものがありません。お暇が有ったら私の雑穀経過でも見にお出掛け下さい。放送局から下旬は雑穀の村として来る予定です。大麦はもう刈れます。私は小麦を少し作り置きます。

4（6／23） 日照りに負けず発芽させた御様子 御熱心でした。写真まで添えてのお知らせいたみます。 蕎麦は日照りで発芽が悪かったでせう。夏蕎

麦は七月中に収穫しますので、小さくとも花が咲くでせう。黍も早い作物です。無肥料の方がきつと実が確実に入るでせう。但しトウモロコシは肥料を与えて下さい。好く出来ると食べられますから 他のもは来年の種用でせう、と思います。

私のトウモロコシは 発芽した所を鳩か黒ツグミに喰われて二回ともやられ、三回目に小豆を作り、甲州種はこれから作ります。秋蕎麦は立秋から五六日経った頃より、八月半日に当ります。只今コンニャク畑の柴かけ中で僅小麦が作ってあり、是の刈り上げ等。 雨も有りますが梅雨にしては少ないですね。

5 (7/30) 夏の日の コビリは薯と 稗の餅

私は、本年は四国稗と黍・蕎麦・トウモロコシで他は休みました。夏蕎麦は●●早く、六月から七月はじめ収穫で、黍は出穂中、四国稗は八月半でせう。秋蕎麦は八月半頃より作ります。又申し上げます。

横浜の新聞より雑穀 稗の俳句を所望されましたが、突然で間に合わず、句に挑戦です。コビリは小晝で茶受けの事、薯は馬鈴薯、稗は四国稗です。苦しい句です。

6 (8/20) 当西原は夜に入ると涼しく 秋虫が鳴きます。六月より雨が乏しく困難しましたが 十三・四日の両日大雷雨で畑も十分です。黍穂揃いして

十六日妻と二人で小鳥防除の網を張りました。粟・黍・稗に網を張らないと小鳥の餌になり、収穫皆無になります。この網張が老人には大変な仕事で黍は照りがちなれど二米近く丈があり、苦労しました。黍は連作を嫌い五年目くらいに、粟、四国稗も三年目に作ります。米・麦・他の穀物は連作せず、三年に一回がいいよう。甲州トウモロコシは二ヶ所作り 発芽四五ヶ位の間に鳥にやられ 作り直しても駄目で種を切りました。来年は友人から種を貰うのです。四国稗は出穂中、八月末か九月四・五日迄に穂揃いです。

秋蕎麦 今日十八日に作り終る。白菜は苗を作り植えます。大根と野沢菜類これより作りです。午後三回目の大雷雨。

お盆は八月で子供も帰省し、盆踊り等。今は静寂なり。

7 (9/2) 秋の気配が濃くなり秋の虫が鳴きます。段々澄んで行く空に蜻蛉が飛ぶ。

高温で台風の被害も受けぬので、日本は稲が豊作、山村の秋作は豊作。黍に

蕎麦は七十五日経つと収穫できるといはれ、稗も早いので山村では救急食糧として古くから栽培されたでせう。稗の中でも四国稗は一三〇日位かかり日当たりの好い場所(畑)でないと涼害の年があります。日照時間の短い山村では不作の年がよくあり、本年は今後台風も無く 霜が遅れると豊作です。何年振りかで稲の如く移植栽培した四国稗 穂揃いになります。妙なのは、照

年なのに作物の草丈が非常に伸びることです。黍は色づきははじめ、早い人は収穫始めました。秋蕎麦は九月上旬中に花咲くでせう。只今、小豆が花盛り中です。さつまいも(甘藷)、とうもろこしは明治初年から、馬鈴薯は天保時代か？

お国は山形の由、食用菊の有名な土地、私はやつと三年前に苗を入手、秋になるとテンブラ、酢漬で楽しんでいきます。酒は不要な男ですから、菊酒はたしなまず。

8 (10/6) 月見が来ました。山村は新米の団子も作らず、里芋とさつま薯と栗飯です。五日 四国稗の収穫で、黍は既に干して貯蔵、私の雑穀収穫は

秋そばと豆類です。蕎麦も花が終りに近づきました。四国稗は大豊作です。只今 小豆の収穫で、それに乾草と干し柴刈りです(刈干刈りばかり)です。来春蒔蒔に敷くのです、草は堆肥用で落葉を加え堆肥化ですね。

平年霜は今月の下旬頃で、本年は早いか遅れるか、紅葉もそれにより左右されます。薯類はその頃より掘りあげです。

先日ある雅友に戯作の詩を

雲居の山畑へ日毎通えり 断崖の泉樋より落る音静寂なり
吾耕して天に到達を望願す 秋風は四国稗の穂を揺ぶる

9 (10/16) 初雁が 小豆はんでる たそがれる

文化の日頃、仲間たちと御入来の望みを立てている御様子、その頃は紅葉が美しいと思います。畑の雑穀収穫が終了した時期です。只今、小豆、大豆の取り上げで、秋蕎麦の収穫、今月中に終るでせう。私は収穫と刈干刈です。お繰合せてご来遊ください。

出不精の私が珍しく県の美術館に行ってきました。ミレーの作品で有名です。久しい間の望でした。

先日、霧の中より雁の渡る声をききました。三日は西原地区の文化祭で句、盆栽等毎年出品です。

10 (11/2) 菊の香や 初鮭うれし 山居かな

近日御入来のご予定は延期なされましたか。若い人達はこの激しい時代はほとんど忙しいことと推察致します。

本年は、当地は珍しく十月中に霜が無く、平年は二三回あるんです。そのために紅葉は遅れて黄ばんだ程度で十日は遅れ、反対に菊の開花は早かったです。雑穀の里へ夏より訪れる人達が増しました。収穫は終了です。

11 (11/4)

農業の方は誰にも負けませんが三年前より体が老化し、田と蚕を止めて僅に雑穀と野菜を運動代りに作る丈になりました。然し説明のみで足腰が弱り、実地は不可能になりました。雑穀を沢山作り健康食に売り出そうとする案もあります。然し手造り栽培は非常に労力が必要でどうなりま

すか。
天気が定まり脱穀が行えたら、秋蕎麦や食べられるかどうか、小豆でも送りませう。栽培と質問がありましたら、お答えできると思います。今日激しい雨で、両日は読書と句作で頭の運動です。然し視力が弱って来たことは残念です。老人ですが過去を楽しまず、前進で夢を追いたい。それは苦しくも人間の生きるというものでせう。

昨日は文化祭へ行かずにいましたら、菊の新品種か花の広き牡丹のような菊を一鉢戴ました。出品した菊でせう。私も農作物・句・盆栽を出品しています。今年も用意はしたが見送りました。

蜂に刺されたのも快癒です。紅葉しない山里の秋は風情なしです。この雨では黒く腐って落ちるかも知れない。

12 (11/?)

木枯らしが吹き 霜が来て、やっと平年並みの風景になりました。晴日が戻り乾燥して、蕎麦や小豆がカラカラ(畑に吊して置いたのが)に乾いたので、脱穀出来ました。蕎麦は秋蒔(秋ソバ)で、西原では立秋が来て四五日頃よりつくります。小豆も秋蒔きで、西原では秋ソバより一ヶ月早く作ります(七月五日頃より)。小豆は食べてください。五日ほど前自然生しいたけを偶然採ってきました。油を引いたフライパンで焼き、醤油をかけて食べるが好いです。

13 (11/25)

落葉ふむ 冬のあし音か カサコソと
木枯に落葉の雨です。急に本格の寒になりました。北国は猛烈な寒さと雪の便り、関東は楽土ですね。でも西原は氷を見、朝は霜で真っ白ですが、平年

よりは十一十五日遅れました。寒いと持病の痛風で足腰が痛み老人は駄目です。でも日中は春に備えて畑の冬耕で僅な蒟蒻芋の掘りあげが残っています。勤労感謝の日も好天気なので山畑の冬耕でした。それが健康に良いようです。農人の信念かも知れません。

14 (12/8) 枳餅や 山家しぐれの 炉端かな

初雪には珍しい積雪で十センチ、平年より半月早い雪です。ご健勝と存じます。師走上旬よりこの寒には面食らいました。雪の降る予報で大根・さつま芋を取り入れました。蒟蒻も残っていますが、安値なので中止です。雪が消え年内に暖い日が有ったら冬耕です。春に備えての仕事でこのまま寒いと畑が凍りますので、山の仕事です。南面の山で日を楽しむが晴日で無い日は、炬燵に籠ります。老人は寒いと駄目です。

十一月二十八日友人宅で枳餅を戴く。子供の頃食ってから七十年振りでした。天気が悪いので雪が一杯です。南面の雪はすぐ消えますが北面は当分残るでせう。

昭和六十三(1988)年 降矢78歳

15 (1/1)

かべに掛く 黍のたね穂へ 初日さし(年賀状)
(1/11) 旧年十二月前半は二回の雪と寒さでお正月を先どりした有様でしたが、後半は暖冬で正月五日まで、畑の冬耕で春に備えました。六日雪より寒く、私の正月で休業冬籠りです。

一月十九日(火)午後七時よりTBSテレビ“そこが知りたい”に山村西原も加えられ放送されます。御覧ください。これから日中は日を楽しんで南面に過します。

16 (1/27) 小寒や 石の地蔵尊 さむそうな

暖冬とはいえど最近寒波が時々来て寒くなりました。・・・老生一月二十日迄畑仕事でした。例年は十二月一杯で終了でした。それは地が凍るからで、今年は二十日迄持ちました。盆梅が咲きました。全く変わった時代です。

只今は冬籠り、でも雪がどこにも無いので、日中は山に行き南面の日向のくぼみに日を楽しみ、帰りに乾柴を背負てきます。是は蒟蒻が発芽したら敷く為のものです。正月に帰省した子供は、親爺の生活は今の世では最高だと

いう。聞てみると、心身をすり減し、廃人となって行く同僚もあるといふ。激しい時代のようです。雪が積らないうちは、体調を崩したり老齢化を防ぐために、日中働きたい。寒いと炬燵で読んだり、眠ります。

夏から雑穀の句へ努めています。が、まとまりません。西原は雑穀の里として知られてきました。テレビで取り上げたことが動機でせう。節分が近づきましたが、寒さはこれからかも知れません。私の一番ヒマな時期です。

17 (3/4) 雪ならば 壁の穂へ 鳥が来る

待望の雪が降りましたが、降ると流石にうんざりです。・・・流感の節 皆々様御健やかですか。私は三月半ばより温和な気象なれば本年の年度はじまりで畑に立ち、野菜の作りはじめです。然し三月は雨、雪の日が続きそうです。結局は四月が新年度でせう。科学が進歩し産業革命は厳しい。私などは農を語る資格もなくなりました。

消えようとする雑穀の種をせめて次代に残そうとして 同志に呼びかけています。一方 時代の常識にも欠ける老人で、小学校で少し習っただけの世界地図の勉強です。カルガリーを見ついたり、アフガニスタン、パキスタンと紛争国を探したり、寒い時期にはこれも結構趣味には老人にはいいですね。遺跡埋蔵文化財関係が何処も盛で、古代史がはつきり今になるでせう。暇になるといういろいろ学びたいものが一杯です。・・・

私の倅も務人で、学校・消防・自治の事で日曜日の半分は終り、他は家族の義理(冠婚葬祭)などで、私の仕事には手伝えません。二歳半と小四・小一の孫です。都会も田舎も差が縮まる生活になります。然し故郷を持つ人は幸福で、それがだんだん狭められていくでせう。

私も一度 高幡不動尊、百草園、遺跡公園、調布深大寺など探訪したいところは沢山有るんですが、足腰が弱くなるとだめです。約三十年前に胆のう欠除で、以来食の好みが変わり、皮膚が弱く、杉一杯の土地に生存しているのにここ二三年花粉症にかかり閉口です。

18 (3/10) 春寒し 爆撃忌きし 世のさかえ (三月十日都が爆撃されし)

五月半ごろ来遊の予定の由、連休中は混雑で丁度良い時期と存じます。小さな土地で何も得る処は無いでせうが、水と空気は一級でせう。

彼岸が近づきます。彼岸が起点で農耕がぼつぼつ開始です。冬眠の虫の如く、そろそろ起出します。鶯・大根・馬鈴薯が先です。雑穀類は八十八夜が中心です。珍しい暖冬で梅も例年より早く開花はじめ、ここになり足踏み

です。彼岸頃は鶯が鳴き出します。寒波が去れば日脚が伸びているので気温が上り、忽ち本格の春でせう。

19 (4/6) 花までど 奥郡内は 雪である

一春は九十日その三分の一が過ぎ やつと春らしきを感じたら 又大雪です。お変わり皆様ありませんか。農は追い詰められて行く時代に、気象にまで背かれます。馬鈴薯作り春蒔の菜類を蒔き、葱を植えました。五月になれば雑穀類です。晩霜も心配です。

四月三日、迎えに来たので昭島に住む長女の処へ盆栽の植替に行き、二泊して帰ります。昨年からの約束でした。昭島市は九年ぶりで市も驚く成長でした。

花粉症で眼が悪く閉口です。

20 (4/19) 春らしくなりましたが低温がつづき、十日は遅れています。不

順の気候で晩霜がつづき 作物の蒔きも作ることも急げません。五月はいろんな先生方が探訪下さる御様子、有難いことで 家庭の都合上雑穀をご馳走することができぬが残念。現在は雑穀を一年も長く栽培して貰うことと大勢に理解して蒔き、栽培して貰うことを願っています。年齢ですから毎年全部の雑穀を作ることは無理で 隔年で作ったり、友人に休む年は作って戴りしている次第で、種保存のための栽培で小面積に作ります。

雑穀は食べるまでに非常に手数がかることが欠点です。特に稗が厄介です。都合によれば印度の研究者が夏に視察に来るかも知れません。西原は八十八夜頃より雑穀作るのが大部分です。

21 (5/12) 葉桜や つばめの来る日になっ

て 老生は半分遊び半分は仕事でした。定期的に農耕は忙しいものですから。西原探訪の先生達(註・筑波大学西田正規氏等との研究会「寄合」三周年を記念した総勢三二名の雑穀ツアー。五月十四日に三頭山荘に投宿、降矢さんと脇坂芳野さんから話を伺う)は、どんな事を知りたいのか、何を尋ねたいのか? 何とか添へたら、役に立ちたいと思います。

珍しい遅霜で低地の畑は被害が大きいです。異常な天候で高温と低温が前後したり、乾燥が強く作物の発芽は悪く、閉口です。

今月半にNHKから三共の里の青葉の風物と雑穀作りを撮りに来るとか(私は関係ありません)。雑穀がバカ人気です。

22 (5/17) 行く春へ 雉鳴くなり 人恋し

お疲れと思います。皆満足らしく何よりでした。青葉と清流きつと何かを心へ残ったらいと思ひます。私も若返った様な一日でした。

雑穀も作る時期で、秋十月半事でしたら収穫期です。少し乾燥の強さも降霜で発芽も悪く、どんな成長ぶりか不安です。粟ととうもろこしをこれから作ります。月末か六月早々茶摘です。

23 (5/26) 万緑の 雨にいき付く あか牡丹

あれから又NHKが来た様子で、秋か冬の生活の一端でも撮りたいのかも知れません。霜とカラカラ天気で生気を失った私の作物 やつと元気が出てきました。反対に疲労と風邪で自愛 家居です。

山時鳥が来しました。晴れると松蝉も鳴きます。エンドウ初ちぎりしました。間もなく六月になります。六月は白い花の咲く月で、卯の花・野バラ・山法師・水の草さては朴ノ花。

24 (6/8) 七月の暑さなみの暑さで驚きました。記念の写真有難う存じます

す。恰も深山幽谷といった背景ですね。私にも良き記念です。皆様にもよろしくお伝えください。私の畑も賑やかで、五月半とは一変です。ソバは花が咲き出しました。今頃なら畑らしかった。

さて、本年はウルチ性黍(木俣さんから)を十五粒入手。菊鉢二ヶに蒔き、来年は是を種子用にして 桃太郎の黍団子を得たいのです。この黍団子はモチについて作ったのではなく、粉にて作ったものと思え、きつとウルチ性でせう、久しく探していた次第です。花粉症から続いて咳カゼと 四月より体調をくずして仲々本復せず。又暑さに降参です。

25 (6/23) 雨ありて 四国稗うゆ 夏至であり

空梅雨やつと雨が来て本格の梅雨に入りました。ご健勝と存じます。

廿一日 四国稗を定植出来ました。蚕の上簇 田植えの時期らしい。何年振かで穂モロコシ作りしました。東アフリカ原産だというが、四国稗と一緒に伝来 前後してか? 鉢に蒔た試作の黍も確実に成功しそうで、来年は桃太郎の黍団子が作れるでせう。発芽したコンニャクへ 秋刈った干柴をかけています。

田も蚕も捨てても六月は忙しい。トウモロコシは昨年にこりて 今年に網を張

り作りしました。馬鈴薯の収穫期が近づきます。麦も今年は休みました。他の雑穀は全部作りしました。霜に焼けた夏ソバ七月半は取り上げられます。雨になると家居です。

26 (6/29) さみだれの 雨間若ものの 葬ありぬ

御厚志のお電話御礼申し上げます。ご招待本当に感激です。五月頃の風邪を治しそこね、急激な暑に山畑の畔に茶ばさみ(製茶用)で体調を害しました。食欲不振で、体力まで失せて、私としては珍しいことで、雨になり低温で回復してきました。ご心配なく。暇のある頃は老化して不都合です。

ここ雨で家居が多く、雨間に盆栽の手入れです。西原の農ははげん(七月二日)三日位迄は 夏作の蒔つけ植つけしたものは確実に実入ります。秋作は八月土用明です。 立秋です。

27 (7/17) 炎天下 もどれば井戸の 水に縋る

梅雨明けず弱りましたが、老生は涼しいので、健康を取り戻しました。然し仕事は遅れ雑草が元気です。春より家の改装と改修で農家より近代住宅に、これも時代でせう。八月には完成します。晴耕雨読の生活です。

馬鈴薯の収穫で玉蜀黍は花盛り中、穂モロコシ土寄です。夏ソバ収穫したいが晴をまっています。夏ソバは八十八夜より播種、秋ソバは立秋よりで、故秋ソバと呼ぶ。四国稗は夏至の日定植、五月と異り、一度作柄を見て戴き度く、荒土で耕土が浅いので、雨の多い方が作柄は好い畑です。

キビは私の丈位になりました。只今 小豆を作りたいが、草と雨で時期が遅れそう。八月半より大根、白菜作りになります。百姓情報です。

28 (7/28) 病める夏というか、暑くない夏、朝夕はまだコタツです。

とにかく別荘にでも行ったような生活です。山霧・細雨の日がつづき、山の高原の如き幻影にひたります。

七月中 取り入れ予定の夏ソバは そのままで実もこぼれませう。馬鈴薯の収穫、是もそのままで、小豆もつくり切れず時効です。

土用明け(立秋)を境に秋の作付けです。秋ソバは約二十日間、日向の畑とか前作の収穫等より作ります。ソバは不安定な作物で、早くて台風でやられたり、遅れると霜が早いとだめだし、その年その年の運まかせで豊作は隔年か三年に一度です。大根、ホウレン草等は、立秋七・八日頃より秋彼岸まで

です。馬鈴薯を秋作り、是を来春の種にすれば成績が好し。
八月ご都合出来たら、私の作物を見に来ませんか。雑穀は九月一日―十日迄
に穂揃いすれば 完全に実入ります。

29 (8/7) むろがやの 都留のもろこし 穂いでけり

老生は雨でもふれば仕事が無く 雨読の日ですから、気兼ねなさらず。軟弱に
育った雑穀類はどうやら出穂で低温日照不足ですから仕方ありません。
ん、・・・この二三日やっと夏らしくなりました。今まで鳴かぬ蟬も鳴きま
す。穂モロコシは出穂、粟は遅れて蒔た精かまだです。四国稗も今月中には
出穂予定。とも角 雑穀は強く冷害に耐えるようです。これから八・九月平年
並みの天候が続いたら、平年作の収穫は望めそうです。日照不足で軟弱です
から台風が来れば、特に折れるでせうが。

夏ソバはとうとう収穫出来ず、山畑の方はキジの餌になるので、種子丈取れ
ばと思います。発芽の頃は霜に逢い散々です。馬鈴薯は只今 掘っています
が、購入して作った男爵はバイラス・ベト病で腐って やつと半分です。二年
大豊作で食べきれずに捨てた罰かも知れません。玉蜀黍ですが、早生種バ
ンダムでせう。特に早く春に作り、近隣より一足早く熟したら、狐と狸かに
やられました。針金を張ったり 案山子は充分でしたが、狐より狸かも知れま
せん。お暇でしたらお出掛けください。

五月御覧の折は砂漠の如き私の畑、今は作物が茂っています。

30 (8/16) 山霧が たれて雨来る 暑消ゆ

盆前から大雨で予定が狂いました。晴れると季節の仕事であり、十四日 秋蕎
麦を作り、大根も白菜も作る時期です。二十日頃御出掛けできそうな話で
すが、車道崩れています。上野原間は不通の由なれど、以前奥多摩經由で帰
られたので、道路開通しない場合は、その道をいかが可能です。

軟弱に育った黍は丈が長すぎ 大雨で倒伏しました。夏蕎麦は実こぼれて刈取
り、これも凶作。馬鈴薯はエキ病で腐りました。・・・粟・穂もろこし、四
国稗は平年作にはと思います。黄色の食用菊 畑の隅に植えて置いたら小さな
花が咲きました。秋菊ではなく、夏菊だろう。試作はむずかしい。黍のウル
チ性も早生で草丈短く穂も小です。十五粒の種で十二本育てました。これも
二三年作ってみないと性能が判りません。

31 (8/22) 老人の雑穀作りで汗顔の畑の情景です。面積を広く耕作は無理で、

試験場の如く様々の多種を作り、運動を兼て趣味的農業です。然し同輩では
私が一番働いているでせう。老人クラブの催しにも出掛けず、お祭りも正月
もお盆もありません。晴日は仕事です。それでも一日夏は六、七時間、冬は
四時間位の労働で 降ると半日読書とテレビで、半日寝るか散策です。・・・
天候も回復に向かった様子で 晴れると九半月迄は暑いですね。九半月からは
急に日照時間が短い土地です。秋蕎麦を 玉蜀黍を食べ終わつた畑で作り、後
は大根・蕪・白菜・野沢菜を蒔き、その後は草を刈り堆肥作りで秋の彼岸よ
り干柴刈りです。

32 (8/28) 連日雷雨に見舞われ、特に集中的の廿三・四日の雨は台風の如く

出水です。川は何日か澄まずです。暦の「処暑」より秋の虫が家居して聞
声です。薄の穂 萩の花 秋の気配はだんだん展開されてきます。今日は一
日中、雨が降らないで畑の見廻りをしたところ、四国稗は私の思うより早く
穂揃いしました。粟も穂揃いました。黍の網かけやつと終りました。網掛け
せねばならぬ雑穀は苦手です。・・・
九月は好天気を願うが、毎年九月から十月上旬までは雨量が多いですが、本
年はどうなりますか。

33 (9/10) こおろぎや 祭りの留守居 黙念と

九月も天候は回復せず、今日は新暦重陽の節句で、今年入手の食用黄菊が咲
き、好物の天ぷら、酢漬で、菊酒は駄目です。・・・五日 町のお祭り(三日
間) 終る。半ばより地区の祭りですが、酒無用ですから廿年以上祭りに行
ず、読書か句作か寝ることです。黍を収穫しましたが、実が悪く凶作で
す。無理ありません、日照不足ですから。穂モロコシに小鳥が掛かりまし
たが、三メートルもあるから網もかけられません。四国稗はこれから天候が
良くなれば平年作になりますが、溪谷の里ですから、全くこんな年は 何も満
足にとれるものなしです。

三日、私としては珍しく他出、徳川時代前、都留郡の領主小山田一族の遺品
展を見に数人と都留市に行きました。川口湖畔の農友を六、七年振りで尋ね
ました。

34 (9/17) 偶然です。「小山田遺跡」有難う存じました。小山田氏は桓武平

氏で秩父氏の流れをくみ、秩父茂弘の子有重が多摩郡小山田の荘を領し 小山
田姓とし発祥地で、有重の子幸重又は行幸(幸行)が都留郡の小山田の祖と

なる。時代は鎌倉時代。都留市郷土研究会も町田市の大泉寺発祥地に探訪したのでせう。展覧会場に大泉寺の写真が飾ってありました。会長の窪田薫先生とは昵懇です。私は徳川以前の西原は不明の事が多いので、小山田氏の関連か一端か解けるかと思いましたが、小山田氏とのつながりは浅いようです。

・・・私は狭い谷の為に、若い頃は百姓になる気は無く、家庭の都合上末子で準養子として家を嗣ぎました。然しどうせやるならと、努力して村の第一人者になったんです。無冠無名人ですが、農だけはだれにも負けられせん。

35 (9/25) 酒肴 板野の里のよい祭り

金一封 これはこれと背をかがめ

祭りも雨で終りました。板野は西原の古名らしい。彼岸も月見も亦雨。敬老会は祭りで延し十月二日地区では催し。県敬老祝金を贈られました。雨で一週間炬燵生活 読書を楽しんだり駄句を作ったり、五輪をテレビで見たり、・・・

「小山田遺跡群」「No.57遺跡」を読みました。遺跡庭園に私の雑穀の種が栽培されてあることは光栄です。・・・私は盆栽にも興味があり、それから作物外に植物にも惹かれて様々な木を集めた時代もあり、公園にはブナが植えてない様ですが、庭木用のが何かあります。公害に強いアララギもあります。・・・

知人友人に雑穀研究家、郷土研究家、農家、地方の文芸家があり、老人になっても私もそういう人達があることは幸福であり、喜びですね。

農の近況 秋野菜は雨低温、病害虫で自家確保が危い次第。

36 (10/11) なが雨や 粟穂うなだれ 老にけり

十月二十四〜五日頃、雑穀研究所（木俣さん）よりインドの雑穀権威者と私の処へ訪れる予定ですが、・・・約束はしています。

蒟蒻の作り方は西原と同一です。松原村は山一重ですからあまり変わらないう。いづれ掘り出したらお送りしますが、その折詳細は。

不順な天候で山村は飢餓の土地で作物によつては種もとれません。ソバも花はよく咲きましたが、実入りは僅です。粟・四国稗も熟しているが、晴天が待たれます。もろこしは半分収穫しました。全くあきれた年です。九月下旬から十月一杯は刈干刈ですが少し刈ただけです。

37 (10/20?) 木枯しの 粟穂ゆずぶる 秋なかば

木枯し一号 十月十三日。天候が回復したと思ったら突如冬の嵐です。山岳は雪が沢山積つたとのこと。心配していた初霜が十四日にきました。

望をかけていたソバは駄目になりました。・・・時には妻と収穫で、四国稗は十一日、穂モロコシも同日頃収穫です。粟の方は十五日、後は余り実の無いソバと小豆です。老人の趣味の余技の如き雑穀栽培ですからどんな結果でもいいが、矢張りこんな年では味気ない。離農して三年、運動のための仕事ですから。・・・里芋だけは上作です。

（同封の）蒟蒻芋、昔は芋をゆで 白でついてよくつけた頃、つき合せ、是を型に入たり餅の如く握って鍋に入れ、ゆでて出来上がり。煮ると結構硬くなり、この蒟蒻が一番味があり、私の好みです。（むかしはソーダを使わず）小麦殻やソバ殻を焼いた灰の溶液を澄ましていれました。是が最高の味です。

38 (10/28) 蒟蒻芋のつくり方、家の嫁は度々作るので目分量ですが上手です。

延期でインド雑穀権威者（シタラム博士 木俣さんの案内で）二十七日来宅で私は雑穀の種を揃えたり、畑も整理で二日かかりました。雑穀の種をいろいろ持ち満足して帰りました。私としては外人に見に来てもらったことが嬉しかった。

39 (11/3) 晴日が続くと寒さも依然続きます。立冬と共に早い冬の装いで毎

朝山野も谷々も大霜です。・・・凶作の年乍ら里芋はとれましたのでお送りします。見栄えは悪いが荒い土で育ったので他のものよりしまった芋です。

里芋は残りが乾かぬよう土の埋めおくか、段ボールに入れ濡れた新聞紙か濡れた布でおおいます。

薯は洗い置きすると皮が堅くなるので、茹でて熱いうちに柚味噌又は好みのたれを作りつけて食べる。又は、串にさしたれや味噌を塗り焼いて食べる。・・・

私の子供の頃は里芋丈で朝食でした。大鍋に薯を入れ塩すこし加え、水は芋に載るくらい、夜ぐつぐつ煮る。最も南瓜を上、無い場合は蕪、大根を入れて夜に煮上る迄煮て、おろして翌朝味噌を入れて汁が煮詰まるまで煮てそれを各自に盛って食し。上下交ぜ合わせると南瓜の味がでて美味。時にはさつ

ま諸を入れるが、この方が劣る。是に雑穀の餅でも添ればいい朝飯です。夕方、夕飯前に僅残った芋を焼いてよく食べました。

40 (11/4) 十月二十七日 昵懇の木俣農博士の案内でインド雑穀権威者シタラム博士が拙宅と畑を見にきました。凶作の年で残念でした。様々の種子一式を揃えた小袋に持って、満足の様子でした。日本の菊の秋、印象に残るように菊の花の天ぷらを馳走しました。

41 (11/17) 冬型の空は、関東は晴天ですね。・・・私の父の教育は厳しく、お男は勝手を覗かず、腹が空いても膳立まで待っている家庭でした。ですから料理の説明はしても作ったことなしで、三年前迄妻と二人の生活時代、妻は用事の折初めて自炊しました。それがカユの如き飯で残ると雑炊にして食べていました。

拙宅も新時代で変わって、今は現代風です。でもまだ私丈には昔風の躰が身についているようです。・・・昨日は中日新聞が雑穀の穂の写真撮りに来ました。脇坂さんの案内でした。当地紅葉の美しくない秋です。

42 (11/19) 永年憧れていた食用菊(モツテノホカ)株 山形よりご持参され、今より来秋の開花を楽しみにしています。一木一草でも思い出や由来があれば、茂る度、花を見る度に季節を楽しみ、やがては自分の生きている幸福が強められてきます。

十八日細雨で寒 終日炬燵で一日休息でした(十六日に中日新聞の取材で穂モロコシ、粟を臼と杵で四時間脱穀してみせ・・・)。久しくこんな仕事をしなかったの、腕が痛み、筆がふるえて満足に書けません。

後は四国稗と粟の脱穀で 蒟蒻は掘り上げた翌日 農協で集荷です。天気が快方すれば、畑もやわらになりますから冬耕ですが、高い山は初雪で 日蔭の畑は凍る日が近くなりました。時代の変遷と共に、私の夢は崩れて、浅学無名の野人で漕ぎつきました。米、麦、多収穫取りに専念、幸い蒟蒻の多収穫にも亦そうでした。みんな崩れ捨てました。その頃重点を置かぬ雑穀作りを余生の仕事に撰ぶとは、然し縄文時代か弥生時代に波及してきた四国稗が四千―三千年の今日に私の種子がインドに里帰りしたことは、私にとつて歴史的のことで、面白い話で、是一つで雑穀を作っていた私は価値が十分と満足しています。

現在 研究家の話では、何れも山奥 長野に一村、静岡に一村、奈良に一村、

福井に一村、西原と五ヶ所らしく、栃木・群馬・埼玉の山村でも昔は作ったであろうし、尋ねると現在でも可能性はあります。

先日は、高知県の四国稗の研究家が、私が教えた白山麓の白峰村に行ったといつて、現地の話や写真を添えて知せてくれました。また誰かが珍しい便りを呉れるでせう。・・・飛んだことを書きました。

ご都合してお出掛けください。矢張り五月頃が好い季節です。・・・

43 (12/13) 日暮れて道遠しといった私も、お陰で遺跡といふこと教えられ、雑穀に関連して勉強致しました。本年の私の収穫の一つとして御礼申し上げます。

冬至が来ますね。私は青年時代より冬至の翌日をなぜ元旦に定めないかと議論したんです。それで無かったら、節分の翌日が好い。現在の一月一日はまったく意義がないんです。農には冬至の翌日がものの起源が好いからです。又節分の翌日でもいいので、それが起点で八十八夜があり、二百十日が数えられます。・・・縄文人たちはこうした自然の法則を知り、冬至、節分、秋・春の彼岸中日、夏至を原点、起点にして生活したこととせう。農耕があり、猟があつたでせう。農耕より知らない私の一生ですが、考えてみると妙な人間かも知れません。

・・・シタラム博士と撮った写真が四五日前に届きました。私には尊い記念写真です。穂モロコシ 四国稗とおなじく東アフリカが原産だそうです、是は西原としては遅れて作られたような気がします。

土佐の四国稗研究家の佐藤氏は、粟の先祖だと云われている雑草エノコログサを採集して、その実を精製 精白して試食した由、私に知らせて呉れました。真つ白になったそうで、味は滋味があつたとのことです。雑草ですから随分根気よく採集したものです。山の木の実類や若芽はアクがあるので渋抜きしないと渋があるですね。・・・私も暇な時期に雑穀を精白や製粉にして、好む人に送ろうと考えています。持病の痛風だいぶ快方で、仕事にかかっています。暇ですから変な事ばかり書きました。

昭和六十四・平成元(1989)年 降矢 79歳

44 (1/15?)

(一通目) 昭和から平成へと変りました。・・・明治生まれで、大正―昭和―平成と生きてきました。暦を見ると数え年八〇才だそうで、自分でも驚

きました。果たして定命は何時までか？

今年の私は、戴いた山形の菊の試作で秋が楽しみです。次に昨鉢で培養したウルチ性キビの畑へ本格の栽培です。是は西原では最初であろうと思います。沢山収穫ができましたら童話の桃太郎の黍団子を作り食べることです。

次は、友人より譲りうけたネパールのシコクビエの種子を鉢で作ります。猶、ネパールのソバらしい種子もあるんですが、是は春蒔き性か秋蒔き性か不明で、一応鉢にでも作り試験です。これが本年の課題です。

(二通目) 縄文人も食べたでせう。例のシコクビエの粉とモロコシの精白した粒をお送りします。コクビエ粉 ウルチ性で粉食用。現在は餅、饅頭ですが、粉を熱湯で練り、ソバがきの如くそのまま食べます。西原では昔そんな食べ方もありました。シコクビエ食べた事ありますか。参考に食べ方を述べます。熱湯を使ってこねます。よくこねたら適当に餅、饅頭、団子にしてこれを蒸かします。煮てもけっこう、出来上がりです。白米のウルチの粉と同じ扱いで、冷めると堅くなります。味も似ていますが、色が褐色です。栗をこねこんだり、サツマイモを刻んでこねこむ事もあります。私は母が山百合をこねこんで作ってくれた味を忘れません。

モロコシ粉の方はモチ性で、餅について食べます。現在はモチ米に二・三割位を入れてつきますが、熱湯でも入れてモチ米よりよくふやかしてください。面倒でしたら、白米に一・二割入れて飯で食べてもいいです。

45 (1/26) 雑穀は現代人には決して美味なものではなく、栽培しても徳な作物ではありませんが、縄文時代の味があるでせう。彼等が遠い国から運んで新しい土地に移民する時に一緒に持参し、共に生きて来た名残でせうから、その意味を味はうものでせう。それ故日本では実用時代は昔に終り、現在は過去のものになろうとする処まできたのでせう。然し今もインド・ネパールの高原地帯で広大栽培が続いている由。

蒟蒻は生玉からは無理だったようですね。西原農協でも粉は年間あります。生玉で作った味の判る人は生玉ですが、十一月から遅くも三月頃まで、それから粉で作るより仕方なしです。蒟蒻も古い時代のもので里芋の如く煮て食べたでせう。・・・大寒になったらさらに暖冬で、大雨が降り驚きました。

46 (1/26) 二信 一二三日早晩より雪 初雪で二五センチ位積り、後は雨交りで正確には積雪量は計れず、夜半に晴れ 二四日の雪掃きは表面が凍り困難です。

冬籠りの生活になりました。それに持病痛風で足腰の痛みまだ残り、家居でテレビ見と茶を呑むが仕事で、読むことも書元気なしです。正月三日 信州の遠山郷の旧霜月祭の夜神楽に行ったという知人、週五日制の時代、独り閑居も亦妙ですね。

立春が近づきます。旧正月とあまり差なしですね。・・・是から彼岸迄 天候は平坦か陰峻か、私の冬眠は何時迄かです。・・・

47 (2/27) 暖冬で彼岸頃の如くですが、このまま春へ移行とは思えず、・・・

立春が農の起点 四二日で彼岸、それから四六日で八十八夜です。平年彼岸から農作業開始で小カブ・春菊・鶯菜・春大根等のセンザイ作って、次に馬鈴薯です。二月が年内で一番暇です。

ところで老化のためか、痛風で七〇日も苦しみました。妻と二人の生活時代は雑穀に麦も加え、米の混色で肉も魚も僅でしたが、長男夫妻が戻って孫三人の食生活になり、肉・魚も多い白米食で雑穀はほとんど食べず、是も時代や家庭上仕方なしです。私の好みや健康は第二です。

花粉症にかかる私は西原で育ち杉・桧を植えて長年生きてきたのですが、約三〇年前に胆のう欠除の身になり以来、体質が変調になり、加えて老齡化して体調も弱り、変異したことが原因でせう。只今は医者に三〇年はこちらからず、薬も風邪薬を時に服用位です。妙な事が起きました。それは友人(中川さん)が薬湯風呂の試験に招かれ、隔日一回浴しに通ったところ、痛風の痛みがとれました。暇な時期なので、友人が手造りの稗の粥(へいのけい)を久し振りに馳走になったり、ソバの煮込みを食べたりで、現七回入湯でほとんど痛は失せました。同級生の友人は全くいいもんですね。友人も私に似て足腰が痛み、是は神経痛の方です。彼は医者、灸、ハリ等にも通っているんです。・・・

鶯は平年、三月十七・八日 初鳴ですが、今年は何日か？ 二月三日、みそさざいが来て鳴きました。三月五日の啓蟄を得たので 虫も日中は目覚めたと思いました。二四日の大喪の儀の日は一変気温が下がり、白雪一色の半日でした。半月位早い暖は寒さでどうなるか。

48 (3/14) 寒暖入り交り春の展開足踏みです。鶯はまだ鳴きません。・・・待望の彼岸が来ます。先住民族の血は現代人にも受け継がれているのだろう

か？血潮が騒ぎます。遺跡が最近特に多く発見されますね。吉野ヶ里は古代史を書き替えるような世界的らしいですね。・・・雑穀も稲も残っている。里芋・蒟蒻芋もその時代からのもので、蒟蒻芋もとは里芋の如くよく煮て食したらしく、長時間かけて煮なければ食べられぬが味はいい。蔓性のゼンブの味で、ゼンブも古いもので、山芋に似ているが、山村では絶えたようです。・・・青年時代米沢の雪菜に挑戦して失敗した思い出があり、今年テレビを見て判明しました。

49 (4/7) 春の花が展開されました。彼岸頃の雪と寒の戻りで一応痛がとれた痛風が又痛み出し、杖をついて畑ですが狭い面積を趣味的というか運動の為かの農作業ですから予定通り作付けしています。晩霜を心配して是からはトウモロコシや瓜等を作り五月八十八夜より雑穀です。梅の盛りで桜も咲き出す昨今です。

50 (4/10) 花の雨 黙然ひと日 家居かな 四月八日
『岩手の雑穀』同窓の方が心血注がれた貴重誌 有難く拝受。皆真剣に努めていること感動します。昔から雑穀は東北が王者でせう。・・・岩手といえど私の兄が以前宮古と花巻に在住したことがあり、兄は判事で一度訪ねたい望もあったが、家勢のドン底時代で駄目でした。依頼して宮沢賢治詩碑の拓本を貰いました。高村光太郎書く、現在軸にして置ます。ノラボウ 西原では以前作らず、ここ三十四年作る人あって、現在農友が食べていて、先日私も馳走になりました。三年前私も作りましたが、日影の畑なので越年せず霜枯れました。・・・五十年前、米沢の雪菜に挑戦して失敗した思い出あり、雪菜もこの系統と思います。油菜の系統でせうか？ 丈夫でしたら挑戦してみるつもりです。

51 (4/21) 花から若葉へ自然界は急速に転廻しました。大型連休が来ますね。鯉のぼりが晩春の空を泳ぎます。八十八夜が来ると雑穀作りですが、相変ず痛風に悩まされています。十五日より三日間 十年振り旅をします。末子の運転で老妻と結婚五十年目で初めての旅でした。富士東廻りで箱根の芦の湖、十国峠から熱海に一泊、翌伊豆スカイライン―伊東迄、帰途は海岸線を厚木―川崎―調布泊り、多摩周辺を少し歩いて帰宅。後一日多摩辺を歩きたかったが後日にしました。杖をついての旅は楽ではありません。然し何処を見ても私には未知の世界ですから興味は一杯で、幸車酔もせず、車の

旅三日間でした。

52 (5/4) 二日は若葉に薫風る好天気 お出掛け有難うございました。政治経済も不安定かと思えば気象まで不安定で今日は風邪も冷ややかで午後は夕立ちです。晩霜いつまで降るか、困りました。

今日は昨年より二三日早めて四国稗を苗床に蒔きました。午後は夕立がきました。ご一緒した同僚の方(滝川さん)にもよろしくお伝え下さい。石川の白峰の隣村の方とは驚きました。でも妙な縁です。四日は友人の中川園へ石川の方が来る由、きつと雑穀関係調べかと話しています。

53 (5/12) 連日の雨で、雨日は休日で晝寝をしたり、読んだり書たり、又知友を尋ねお茶吞です。先日のあの葱は、埼玉の根深一本葱で大きく茎が白く長くなつたが堅し。暮から正月用で分けつあまりしません。夏葱には京都九条葱がよし 関西は葉が好み 関東は茎の白いところを好ですね。薬味の細葱を昨年求め細くて分けつ旺盛です。

最近野沢菜が作りだされ、これは丈夫です。甲府方面の秋蒔きの地菜と呼ぶものと同一の如く岳麓の鳴沢菜同一系の如し・・・若い頃は野菜に興味があり、西原でトマト・血球白菜・キャベツも最初に作りました。オクラ・西瓜・路地メロンも作りました。落花生も、考えてみると古い西原のものは絶えて改良されたものばかりです。以前、信州開田村の原種に近い信州大根を作りました。小さくて堅い大根で漬物には特に特色がありました。モチトウモロコシこれは黒くて甲州種より粘り味よし 収穫率悪かった。

54 (5/25) 鎌倉のみやげ甘し 青葉あめ(孫 鎌倉・横浜に就学旅行で) 滝川さんがお便りと小誌「白山の出作り」を贈って呉れました。

ご依頼の件、調べて見ませう。最近はお歩いて人と接する機会のない生活で、土地(西原)の事情は暗いので、十月面談の日にきつと適当な家もあるでせう。・・・

六月は私の友人もわさび全国大会で岩手花巻に泊りでせう。北陸の東尋坊から九谷焼の観光に行く友もあり。十八日 四十年交友の農人ですが黄綬褒章を受章に上京。五―六月は猫の手もかりたき時期ですが、私は黙然と自己の道を行くのみです。

55 (5/28) 今日雨です。廿六日 郭公や時鳥が来て 松蟬がはじめて鳴きま

した。

朝日岳（秘境）三面の条件は鳥兜山麓と同じようですね。・・・昔この山麓では小部

落が飢で死絶えたこともある由、昨年次男がこの山に登り、よくききました。それ故

に珍しく日本で唯一の梗キビが残っていたのでせう。・・・三面にも古い食べ物や作

物の種もあるでせうね。興味の地への探訪ですね。・・・西原も秘境に近いが、約一

千米の山を越えると四方が隣村です。昔は隣村に行くにみんな峠を越えました。

白山麓 白峰尾口等とも条件が似ている点があり、同一のような事がよくあるように、

四国の剣山や石櫃山麓も調べると同一の事が残っていると思います。 晴れると忙しい

日が続きます。

56 (6/12) 六月は 白の花 心にも咲く

奥三面よりの細々の見聞 有難く拝読いたしました。写真まで添え 秘境を心で描いています。東北は未知で小学校時代に習った記憶が浮んで来ました。

朝日岳裏の山形で、最上川上流近くで出羽三山も山続きと存じます？ テレビで今日は水田の無い桧枝岐村を見ました。東北は広いので八甲田山周辺、

岩木山周辺、八幡平等の産地や白神山地などには 未知の世界が残っていないでせうか？

さて、ふる里を湖底にの悲惨は 近くの奥多摩湖で私も見聞しました。三面の人達にも同情できます。大小でこんなダムの為の出来事は、まだ続くでせう。生きる為に人間は、自然の法則を狂わし、自ら不安を求めますね。気象

の異変も争乱のもつですね。

三十日降雪より十日雨もなく高温でしたが、九日梅雨入りから低温で 霖雨二日目で明日も駄目らしい。五日六日 山畑の斜面にある自生に近い茶の葉を採集で 足腰が悪いので疲れ果てました。以前は自分で製茶しましたが、今は製茶所に依頼です。お茶と煙草が唯一の好みです。本年は伊豆の新茶を四月半ばに吞みました。はじめて四月の新茶でした。いつも写真撮って戴き 良き記念ですが 段々老けてゆく姿は感無量です。

好々爺になりたいが及びそうにありません。

57 (6/19)

よし悪は別として 田も蚕も麦まで捨てた私は、雨の日は静かに休息、家居のみです。岩手まで行った友人達（山葵屋さん）は、広大な水田に驚いていました。・・・西原と対照は無理ですからね。井蛙の私も未知の

東北に急に興味を感じ、先日はテレビで白神山地のブナ林を知り、特にブナの効用の偉大さを知りました。上野原町でブナの自生は西原地区ですが、今は絶えようとしています。奥会津の桧枝岐村には西原の一五〇年前の如く栃

の原木が沢山有て今 木鉢や臼作りが盛ん。西原で実なる原木は何本かになりました。

日向の山畑の早掘りに適す馬鈴薯畑に、一ヶ月前から猿らしい奴が喰いに出て荒しています。初めてのことで、それに雉やコジュケイの鳥類が発芽した作物を荒し弱ります。ところが沢山例年はきた燕が 本年は見えぬので調べるつもりです。 近日四国稗定植です。・・・夏ソバ花盛りです。

58 (6/27)

さみだれの やもうともせで 薯病める

（埋文センター遺跡庭園の）四国稗の苗発芽不良で不足の由、沢山苗は残っています。乾燥すれば発芽悪き故 直播きはせず移植になったと思います。今世界で栽培しているは八割が移植の由。苗代は蒔くとよく踏みます。そして乾燥の時は水でもかけて湿します。私の苗は、五月二日蒔きで、理想では六月中に定植、遅くも七月二三日迄。私は六月二十一日定植、苗は二割使っただけで大量にあり。定植頃降らなかったら苗が送れたのです。雨の日でも持参ならば取れます。ここで一日は秋になると三十四日の差になり、大切な時期です。四国稗は遅れても穫れますが、多収穫は無理です。とうとう馬鈴薯に疫病発生、既に全滅の畑もあり、日照不足低温はやむなし、まだ広がるでせう。

59 (7/3)

花栗や 心もむなし 雨つづく

中川園も農家で只今は忙しく土、日は勤めの長男をふくめ農事で、現在、私の四国稗苗もまだ植えられぬ有様で、七月二十日頃から受け入れ体制で 学生など団体客の折は人を頼みます。現在は準備期です。大麦穫り入れ終り、小麦はまだの由です。

60 (7/11)

どくだみや 梅雨の晴れ間を 釈然と

平野田へ二年振りで 秘境のような趣に驚きました。白いどくだみの花はすべてを代弁しているようだ。

以前は七月お盆ですが、近頃は八月です。梅雨末期は出水することが有り、盆水という。これから薯を掘り、小豆を作るが忙しい仕事で、遅れると霜の早い秋になればだめです。七日燕が来ました。（例年なら）四月末から五月に来るんですが。

61 (7/18) 冷夏かな どうもろこしの 花さかる

梅雨が長びきますね。十六日はお寺が八月盆で忙しかったため、毎年七月盆（一ヶ月前）に檀家の総代・世話（役員）で、原島氏は寺の会計です。当日は同席でした。盆の施餓鬼で、本堂で涼しいというより寒くなったのは全く初体験です。

小豆予定通り作れず、本年も昨年の如く凶作（五割方）でせう。低温の夏で暑さ知らず、軽井沢かどこかの別荘暮らしの如くで、今朝も高原の如く霧が一杯です。

62 (7/26) 沙羅散つて 炎暑の夏 来たりける

鈴木昇さんの事はじめて伺いました。真の農人のようですね。雑穀普及御礼申しますそれが私の願いです。

喘ぎつつ 小豆蒔ける 合歓の花

空畑はありますが二十五日小豆は終了。もう時期遅れました。

63 (8/2) 山百合や 土用出水の 山の村

関東は二回の台風之余波で出水になり、都内も雨量は稀なようですね。

当方八月お盆で出水も珍しい時期でした。雨つづきで仕事はやれず、テレビを見ながら晝寝で、読むことも書く元気ありません。昨年の夏の型で、夏ソバはまた不作、小豆も蒔き遅れ、霜が早いと是も不作です。戴いた山形の菊は手入れ不足で不成績です。然し十分に増やしました。昨年求めた黄色の食用菊は、早生で花が開きました。日照不足は農にはつらいことです。ともあれ何もかも雨が多く、熟した南瓜やトウモロコシを取にゆき食するがやつとです。問題の粳黍は出穂始めました。五升收穫できれば念願の桃太郎の黍団子が造れます。四国稗も元気で茂り出しました。穂揃いが九月一十日迄なら実が入ります。ともあれ何もかも雨が多く、熟した南瓜やとうもろこしを取りに行き食するがやつとです。

蛍飛ぶ 鶴川ダムの 噂たつ

町に工業団地が造られ、水源確保に鶴川ダムの話がはじまりました。西原が隣村ですが、また水に沈む何軒かあるでせう。隣村小菅では観光に縄文を村に作る計画の様です。

64 (8/11) 私は十二月の結婚で、本年十二月満五十年（金婚です）。末子で

準養子により少し遅れた妻帯で、子供も遅れ、長男は四〇才の折に生れました。二十四才で父に別れ、十年後母を失ふ。後、病身な兄夫婦を助け、小学卒業後は家業一途、應召中に家は類焼（昭和十九年）然し努力、結果、四十三年目に家完成、五人の子供も無事成長今日に至り、降矢家の中興を果す。西原の野生児です。

昨秋戴いた菊を見て、その大きさ及び肥沃な地を見て、山形の豊かさが想像できます。旅も見学にも経験がないので、その土地の代の作物や木草存成育の話で想像しています。

賀曾利隆氏はバイクで日本一周に今日出発です。帰ったら、また私に何かを教えてくれるでせう。次男、鹿島建設に勤務は、休日にはよく登山をします。七月の終りには山形の山に登ったようで、・・・

立秋から七八日目頃より秋ソバ、白菜、大根作りで、日陰はそれより早く作ります。・・・粳キビ、穂揃が近く、九月上旬は收穫。モチキビ出穂はじむ、粟はまだで、もろこしは少し蒔が遅れた故、二十日頃出穂か？四国稗は九月一―一〇日に穂揃になる予定。お暇ができましたらお出掛けください。

65 (8/21) ゴキーンと 玉蜀黍を かいて 籠

猛暑が続く作物まで被害が生じましたら、台風之余波で又不安定な天気になりました。四国稗出穂はじめました。粳黍は穂たれはじめました。他の粟、黍も出穂はじめました。遅い蒔だった（穂）もろこしはまだですが、間もなく出穂します。昨年より草丈は短いです。昨年に似た天候でもやや日照時間が多かったというのでせう。

八王子の鈴木さんと雑穀の話でもしてみたい。老人連中は頑固な一面があります。それは時代と教育の精でせう。

長いお盆になりました。十三日に次女一家が五年振りで来ました。信州安曇野に住む、忙しいので一泊。次々と子供が来ました。帰りきつたら雨になり、大根を作り損ねます。白菜は苗に蒔き、秋蕎麦も是からです。八月一杯は晴れると暑そうです。仕事をする時間は尊いです。

66 (9/1) 滔々と鶴水流る 夏終る

台風一過 今度こそは快晴かと思いましたが駄目です。山梨も甲府周辺は果樹王国ですが、西原は日照時間みじかい土地で果樹類も、なつても甘味の乏しい土地です。

さて、今夏の度々の大雨には閉口です。暑さと大雨で遅れた発芽したばかりや蒔たものはよろしくたたかれ不良です。恰も春の黍 粟 もろこしが降雹にたたかれたと同じ型になりました。(穂) もろこしは遅れ穂の出の一番柔で頭の重い時なので全部倒伏し、折れてはいないので起して四株位ずつしぼりました。成育が遅れ、完熟が心配です。黍・粟は無事、四国稗は穂揃で良好です。全く時代に疎まれ天候には阻れて 百姓はみじめです。秋蕎麦は早蒔は雨にたたかれ、遅れたのは発芽はじめた処を鳥に荒され、又秋蕎麦も見込なしです。・・・

東北には私の心をゆさぶるものがいっぱいです。紅花のロマンもその一つで、鉢にでも作りその花を一輪でもいい、実物にふれてみる事が出来たら感激です。

67 (9/8) 名月の 間近となりぬ 露しろし

蒔た翌日の大雨は、全く発芽が悪く、みんなが蒔直しをしています。私も急で蒔ては雨にあい うんざりしました。 四国稗は穂揃いで見事です。梗のキビは実が入り、モロコシも八分出穂です。

紅花有難うございます(私の実家は山形市近郊の高瀬で“紅花の里”で知られる。盆に帰省の折、降矢さんへの土産の種を調達してきた)。来年は作れるんですね。

元気のいいのは里芋ですが、子がふくらんだかどうかですか、月見には掘ってみたい。九月ははお祭りの月で、でも過疎地ですからさびれる由。

十月になり暇でしたら、芋煮会用の芋を掘りに来ませんか、沢山作り食べきれぬ程あります。・・・十月一杯 霜が無いといいかと願っています。何処の畑も草です。始末ができません。

68 (9/20) 強い残暑も彼岸に入るので涼しくなりそうです。

蕎麦の花が盛りになりました。例年より一週間くらい早いです。昨年の早い降霜にこり、みんな早く蒔きました。初ものを食べたことを書きます。九月九日重陽 早咲きの花菊を食べたが、旧重陽でないと味も悪く香も劣ります。

十四日月見、枝豆、里芋、さつま芋を供え、十五日敬老の日は青しそ大根おろし 柚味噌也。十六・十七日は秋まつり 梨です。次に昨秋戴きました故里山形の菊(モッテノホカ)が咲き出しました。早生のようです。黄色と思いきや桃色のようなです。

妻が暑さ負けでこの一と月は休養で、独りで野菜作りでしたがもう本復。黍の梗(秋山郷種)も糯種も収穫し、粟、もろこしはまだ也、四国稗は熟はじめ 豊作型で実に良い出来、十月半の収穫でせう。

お祭りも、小学運動会(十七日)にも行ず、訪れる人もなく 黙然と独りお茶を呑み煙草を吸っている。秋の虫の音(声)のみです。四国稗鈴木さんには不知でせうね。冬は製粉にしたら差し上げてみようか？

十一月二十三日 第三回雑穀研究会 招待されました。場所は桐原です。

69 (10/7) 草刈らば あまた野良着へ 草の実は

小豆、粟、もろこし、四国稗もみんなできました。早蒔の部はソバが取上り、二十日過ぎまで霜が降らぬと昨年より上作です。紅葉が遅れそうで、それ丈暖かい訳です。

老令化したら干柴や草刈りがはかどらず、まだ沢山あります。曇日には草むらで晝でもカンタンや草ヒバリが鳴きます。秋の柴や草刈りが来年の作物の肥料原で 私の作物成績を左右するのです。今ではこんな方法は私のみです。尾瀬沼の登山口桧枝岐村はソバ食料原の由、テレビで作り方を見て試作してみました。

70 (10/16) こおろぎや 夏もあつたろう 今の老

月末 鈴木(昇)さんとご入来の由、知つての通りでご歓待もできませんし、西原も取り柄のない処ですが 私は都合は悪くありません。ご遠慮なくお越しください。里芋でも掘って置ませう。

今までは霜がなかったが、昨年は十三日で 寒波が十七日頃の予報 霜が来るか？あと一週間遅れればいいですが。柴や草は今月では終りません。夏からの雨に祟られました。今日は西原地区の敬老会(九月祭りで延期) 天気が良いので妻を出席、私は草山でした。

71 (10/24)

鈴木さんのご行動お知らせ戴き これほど有名人とは思いませんでした。何だか逢うことが苦手になりました。世に出たことも無し、生涯を無為無名で終える野生児ですから。

芋煮会を催され、是こそ有意な会で、今どき尊と思います。天氣が悪かったら（日曜）前に掘って置きます。蒟蒻玉も支度しておきます。霜が平年並みに来そうで、今年はソバの実が入ります。二十日（土）中川園に千葉・市川生協一行（男7・女18）が一泊して、栃餅をつくやソバを作るやら、私も招待されて食べたり話したりでした。雑穀に憧れがあるんですね。

72（10／30） ハラハラと 落葉す山 草刈て

菊日和でほんとうに好日でした。皆様お忙しい中お越し戴き御礼申し上げます。沢山お土産迄ご持参下され、当方はいつもながら何の風情もなくお詫び致します。鈴木さんたちにもよろしくお伝えください。永い人生の経験者は話に味があります。紅花の種有難う存じます。来春は又楽しみが増えました。日和が続けば秋も良く。

73（11／7） （この便りは、別人宛に書いたつもりが、私宛になって・・・）

木枯らし、初霜があり、お変わりありませんか？・・・十一月五日晝に帰る前の坂道を登って来ると、目の前の影が背をかめた亡父の影で愕然としました。見れば見る程、自分の影というより晩年の父が俯でした。落葉の道で亡父に逢う、流石の私も吐息して、心で父に縋りたい気がしました。父と子の情でせうか。

74（11／8） しぐれけり 杖つき歩く 落葉みち

昨日な葉書は小俣光雄氏宛の内輪のものでした。先に表書きを二回書き置いた為の間違いでした。とんだ失礼をお詫びいたします。小俣氏は二年がかりで他二人と甲斐百山刊行した友人の一人です。

三日好日の秋空の下で芋煮会はご盛会であつた由にて、何よりとお喜します。山形風の芋煮会つづける事を期待します。野人の私は野趣の加わった事に感動します。鈴木さんも金子さんも満足であれば良かったです。貴重な一日を無駄にしては済みません。人と人との出逢いは妙なものです。私も健康にもどれそうです。

75（11／16） 急激な逆転で真冬並みになりました。今日もしぐれています。何

なす意欲も無く、炬燵で黙然としていて孫達三時頃迄は帰らず、丘の上の一軒家という静かさです。短日で・・・不順な天候は僅かな収穫物の整理もで

きません。金子さんから記念の写真とお便りを戴きました。みんなふる里を離れた生活ですね。・・・私には対照がない生活で、せめて季節感でもと菊花を食べ・・・薺（ナズナ）の浸しものをと摘んできました。ペンペン草で知られ、好は私丈か、一寸芹の味がします。紅花の浸しとどう違うか楽しみます。二十二日は雑穀研究会の座談会に招待、学者たちの集りでせう。廿五日は河口湖の農友授章の町主催祝賀会に招待されましたが、まだ健康正調で無く、缺席することにしました。岳麓は雹が降ったらしい。是からは南面で日を楽しみ私です。

76（11／28） 小春日和も崩れそうです。・・・私は幸か不幸か野育ちで、自分に厳しくしているつもりで自己主義な頑固者です。・・・私の方へ飛んだ

ご心配をかけ有難く存じます。私は体質が弱く血圧は低くアレルギー性で胆のう欠如です。それに頭の網膜（？）も異常か頭を暑さ寒さから保護せぬとやられます。廿九日頃は季節外れの暖さを怠ったためで、一般の方々より衣食住全てに注意したいんです。

第三回雑穀全国研究会は、私は会員外で本座談会に招かれ坂本寧男先生の「インド亜大陸調査の概要について」をスライド併せの話を聞いてきました。関東山地の雑穀は西原が中心の如くで、世界でもそう認めています。送り迎えの出席でした。 いずれ

77（12／8） 星食った 式日の月は 細かりし（式日の金星蝕みましたか）

四国稗の脱穀だけが残っている。腰痛に寒さききます。四国稗は飼料にならないか、肥えた鈴木さんの畑では実はどうか、草丈は凄くのびて、飼料用によさそうですが。

柿類はならず、山芋を掘ると是も駄目で、九月に葉枯病にかかったコンニャクも凶作で、豊作は四国稗だけらしい。十月頃は山の温泉へと思ったが実現出来ず、「旅」どころか近頃土地の様子も知らず、家居の身でもテレビでいろいろ覚えます、ここまで今年も来ると来春に夢を託して、自然と共に冬眠ですね。

平成二（1990）年 降矢 80 歳

山河春 暦日むなし 山居かな
山河春 賀客もなくて 山居かな

78 (1/17) 九〇年代はどんな変化があるか、思想も経済もむずかしい時代になりました。私は雪がないので、正月も、無休で人目につかぬ南面の日向の山畑でした。松がとれてより堆肥造りで春肥を十分確保しました。十六日より待望の雪二〇センチ 是から私の正月というか冬眠です。日が延びたです夜明けが早くなりました。寒さはこれからが本番かも知れません。雪で風邪の流行も鎮まるでせう。

方々で遺跡が発見されますね。雪で久々で筆を執りました。どこへも出掛けなかったが、友人でも訪ねて 稗粥(方言でヘイのケイ)でもご馳走に預かりたい。

79 (2/14) 如月の 西原山地 雪尺余

冬眠の 吾もはい出ぬ 春一番

実は一月十六日 年甲斐もなく、前の坂道の氷上すべり転んで左腕を脱臼骨折、三十年振りで医者通いになりました。寒さとギブスで着物も着られず、毛布と着物をかぶり炬燵にもたれ日夜もなく寒中鍛錬か襖か、天罰か 冬眠の虫か やつとギブス半分とれました。寒も雪も峠を越え温和になり、四週振りで筆を執りました。ギブスの重さで右手もひかれて字も書けずでした。至極元氣ですが、運動不足か体調調整わずフラフラです。是から本復に専念です。遠からず離床します。

80 (2/20) 残雪の 坂道怖し するするり (当日の句です)

一月十六日の雪から一ヶ月 晴れた日三日位で 雪と雨で三〇日からひと月の積雪四〇センチ強 四〇年振ります。近頃は気温上り雹になり雨が降り北面に僅か残るのみ。赤米のこと蘇のこと 私には未知の事のみ 金子さんの熱意に敬服、良き同志に恵まれ何よりで、醍醐味の由来でせうか。私は空白の一ヶ月になり、雑穀も収納のままで精白にも製粉にもせずそのままです。ギブス半分とったのみで、不自由で週に一回の通院は妻の付添です。先週妻と四五年振りで街を歩きました。丸でムジナか狸の夫婦のようです。三十年振りの医者通で、何と気丈でも強情を張っても駄目で、一変に四五年老けましたね。脱臼は本復迄手間どる由、後一ヶ月で馬鈴薯作りですが、それ迄に鉄が握れるか、これから体力氣力をつける事に専念です。全く一ヶ月の空白で楽しみにしていたんですが、冬眠同様の生活でした。老人は駄目なものです。

81 (2/24) 天罰の拷問だったか、ギブス昨日とれました。寒中鍛錬終りました。ご心配かけました。三十年の修理、ネジも鉋もゆるんだ感で体全体が衰えたようで、四十日近い空白で 今後ボツボツ鍛錬し鉄を使える日いつか経過次第です。 昨電話戴き、テレビで多摩ニュータウン見ました。広いし、都内からは私の思った通り遠いですね。鈴木さんの子供達と乳しぼり、童話の国のようにほほえましく 楽しく思います。よき人柄ですね。三十年前の大病の時六歳だった末子が、三十年後の今日は Y銀行のT支店で支店長代理を命ぜられ(一月)・・・中銀で最年少の代理らしい。 次男はK本社に二十年 八王子周辺では遠いといつて、五月にわらび市の新設マンションに入居です。この方にも一度見に行きたい。父の背中を見て育った子供は一人前になりました。

82 (3/3) 型破りの天候 私の初体験です。五十日に近い雨期とでも言いま

すか、一月半より三月へ 平年は雨の少ない時期です。私の脱臼も快方です。先日金子さんよりお見舞いの芳信戴き、・・・落川遺跡も関東に珍しいことを証明ですね。考えると私も赤米は古代よりのもので、今日日本で何か所か神事に作っている由。身近で古代式で赤米を試食、弥生人の時代を身近に感じます。・・・雑穀も収納したままで、一月半より二月は暇な時期なので、製粉や精穀をと楽しみにしていたのを、私の不注意の脱臼と天候が一致し、乾いた穀物も晴日に乾し直さねばと思います。・・・

桃の節句ですが今日も亦細雨で・・・四十日 友人とも語れず、又週に一回町の病院に老妻の付添で 半日がかりで通いました。デット耐えた精神修行です。八〇才にて新生再起に挑戦です。果たしてどこまで出来るか。

83 (3/11) 今春は調布の末子の処へ二三日泊って、深大寺や小金井の学芸大

の農場や日野周辺まで一度探訪する予定でしたが、末子は二月甲府へ転任しました。是も水泡です。 西原の山地も彼岸が近づくと北面にも日ざしが当り明るくなります。ここ畑を耕す人達が目立ちます。 四日は左腕をいたわりながら、露の臺でも摘んで来て侘しい早春を讀えよう。・・・何か失意の春ですが、五月半頃はご都合してお出掛けください。筍もカタクリも咲くでせう。只今は露の臺が盛りです。

84 (3/20)

縄文の 雑穀(くさぐさ) つくり 後の世人

平年より季節は進んでいるが、ここ寒さが戻り鶯はまだ鳴きません。．．．然し盆栽の富士桜近日咲き 是は早し。 左手すこし使え町へ独りで行けます。再起するには体調を整備に切りが無く、外科と齒科で視力も悪いので、この方とも思います。三十年間放任の体は、修復が大変です。 甲斐に転勤した三男（末子）が迎えに来るはずで、住宅の近くが湯村温泉で湯治と思います。．．．帰宅すると春野菜作りですが、整地はせず種だけは落したいが？可能かどうか、五月頃迄は無理かとの思います。．．． 古代の赤稲（あかごめ）畑で作れたら 貴重な種でせうが、お分けください。私がもし駄目でしたら友人に依頼します。生きる限り、私の生き甲斐かも知れません。

85（4／2） 三月廿一日子供が迎えに来て 妻と出掛けて子供の処へ五泊、塩山市一泊で廿七日帰宅しました。甲府市も僅かの間に変わり、丁度桜が満開でした。花・人・老人には．．．保養より疲れが多きい。左腕の為の湯治が望でした。急に治るかといっても無理でした。再起に努めています。花は早い廿一日鶯の声を聞かずに出かけ、二十四日武田信玄生誕の山奥積翠寺で初めて耳にしました。今年になり八十日も農事は空白です。帰宅すると、鶯もみそささえも鳴っていました。草花の観察は苦手ですが、拙宅に一株カタクリの花が咲いていました。植もしないが自生したのです。四月半頃と思っていたのに三月下旬に咲きました。当方ではホケキョウ（鶯の意）花と呼び、鶯の鳴く頃咲く為か、本当でした。近頃は方々から採りに来て、眼のどく処でないと駄目です。

南アの山々は雪が真つ白 特に甲斐駒の雄姿と桜花の満開の対照は、印象的でした。

86（4／10） 牛鳴いて 桜咲たり 川はさみ

八日は午前雨が結構降り、午後晴れ出したので三頭荘の川の桜花を見に行きました。八分咲でそばの御嶽神社のお祭りで、桜の下に行灯を子供灯すらしなかった。西原ではここが一番桜が数多い処です。 寒波来て霜が降りるので紅花、いんげん、とうもろこしも十五・六日頃に作ろうと思います。 何しろ左腕はまだ不自由で現在三ヶ月経過、後三ヶ月で再起できるか、今耕さず不整地で馬鈴薯、大根、菜類をば 花をみても芽吹く木をみても浮きません。人は弱いものです。桜は例年より五六日は早い、カタクリはどの程度か一株自然生の家のは散りました。山野を歩く元気なしです。 十四日（土）でもいいが、山菜もまだ幼いし五月半は好期です。皆忙しいが、暇は私丈です

ね。

87（4／19） 片栗や 友の来ぬ間に 花萎む

とうとう金子さんの見えぬのにカタクリは花が終わりました。何の花でも花は年々同じでしょうが、人は年々同じにはゆきませんね。 七日の土曜日は好天でした。十四日も小雨が七時頃止み、後は終日曇って一寸蒸し暑い日でした。夕方より霧です。丈夫な人は皆忙しい時代です。．．．

鶯は五・六日遅れて鳴いた。馬鈴薯 早掘り用を、苦勞して三月十六日に作りました。まだ地上へ芽出ず。掘ってみると芽は地上出る寸前です。鋏も自由に使えず、筋力の衰えた体調は 再起は仲々です。旬の先裁ものを僅無理して作ります。 八日に半日の雨で風が毎日吹いて、畑はカラカラで困りました。 カラカラ天気からぐずついた天気で温度は低く、晴れると霜です。500～1000米級の山頂は雪も降たでせうか霧で見えず 蒔ても作ても是では遅れます。五月二日（八十八夜）はすぐです。気がもめますが、左腕まだ不自由で、予定通りいかず。

コブシの花が沢山咲きました。西原には無く、岳麓の山野に自生を移植、この花が多い年は岳麓では馬鈴薯が豊作だという。 十七日仲間とやつと黍の稗の粉で桃太郎の黍団子の試食をしました。特有いい味です。やつと私の願が叶いました。一寸仕事すれば疲れが大きい。

88（4／28） 大形連休は故郷へご帰省でもなさいますか。．．．

金子さんより赤米の種子、二月十七日（土）の赤米に関するコピーも戴きました。 再起に努めています。厳しい道です。天候不順と共に作業は進まず、ご恵與の紅花も下旬の蒔付けになり、赤米は二十七日でした。耕土が荒いので成功はむずかしい。田は捨てました。畑を耕すことが実に負担で、僅つづけると左腕や足腰が痛みます。．．．私は連休もなく、晴日であれば何かをやります。自身を振り返ってみれば 虫の一生の如くで、生くることは辛いです。

89（5／4） 若葉風 友へすすめる 黍の餅

本年は空白が続く、再起に努めても、実のりは乏しい私で、それが老人というもの。珍しい五月の低温、自然界も私の如く病んでいるか。

雨が降ると私の連休です。 府中の明神様（大國魂神社？）で末子は結婚式を挙げた折に府中に行きましたこと有。

地温が上らず、発芽悪く、発芽したものは霜にやられ、紅花、赤米、試作自信

なしです。・・・耕すことが実に負担です。体にゼイ肉ばかりで 長い運動不足ですから。

90 (5/22) 行く春や 苺もぎたる 落の葉に

春怨とでも表現したい日頃です。 元氣ですが、腕の痛、痛風で足腰も同様で雑穀の蒔付けば進まず、雅友から最近の便りには一句も添えぬがと問われます。句作りどころか、心さへ平穩を得ず。久しく世間の人達とは語れずです、と答えました。 本年は立夏(五月六日)頃より氣温も雨も適切で、発芽はいいが玉蜀黍の発芽を鳥にねらはれ、かかしや網を張り防いでいます。三頭荘付近の山畑迄猪が来て暴れる由。

次に13粒の黍梗が話題になり、朝日新聞甲府支局より廿日(日)に、知友の案内で取材に来ました。畑を見たり二時間半くらいかかりました。桃太郎の黍団子が飛んだ方まで発展です。地方版ほどの程度発表されますか。ここに至ると、もうどうにもならず、反対もせず賛成もせず、只流の如く行くままです。無名の農人は表面化せず、黙々として篤志家や理解して下さる方の賛同を得て、確信する道を歩むこと正しいのですが、私の事は学界では記録して下され、雑穀の種子を保存しているようです。今更新聞で取り上げなくともいいです。私も後二・三年続ければ沢山で、終りにしようと思っています。私の使命は達成し、国内へ可成拡がったようで、もう雑穀の種は絶えぬでせう。

91 (5/29) 落の葉へ 苺もぎたり 畑かえり

郭公よ 里芋の芽が 生えてきし
「雑穀のすすめ」、ご高説拝読しました。私にはいい勉強になります。西原の雑穀を深く且長い間研究の第一人者は、学芸大の助教授木俣美樹男氏(現農博)であり、学界に発表されていて私の長い知人です。

芋煮会の件、雑穀食のこといづれ申し上げますが、期日は十月半が良でせう。参加人数の予定をお知らせ下さい。
再起に努めても、こわれたものは駄目ですね。まだ雑穀作り遅れたものもあり、努力していますが 痛や疲れで書くこと読むことの元氣もありません。然し降らぬ日は畑に出ます。草が急にのびてきて、仕事は更に面倒です。

92 (6/2) ジャガ薯や 花咲く畑に 更衣して

紅花が十糧位になりました。間引きして一本立ちにし、間引きしたのを浸にして食べる予定。ジャガ薯は四月が不順で遅れました。半月後に試食予定。

シコクヒエ半ばに定植予定、粟や黍まだ作り切れず、夏小豆も時期がきました。本年は苦戦の毎日です。 山畑に猪が出て、ジャガ薯が全滅の畑もある由です。玉蜀黍の発芽へ小鳥が掘って 五月末に蒔はだめです。五月二日朝日地方版へ発表 私は読者でないのでまだ見ません。

93 (6/13) (6/2付 朝日新聞山梨版「桃太郎のキビダンゴ」掲載記事同封)

入梅になりました。・・・月はじめ晩霜で被害があり、お茶(自家用)を作らぬ家が多く、製茶所が終るといいうので慌しく茶鉢を嫁と妻と三人で致しました。茶畑のないので 山畑の隅や土手等の足場も場所も悪いので大変やつと集めます。腕や足腰が悪いのに無理が祟り、疲れと痛で以後健康を害し、寝込みはしませんが、仕事も進まず、筆も執らず、朝日新聞へ発表された直後でした。 十三粒ほどのキビ 桃太郎の団子は人気だあったようで、コピーが田舎は難しく、仲々お目に掛けられません。

疎まれて生涯を無名で終わろうとしている、八〇の老人と拾い上げても有難迷惑です。今後 自粛反省せねばなりません。私は以前より学界で認めて貰っている事で満足なのです。マスコミも飯の種を求めているのでせう。

・・・忙しさ疲れで友人中川園を二ヶ月ぶりで尋ねました。芋煮会の件、一泊を依頼 承知して戴きました。二〇名位は都合できそうです。雑穀食は栗飯、シコクビエの持ち位でいいですか。都合できたら、一度打合せにきて戴きたいですが、芋煮会は戸外で催して、後に中川園で家(戸内)で食事、会談・・・中川園には大鍋もあります。場所を見たり、準備の手筈を定めた、忙しくともお越しいただきたい。

94 (6/25) 花栗や 四国稗植ゆ 夏至暑し

良き同志と青梅の土器焼きの一日楽しくと存じます。・・・
紅花一本一本支柱をせぬので倒れたり曲がったりで、蕾はできました。近日咲くでせう。切花にもよさそうです。 中川園に賀曾利隆氏二十三日泊るので夜送り迎の車で行き、氏と語る。近日、海外旅行に半年の予定で出発の由。毎日三十三・四度の暑で、一日六時間位働きますが、どうも健康を害して元氣なしで、作物の成育に追い付ず雑草も茂ります。蒟蒻芋に柴かけして、小豆作ります。人にも草木にも一雨ほしい。日暮し蟬今日鳴きたり。

95 (7/4) 花栗の 終わりとなりて 半夏生きし

昨日ははげんで、夏の蒔くもの植えものは最終期になりました。低温で霧の毎日でしたが、今日は久々の雨です。作物は上上ですが、今後の夏の天候で（二年雨の夏で凶作）、日照の多い夏を願っています。芋煮会の打合せ並びに現地（見調）を乞いましたが、夏は予定もあり、お越しは無理でせうが、当方お盆は八月ですが、お寺丈は多忙なので、七月十五日に行事済ますので、午後当日は不在、寺に行きます。他は在宅です。都合が出来たら私の夏の作柄も見てください。

紅花もう咲くかと思うと、急に枝がのび賑やかで、枝芽少し減せばよかったかも知れません。痛風も痛み、暑負け、疲れもあるか、不健康で自愛専一中です。

96 (7/12) みちのくの 紅花今日 都留で咲き

紅花と ふれあうことの 有難さ

七月十日 夢の花だった紅花現実として開花しました。待望久し八十五日かかりました。厚く御礼申し上げます。西原ではじめて咲いた紅花なので、祖先に供えたり、菩提寺へ捧げたりです。

七日は朝夕細雨、日中は霧や薄日の日が続き、高原の別荘地のようで、清里や軽井沢を想像させます。作物の成育は良いが、日照不足で軟弱です。

97 (7/17) 日暮や 入道雲の 湧く夕べ

十五日にわか雨もあったが、西方に夏雲が湧き 梅雨明けが近く感じられました。夕映えも美しかった。霧と細雨も終わるでせう。十五日頃迄に終る予定の小豆作り天候と雑草に阻まれて 四五日遅れます。他は八月上旬ソバで、秋野菜―冬野菜の作る時期です。今は蚕をやめたので忙しさが違います。

日照不足で作物は徒長し、軟弱で丈が長すぎ、今後照らぬと豊作はむずかしい。一見作柄はいいんですが、後は日照の問題だけです。近年は以前より四五日は時期を早めた方がいいは判っていても、私は、本年は及びません。相変わらず苦難は続きます。他は廿九日にキミ粳出穂まだです。

98 (7/25) 炎天に 南瓜もぎたり 手へ重し

雨量の乏しい夏になりました。日照不足の梅雨から高温多照で一部被害がはじまる作物で、水不足は深刻でせう。二年雨の夏、本年は照りの夏、自然の法則を破るためか。暑さにすこし稼では水を呑み、座布団敷ては晝寝です。廿三、廿四日とひと雷雨あれど、雨は僅です。ご書面多謝 御面談の折

に

99 (8/6) 暑ければ 暑しとグチす 土用照り

夏の私の作物の様子、初めてでしたね。兎も角苦勞しての作柄で、新聞にだされたことは負担で、三日（金）にも見学者があり、この日も特に暑い日でした。台風余波で四日は僅か雨あり、葉の下はぬれず、強い日差しで早魃の手前、このままでは半枯れです。暑すぎて働く時間は僅で、恵まれた水を呑み昼寝です。明日黍網張りです。

100 (8/16) 盆水とでも云う十一号台風で早魃は終わりましたが、十日遅かった

ために復活しない作物もあり、玉蜀黍、（穂）モロコシ、黍は倒伏して折れたり 散々です。畑は湿たが暑さは続き、大根等作るも発芽しても焼け切れそう。紅花の共同通信社コビー有難く、作る前に一読すればよい参考になったでせう。でも私の憧れというか夢は実現しました。日照り中に種採りしました。花を一部陰干しました。茶として試飲する予定。来年は支枝をかき花を限定して大きめにし、摘で雅印用の朱肉を作り、その色を愛したく、むずかしい事です。台風後の処理や暑気で妻は休業、私も疲れしました。然しお盆も返上で能率は上りませんが、仕事です。キビの網張やつと終る、一週間もかかりましたが、照りと台風で収量は未定です。良き実入りは望めません。シコクビエは台風を受けず出穂中です。満足な作物は一つもなく、余計に疲れがでてきます。十五日は秋ソバ作りで蒔きました。

101 (9/2) こおろぎの 鳴く夜となりぬ 山家かな

ここ四五日やつと涼しくなりましたが、降りそうな曇立ちになっても雨は無く、台風雨風は一日だけで依然その後は雨無く、猛暑続き早魃です。黍粳収穫廿五日、照りと台風でやつと前年並でした。里芋は水不足でやつと生きています。シコクビエは、台風頃は丈短かったので無事花が終り実入り中（例年よりは十日早いでせう）。八月は健康を損ね、日中をさけて仕事をしていきます。夏カゼも引き、咳し持病も手伝って、お盆も楽しまず。家居で中川園も尋ねず。廿二日同級生死去 何やら侘しきものなり。秋野菜は何も作れず、作ってもだめです。白菜をポットに蒔て、育ています。赤米出穂はじめたか、とても収穫はむずかしいでせう。水に恵まれると水稻は豊作でせう。陸作ではサツマ薯のみですね。紅花の種沢山とれました。日かげ干しにして花を茶にしています。

(9/6) 恐怖の照りになりました。日中は厳しい暑です。九月に入り流石に夜は涼しくなりました。いつまで続くかこの照りは 生活用水が心配になってきました。例年は雨多い土地で 一夏雨で苦しめられ 今度は照りで、朝夕水を注げる畑をもつ人が秋野菜を僅かに作るのみです。秋野菜の時期は過ぎました。九月十日頃よりは、冬から春への野菜です。ネギやキャベツの苗も蒔けます。水分を特にほしい里芋、蒟蒻はひどいです。雑穀も例年より早い収穫ですが、完全な実入りは無理です。^{5/1}黍稷 ^{8/22}収穫 ^{5/15}モチ黍 近日収穫 ^{5/6}穂もろこし 近日収穫になります。シコクヒエも十月 を待つに実入りそうです。五日珍しく細雨あり、葉が濡れた程度でした。

先日二七日の記念写真、金子さんより戴く。・・・二五日健康医学誌の安部氏来宅、十一月に古守先生・賀曾利氏を交えて一夕懇談会の予定、招待されています。他は来宅者なし。八月盆に末子のみ欠け、他は集まる。

(9/8) 日照も終止符を、七日曇より十時より小雨になり、切れ切れながら夜まで小雨で予報も例年の気温と雨日を示しました。遅れましたが、秋野菜や冬野菜作りで、雑穀の取り上げは例年より十日は早く、結果は悪いが仕方ありません。ご心配の里芋 成績は悪いが、芋煮会用位は充分ありますから実現してください。コンニャク芋も照りには弱く、葉枯れ病発生で凶作ですが、一メや二メ目はありますから 安心ください。薯類は、但し味は落ちるかも知れません。不自由な体で精一杯努力したが、天候では及びません。雨が来たり涼しくなると 元気になるでせう。

(9/15) 芋煮会の御案内状 拝見しました。関東山地の雑穀の事に至るまで詳細に及び感動です。九月十日 あれ以来はじめて中川園に行きました。体の不調と暑で八月は外出せず、私では徒歩ですから、里芋も蒟蒻もご心配なく、・・・西原で催す芋煮会の意味がかんじられます。

蒟蒻芋は加工するので三四日前に私が掘ります。そして、中川園に届けます。・・・現在、シコクヒエと粟が残り、九月中には取上られます。日照りに強いのはさつま芋、大豆、粟で、特に弱いのは陸稲で赤米は穂少しでたまま枯死で、種も得られぬでせう。田の栽培でないと無理でした。十月はダイズ、小豆でソバは花盛りです。イモ類は十月より食べはじめます。

ネギやキャベツの種を八日蒔たが 依然日照高温で発芽は望そうもなし。秋雨前線が南下で十三日午後から雨になり、雷鳴と共に珍しい雨になり、夜中

も降ったようで、十四日も終日小雨です。この雨は手遅れで 半月も前でした。今では秋野菜やソバ、小豆位で里芋もどの程度元気に戻るか、根がいたんでいるから。・・・

九月廿二日から四五日信州の松本の在に住む次女が迎えに来ので、出掛けます。もう一人では旅行も心配な体です。松本城や私のブロンズ像を造った笹村先生設計の礫山美術館、先生の作品も有り、安曇野・穂高等をと思います。

105 (9/19) (中川勇さんの便り)

前略 葉書にて失礼します。御便りありがとうございました。芋煮会の件、降矢君

とも話し合いましたが、材料は当地のもので何とかなるでせう。雑穀は豊作の様ですが、脱穀してどうなりますか。今からたのしみです。では拝顔の節 話合いました。

106 (9/28) 安曇野を見に廿三日に来ました。思ったより広大な田で刈取り

の開始 豊作の美しい色に見入りました。有名な穂高のわさび田を見、大町市の蕎麦の花を尋ねた。車で一時間 標高九〇〇米で最早花どころか刈取最中で、西原とは二〇日一ヶ月差があり 蕎麦の新種入手でまた挑戦 生きる間、私は農士です。恩師の如き故笹村先生設計の礫山美術館も探訪 先生作品もあります。信州安曇野も最初で最後かも知れぬ。松本城でも見たら九日中に帰宅したい。日照りで私も収穫はシコクヒエ丈です。快晴はなく、曇りや雨の日があり、ヤマの遠望は意の如く有りません。蕎麦の味の好い処です。

107 (10/1) 安曇野の 石佛和む 稲の秋(絵はがきに)

台風よりやっと先に信州の旅八日目で帰宅(30日正午)。安曇野の風物に接し、長い間の宿願を果しました。でも霧と曇で山の姿は仰げず、五月頃が好い由。御拝眉の節にゆずります。台風は十九号より弱く被害なし。

(10/9) 今日も雨で仕事は山積ですが、外ですから休息です。・・・日曜・祭日は行事が多いので八日間の信州行は崇ります。・・・晴耕雨読ですが視力が弱り読書続かず、テレビを見るといふより聞きます。いかに剛情を張っても老化する体は止まりません。八〇才にして金婚式ですが、同輩では晩婚ですから私が最後です。九月廿日 三つ上の友人の葬式で、翌日私は行きま

した。芋の試食いかがでしたか。小さいは当然ですが多少実が入っていますか。里芋は十五夜から急に子が充実で、ここ霜の来るまでが完熟期でそれまでは葉茎が旺盛（西原のことです）。
覚悟はしていますが、ここ二三年で旅も不可能でせう。ですから春も七日、秋は八日も珍しく出歩いたわけです。

109 (10/16) 秋日和 大鍋かこむ 芋煮会（絵はがきに）

一日だけの好日和でした。お陰様で、宿願の芋煮会参加させて戴き御礼申します。ほんとうにお忙しい中をご苦労かけました。然し嬉しい催しで、どうか来年も何処で行ってください。私も是非又寄贈できるように年々老化する身を励まして努めたいと思います。・・・細雨と霧です。干柴刈で十一月迄かかりそうです。左腕が弱いので苦しい戦いですね。
鶴水のほとりの楽しい日でした。いずれ改めて謝意迄。

110 (11/10) あれから私は平凡生活です。遅時の秋野菜も役に立ちそうです。文化祭にもいかず天気がよいので、エンドウを作りました。下が遅いので助かります。七日県の農業試験所より、今日になり稈黍の種を所望に來ました。私は雨の日もあり、干草刈が終らないので、素枯れた草を刈っています。まだ芋類は収穫していません。例年より遅れた紅葉がやつと色付いてきました。鈴木さん、金子さんも頑張っているさる御様子ですね。立冬が來たので寒くなりますね。御機嫌よう 御礼迄

111 (11/29) 柚の香や 日向嬉しく 冬である

落葉と雨で初冬に入ろうとしています。季節感とは別として、ご多忙と存じます。遅れて蒔蒾芋掘りで後二日位です。草がでてかつ不作です。妙な事に柿が大豊作でとても採りきれません。乾柿にも限界があり、鳥の餌になります。左腕の悪い私は、柿採りは駄目です。夏の疲れか健康を害し仕事へ根気をかけきれず。雨が降ると便りが出來ます。

112 (12/11) 短日の 霜の谿谿 霜きえず

師走になると寒い日がありますが、今年は例年より暖な日が多く、先日、小梅に二輪の花には驚きました。・・・私は不幸者でしたから、今でも心残りがあります。といって、「石に蒲団は着せられず」です。

私も今年は、知つての通りの体で無理が祟ってか疲労からでせう、めまい、耳鳴り、視力も弱く、血圧かと思いましたが、血圧は好いが神経の弱まりと、三十年振りで医者に又服薬に町立より週に一度来診に通っています。・・・次に十月より記録的な葬式数で、老人が多い十三人死亡、異常気象の影響も多いと思う。それで私も自重して静療です。日中は軽い仕事を運動に行っています。心配はないでせう。

113 (12/26) 夜空がきれいです。寒くなつて、歳末になりました。柿の大豊作は半分採りません。来年は又不作 妙なもんです。正月過ぎになり、本年豆類照りすぎと台風で駄目ですが、秋の漬菜類は駄目だと思つたら、霜が十一月二五日平年二十日以上遅く、是も珍しく晩秋の暖で大豊作で余りました。美味ではないが馬鈴薯翌四月頃まで使えるので、野菜沢山有り食べきれません。十一日 三十年振りで週一回出張の町立診療所に通つて服薬で、めまい、耳鳴りで、体はふるく、視力は弱く、年賀状やつと書きました。視力が落ち筆の穂が見えにくく、ペンを使いますが是も私には合いません。でも快方に向かっています。毎日畑に出て運動に軽い仕事をして読む書も少なめで、安静時間にします。

平成三(1991)年 降矢81歳

114 (1/1) むろがやの 奥郡内も 初光り（年賀状）

115 (2/13) 点滴の 水滴見入り また今日も（病院の一句です）

二月も半になりました。三月 年度末も迫りご多忙と存じます。長ご無沙汰になりお詫び申し上げます。十月頃より不調だった私は暮、年賀状も書き終らず倒れて 差し上げた人と缺礼の方との区別も今は覚えすにならず、一月七日町立病院（町）に入院いたしました。前後四五十日間の空白になりました。お詫びいたします。あまり苦しい時は絶望と覚悟しましたが、私の生命の泉枯れず、現実の世に戻りました。二十日間は寝きりで毎日点滴、妻が傍で看護で、是は毎日となると根気のいることです。三十年振の事で耐えるには仲々でした。点滴終りてより妻に手を執られ、廊下を歩きました。ところろが五六日経ると左眼は白内障でせう、失明しました。右眼の視力は弱く、いずれ体が肥立したら眼科にかかります。まだ不十分ですが二月八日退

院（患者多くベッド忙しいのです）。

片栗の咲く頃までには回復したいが、どの程度か？ 本年は雑穀栽培を捨てて、無名の老人として生くるか、入用な人に分けて種子用丈でも作れるか、只今現実と幻影の如きものが脳裡にあつて、四十五日の空白は時事も不知ず気象のことも寒い年か暖か、雪の回数も不明です。テレビも新聞も見ず。幻影は最上川の紅花があり、山形の芋煮会も浮びます。私は妻が有るので不自由がなく、いづれ楽に書ける日が来ましたら申し上げます。ご判読下さい。

116 (2/20) 今の世で四十五日何も不知ず空白である年は全く怪しい。

・・・家の周りの雪が先日の雨でほとんど消えたが、退院してから好は僅かで、寒くて病院生活の如く室内ですが、是も苦しい。読書もせず右眼の弱い視力です。困ったことに旧暦のある小さな過構（市暦）が入手せず、旧暦がよく判らず 氣候天気には月の影響は大きく、きつと漁村では重視しているでせう。どうも例年より余寒が強いようです。私の八十一での運だめしで、今後どうなる事、終りか四五年は持つか。暖さ来り病後の体が少し肥立ったら、東京の立川市方面の眼科へ行く予定です。四五月頃までは仕事はせずも畑へ立ちたい。もう南面の土手に露の臺が頭をあげているでせうか？ 又

117 (2/26) 弐月としては稀な寒波の如くですが、廿四日は●の日思いがけ

ぬ、わざわざ御見舞いにご入来下され感激致しました。・・・中川氏には私迄飛入りお世話を掛けました。中川氏とは小学前よりの友人で 七十有余年です。それが二人共生き残りとは珍しい縁です。ほ（ん）とうに長い関係二人です。 暦迄戴き 旧暦もあり 百姓にはたいへん有難く 視力が弱く 日数丈で他は当分お預ですが重宝で、月齢は不思議なものです。・・・私は回復が遅れ畑に立たない場合、集めた信州の早生ソバ、ネパールのソバ（三回目）の試作は菊鉢で致します。猶本年は間に合わぬかも知れませんが、徳島県に昔より作っているというキビの粳 是も実際なら作ろうと二度手紙を出し探しはじめました。生くる限り取り組めます。実在していたら信州秋山郷のものより古いと思います。自分で出掛けないですから、二―三年かかるでせう。三月か四月 妻と山の温泉でと思っていたが、今年は駄目でせう。小さな旅であり、慰安ですが。

ここ晴天で風が無いと二時間位午后より畑見回りに行き、隅に一回分位の里

芋を掘りだしたが、土が浅いが無事でした。まだ他にかけすの如く少しずつ埋て置きます。

118 (3/10) 伊豆の島々、きつと意に添たでせう。遺跡展のための由、いつも

ご多忙のご様子。―時に急に春めいて来ましたが、季節感もよく判りません。四日玉川病院、中川氏の案内で眼の精密検査をして、ここで紹介状をお願いして、五日 立川市の立川共済病院で朝より晝まで眼の精密検査を受け、手術に耐えるかどうか 身体検査をかなり詳細にいたしました。十九日最終検査で決定して 入院日が知らされます。三月末か四月始でせう。四月中に退院を願っていますが、昨年から散々で、春の作物は作れるかどうかです。長女が昭島で生活しているので、近から立川を選んだ次第。面倒をみて貰っています。老人は全く厄介者です。桜の蕾が動くといふが、街の景色もだめで梅花丈感じることがあり、霧の中のようにです。当分はごぶさたです

119 (3/28) いろいろご心配に預かりましたが、ベッドが急に空きましたので

十八日に入院 当日 終日検査で十九日右眼手術 一日経過で開眼しました。眼帯三日 点眼五回位、只今は黒の網をかけています。 十六日 早掘りジャガ薯作りました。鶯の初鳴など考えてはもらえず、昨年より一日早し。十七日出掛けて来ました。忍のような入院ですからご慰問無用です。長女が近くに住んでいるので世話になり不自由なし。左眼二十六日手術で 四月三四日頃までには退院になりませう。きつと片栗の花が咲く頃か咲ぬ日に帰れませう。季節感まで不明です。

120 (4/2) 病院の方針や私の都合上、午前中に退院致しました。早くも四月

三―四日予定でした。経過良好らしいが早いために四月八日外来にて経過を診て戴く約束です。患者が多いので日帰りの予定ですので、心配です。家の他の生活になれぬため、神経が疲れきりました。長女夫妻が迎えに来て当日一路家に、午後二時半着。

気候が半日前と変わらずの如く梅の花盛りで、鶯の初鳴きもまだかも知れず、昨年より半月位は遅れた気候です。いづれ片栗の事も調べ申し上げます。天気が悪いので、一般も農事は進みません。

121 (4/9) 四月八日経過検診、良好でした。独り歩きが無理で長男と日帰り

患者が多いので病院を一時過でした。立川は桜満開で高尾は三分、上野原は咲き出す処。小雨の中西原へ、谿谷も萌芽が美しくなります。片栗の花芽もびました。十四日か廿日頃が開花か、この不順の気候ではつかめません。八日みそさざえが奥山からはじめて訪れて来ました。鶯の初鳴きはまだ耳にせず。農事も半月は遅れています。

まだ検診には行くのですが、日曜は休診です。在宅しています。家に帰ると気がゆるみ、何もする元気ありません。障害半年になり老人ですから、でも街の景色もよくみえます。

122 (4/10) 九日 暖になり、鶯の發鳴きを耳にしました。鉢の富士桜(豆桜)が七分咲きです。片栗も咲き出しました。廿日では遅くなり過ぎそうです。

私は病疲れか、元気ですが、何をなすべきか手を付けられずで、半年近くの空白はどうにもなりません、自然の変化も見られるので嬉しく、点眼日に五回(四種類の目薬)遠くにも行ず、近々に三回になります。是が仕事の一位です。畑は草が元気で、昨年より二年でこうまで荒れるとは、人の力は小さなものであることを感じました。視力は回復しています。

123 (4/16) 十四日は午前晴 午後より曇 三時半頃より小雨でした。西原もこの日は各所で花見だったろう。八分咲き 花の命は短くカタクリは終りのようです。萌芽が急に葉になってきました。

廿日(土)は長男に付添われ眼科に検診になりそうです。病後の為 元気ですが、体調はいまだ回復せず、まだ独り歩きは不用心で、いよいよ老化しました。畑に出て少しは仕事をしますが、よい晴天のなく、本年は駄目で六月頃になれば、体も本復するかも知ません。

雑穀は八十八夜を中心にその十日前後が時期です。雑穀の品名をお知らせ下さればお送りします。今年は全部そろっていますが、来年は、全部は無いかもと思っています。取り急ぎ、眼の方は良好です。

124 (4/22) 鶴川谿谷の葉の間の山桜、李岩からの花の眺めいいでせう。お越し戴ても今年は心忙しく、視力が回復してきても体力がカラキシ駄目で閉口です。六月頃までには本復したいものです。

125 (4/29) 廿八日(土) 立川病院に検診、晴天で街は賑やかで 鶴川谿谷の

若葉一段と茂り 農繁期に入ると他出せぬ私には眼新しく感じました。

126 (5/8) 五月は風薫とは一寸と風の寒い日でしたが、心の和した嬉しい半日でした。貴重な一日浪費したでせうが、私の生活は判りでせう。文明の時代といふのに天保時代と同じです。心配した晩霜でなにかもやられ、これから作り直すものやあきらめるものです。秋は芋煮会でも考えてください。折を得てご入来ください。五月は半ば過ぎ、長男に付添を乞て検診ですが、道草する暇もなしで、急行です。元気がでると雑穀作りです。

127 (5/23) (山芋に副えて) 冬か春早々に掘るべき山芋 蔓が出てから掘りました。耕土悪い畑ですから見るからにまずそうですが、食べると味は上々です。とろろにしたり、塩で煮て食べています。暖になったら忙しく疲れま

128 (6/3) ジャガ薯の花が咲き、時鳥も着ました。天氣が好いと松蟬も鳴く。

今年初夏の装いを眺めても失意の心は和まず、然し生きることは尊く又辛いことでもあります。

検診にきて廿五日より、主治医の好意で入院しました。左眼少し故障、入院する程ではないが、検診等しげく通には不便な土地なので五六日まとめて処療です。すぐ退院で中川氏妻君も日曜入院で月曜退院の由。桐原を通ると麦が熟し、麦秋になります。いづれ梅雨も近いでせう。・・・樹下石上 そんな言葉を思い出しました。

濃い青葉に交り 朴、山ぼうし、卯の花 白い花が咲く
卯の花の 病む眼へ 淡く 映じたる

129 (6/16) 万緑へ さんさんそそぐ 日の光り

真夏のごとき暑さで、六月には珍しい年ですね。再三の御見舞いに忝く御礼申し上げます。・・・私は、経過は良いのですが、一寸キズが出来たためは手間取ることで、目薬を六種類五回点眼で、五十六日予定が退院予定はまだで、来週に持込しました。六月は年を通じ忙しい時期を休んでいるので閉口です。もう何も考えず、なりゆきまかせです。七月頃は在宅出来るでせうから。昨年入手の秋ソバ丈は試作してみたいと思っています。七月八月

はどんな天候かしら？折がありましたらお出掛けください。

130 (6/25) 土曜日は雨の中を大変ご迷惑をお掛けしました。老齢ですから今

更新しい知識を得なくともいいですが、多摩丘陵の広大な眺め、遺跡庭園を案内され、私の秋ソバは咲いていた、四国稗を植えて貰ったり、農人にはいい思い出です。見る者はみんな私には珍らしいんで、鈴木さん宅等は私の思う理想郷ですね。でも信念の強い人でないと満足できないでせう。菜園畑も見せて戴き、元気な金子さんにもお目に掛かれるし、良い日でした。きつとやりたいことが山積していたことでせうが、心より深く御礼申し上げます。お暇があったら、夏でも当方へもどうぞ。

七月下旬の秋ソバの試作位はできるでせう。主人が留守の畑は雑草でせう。あきらめています。人生は完成すべきでなく、未完成が常とうでせう。経過は良好ですが、来週位は退院でせう。

131 (6/26) 郷愁や 桑の実熟す 桑を見し

昨日より雨が止み高温で夜閉口です。他事ながら眼の方視力快方に向いました。絶望と思ったが治る見込みが持てます。知らなかった多摩丘陵が判りました。この光景が時には脳裡に幻影として浮ぶかも知れません。今度は戦乱も無く、平和なことを願っています。薬師如来も不動尊も出現しないでせう。朝窓で尾長鳥を見えています。すると雀が来るのが少ないです。

132 (7/1) 長生し 眼を病み病棟 夏木立

花蕎麦の すがし花咲く 遺跡園

七月になりました。戴いた暦が使用できない年になりました。重要な夏至もハゲンも不用になり、畑は雑草群だそうです。三回目の電話をしました。快方とはいえ依然退院予定は未定です。成り行きであるがままです。淡々句作りでもと思います。次男が土曜来ました。たくましい姿が頼もしく思った次第。青蛙や蟬の声がないのも淋しい。鈴木さんの宅付近は良いでせう。雀蜂が鈴木さん宅に巣造りには驚きました。西原ではあの蜂数になるのは七月半頃です。八月になると急に大勢になります。今日は知友に便りの日です。

133 (7/8) 療友の 去り又去り 七月へ

覚悟はしていても孤独は恠しい。“母なる森”嬉しく拝見いたしました。病院でも自分なりに知識をいろいろ身につけました。昨日は天気で小金井の学芸大の農場を見学しました。木俣さんの家族と知っている間柄なので立寄り、お茶を戴き、とうとう5時間半かかりました。種子保存倉・南方植物・何でもあるようです。今日日曜日に退院と先生約束いたし、眼帯を今朝から試験にとりました。まだクモリがあります。後は私の運まかせで、何処まで視力戻るか遠き先でせう。然しこうして厚友情につつまれ幸福です。

134 (7/20) 延べ百日に及ぶ病棟生活で、帰宅しても何の意欲もわかず、左眼

は回復迄にはまだ日数がかかります。眼帯は取れましたがクモリは残っています。秋頃だと思います。紅花は虫がついたり雨で失敗。町議選で賑やかです。廿一日投票です。

135 (8/5) 私無事退院ですが、足腰が運動不足で駄目、すこし畑にでも

フラフラで、何もできません。九・十月秋にでもなったら多少役に立つか閉口で、畑の荒れたのは仕方がないが、老齢化した自分の先が恠しいですね。眼の方はなかなか回復も進みませんが、十日ごとに二回、検診に行き三回目は一週間目です。行くときは涼しいが、帰は真晝ですから暑くて弱ります。毎日暇ですが何の気力も生気もなく、暑を逃れ寝ているのみで、読こと書ことも気力なしです。暇がありましたらお出掛けください。

136 (8/13) 八月の天候は予測とは反対で、秋ソバや秋野菜を作る時期例年照

りすぎて困難ですが、今年は逆ですね。信州から入手の秋ソバどうか試作蒔き終り、結果はどうなるか、紅花は作ったままで間引アブラ虫駆除もせず、帰宅してみると花が終る所で、花も採取せずそのまま刈取ってみると雨のため発芽していました。沢山あるので種は困らぬでせう。元気のよいは里芋丈ですね。もう今後日照りになっても昨年如きことはありえません。夏も僅かになりました。御多忙の夏だったようですね。私の方は、体力づくりはなかなか眼の方も気長です。来週検診に行きます。東北地方は異常気象の如くですね。テレビを見、新聞も少し読みます。当方は八月お盆で、次男が帰省します。

137 (8/24) 夏も終わろうとして、十二号台風の余波で、大洪水でした。言伝え

に「未年の大荒れ」ということ、私は聞いています。ほんとうでした。十九日午後から降り出した雨は段々方より強く、廿日は朝より豪雨となり、恐らく五〇〇ミリ位の雨量だった。幸い風がなかったもので、激しい雨音のみで何年振りかの大洪水で、所々が崩れ川の増水、短時間での出来ごととしては初体験です。被害も西原としては大きかった、一日半の雨だった。お盆返上で大根、ソバを作り、十九日の午後からの雨に休養中でした。十二日天気になったので、畑を見たり、増水の川を眺め、被害の跡を見に歩きました。停電半日、水道は一日で、廿一日はお茶も水も吞ずでした。中川園の山葵田は恐らく流失でせう。原の沖大沢はだめ様子。廿二日訪ねました。金子さん、滝川さんが手伝って植た美流沢(中川園の山葵田)は増水でまだ行けず、絶望でせう。

138 (9/5) (中川勇さんの便り) 早速の御見舞い有難うございます。幸い皆様のお出になった山の方は、小屋の下の方は流されましたが、上の方は残っている友人から知らせがありました。宅では三頭山の下の方がきれいにやられてしまったので諦めて居たのです。なお、奥多摩廻りだと通行可能だと今夜連絡が有りました。上野原廻りは当分通れません。多少山葵とりが出来ると思います。右、御礼旁々ご返事まで、皆さまによりしく(9月4日夜9時記)。

139 (9/15) 夏の短い年だとゆう。秋の気配が早まるようです。萩も咲きすすきの穂 秋の七草も咲き揃ったようだ。虫の声は夜ごと増す。然し最近は季節感にも劣くなりました。夏の予定は済ませました。私は身も心も老化してしまいましたが、せめて自家用の先裁もの位はと思ひまして畑に出掛けます。大根の早蒔は虫に喰われ(夏みの早生)駄目で、退院してから作ったキユウリはやつと成りはじめ(春のは終り)、丁度、秋ソバと大根を作り終った(十九日午後より雨)。それが夕方より集中豪雨になったんです。雨にたたかれた畑は幾条も溝ができたが、生えていました。ソバや大根です。雑草畑を手間をかけ(一年放任の荒畑)野沢菜とホウレン草を十四号台風前に作りましたが、発芽は悪いでせう。雑穀類は春―夏へ作る事も出来ず、ただ粳のキミを、妻が雑草だけ取り中耕も追肥もせず、そのままで穂がでたので網文をかけました。もう収穫できます。里芋は去年の分まで出来そうです。寸暇は有るが意欲は湧きません。

八月廿日の集中豪雨の被害の復旧は手間どり、桐原―沢渡の山崩れは、バス車の不通のようで年内の復旧の見通しはたつてないです。半分陸の孤島で長くなるほど生活へも響いて来ます。九月の秋まつりは取りやめ、十月十九―廿日 西原のふるさと祭りを本年より催す準備ですが、是も来年に延期でせう。五六日前より県道小菅―奥多摩へ通じる方は復旧しました。西原へは青梅―奥多摩湖経由は宜しいです。私もこの経由でないと車では眼科に行けず、老化しているので 徒歩は長い里程は駄目です。そのままで弱くなりました視力は良好クモリもとります。台風の間際にぼつぼつ野菜作りで、試作のソバは土砂でやられ、何本か残りました。

140 (9/22) 週一回という台風には閉口で、集中豪雨以後の台風は幸いに被害は僅で、十八号は前の半分位雨量あったか、増水して崩れた処を又少し広げた処も多少あった如くです。都内や多摩川は雨量が多く増水の如く判断しますね。どうも十月半頃までは、油断できぬ年ですね。日照時間が無ので秋野菜成育発芽不良で腐敗病も発生 of 現状です。「未年の大荒れ」と云う伝承がほんとうに当りました。療養で家を空けた上に、この天候で泣き顔に蜂です。

シコクビエは完熟しましたか。私は雑穀を作る暇もなく、粳のキビ丈で九日早々に収穫しました。他は来年の種用としてシコクヒエ、穂モロコシで残念なのは信州のソバ、廿日の豪雨で土砂押し流されましたが何本か残り、完熟期は判り、試験目的は達せられますが、来年の種には満足できません。里芋は沢山収穫できますが、不用になりそうです。視力は戻っていますが、検診にも行けず、体力は仲仲復帰しません。

141 (10/2) 九月廿四日 四十日振りで立川病院に行きました。二週間位の約束でした。集中豪雨の災害はまだ復旧せず、車不通で桐原・沢渡をはさみ折返し運転で、徒歩の距離は長くて老人の私には辛い負担です。此の日は午後四時半帰宅で、翌日は疲れて寝込む程でした。曼殊沙華が草を刈った後の土手や径に忽然と咲出しました。沿線の土手にも咲いていました。

台風が一週間に一度でビクビクですが、その後は風も雨も僅で被害は加わりませんが、日照不足で作物、特に秋野菜は腐敗病などで不良です。次に眼の方は半年がかりでクモリもとれて 視力良くなりました。只 体の方は老化で、特に足腰の筋肉痛で歩くことが楽でなく、来年度どの程度の復帰が望めるか？

重要な物資は青梅線で東京方面へも甲府・塩山方面もこの道で、宅急便も来ますが前より一日遅れます。只今、干柴刈です。

142 (10/2) 当方、生活必要物資は青梅線経由で・・・不自由はなく、又、バス車は県道が不通で町や駅へは途中で双方折返しのため通勤・通学者は困難

している次第で、病人の通院者は殊更です。・・・私は相変わらずの生活です。毎日は何の不便はありませんが、眼科にまだあと一・二回行くのが問題ですが、年内で全治します。体力は来春どこまで再起できるか？ 想えば今年は妙な年です。正月は高熱を出して幻影に苦しみ、あれ以来どうも頭がボケたようです。流石の私も限界にきたのでせう。あるがまま、なるがままに極く自然に生きて行こうと考えています。大変ご心配に預かった年でした。

十月六日が西原地区の敬老会ですが、妻が出席 私は欠席です。十日は地区の運動会です。十月下旬から十一月上旬迄に霜が来るでせう。天気が回復すると紅葉が色づくのですが。

143 (10/28) 刈干や えつちらおつちら 来ては刈る

晩秋から初冬に移ります。日照不足で来年への種ものが腐って保持できぬので困りそうです。退院して百日ですが、自然を親しむことも人と接することも気が進まず、独居が多のです。スランブとでもいふことでせう。だが視力が戻ってきたので、雨の日は拡大鏡を相手に読書をはじめました。私は独創性を持って何かに向かって進まねば元氣が出ないですね。雨が降らぬと慌ただしいですね。それは霜や雪が怖いからなんです。中川氏は気の毒で、あまり尋ねません。それから見ると私は殿様です。精々お茶を煮て飲むだけで、他は自分でやらないです。山形の食用菊も咲いています。花が腐り好物の天ぷらもできず、ホウレン草も白菜も駄目です。見て戴いた信州の早生ソバを来年は試食するつもりです。それは元氣になったらす。廿七日午前 雨強く午後は小雨也。

刈干は乾かすための草と柴を刈ることです。是が私の農の資源で、耕土の悪い土地でも上作る得る基本です。足もとは危なくフラフラしながらで。

144 (11/8) 五・六日霜 秋晴で忙々と働く。平年より霜遅いので蕎麦豊作であのネパールのソバも実入る。七日 里芋の種を埋める。里芋豊作で困ります。まだ沢山あり、他は収穫終る。八日雨 疲れて終日休養 体力は復帰せ

ず。 日時は知りませんが東北へ出張の由、仙台市といふと、若い日 土井晩翠先生に師事して「強く 正しく 朗に」と揮毫して戴き、私の宝もので、今も思い出します。文学青年だった。

秋は山の湯にと思ったが、春にならねば何処にも行けず。廿日以後は地面が白くなる位の小雪が降ることもあり、本格の雪は廿五日頃よりです。

三日は珍しく甲府の三男が日帰りて来ました。青梅街道を二時間です。短日、日を楽しめる日が続けばと祈る気持ちです。老妻も神経痛で腕と足が痛むので、二人でや々と半人分です。寒くなるとから元氣なことで、去年は今頃から体が悪く、三回入院の年になり、百日入院となったんです。まだ後遺症は沢山あります。◎八月廿日よりの車の不通やと解除です。

145 (11/15) 木枯や 里芋埋め 山の裾

東北は雪の季節の如く存じます。記念の写真 有難くそれぞれの個性も面白く存じます。苔子は老化するのみで若返らず(老妻神経痛腕足痛み)。

里芋の種を二日ばかりで埋めました。相変わらずフラフラで まだ沢山あり閉口です。荒廃した畑の雑草を刈ってみたり、寒くなって晴日まだ日を楽しむゆとりも無く、語る人も無く、出かける処もなし、短日心は空虚です。

146 (11/30?) (蕎麦粉に副えて) 蕎麦粉 僅ですが笑味ください。ご面倒ですが、三人前です。よろしく ソバがき、ソバ切り(小麦粉へ三か五位の割

です)その他、薄焼でも、天婦羅の衣で好く(是がきんぷらです)又、小麦粉を交ぜ餅に作るもいいです。

晴天が来ると慌しくなります。干柴刈です。知つての如く 今年、収穫は里芋丈で秋野菜もだめ、秋ソバ、小豆が少し作ただけで畑は荒廃です。

147 (11/28) 時雨や 菊も素枯て 山家かな

廿日以上雨なしで、今日雨 冬耕にかかれず一日休養です。最近異常ですから予定は立てられず、十二月半ばまで畑凍らなければと思います。十月に見られたネパールの蕎麦 霜が遅く幸い完熟 全部で台風で生き残り六七十本で八合の収量あり、一部を種として、五六合でも手挽製粉が可能かどうか中川さんに聞、できたら二人で試食してみたい。食べて味により明年の栽培を考えます。他国の作物は作る時期や完熟迄の日数も不明で、三年目です。普通の秋蕎麦より、同一に作り廿日遅れました。明年は七月半ばに作ります。(本年は八月十四・五日でした) 信州早生はやっと種だけで、明年は試食

で、収量をと期待しています。是も三年目です。だが、体の方の再起が心配です。荏胡麻も絶えそうなので種をとりました。

廿一日急激な寒波にて一朝の大霜にて青かった桑の葉も落ち、初氷が張りました。雲取山まで雪が来た由です。以後初冬を感じ寒く、ご承知の畑は乾き堅くなり、冬耕は中止です。廿日頃からは地上が白くなる程度の小雪は平年並みで、本格の雪は十二月廿五日ごろです。今年どうなりますか。寒くなると腰や足が痛み畑仕事も大変で、妻も神経痛で老人は駄目ですね。

148 (12/9) 小春日や 友がおくりし シクラメン

花作りの名人よりお歳暮のシクラメンがきました。師走には平穏と思いましたが厳しい寒が来ました。・・・私の二回目の大厄年だった年 自然も病み、私も病むという年でした。春よりご鄭重なお見舞いと限りなきご厚情を戴き、年尾に際し改めて忝く御礼申し上げます。・・・

只今取り上げは乾燥用のカブ菜だけ、空き畑を冬耕中で 廿日頃までは畑も凍らない予定ですが、昨年はその頃より寝込み、年賀状は三分の二位で 他は欠札になりました。是から年賀状書きです。どうぞご自愛専一、皆さまにもよろしく 無事の越年お祈り致します。本年こそはと私も願っています。

149 (12/18) 初雪の 乾葉あめる 軒に舞う

寒と疲労で休んだ由、・・・暦(高幡不動尊) 本日有難し 中川氏に届けます。 十二日の雪より朝夕は厳しい寒で凍り出したが日中は暖です。今日十七日 七十日振りで眼の検診に行きました。左眼はまだ治りません。二月迄に又行けばいいですが、八時に出掛け 午後二時半帰宅。雪が積もると運動仕事はつづけ 積ると冬眠です。何とか来年は頑張りたい。二年怠慢でしたので畑は荒れました。お暇の節にお越し下さい。

平成四(1992)年 降矢82歳

150 (1/1) 悪しきこと 申の年なり 福が来る (年賀状)

151 (1/10) 金子さんが送って呉れた赤米・黒米の餅を頂戴しました。外出折、鈴木さん宅の田植が廻ります。

私は暮の廿五・六日の雪で早い冬籠りで、正月三日やっと雪が消え日向の山畑出しました。仕事はどうでも本年は体調づくりの年で、毎日運動兼ねての働

です。手のタコもなくなりました。手にタコを生ずる迄鍛えればと、筋肉も元通りな体になって、鋤鎌を使ってタコ無き手は赤く痛くなります。どの程度まで復帰するか。次に、山形では乾葉をつくりますか。是は寒中野菜特に青菜の乏しい折のもので、蕪菜を日影で吊し青く乾したもので、寒土地のもので、寒い程より仕上り味もその通り、西原でもまれになりました。大雪ではないが、雨雪が多い。

152 (1/29) 寒い日もありますが暖冬でしょう。・・・今日 金子さん宛に乾菜と里芋殻をお送りしました。調理法は金子さんに書きました。暇な折厄介

でも西原の昔の味をどうぞ。珍しいだけで、美味ではないかも知れぬが地方色でせう。暮から正月はいろいろの人に出遭ですが、老人は見栄えがせぬ姿ですから、出て歩かず。三日より暖冬なので運動を兼ねて畑仕事です。ここ特に暖なので堆肥づくりをしました。

153 (2/21) 紅梅や 恥ずかしそうな うつむいて

紅梅がやつと一輪咲きました。式月一日の大雪以来雪も降らず、暖冬でせうが不安定な天気で、何処も花は十日位早いとテレビは知らせます。

私が暇な時期は二月ですが、例年なら雪と寒で外仕事はだめ冬眠ですが、今年はい日向は地も厚く凍らず、午後からは畑仕事が続けられ、五日より休みません。体力養成を根気よくやっていますが老人の体調は戻らず、独り歩きは心配で何処にも出かけず、時々テレビで旅と時事を知る丈です。それでも生きる限り体力づくりを続ける覚悟です。乾燥した日向の露の薹は駄目で、半日陰のを探し露味噌に、生を刻んで汁に落しそのホロ苦さと香に旬の味が嬉しい。雪は北面の山、日陰に残っているのみ、日を楽しみ、そこで煙草一服はいいですね。

今度は信州伊那谷(宮田村)遺跡の由、・・・十三日は一番下の嫁がチョコを、家では甲府厄除地藏尊土産の福餅でした。此の処老人への差入れが多いです。ところが二年の空白で山畑へ竹が根を、木も亦根を張り、時間は短いが四日ほどツルハシを使って掘ったら疲れて了い腕が痛み、字がよく書けません。

154 (3/3) 雛祭りが来ましたが、暖冬といっても梅の咲き出した処です。

す。久し振りに奥郡内の谿谷を降って立川に検診に行きました。桐原は梅が三分―五分咲き、駅から藤野の斜面は七分で 雑木林の梢の芽が光り出したの

を見ました。単調な生活で 自然児でありながらぼんやりしていました。幸いに雪日も少ないし、地面は凍らぬので毎日コツコツと畑に出て居ますが、体調はだめです。それでもこうして外で仕事をしていると退屈しません。 待望の三月ですから月半ばから農事で、鶯が鳴くと馬鈴薯作りですが、昨年は入院で初鳴の日を知らず、十六、十八日と思うが、今年は何日か？ 焼畑の真似をし、雑木や竹やぶの下刈りで出たものを畑に運び、焚いています。結果はいいと思います。

155 (3/14) 彼岸も近づき春めいて来しました。梅が満開になりました。鶯の初鳴きも近日でせう。ご健闘をお祈りします。

156 (3/24) 背をのぼし 南枝に咲ける 梅を折り

十五日鶯初鳴きす。初鳴き二三日早し。本年最高温の日 早掘り用馬鈴薯を作る。 十六日より雨、十七日大雪約廿センチ積。以後雨曇で軽い咳風邪で三日休眠。廿日日がでて日向の雪は滑る。又雨で畑仕事は十日空白でせう。昨年は十五日入院でしたが、立川の桜つぼみ赤かったと覚えてます。もう桜の時期ですね。西原は半月か廿日位は都内より遅れます。体調は復帰せず、中川さんへも一ヶ月以上訪れず 天候悪しきに退屈してお便りしました。

157 (3/30) 信州や東北の遺跡を見学した後の整理が大変でせう。次から次へと出土品がでたり、新しい遺跡出現する様子。

天候にはばまれ仕事は狂います。雨ふらぬ日あっても 畑はぬかり田圃の様で手が付けられません。 十八日 霧の中からカタクリの蕾の出をふと眼に止めました。五日(日)頃開花か、十日(日)頃になるか、天候により早まったり遅れたりします。今年も不順の如くで、いつ頃になりますか？ 兎も角ご一報します。 十四日間は何もできません。体調は崩れます。 まだ春野菜の播種も終わりません。

158 (4/15) 春たけて なずな花咲く 畑の道

久々に三人での十一日のご入来には誠に失礼しました。天気は良かったがカタクリは終るところでした。・・・前日の雨から植木集めで十一日はヘトヘトで根巻し、小型トラック一杯でした。次女の嫁した本家の義兄の運転でした。疲れでお詫びも遅れました。

159 (4/23) やつと疲れがとれ少し元気になりました。十九日の高温と風で桜は散り、桃李・つつじです。花見用なしで、部落外へは今年四・五度で煙草求めか野菜でも探す丈で、私自身のことで精一杯になりました。 でも信州の娘へ種から苗から育てた植木を沢山やったことは嬉しいことで、安曇野に不思議な縁があったですね。娘と私の縁は強く将来へつながるでせう。

若葉に移ろうとし、鯉幟が見えて、五月連休も迫りました。畑に葱坊主が黙してならんでいる。傍で煙草を私は吸っている。晩霜を心配しながらトウモロコシ・インゲンを作ります。五月は雑穀を作る時期ですが、鉋も重く、意欲ありません。山菜や筍の季節になります。田も捨て、植木や畑も段々遠くなります。でも暇があれば植木にかかります。

160 (4/30) 初燕 ジャガ生えたり 産毛の芽

天候が安定して 向の山の若葉一夜で見違えるようになり、山吹が咲くとカタクリは枯れてしまう。咲きははじめは濃く 終りは淡くなります。

粉の如く種ですが深鉢に蒔き、半日陰へ置き試験してみたい。発芽するかどうか。連休・・・荅子はいつも留守居で 戴た北上のお土産をめでてお茶でも呑むが無常の楽しみです。 次男は帰省します。 暑くなったらやつと元氣になりそうです。疲れと風邪で節々は痛み咳とたんで苦しみ もう駄目かと思いました。処が運だめしに梅の接木が芽を出し、まだ寿命尽ずと氣を良くしました。視力が悪くなつてから四・五年 接木が一本つきませんでした。穂木がある柿と柚を接木しています。一寸暇を見て藤は穂氣なしで、台木は三本あるです。 是からキュウリ、ナス、南瓜の苗を求めて植ます。直接蒔たのは発芽したところです。 木の萌芽や山菜の季節で、山椒の芽を採ります。 妙な便りになりました。 まだ手先がふるへます。

自分も昨年五月から七月まで入院でしたので、(中川さんの入院) 理解しています。 元氣になれそうですから、退院していたら話に行けます。

161 (5/6) 中川さんのご様子有難うございました。体調が悪くも快晴ですと出掛けます。四月六日とは驚きました。折悪しく、私が風邪を引き(日のよう

で)以来 雨の中(十一日の娘の植木運の支度で) 十日は無理が祟り、週一回の診療所(金)に通い 風邪薬・筋肉痛へ膏・めまい・耳鳴りの薬等を(貰いに) 診療所(に行った日の)ようです。天候が良くなったら、前便の如くすこし健康を取り戻した次第です。 廿日雨に乾燥の畑がしめる。 雨中を又試作

のソバ蒔きでした。

拙宅は私が老人でも病人でも問題は無く、支障なしです。口には出しませんが、(6歳上の勲三等の兄、甲府住)叔父さんを誇りとして皆努力して、孫たちもそうで、私が小学丈で農だけの経験しかない粘り変種の野生児です。でも自分には厳しく生き、人間的には負ぬつもりだ。若い日には星雲の志一杯でした。

連休は農耕のようで感心します。私は晩霜を恐れて連休明けに、キュウリ、南瓜等の苗を購入して植ます。直蒔きは発芽しているが、早く食べるので六七本購入します。十日位早です。五日は子供帰りますが、子供は顔を見て少し話す丈で、兄弟の宴に私は酒は嫌で同席せず。

廿日は飯尾に珍しく火事一軒焼けの事。

春の叙勲にて拙宅の上の家 元参議員降矢敬雄先生勲二です。敬雄先生は俳句の師で、新俳句(井泉水)高弟で、私の句はこの流れですが、一茶風ですよ。私の兄は勲三で上と下です。下城ですが、ここ二軒を私が勝手に下城ヶ丘といふのです。

162 (5/15) 三年振りに筍掘りをしました。それをお送りしましたんで

す。山菜も終りで、露や野生の三葉位です。野菜も西原は造れる土地で六月に入ればキャベツ エンドウ 大根です。不安定な天候で晩霜を恐れ、購入して植る野菜苗は十二・三日に植ました。ジャガ薯 六月半ばから掘り食します。私の風邪気味はつづき シコクビエを蒔ただけで雑穀作りは及びそうにないですね

163 (5/25) 若竹や 日永の空へ 澁瀬と

不安定な変化の多い天候で困ります。連日午後には俄雨や夕立ちで、畑より逃げ帰る途中雨に濡れて風邪になり、相変らず体の調子を狂わされます。昨年頃より小鳥が減じ、トウモロコシの発芽を掘られず、珍しい成育振りで。そんな暇があっても病友中川さんも尋ねず、昨日自家用の苆を届けました。どんな様子か? 里芋がやつと芽を出しました。サツマ芋を挿しました。遠からず梅雨入りでせう。奥郡内は青葉で、谿谷は暗くなりました。まだ時鳥は来ません。茶摘みの時期ですが、今年も摘めそうにありません。

ふるさとがあり、恩師があり誠に倖です。小学丈でしたので恩師は他界で、子供の師三・四人と交際しています。天気が悪いと頭の運動に読書ですが三十分位しか続かず、視力より頭の方が駄目です。

木俣さんより『インド亜大陸の雑穀農牧文化』阪本寧男先生編を読んでいる次第。雑穀の方では阪本・木俣・小林と三博士知っており、これが私の師かも知れぬ。カタクリの実を採りました。近日鉢に蒔き現地に鉢を埋め自然体で発芽を待ちます。成果はどうなるか。最近新しい出土品遺跡がテレビで紹介されますね。

164 (6/5) 土日も返上のご多忙のご様子 いつもお騒がせして済みません。

私は、今年是在宅しているが、昨年の付けが残っていて、弱っています。妙なもので、出水で畑が流出したので、その分荒した畑を又畑に戻したり、桑畑を畑にしたりしています。それは合間を見てです。まだ時期の作物を作り切れず、やく一年旅にも出ず蟄居の如き平凡な生活で、行く処も訪れる人もなしで、雨日には半日ほど頭の運動にと読書をしてみるが、視力より頭が疲れてつづかず。

畏友といつては失礼かも知れぬが、木俣農博士は「遠い昔と遠い未来を見通して今を生きた」と名言だと思えます。

五月廿九日 一日だけ天気の日がきました。この日松蟬が鳴き 方々で一斉ですから不思議で、羽化して待っているだろうか? 暑い高温の快晴の日でなければ鳴かず、二週間か三週間かの命だろくに、松の木で鳴くが松が減じたので今は他の木に棲んで鳴くかも知れず。山ですから判りませんが、高い梢で若い日二度ほど捕りました。日暮蟬は秋の法師蟬に似た蟬で、忙しげに高い声で鳴く蟬ですね。

病友の中川さんも訪ねず、自分も亦 半病人で背負うことや肩で担ぐ荷は特に弱く、半日も畑を耕すと腰が痛んでグロッキーになるんです。

馬鈴薯の花が咲きました。鶯が鳴いた日から八〇日になるので、早掘り用を今日四日初掘りします。キャベツ、えんどうは食べられます。八月は(七月中旬か)南瓜類やトウモロコシ(ハニーバンダム)ができます。インゲンが支柱に巻きつき、トマト花が咲き 最近雨を嫌って屋根掛ける栽培が多い。

165 (6/15) 梅雨入り八日目 雨が来ました。本格的な梅雨かも知れません。曇

が続く、朝夕は霧海で日中日がさすと松蟬が鳴く。昨年より二年茶摘も出来ず、七八月中旬に株直しをせぬと来年もだめです。八日 久し振りで中川さん訪問、矢張り私と同じで仲々体力はつきません様子。昨年作らず種切らぬよう白キビ、糯粟の種を分けてもらい、種保存のため、種用を作る予定。

とうとう昨夏―初秋の雨で、紅花の種も発芽した如くで蒔たが何本も生えず、これをなんとか育ててと思えます。トウモロコシは普通種これも腐り、いんげん。小豆、大豆も種にならず、古いものを作ったりです。探し歩く老人は大変だし、結局買って作ります。馬鈴薯八〇目で試食、只今九〇日目実入りました。発病しない限り豊作です。

さつきが咲き、卵の花です。山百合も間もなく咲きますが、紫陽花はまだです。宮仕えしている方々は暇なく精神的に疲れると存じます。私は野生児で我儘者ですから呑気ですが、収入はなしで両立はむずかしいです。家でも倅夫婦は大変で同情したくなります。

166

(6/23)

紫陽花や 傘さす女の 顔見えず (昨年路上での句 西原)

は花芽がカリフラワールのようで まだ咲きません)

本格の梅雨ですが、夕立ちがあるが妙ですね。金子さんが、紫陽花が美しく、田植えの準備といふ。それで昨年を思い出しました。雨の日に外出して遺跡公園に連れて載いて、シコクヒエを植えた事、エゴの木を知った事、又私の心で描く桃源郷に似た鈴木さん宅周辺 もう尋ねる日はないでせう。エゴの木は知ったが別れで、私の植え置いたは昨年の出水で畑と流出。山へ探してもだめで、下向いて咲く花とは逢えません。

作物の成育は良好で、雑草も同じで土用明け頃、日照りでないと里芋も又豊作型です。珍しくキュウリ廿日初もぎです。トマトは昨年から屋根作るが流行って皆が作っていますが、私一人はまだです。・・・

馬鈴薯は四日より食べていて、豊作型で収穫は七月半よりでせう。足と腕、腰が痛み、体力・気力も衰えるばかり。

167

(6/27)

ここ中止しようとした穂モロコシ植え。大豆を植え、後シコクヒエですが、畑を荒していますから 整地が大変です。田も麦も桑も捨て、仕事はうまくはかどりません。雑穀は種用に重点を置き、食料分までは及ばなくなりしました。

ソバの試作に取り組み それは秋ソバが霜に被害を受ずにどうしたら収穫が毎年近づけるかといふ点と、新種類として信州早生とネパール晩生種です。昨年両方を同一日に作りましたら(試作畑が台風で土砂に流れ込まれて僅残りでしたが、目的は達し)、信州早生は普通種より十五日程早く完熟、ネパールの方は約二十日遅れ、珍しく十一月半過の霜より完熟しました。是を基本とし本年は挑戦です。信州早生は(先便に・・・)四月廿日作り、只今六

月廿五日花から実がつき出しました。七月十五日頃は完熟収穫予定で、収穫と同日、秋ソバとして作ります。今度は実用化できる収量となります。ネパールソバは・・・計算上は七月早々作れば、霜の被害に遭わずに収穫できるのです。・・・両方とも小粒です。収量の点や味は本年の結果です。楽しみです。老人の期待ですので申し上げます。

168

(7/5)

花栗や つゆ空つづく ほととぎす

シコクヒエの粉を少し送ります。実は昨年にも笑味して戴こうかと思いましたが。安孫子さんは白米育ちですから、雑穀の粉は食べるは無理と存じました。この雑穀シコクヒエは、昨年私が七月半退院してから定植したもので約廿日位遅れ、しかも苗はふし立ち老衰したものでした。八月半から九月度々の豪雨出水の凶作で僅ながら実が得られたことは、シコクヒエの凶作に耐えられた強さで、ここに縄文時代から栽培された原点かも知れず。

平年より粗悪で、特に食憎いでせうが、生きた記録です。本年は手近な畑昨年流出したので、荒した桑畑を苦勞して畑に戻して、このシコクヒエを六月廿九日 七月一日半夏生前に植えました。老人ですから僅です。

調理法は沢山 ネパール、インドの広大栽培の土地でのこと聞いていますが、フライパンに油を塗り、粉を天ぷらの衣の如くでなく、薄焼を作り塩を加えた方がよいでせう。他は湯で小麦粉の如くこねて小さな餅を作り、鍋湯を煮立たせて是に入れ茹でます。すぐ上げて黄粉か砂糖か蜂蜜かジャム、好みのたれ付けて食べます。小麦粉を交ぜて作るもいいです。参考として。

七月一日 一日丈の好天気で早掘り馬鈴薯やつと掘って乾しました。疫病が薯に少しはじまっていた。豊作型、日照不足が疫病発生の原因です。三月十五日作りしましたので、百五十六日でせうか。馬鈴薯も不足なしとは存じますが、お送りします。白早生で通称伯爵と呼ぶ種類、北海道産の種。七月が小豆とソバ作りです。

169

(7/22)

十八日より暑くなる。ここに三日は猛暑で夏の本番ですね。月末

は家でも孫達は親子連れで海に行くようで、私は相変わらず家居で暑さにも弱いので、涼しい処を求め、気ままに仕事です。日照不足が永かったので野菜の成育が遅れましたが、やっと元気をとり戻したが、葱・トマトは雨が嫌いらしい。昨年は種さえとれぬものがあつたが、紅花もそうで腐った種だつたでせう。三ヶ所作り、十本位移植して集めたが、今年も紅花のお茶は駄目でせう。三年茶摘をせず、茶株の株直しはここで行わぬと来年も摘めず。

冬は蕎麦（茶？）を作ろうと思っています。味は麦茶に似ています。

170 (7/30) 山裾の 山百合咲きて 夏耐ぬ

土用入から猛暑で一回夕立ちあった丈で日照りになりました。暑さに負けます。老人は駄目です。

玉蜀黍（ハニーバンタム）が出来たら狐狸が喰うので、少し早いが空箱を探して子供や知友に発送しています。倅や孫は海に行き四泊で帰宅（信州安曇野の次女が留守の世話に三泊 久し振りで和やかに語りました―171より）、西原は、木陰は涼風です。心配していた日照りになりそうです。

171 (8/10) 虎杖（いたどり）の花のこぼれや 蕎麦をまく

八月に入り雨と低温で日照りの夏も解消で、草木も人も蘇生の思いでした。私の作柄は少し遅れ、黍 四日頃出穂はじめ、穂とうきび出穂はじめた処で、シコクヒエは更に遅れ二百十日か二百二十日頃に穂揃い予定。粟は作れず。米国種玉蜀黍は一番作りが大豊作で方々発送し、六日後作に秋蕎麦を作る。一回目は七月十五日で作た後に夕立ちがあり、後あの暑さで発芽悪く、今度は発芽を鳩がつつきそうです。里芋、日照りでだめかと思つたが、もう大丈夫です。忙しいでせうが、芋煮会に使用してください。当方のお盆間近です。体力も気力も段々衰えるばかりで、鍛えてもだめです。（安曇野の次女が倅一家の海水浴行の留守番に来て）帰る折に家内に飾るのだと、石付の楓を一鉢持つて帰ったには驚きました。バスと列車ですから重かつたと思う。末子（三男）が九日の日曜一泊 お盆は居残りで忙しい由銀行も忙しい様子。

172 (8/26) 虎杖の花のこぼれや 夏老いて

異常気象の夏で閉口です。幸い台風がそれたことが嬉しい、でも九月一杯は安心できませんね。昨年の出水の大荒れで、蜚、雨蛙、蜻蛉、蜂が減りました。是は出水に関連は無い筈の蟬もそうです。秋の虫はどうですか？法師蟬が絶えたと思つたら三日前よりすこし鳴きます。奥山からの熊蟬は声がありません。さて又残暑が強いし、八月も日照りになりまして、大根は作りましたが発芽せず、白菜は苗です。早いのがうれん草も生えません。九月に入れば野沢菜、ノラボウ、蕪菜、葱苗、キャベツ苗 冬菜 からし菜です。雑穀は台風がないので良好で、近日みんな穂揃いです。弱つたことにキビは早いので頭を垂だし、小鳥が来るので網張ですが。今年無肥料で作りましたがそ

れでも長いし、老妻は暑さで健康を一寸そこねたので保養を兼ねて信州の次女の処へ泊りに行きました。温泉が近いのです。暑いのに一人で網張で、とうとう仕上らず、投げ出しました。粟は作らず、シコクヒエは網不用でいいです。

信州早生蕎麦 馬鈴薯の後作に秋蒔きとして七月十四日作る。今花盛りで実は少しつき出す。九月中に収穫予定。八月六日 信州蕎麦二回目をハニーバンタム後作として作るが、鳩に発芽をやられました。予定は十月上旬収穫。八月十二日蕎麦 三回目を作る。結果は霜前に収穫できるか予定。◎ネパール蕎麦は春蒔きがまだ収穫出来ず、秋蒔き性らしい。秋蒔きとして試作に七月一日（半夏生）に作りしもの 只今やつと花穂が見えはじむ。異国のものはむずかしい。食用菊 七月下旬より天ぷらで、只今花を干し茶として、

173 (8/31) 廿九日蟋蟀（こおろぎ）が鳴き出しました。毎日暑い

秋の虫が鳴き出しました。台風はそれましたが、日照りで作つた大根は駄目で、白菜は苗床で培養 秋野菜は作れません。日中は仕事もできず家居です。予想通りの日照りで、この後台風でもと 九月一杯は心配です。

金子さんはお元気でですね。好い成果を得てご帰国を祈る次第。私など葉かげに潜む虫のように、日蔭に潜んで月に一回煙草求めに出掛けるさえ思案です。

雑穀も乾きすぎで実が細いかも知れません。食用菊の花びらを干して茶にと思つています。仕上がりは上上で、長寿の茶だと自分できめます。紅花は失敗で二年作れず、試飲だけでした。

ネパールの蕎麦は秋蒔性でせう。春作りは収穫に至らず、七月一日に作りしもの 花穂が見えます。霜前に収穫できるでせう。

174 (9/16) 六日より涼しくなりました。青梅街道を丹波山から一ノ瀬高原へ

鑑賞の由、あの谿谷のおいらん淵付近が好です。高原へは三年心掛けるがまだ行きません。六月 落葉松の萌芽を見たいので蓮華つつじも咲でせう。柳沢峠からの眺めも好く、峠を下つた黒門から僅で武田家の重宝の御旗（日本最古の日章旗）や信玄の風林火山の旗のある曇峰寺があります。

私は若いころより峠を越えたい、それが望みであり 憧れでした。西原は何処行くにも峠を越えるのですが、とうとう峠を越えられず 生涯西原です。旅らしい事もせず、終ります。八月下旬から老妻を保養兼ねて信州安曇野の娘（二女）の処、半月滞在でした。独り静かに蟋蟀の声をききました。 過

去・現在・未来を思ふとなしに、思いました。秋は思惟するものらしいです。煙草切らしたのが求めに行く元氣もなく黙々としています。

旱魃で野菜ものは作れず、畑は土ぼこりが立ちます。日照時間の短い土地です。秋の彼岸までに作り終らねばなりません、黍は十二日取り上げました。独りで張網ですから不完全で、小鳥に荒されました。試作の秋蕎麦六十三日目で刈りました。早いのには驚きました。シコクビエ、穂モロコシは手刈です。涼しいので日蔭から這い出しました。敬老の日も畑です。

(9/25) 気候の変化も激しく、政治も経済もその通りで、世界中が苦しんでいるらしい時代です。九月はお祭り月で、いつもお祭りという雨で(したが)本年は天気が大当りで、土日を祭日します。廿日運動会 廿三日田和の神楽が最終です。

175 (9/25) 気候の変化も激しく、政治も経済もその通りで、世界中が苦しんでいるらしい時代です。九月はお祭り月で、いつもお祭りという雨で(し

十九・二十日の土日は野菜作りをなされたでせう。私は苗床で老化する白菜を、雨はいつになるか判らぬので、乾いた畑へ破れかぶれ、空きビンで水を

運んで十五日定植はじめ 十六日終りましたら、夕方より夜半迄小雨降り雨が
一ヶ月余であり、十七日も夜から朝 十八日も雨が朝迄で、日照りは解消で
す。以後十日から半月は遅れた野菜作りに専念ですが、急に気温が低下で、
発芽は遅れ、野菜不足は来春にも及びます。

十一日の月見に里芋とさつま芋を、里芋は小さくてもしまっていました。凶作ですが、芋煮会検討してください。忙しかったらお送りします。

十月廿八日 初霜でやっと天候安定かと存じましたが、今日二・三日の低温で大霜に、急に晩秋になりました。

作ですが、芋煮会検討してください。忙しかったらお送りします。

中国河南省重陽の菊水谷の故事よりヒントを得て、菊の茶を思しき花を日干し仕上がったのを時々飲んでいます。砂糖を一寸加え、延寿茶か延命茶とでも名付けようと思います。

紅花は二年とも採花できず、今年は種を腐らし三回作りやつと六本を得たの

みで、種を絶やさずの程度です。次に戴いた山形の菊（モツテノホカ）は花が咲き出す処。早生黄菊を七月下旬より好物の天ぶらにして現在迄、矢張り九月下旬からの方が美味です。・・・涼しいというより急に寒いという程の変化で、冬が早いという予報です。初霜はいつあるか？（平年は十月下旬です）初霜の早いか遅れで秋蕎麦の結果はきまるんです。ネパールの蕎麦は、秋蒔きを七月一日に蒔いたのが実つき出し、十月十日頃は刈取りに至ると思います。

夏より何処にも出掛けず、私を訪れる人も無く、全く西原の出来事は知らず。小俣光雄氏（写真家）が二回尋ねて呉れました。老人は別世界に住んでいるようなものです。然し趣味と云うか、物好きと云うか、自然を相手に一

して、立冬に入りました。・・・高尾山付近は日照時間が長いので紅葉は美しいでせうが、こんな年は、当方は冴えません。高尾山の頂と西原の村落と海拔は同じです。何年か前、並木の銀杏まつりの折に車で通った事がありま

す。二日からの寒で段々凋落の色が濃くなりました。

雨が降ると終日炬燵です。尋ねる人も訪れる人もなし、本を読んでテレビをみても頭が疲れ長く続かずうたた寝になり外に出る元気もなしで、百舌鳥や掛巢の声を夢のように聞きます。隠居者ですから用事は有りません。世代交代で句友も農友も減りました。秋野菜のこんなに不作ははじめてです。

日照不足と低温で蒔くのは遅れ越冬野菜は駄目です。西原では玉葱は稀に作るだけで、今年から挑戦です。やつと苗がとれ、小さいが植ました。是も三年四年と経験を重ねないと実用化に到らぬでせう。老人むきの仕事です。

ネパールの蕎麦は四年目で成功しましたが、是から食べ方と味で日本の蕎麦と同一に調理できるか？信州早生蕎麦は三年目で既に実用化できます。秋蕎麦として栽培 信州蕎麦は六十日かけて刈取り、ネパール蕎麦は百十五日でした。

今月廿三・四日 小金井の学芸大学にて本年度の全国雑穀大会がありますが、老化した私には参加は不可能で、私の知ってる方達もあるんですが、残念です。

昨八日は降りそうで一日持ちまして、里芋の種芋を種穴（たねぐら）に埋めました。あの大根畑の並びで、仔は小さいが豊作で驚きました。沢山穫れすぎ、沢山埋めました。蕎麦、穂モロコシは、台風が来なかったし、霜も平年並みでしたから穫れた分です。霧雨で寒い九日嫁と妻は外出中 炬燵で半日独りです。

179 (11/12) 菊の香や 野焼きの陶の 展を祝ぐ (金子さん陶芸展)

菊咲いて 篤実の枝や 今日の展 (〃)

茶の花へ 峰生きていて 日ざしかな

金子さんの陶芸展へ残念にも行けません。句でもと思って久し振りで句作、無理な句です。

落葉しげく、朝夕の寒で虫達のように弱ってします。晴日が続かず、干草刈も終らず、取り上げたものも片付かず。今は扶養家族で無職ですから農子は●

ず。かつて故笹村先生（芸大助教授）の私のブロンズ、一茶像のモデル本像には光苔農子と有り、私の家宝です。

180 (11/21) 雪虫や 山の畑の 土大根

冬めきて あかぎれ膏を 求めけり

十九日 よい小春日和、初冬 雪虫が飛ぶ、大根取り 金子さんの陶芸は王道とでもいふか 良き日ですね。

考えてみると、私は故笹村先生依頼、聴講生でもあるのでせう。尋卒の浅学ですが 知識豊富はそのお教化が大了。各地から出土品や遺跡が発見され、私も興味を持ちます。秋川（前田耕地遺跡）から貴重な出土品があったようです。安孫子さんにより 白神山地のブナ林と屋久島スギの二つが私の最大の憧れでした。二つは世界にも誇らしい。私はそれ以前からでした。

十九日 やつと乾いたのでシコクビエ稲架の如く刈って掛け置きしを、穂を切り家に入取る（刈って一ヶ月です）。もはやダメと思いに 台風が無く倒伏せず当りで、穂モロコシとソバは予想以上の収量が望めます。ネパール蕎麦は製粉場依頼中。他のものは日照不足で干上がりません。

廿日大雨風はなし。廿三日の代休として炬燵で休養。晴れると寒くなる由

181 (11/25) 短日を 着ぶくれの 我が影とゆき

雨で先に代休したので、廿三日農休（勤労感謝）は快晴を惜しみ、人見ぬ畑でした。

出土品や遺跡が山梨でも新に発見されるようです。

不作だらけの”木の実”に、花が美しい喰ぬ山梨（石梨）を盆栽用に仕立てそこね二米になった木に小さな実が一杯なり、どうした事か、砂糖と焼酎で漬るとよい果実酒が造れるが、私は必要なしで、又放任のキウイフルーツが今年に限り沢山なり、極めて小さいが 霜が遅い精か珍しく熟して取って食べます。柚も僅なつたが、又是も小さくて やつとみつける程です。是らは鳥やけものもかからずです。

正月は春の七草を揃えて食べようと思うが 全部を揃えることは寒い土地です。今から集め、仮植でもせぬと寒風や寒でだめです。御行と佛座はまだ試食したことなしです。芹が一番いいが、川や沢が昨年の出水で荒れ、自生地に絶へたので探し出し、山葵のごとく栽培せねば駄目で、考えると実行は、？ですね。

食べるようでしたら、雑穀の粉か精白した粒を送りませう。来春 当方へお出掛け出来なければ、荳ゴマ、ネパールのソバ、吾亦紅は送れます。本年は芋ガラや干草は作れません。山芋も早で蔓が茂らず、掘りません。まだ沢山あるは里芋、ジャガ芋・人参です。

(12/7) 晴日は朝夕特に寒く0〜0二度になりますが続かず、ぐずつく天気になり、脱穀調整した雑穀も乾かず、干柴なども運べず。・・・十二月一日の雨の日ネパールの蕎麦 試食してみました。蕎麦切り(麺)にできるか心配でしたが、こねると相当ねばり出来たが、茹でると日本のものよりポキポキして味は悪く、色は一寸青みがあり、粉のうち黄です。考えてみると、既にこの種類の外国産のものは日本の蕎麦粉に交ぜて使用されているのですね。味の悪い蕎麦店のものはこれでせう。日本のものは三割位で七割は輸入ですから。と言つて自分が試験しないで蕎麦粉を送るわけにも行かず、独りで試食してみました。妻が二度程食、他の者は嫌で、残りを私は三日間食べた次第。寒いから安全で蕎麦は好きで苦にもならず。日本のより味は悪いが食べられました。四年がかりの成果も大成功とはいかなかった。穂とうもろこし、ネパールの蕎麦粉いづれ送ります。金子さんは蕎麦も造れるでせうから、適当な折、試食してください。金子さんは蕎麦今度は玉葱の先駆者として、取組んでいます。

(12/13) 十二日 朝から雪が時々舞う。午前畑 午後休業・三時頃本格に雪が降り、山も野も真っ白然し掃く程は降らず、九時頃晴、朝外温0三度位。朝、山も野も真白で庭や道は積らず、雪景色は佳。

十三日午前は休業 日蔭は雪とけず、急に暇なので 雑穀 黍稷の粉を差し上げます。

夢だった桃太郎の黍団子の黍で、朝日で取り上げて呉れた例の黍で 話丈で味はったことがないでせう。試食して下さい。味はよくないかも知れぬが、何年か掛かって探し当てたもので、作ってから入院して実った黍で、天候不順で良くない出来でした。私も老化して、今後は種用僅しか作れないかも知れず、私としては貴重です。

山葵漬は、友人のわさび屋のものです。好むようですから

(12/20) 年でも明けたら黍粉でも送りませう。土日丈の内職の製粉所で暮は品が多く手間どるです。

本年の私の特筆すべきことは、椎の実を戴たことで、生れて初めて食べられたことは嬉しいことであり、縄文の味だと感動で、その頃のご馳走だったかも知れぬ。次はネパール蕎麦の味、西原での一号ですから。他は菊茶で、又そば茶は雪の日までは待ちきれず調整 干し上げを待ち早々愛飲で、夏向きでせうが、以上ですね。

今は植え付けた玉葱で、是非 無事の越冬を祈っている次第。良き事を行っていると思いが忘れます。三日程厳しき寒で十八日は雪が舞いました。薺(なずな)を摘んで来て、今日は浸しにて食てます。

平成五（1993）年 降矢 93 歳

185 （1／1） 頌春 献寿

神代の天の岩地開きの際 恩金の神は常世の国の雉を集め鳴かしむ
今・東天紅と雉鳴いて 年明くかどうか 平成の世の岩戸開きであつてと
低迷から明朗な世の開幕に期待しませう

癸酉 元旦

186 （1／8） 雪もなく 奥郡内は 山眠る

七日門松をかたづけ 朝からの雨になりました。・・・暮から雪を怖れてせつせつとしていましたが、雪は降らず、全く自然法則が狂って来たようです。といつて、今後は何れ寒波や積雪もあるでせう。・・・元旦から山着で、日中は仕事（運動）です。それでも段々衰えもきます。

元旦の夜は、年に一度揃ふ兄弟三人の子供が遅くまで酒宴で、楽しそうでした。私は四五年加はらず、炬燵です。酒は駄目ですからね。貉のおやじの如くで、人目をさけて日向です。今日は半月ぶりの休日で、炬燵です。頭の運動にて午後は元気を出し、書こと読ことした次第です。

八日雨やみ晴ました。月末頃 近くの民宿・阿知河原（古家実氏）の炬燵で盟友二人を招いて、ネパール蕎麦の試食会を考えています。古家氏とは畑つづきで農友であり、句友の後輩です。

187 （1／18） 猪熊の 騒ぎ談義で 雪となる

十五日 雨から本格の雪になりました。ご健勝ですか：

十七日は珍しく快晴で 南面の山肌が雪は消え、北面の一部は根雪になるでせう。炬燵でこれからは冬眠ですね。三月半ば迄畑は休みです。それ迄体調を崩さねばと思います。元旦から二日、紺碧に澄んだ清浄な空をはじめて見ました。西原は県下でも星の美しい空だと思ふ。まだ見ぬ白山山地のブナ林、屋久島の杉の幻影を追います。・・・ネパール蕎麦の試食会を三人の友と廿七日に、民宿阿知河原で催すことにしました。

賀曾利さんは月末インドシナから帰国の由 木俣さんは初夏 中央アジアのキビ・アワのふるさとへ きつと何かを私にもたらしてと思います。無聊のままあれこれを

188 （2／8） 立春になりました。残寒ということとせう。・・・暖冬だったとは

云えども 十五日以後は雨が多く、雪は降ってもとけて積もりませんでした。十五日以後は冬籠りで、ここ晴天が続く、日向にトレイニングとして仕事に掛かったが、足腰は弱つていて閉口です。・・・廿七日 阿知河原民宿で三人程の友人と試食会（ネパール蕎麦）四年がかり、西原一号として好評でした。異国のものでしたから、私も試食を二回済ませてからでした。

五十日位経ると、春本番の仕事ですが、旧で三月は閏月があるので、平年より遅れるでせうか？ 平凡な毎日です。

189 （2／26） 奥郡内 ちらほらと梅が 日がのびて

二月は雪の降らぬ 初めてのことで。乾燥しました。雨が降つてより、寒が戻り凍ります。ご壮健とは思いますが、たいへんお仕事忙しい様子。三月になりましたらどんな気候になるか、三月一杯は雪が降るかも知れません。秋は山百合を食べようと探し歩き、やっと植えました。ノラボウの厚蒔きして十五センチくらいのを二月上旬より間引きして食膳に出します。

190 （3／10） 暖冬ですが乾燥して風が吹き、老人には寒く 雨も降つても半日

路の臺も日向は早い干枯れたごとく、やっと日蔭の水々しいのが採れます。桜が早いといふ。もう三月も旬日です。当方は梅が三分咲きです。もう雪は降らぬか、異常時代ですから、三月はこのまま続けばやや早めに農作業にかかれます。彼岸を中心です。ノラボウ蒔きでしたが二月中旬より間引き食べています。定植したのはまだです。ホウレン草失敗して二月下旬からやっと採れます。鳥やけもの達と共有の時代で、越冬の青菜類は鳥がつきます。玉葱どうやら越冬しました。カラッ風が吹き暖の割に、発育はみんなまだですね。

秋から初冬、冬眠前は熊が出没します。猪も出る様子です。武甲トンネルを越えて桐原は猿の群がでた様子です。山百合を来る冬はたべようと、やっと山から集め試作に植てみました。カタクリの生えたのに出逢いました。花の咲くのは四月になってからでせう。

私も体調は悪いので、もう一年町までも行かず、老いてきました。強がつてみてもだめですね。テレビと新聞を見るので退屈もしませんが、・・・。

素晴らしい『東京の遺跡散歩』刊行早々に戴き感激致しました。私の教科書であり、この刊行に遭うことのできたことを幸福に想う次第です。厚く御礼申し上げます。テレビで毎週小さな旅を見て満足して、遺跡散歩も恰もその一部の如くです。 今日十日 雪がチラツキ出しました。

191 (3/19) 三月は不順な天候になりまいた。・・・十三日雪 積雪やや5cm 十五日雨 小雪 十六日曇から小雪で、冬が戻ったようで、又半分冬眠です。・・・

本格に農作業開始の時期ですのに鶯はまだ鳴かず、二月の見込みより七、十日位は遅れでせう。私が心配していた予想になりそうです。四月になっても半ば迄は雪が来るかと思ひます。

カタクリが芽生えましたが雪でどうなったか、雪より雪後に晴と朝冬の如き寒と水滴で凍り、雨水とでもいうかそれが恐いのです。梅の花もやられます。早掘りように孫達に食べさせようと、鶯が鳴く前に僅か馬鈴薯を作りました。是は発芽頃、晩霜でやられるかも知れませんが、承知の上です。

今年旧暦で閏が三月は二回あるので、三月が旧暦では長い訳です。

暇ですから戴いた『遺跡散歩』を丹念に拝見、先年ご案内して戴いた遺跡庭園感慨深く思ひます。又縄文遺跡が都内に多く、私は五六千年と思つていたら一万二千年頃から遺跡があることに驚きました。縄文時代に関する私の思いが違つてきました。長生した甲斐がありました。科学の力の進歩も人の知恵も驚きです。腰痛が足にも来るのか、歩くことが段々つらくなり、弱りました。車のつかえぬ老人ですから、ダメですね。・・・

畑続の古家実さん(農友 後輩六〇才位)畑でお互いに話、西洋ウド(アスパラ)の苗を貰つて植てみました。山百合も探して、試作してみました。・・・孫が無事進学になり 次男が中一、末娘が小二です。

192 (3/29) 彼岸ゆき 閑伽桶のみず つめたかり

実は都合が悪かつた四月に蒔く多摩遺跡公園の庭に植る雑穀の種をお送りするのですが、荳ゴマ・ネパールソバ等は畑隅に蒔き十五センチ位の時 定植で苗床は尺四方あれば充分です。今年は稗を植て戴たい。稗は中国・日本を含んだ処が原生地のような気がします。ワレモコウはポットに植えてありますが、新根が張らぬと送れません。他に必要な種がありましたらお知らせ下さい。四月十日頃植える予定です。

193 (4/8) 花かげや 人の明暗 よどみなく

四月になりましたら、春らしくなつたと思うと又、四日は雨から寒波が来ました。花の世を皆お忙しい様子ですね。

三日廿日やつと鶯が鳴き、カタクリも咲き出しましたが桜はまだで、十五日頃か? 雑穀類は例年五月に入り作ります。ゆつくりご都合して、お出掛けください。

五月上旬頃の晩霜を心配しながら時期です。馬鈴薯を作り、里芋・葱も植えました。四月に初めて紅花を蒔きました。試作の大根・小蕪発芽で 近日本格に作ります。・・・墓へ秋の彼岸に行き春の彼岸に行き 半年振りでした。それでも暖になることは嬉しいことです。

194 (4/19) 山裾や 迎えし友と カタクリを (早春の花が四月半ばと

は、珍しく満開でした。今日はコブシの花も満開です) 好日のご来遊で何よりでした。奥様とご対面できて何よりで、初対面と思えず親しめる事も妙ですね。機を得てまたお出掛け下さい。

十八日は夏日の如く暑になり 春爛漫で、桜が八分咲きました。カタクリは恐らく萎んだでせう。平年に(遅れ約十日)でせう。十七日 トウモロコシ作り 十七日は学芸大の木俣先生アフリカガーナのトウジンビエの種寄贈、十八日 苗に蒔き本年は鉢植え、二年後試食迄と挑戦です。

195 (4/22) 四月廿日(火) 午後十時頃 火災発生 中川勇さん(中川園)隣の

中川政徳さん宅と隣家三軒が焼失 約十一時半 出火原因は中川政徳宅の風呂の火の不始末でした。あの夜は風も無く静かな夜でした。あつという間の全焼で、体だけ逃出すがやつと思ひます。私は、夜間は危ないので、家の庭で見ている丈でした。倅夫婦が駆けつけた次第で、嫁は婦人消防団員です。

十六日訪問がおかげで最後であつた訳です。翌日も一切は倅に任せて、私はまだ見舞いに行きません。聞く処、中川さんは八王子市の子供か兄弟の家に行つたともいふ。

当分は間借でもして、復興にかかると思ひます。ともかく(訪ねて・・・) 僅四日後の事で、私も驚で、動じない私も狼狽いたしました。が、手落ちなく倅夫婦がやつてくれるので、私の方は安心です。

急激に春たけなわで、桜・桃・コブシ・岩つつじが満開です。然し、花かげに絶えず人の悲しみ 喜びは繰返されます。四月入り 雨が霧雨位です。から、乾燥で作物は発芽もせず、植たものも半枯れで、いずれ雨期が来るでせうが、ここ除草だけで農耕進められません。

196 (4/24) 花の春 ちるもさけるも 慌しき

桜が散り、李が咲きました。萌芽に忽ち変るでせう。

瞬間の出来事の中川さん宅火災は後が大変のようです。悲惨というか悲劇というか 中川さんも心身とも打撃は大き過ぎます。八王子から戻らねば見舞いにも行けず、復興の前途も多難でしょう。 廿二日午後より恵雨です。きょう夏日です。

197 (5/7) やまぶきや 山裾の家に 咲き盛る

平年に復そうと慌しい自然の輪廻です。拙宅も昭和十九年類焼して、私は五十年かかって完成やら致した次第で、まだ家具 道具 不備なものばかりで、実に厳しい生活で(したから)人ごととは思えず。私には若さがありました。が。つばめがまだ来ません。一週間は遅れているようです。四日より畑です。世捨人ですから連休も無しです。

198 (5/12) のらぼうの とうたち蝶の もつれかな

連休終り若葉から青葉へ それでも平年より遅れています。晩霜が無く安心しました。 皆さん達は忙しい連休だったと思います。 中川園ではプレハブの仮住宅を仕上た由 中川さん夫妻健康は良好なればいいが 季節の変わり時か、私も体調悪く難渋しています。 三日より畑です。何処も出かけず。

男の三兄弟が頼母しく、三日夜は水入らず呑んでいました。 見る親の満足で、四日は午前中にそれぞれへ 十日は静岡より新茶頂戴 ああ夏かと思いました。 雑穀の作る時期で忙しくなりました。 五月十一日 燕がやつと来ました。 半月遅れです

199 (5/24) 柿若葉 寺の鐘なり 友の葬

「小さな蕾」村山先生の人柄が偲ばれる書、良き人との出逢い何よりです。どこか洒脱の面もあるようですね。

骨董品や焼物の事も判らずですが、滝川・金子さん達の作品はじめて拝見ビックリしました。お二人によるしく。全く野人の私は恥かしい次第です。 中川さん宅へはあまり行きません。プレハブ仮宅に兄弟で住んでいる様子。中川さん夫妻はまだ戻らぬ由、焼失後へ尊いご配慮、誠に人の真意に打たれます。 氣候不順からか病人は多く、葬式も多く、廿二日は又 同級生病没、生き残りは三人です。

廿三日 さつまいもツクバコマチ 挿しました。里芋芽を出す。馬鈴薯蕾を出す。

友人からもらった牡丹咲き出す。廿一日 吾亦紅一鉢寺へ寄贈。筍の不作も疲れから風邪の精か 口熱で歯茎はれて泣面です。

200 (6/2) 苺うれ むぎわら帽へ 摘んで

栃の花が咲きました。縄文村の栃も花が咲きますか？雨が乏しく乾ききった畑に甘藷植え、ビンで運ぶ水でやつと根づかせました。キュウリも南瓜も育てるに大変です。 雑穀の発芽もだめです。それでも試作のトウジンビエは 近日鉢に植えて種を確保するつもりです。 昨日は降りそうな見幕になり、遠雷をきき、古家実さんに西瓜苗をもらって植えたが 雨は降らず。知つての通り私の畑は照りに弱いで苦勞します。里芋が芽を出し、揃いました。

201 (6/8) 馬鈴薯の花咲きそめて みなづきへ

六月一日 松蟬鳴く 四日 時鳥・郭公鳴く 三日 当方は細雨のみ、五日 夕方より六日 午前中迄小雨後曇 久し振りの湿り・・・五日夜の雨で生気戻る。 試作トウジンビエ四十五日苗を鉢二ヶ、畑七株植える。実が入ればと願っています。 中川さん帰宅 畑に出る様子 皆さんのご健闘をお祈りします。 私は頑張れなくなりました。農七十年の疲れが来たのでせう。

202 (6/22) あじさいや 病んだ日のみ よみがえり

夏至になりました。六月五日より雨も有り、高温で作物の成育が良くなりました。トウジンビエ四十五日苗を鉢に四ヶ、畑に八株試作、良好で秋の完熟が楽しみです。玉葱は冬の乾燥で思ったより減収 馬鈴薯六月一日より食しています。又豊作らしい。穂もろこし四十五日苗植える。シコクビエは五十日苗植ます。 信州早生そば 六十日で実がつきはじめました。刈り取ると七十五―八十日でせう。 木俣教授 中央アジアへ十八日出発 筋肉痛に苦しみながら畑です。珍しい雷雨に終日休養 畑の近況迄

203 (7/3) 深梅雨や 友の送りし 桜ン坊

雨が四カ日間、退屈な私で、健忘症や筋肉痛だんだん強く、耄碌するということとでせう。 八十八夜が起点で半夏生が終点の秋作の蒔付 植付です。

204 (7/13) 相変ず梅雨空が続きます・・・私は休日(雨の日) 退屈で、来る人も無し、尋ねる処もなし、今になり勉強です。古い高校生の地図帳みつけ、

アフリカやインドを調べますが。健忘症が強いので駄目です。トウジンビエの

事を学びたいからです。

サワラ砂漠南縁で発生した五〇〇年前頃でシコクビエと同時代の由で、雑穀で六番目の重要雑穀類とのことで、四〇〇〇年前頃、インドの北西迄は伝来したが、それから東へは進まず。シコクビエは縄文時代には日本に渡来しているのか、なぜか風土に適さないのかアジア人は嫌うのか、きつと種子は来たことはあったと思うが、それで私は挑戦したんですが、未知のものは判らんことばかりで、賀曾利さんにも聞けばよかったです。

トウジンビエ・・・現在は分ケツ多く、葉は広く蜀黍に似ている。草丈高くなりそうで一株二本位にする予定です。完全に完熟すれば二株分もあれば充分ですが、草丈が判明すれば株間とかサク幅も判り、直播では厄介ですから苗仕込みで移植です（来年のこと）。

ネパールのそば四年かかりましたが、春蒔き種か秋蒔き種か不明で苦労したんです。普通そばの約倍の日数を要す。今年は雨で、七月三日で十五糎位の処を一本か二本植えます。八月に入ってから、ジャガイモの後作にはいいが玉蜀黍の後作でないと畑が空かずです。信州早生そば 四月蒔き近日刈取り 雨で不作、五月蒔きは只今花盛りで、秋蒔きは八月立秋頃です。何としても僅の面積しか作れません。老夫婦女の仕事です。

十一日（日）倅が珍しくジャガイモ運びを手伝って呉れました。私の体調の悪いのを見て初めての事で、午後から掘れば大半終ったのですが・・・

205 (7/20) ほおづきの まだ青くして 夏若き（九日は浅草のほおづき市ですが、まだ青です）

今日十九日 賀曾利さん中川園への御見舞いに、拙宅へも来訪されました。帰国後間を置かず、オーストラリアへ行った由、まだ忙しい様子、秋再会を約束して辞去。

低温で細雨や霧で、梅雨明け待ち遠し。紅花開花しましたが花の採取できず残念です。作物成育進みません。廿日は土用入りですね。

次に、十四日 元参議員勲二 降矢敬雄先生死去 西原の生んだ偉大な人物で、西原では二度と求められぬ方 十七日葬儀で 拙宅の上の家ですから大変で、然し私は老体なれば家に居りました。倅が司会役で苦労した様子。十一日（日）から今日迄に五人死にました。最悪の年でせう。

206 (8/2) 山の百合 匂い漂う 霧の里

廿五日頃よりやつと夏らしくなりました。方々で夏祭りや夏の運動の盛なこと。日照不足が長かったので、まだ山百合が咲 紫陽花が満開です。 中川さんは病院に通っている様子、私は思う丈です。不順の精か人もよくなり、私も衰えました。侘しいことですが、天理でせう。

玉蜀黍がやつと熟そうとしてきました。関東が一番平穏な夏ですか。是から秋迄は心配

です。野菜も作物も凶作という年で草が茂るばかりです。

意外です。トウジンビエが廿日出穂はじめました。私が思ったより草丈は短い。穂もろこしに次ぐ高さです。きつと完熟すると思います。台風で折れぬよう支柱を添ました。播種より一〇四日です。九月中には熟す勘定になります。一六〇日で収穫ですか？

207 (8/13) 立秋や トウジンビエは 出穂して

十日も低温 午後より十一日朝迄雨。十一日雨止み 何日振りが晴天になり、日中気温30度以上 暑さになれず大変です。 さて今日十二日はトウジンビエの写真早速に戴き、よき記念にて、折がありましたら知人に送り度く、是非四枚焼増しを願います。 中川氏に三回目で逢いました。予想より元気で何よりでした。 当方八月お盆です。

208 (8/19) 夕蟬の 送り火たける 軒で鳴く

十一日より三日晴れ夏らしかったが、又日照不足 雨と霧で冷夏はつづく、秋そばも秋野菜も時期が遅れます。お盆も低調でした。西国は豪雨ですが、大雨がない事が救われませう。 ゆっくり熟睡が得られるようになりましたですか？ 私は退屈な日が続きます。賀曾利さんが冷夏の東北を旅した由で、矢張り不安な秋を嘆けるとの事でした。

紅花は花が摘みませんでした。玉蜀黍は上作でした。妙なのは南瓜の豊作です。里芋と甘藷が元気で、何処の家の畑も雑草が茂ります。 せめてトウジンビエ丈でも満足に実が入ればいいですが。 既に秋の気配が迫ります。吾亦紅の花穂も出 秋草が咲きます。

209 (8/30) 嵐過ぎ 空の青さよ 吾亦紅

全く関東から東北の冷夏は大変ですね・・・ご忙殺中を身勝手なお願い申して恐縮でした。記念の写真重ねて有難く戴きました。 冷夏ながら出穂が早いからトウジンビエは実が入るでせう・・・台風は幸いに無事通過でしたが、

暑いといっても、既に秋です。吾亦紅が咲きました。

210 (8/30) ほおづきが赤く、吾亦紅が咲きました。

今年は気象庁が梅雨明けを取り直したが、九月になっても梅雨が明けぬかも知れず。晴れ日は僅かですね。・・・九月三日 甘藷 初掘りしました。結構な出来栄ででした。彼岸から収穫します。天候が安定は十一月頃でせうか。まだ台風あるでせう。せめて霜丈でも遅れることを願っています。六日より気温が下がりました。越冬野菜類を蒔いたり、植え付けですが、仕事の予定が狂います。九月は祭りの月ですが、私には無関係です。旅することは不可能ですから、時々テレビで代りに旅をする次第で、奥羽山脈や北アルプスの四季等は満足で、特に(ヨーロッパ)アルプスの氷結より所持品も揃って石器時代のミイラの出現でした。

211 (10/4) 祭り過ぎ こおろぎ鳴きぬ 夜となりて

九月の祭りも終わりました。全国的に凶作の秋ですね。夏の無ような年ですから仕方ありません。農人は淋しい秋です。次に里芋は仔が膨らみませんが、沢山穫れますから、暇がありましたらお出掛けください。天候は多少平年に戻りそうですが、まだ不安定で寒が早いようです。強気の私もめっきり老化しました。

212 (10/15) 山蔭の村に秋が来ました。幸いに九・十日は快晴のふるさと祭りに恵まれ、何年振りかで私も前夜祭に行き、一時間清流の川をはさんで長く

続くあんだんの灯が印象的でした。翌十日も晝二時間見学に行きました。お神酒の駄目な私は、お祭りは苦手です。

不況―凶作で何処も暗い様子ですね。桜と櫛が色付きはじめました。珍しく四日間快晴です。干柴刈と僅かな秋の収穫です。雨になると晩秋の如く、北海道には雪が降りだした由、西原も遠からず霜が来るでせう。全くみじめな百姓です

213 (10/15) 柚味噌の ほのぼのと 友のあり

先日は好日快晴で何よりでした。あの日はあれより雨後ですから遅々の玉葱植えで、苗は悪く見込み無ですが。晴日が続きますが、捻挫なかなか治らず苦しい毎日で、ネパールそば大当たりです。収穫は大豆のみ。

214 (11/9) 日和から八日はしぐれの一日になり、落葉しげく晩秋になりました。

た。お写真有難う、面白い風景になりましたね。漬物にも手を出すのですね。味よく漬かれればいいが、秋野菜は昨年より豊作で使いきれません。やつと収穫終ります。

捻挫は治らず苦労しています。足を引きずりながら 僅ずつ収穫後を耕しにかかります。もう十一月も半ばになり、正月が近くなり、全く慌しい。・・・木俣さんから便りが無いが、雑穀全国大会は東北か九州の筈です。トウジンビエの経過を報告するのですが。ネパールそば豊作でした。シコクビエも平年作になりました。

215 (11/24) 大根を抜きつ雪虫そつと追う

廿日 雨です。・・・ここ平年より暖で 廿日に小雪が来ることはあります。収穫の取り上げもやっと終了、秋野菜も八分収量終了、越冬野菜丈になります。大根も白菜も大豊作で、痛む足で苦労しました。紅葉が美しいが私は散策もできず、テレビで各地の秋を眺めます。芋煮会ではなく、けんちゃん汁会が流行っています。師走がすぐで寒くなるでせう。

216 (11/27) 寒波により急に平年並みの寒になりました。・・・山蔭の村は寒いとつらい。木俣さんから中央アジアの事、その後の事を伺いました。撮って戴いた写真雑穀研究4号に使う由。農人ではトウジンビエの先駆者かも知れません。

金子さんは(木俣さん主催で秩父での)のびと養成講座の縄文土器の講師だったとか、安孫子さんと同じく真剣に取り組んでいるのには敬服です。私も杖をつき足を引きずり、畑に立ちます。

217 (12/2) 霜柱 踏めば足への 冬の感触

十二月になりました。何やら心忙しい 土日も返上の忙しさのご様子ですね。安孫子さんも木俣さんも同じですね。木俣さんも隊長で行った中央アジアの収果の展示会や講座やら、記録刊行等。安孫子さんに撮って戴いたトウジンビエの出穂 雑穀研究4号に採録の由、種を所望した御礼ができます。

畑が凍らないうちに収穫後の畑を冬耕です。私は日を楽しみながら、雪の来ない間は、暮も正月もなく日中少しづつ仕事ですが、びっこをひきながらで、しごとは残るばかり、来春が心配です。

一月十五日は秩父で野人（のびと）の講座で栃餅作りと野焼き、金子女史講師でせう。阪本先生退職すれば木俣さんが雑穀界の統領でせう。木俣さんはやがて退職すれば、秩父の山で山村人になり、雑穀作りを夢見ているようで、私とどこか同臭の処があります。滝川女史もやっていますね。雪虫 十一月十五日に飛び十二月まだ飛んでいます。

218

（12／13） 冬至が迫り 寒と共に心忙しい折から珍しい蕎麦発見 種子と又わざわざ植物事典一部まで添えご送付御礼申し上げます。

この蕎麦に対して聴いた事も見たこともありませんが、野生で虎杖程の大きさとは驚きで、事典により二年生の蕎麦ではないでせうか。ヒマラヤから中国大陸へかけて分布する多年生の蕎麦の類のように思えます。誰かがブータンには宿根の蕎麦があると聞いたことがありましたが、そんなバカなこととは気にも留めずそのままでした。

木俣さんなら知っているかも知れません。一応、近くの鈴木さんにでもお尋ねしては如何でせう。それにしても不思議なことで どうして生えたのでせう。実を見たところ食べられそうな蕎麦科ですね。どこか私の作っているネパールのそばに類似している気がします。この道の専門家でないと判りませんね。・・・私が丈夫ならばその蕎麦の自生地を観たいですが、及ばないでせう。

一年性が二年性か判ると思います。自生として粒から一年で巨大になるとは、今後究めてください。秋蕎麦でせうが、粒から完熟まで日数が判れば試作も楽です。先年のネパール蕎麦はそれを知るため三年かかりました。共に新話題として研究しませう。最初の年は春五月と夏七月と二期作り、種から完熟期を求めます。おそらく晩成で山蔭の村 西原では霜が早いのでどうなりますか。ネパールのそばの経緯を参考にしても 三年か四年経なければ試食迄には達しないが、老人の私には そこまでは及ばないかも知れません。

ネパールのそばは、苦みと野生特有の滋味があり、試食を繰り返し、小麦粉一／二割も入れるとよい蕎麦切に仕上がりが、そのもの丈では味が悪いです。色は青味を持ち、実用まで六年かかりました。

平成六（1994）年 降矢 84歳

219

（1／10）

松とれて 寒さひしひし 山の村

晴日で遊んでも居られず、種ものの整理収穫したものもすこし始末しました。トウジンビエ八株で収量三合ありました。ネパールの蕎麦は作る事も食べる

事も上手になり、六升穫れました。玉蜀黍や蕎麦を頼んで粉にしたり、穂もちこしは精製する量になりました。雪は降らぬが寒く足腰は痛みます。歩行は楽でなく、何処へも出かけません・・・奥秩父ののびと講座に使うかどうか？ジャガ芋を一箱届けました。

220

（1／18？）

天の意と トウジンビエの 実り手に（写真アリ）

（玉蜀黍の粉、蕎麦粉、馬鈴薯に同封）

乱雑な種子類の整理で 流石に人眼につく処では仕事も出来ず、毎年鼠に種を荒されるので、空き缶に保存することにしました。

十一日から雨雪も交り、変化の多い天候になりました。十四日 雨が雪になり、約一〇センチ積り、寒くなりましたが、十七日は雨で雪は消えました。暖冬といふことでせう。

パミール高原越えた北側諸国へ木俣さんは 賀曾利さんは、今度はパミール高原の東南に当るか中国奥地のタクラマカン砂漠へ アフリカ・インドを学んだ私はヒマラヤの遙か彼方のパミール付近の勉強です。十七日夜は、タンザニアの大草原をテレビで見ました。老人の勉強は大変です。

例の巨大自生蕎麦 暇な折 一度調べて戴きたいですが 群生で何本か生えていたでせうか 多年草としたら昨年実をつけたのは枯れ もし昨年生えた花の咲かないものは葉も落ちてきつと茎は生で本年葉が出、芽のび花が咲くと思います。付近に残ってはいないでせうか。一年性にしては巨大すぎます。私は戴いた種四二粒ありまして、秋蕎麦は判りますがネパール蕎麦如く

と思って 春五月に作り、夏七月初旬にと二回に作る予定です。そばは、普通は七〇／八〇日で、ネパールのそばは一一五／一二〇日です。・・・

（同封の）玉蜀黍粉は小麦粉に二三割入れて、餅かまんじゅうにしてそのまま食べるより、味噌塗り焼いて食すが美味。又焼餅といって炉の熱い灰に埋、ゆつくり焼たものが昔の焼餅です。白米に粉を加え粥に煮てもよく、昔は粉丈で粥を造るおねりで食べ、是に南瓜・さつま芋・小豆を入れることもあり、塩場合もありました。

221

（1／24）

成人の 日祝ぎうららか 吾子ありて （安孫子長男に）

巨大蕎麦の正体 鮮明に大変なことでした。小石川植物園で栽培しているとは老人も及ばず。丁度ウドやアスパラと同じ宿根の如くで、そばを蒔いてでなくそばの木を植えるといふことですね。種は五月蒔て 翌春この苗を定植する予定。生きていれば不思議なことに遭遇します。

本年も高幡へ行き求められた暦 有難く戴きました。・・・寒中は寒いことは豊作型ですが、老人は耐えることは大変です。私の冬眠期ですが運動不足が心配です。

222 (1/27) 寒中の 見舞いと友は お魚を

朝は〇五度で北面は根雪になりました。私淑する権威者の方々は寒さの折もお忙しい由、私は冬眠の生活で申し訳ない気がします。・・・休養が祟り足腰の痛みはまして春が心配です。

雑穀の起源の国を地図で探したり、テレビを見たりです。ここまで来ると天意に従うのみです。

223 (2/10) 寒明けて 裏へ日脚の そつとさし

寒が明けホツとしました。でも暖かさは一進一退ですが日脚の伸びは心強いことで、四〇日経ると畑です。今度は秋田ですね・・・秋田といえれば四〇年前、私が句をはじめた頃の句友があり、老人でした。大館だったと思います。

「税額 葱坊主だまっ●●る」私の句で自由律で、この句が縁でした。何年か親しかったんで、その後他界。税の騒ぎの時代で今日も変わりませんね。昭和の初めか、外米を食べました。ラングーン、ミトン、台中で粟飯よりまずかったです。今度はどんな味でせう。

陛下が硫黄島への報道に愕然とした私です。あの南海の孤島 水のない島 二万の英霊地下感激するでせう。私もこの島に勤務 封鎖前十月 戦病で送還されて今日があり、感動新しく、三つの思い出を・・・

224 (2/21) ご多忙の処 縄文文化に付き三教授の対話有難く存じました。私の

思っている縄文時代はとても長いことは、遺跡散歩で知りましたが、二千年の歴史より一万五千―二万年に及ぶ縄文時代とは驚きです。私が老境になり、虫・小鳥や自然の観察が農耕には大切を知りましたが、縄文人は極めて発達精通していたですね。それが第六感とでもいふか、丸で虫や鳥けものの如く、自然の運行を利用したんですね。お陰で博学になりました。とても尊いことです。が、広大すぎて学べば更に広く深く宇宙のようですね。邪悪のない清い人間であつた気がします。

そばに対しても二回に及植物字典のコピーで委しく知りました。私ももう十年若ければと思います。雑穀の起源地を地図で探したり、近頃珍しい出土品が絶えず、テレビ新聞報道されるが、学んでも頭が老化してきて覚えが悪くなり

ました。

十二日の雪は東京並で二五センチでしたが、翌日は強風や曇がでて融けず、寒は戻り 十八日 日向の平面迄消え北面は雪です。それでもまんさくが咲きはじめ、紅梅も綻びはじめ 東風吹くですね。後一ヶ月で畑ですが、本年はどうなるですか。 今日農協に行くと春野菜の種が入荷していました。

硫黄島のことは悪夢です。何しろ弱身の第二国民平兵が灼熱の孤島でしたからたまりません。海軍の整備兵でしたから 帰りの海上トラック(荷物輸送船)で航空隊は島の浜辺に近い空港ですから送還されるによく、陸軍は山の上でしたから同じ兵でも(送還は・・・)不可能でした。それだけ運があつたんです。病院五カ月で再起して 大分空港で終戦でした。終戦の夕方、司令官宇垣纏中将は特攻機で突入(沖縄)したんです。ですから空港も後は騒でした。

私の過去は苦難のみです。二四歳で父の死別が発でした。應召中に家が焼けあゝ物資のない社会福祉もなく、まだ自動車通らぬ時代の復員で、荒た畑はあるが農具も整のはず、入植移民のようでした。ですから妻子も苦勞させました。昭和三十六年 私が病気で半年入院 長男一〇才で一ヶ月妻の手厚看護で再生したんです。以後三年がかりで本復したんです。ドン底時代で 部落で一番の貧乏暮らしで、妻等は向かって没落(つぶれる)といわれた程で、辛苦五十有余年 それでも自力で更生しました。 私は先祖の積善か、自分の努力又天意か六十年の不遇から抜けて、晩年は人に羨望されるようになりました。御礼が懺悔録になりました。

225 (3/7) 桜開花予報が発表された翌四日 雪五センチ積っていました。こ

こ天候は悪く、快晴はなく、曇多く夕方は小雨や雪がチラつくのです。さて、秋田市での「土偶研究会」盛会の由。

六十年 齒を喰いしばつと苦難のドン底から這出した私は、ずいぶん妻子にも苦勞を掛けましたが、やつと今日に至りました。床場に行つたことも無く、妻に半襟の一枚買ってあげられね貧しさでした。自力で黙々六十年、過去は悪夢です。今日では同輩で一番の果報者で羨望の一家となりました。然し代償として私のエネルギーは底をつきます。西原から抜け出せぬ私の天意かも知れません。すべて私への試練だったでせう。・・・四日九時頃 賀曾利さんが突然 入来 三人連でした。聞けば四国足摺岬から西原へ直行の由、中の一人武蔵野美術大学民俗資料室T女史で、先年ネパールのそばを中川氏に―それが私の今日のネパール蕎麦の原種です。約六・七年前からです。私の宅から中川さん宅へ、私も同伴をすすめられましたが、生憎雪や寒さで足腰が痛み行きません

でした。もう一人の田口（洋美）という人はカンボジアへ行くという。私のトウジンビエの種をカンボジアへ持って行きます。アフリカ→日本→カンボジアです。それぞれ三人とも、何かを調べ研究でせう。

私は鶯の初鳴きを三月十五—二〇日と予想していて、初鳴きたらジャガ薯植えと準備します。・・・トウジンビエと宿根そばは丹精してみたいですね。野菜類は寒で伸び出しません。緑が乏しいので、菜類は鳥が食べに来て閉口です。本格的な畑仕事は四月からですね。梅がやつと二分咲きで、マンサクは散り始めました。「鋏の柄を作ったり、風呂の薪を作ったり退屈します故」

226

（3／17）・・・外米時代が来て「コメ」騒動ですね。乏しさを分け合うは親子丈です。政策はどうあろうと貧乏人が食るといふことも前もそうでした。二日より不順な天候で仕事もせず退屈していると体が悪くなるばかりです。

鶯の初鳴きを待たず3／11珍しく快晴にジャガイモ早掘用に、近隣より先に植えました。駄目でもともと、よければもうけと植た次第です。

梅が二三分咲き 彼岸が来るのに異常ですね。・・・

私は四月半ば頃から畑の方ですが、体の調子は好くありません。無理もないのです。調べると戌年七回を迎えたのは、男性では西原で私一人です。三十人位はあったんです。生き残ったことは奇蹟ですから弱身な私で三四度は死線を越えたんです。天意でせうか。

227

（3／30）

桜の開花といふのに雪も降り、梅が満開にならぬ山里毎朝霜で、畑仕事にやつかかる処です。異常の春です。十日以上遅れています。鶯まだ鳴ず。

時に外米時代のコメ騒ぎ一年の凶作でなんといふ不用意な国でせう。水のよさにダムを作ればいいでせうに。今春はびっこをひきながらの農耕です。

228

（4／2）桜の開花は何処も遅れたようですが、立川辺は咲いたでせう。先年桜の頃に立川入院した春を思い出します。・・・中川さんは元氣になった由、家建築にかかったでせう。今日町並に業者に材料は依頼が流行ですの、多分そうするでせうが、建坪が大きそうですから一部は自分で材料をとるか？とも角大仕事です。今は田舎もすべて町並になりました。

半月は遅れた春です。30日頃より畑仕事が盛です。冬の寒と春の遅れで玉葱だめキャベツは鳥につつかれ、でもホーレン草、冬菜・ノラボウが有ります。ジャガは鶯の鳴きも待ず植えました。 31日 鶯がやつと鳴きました。

229

（4／6）

宿根そばご持参して下さるご様子、時期は四月半ば頃でせうか？先もってご一報下さい。植える予定地を考えています。戴た種は五月上旬に一応苗仕立とする予定で、それを来春定植します。・・・四月一日より平年に戻った陽気になり慌てています。それに本年は昨年より体調悪く、びっこを引きながらです。流石の私も焦燥です。五日 富士桜 鉢植え桜の魁として開花しました。一般は二十日頃でせう。カタクリもその頃でせう？ 戌年七回を迎えた一人生き残って鋏を握ることは、ともあれ勝利者であり、倖せということでせう。

230

（4／9）

カタクリや 乙女のリボン ふと想う

半月も遅れた気候 四月になり五月の如き暖かさで、急激に平年に戻りました。今月八日 カタクリが咲いたのには驚きました。下旬開花と思っていました。午後は雨になり、好きな雨ですが、又寒くなりそうです。是では百姓泣かせです。午後より休養です。芽生えが早いと晩霜が恐い土地で、それが気がかりの時期になります。

（追）九日の朝は雪で真つ白で、雨が雪に変わったのを知らず。カラッと晴れず霧一杯で十時頃消えました。

231

（4／20）

うららかや 山の桜へ 友在りて

十七日は良き春日でした。私の自慢の山桜も見頃でした。早生色もいいのです。今年の花見は満足しました。宿根そば沢山戴き、私にロマンを與へて呉れました。生き甲斐が一つ増しました。桑畑のようなそば畑をと思います。十八日曇で待っていた雨が降り、活着します。然し本年は実がつくかは未定です。秋は是非見に来て下さい。 八十八夜が迫り支度です。（4／17『雪虫』の表紙はこの日に撮影）

232

（4／26）

桜が散ります。こぶし、李、梨が咲き出して花の世です。写真

真沢山有難く、私自身は知っての通りで、今更どうにもならず ありのままです。ただ桜は最初に撮って戴た春の記念です。宿根そばよい記録にしたいと思います（晩霜が心配なので桜の枝で覆って置きます）。（「郷土研究」）全部を揃える為に製本迄お願いして図々しい次第です。窪田先生は元高校長で郷土研究で親しくなり、都留郷土研究会会長です。お暇の折で結構です。暇があると趣味が多すぎて、かえって仇になるんです。現在は花咲か爺さんになろう

と、他の事はやめます。

廿一日つばめが来ました。この日 玉蜀黍発芽、夏ソバも発芽、早すぎて霜が心配です。五月連休頃発芽なら無難なのです。 廿四日あれよりはじめて行く

と桜は散り果て、ジャガ全部（早掘用）発芽していました。 八十八夜 五月二日起点として雑穀作りです。シコクヒエ、トウジンビエ、穂

もろこしは苗床に、四五〇日を定植 黍、粟、稗は直播きに作る。

私はナス、トマト、南瓜、胡瓜は農協に苗を僅依頼。沢山植る胡瓜、南瓜は自分で仕立てるが是は送れます。いずれも五月霜の心配のない頃植付です。」サツマ薯を作る処も宿根そばの処に仕立てました。何しろ本年はすっかり体が老化してしまいましたので、苦勞している有り様です。

次に姥百合、根付くでせうが、葉がひろがりすぎて本年は成績が悪いかも知れません。芽生え頃がよいようです。まだ試食したことはありません。花が開くも花を落せば球根が大きくなるのか？山から採集してきて実をそのままにしておく精か、適地に植えて方々に生えませんが球根は育ちません。 本年は秋ふじばかまを採集、芽がでましたが、本物かどうか？研究してみてもからです。

五月連休は私は忙しいので畑です。子供は帰省しますが、顔合わせればそれで満足で、兄弟で語り合つてゆつくり休養です。 緑の日にピアノで出場の孫はすぐく元気で、母親は済むまでは大変です。

来る秋、十月半ばには雑穀の結果（収穫）も判明です。宿根そばの成績も判明しませう。ご都合して是非ともご来車ください。 特に大きな台風でもない限り、平年の作柄は見込まれます。小鳥の防除の網張りが老人には苦難な仕事なのです。 異常の天候で、私にも今年もどんな夏か予想できません。

233 (5/6) ふじ咲きぬ 相州武甲の 山若葉 (於上野原)

製本有難く全四冊揃いました。御礼申し上げます。郷土研究に努めたんです。 4/28 雨が止んでから二年振りで嫁の車で町へ、川通りから八米、新田（駅下）の道で、駅から上の台地へ。実は昭島から町の東端へ引つ越した長女の新居を訪ねたんです。妻と外泊、四・五年ぶりで一泊し、翌日暑い日帰宅。 僅20^日の上流から下流でこうも違ふか、神奈川県境ですから初夏で遙か連なる山々は若葉でした。疲れて翌日半日寝ました。 紅花は4/18で雨が乏しく乾燥期で発芽不良。

234 (5/9) 若葉風 連休明けや ふじつつじ

上流の西原も旬日の中に下流の町の如く若葉の世となり、藤やつつじ満開です

が、雨を待っても僅で風と照りで乾き、四月半ばより霜がないのが救いです。宿根そば良好ですが、実を蒔いたのはどうなるか、霜除けをとりました。・・・丁寧な遺跡庭園の雑穀栽培お知らせで、もう一度出掛けたいが、今の体調では駄目です。 姥百合は根付いたでせうが、・・・日当たりの強い処より小蔭が姥百合は好みます。カタクリ、熊谷草もそうですね。 ジャガ芋は元氣ですが、玉蜀黍は成育が悪です。黍や粟を是から作るですが、乾き過ぎです。 五月日曜の度 猿猪の駆除を猟師がやるそうですが、ジャガ芋畑の外は荒す処もないが、出沒の部落があるらしい。 五月の半ばになれば山菜や筍も出るんですが

235 (5/10) 日照り続きで 筍も不作かも知れません。・・・知つての通りの竹藪ですから、私は掘ることも不自由ですが、何もない土地ですから筍を送る次第。

異常の氣象で五月に入つて蒔いたものは発芽がどうなるか、葱など伸びださず、黄色くなりしました。是より胡瓜・南瓜・茄子も植るのですが、足腰の痛に水を充分與えられず弱りました。・・・意外な高温になりました。

236 (5/23) 学芸大学で考古学協会 盛会だったと思います。天候も高温だったり低温だったりですね。雨も思つた程降りませんが、野菜類の植付けは結構でした。・・・晩霜がなかったたので霜を覚悟で早作りしたものは成績よく、近隣より優良です。何年経験しても氣候の予測がうまく合わない失敗です。宿根そばも発芽しました。 4/17 二人で植えた株根の方、好成績で植方が少し狭かったようです。秋が期待されます。

237 (6/4) 5/25 松蟬が鳴きました。初夏になりました。雨はあつても雨降りという程でなく、休養出来ずです。・・・宿根そば種で蒔たのは四〇本発芽で、ネパール蕎麦と一見同じで、根株で植たのも大きな株になり、芽数も多く四〇本位あり、是もネパールのそばを大きくしたのと同じです。どの位収量が得られるか、秋が楽しみです。・・・4/14 作つたそば 間もなく花盛りになります。 5/2 蒔いたトウジンビエは照りで発芽が悪く、十日後に追加蒔きまして、植付けが遅れます。 エンドウ・キャベツ・大根が出来て、近日ジャガ芋も掘ってみる予定です。

六月一日の夜は珍しく夕立ちでした。今までは照り勝ちで、葱は葉が枯れます。これから雨期になるでせう。

(6/13) 卯の花や ジャガイも掘りて 母の忌へ

宿根そばの自生地の写真有難し。現在で素晴らしく茂っているのに驚きました。何年も自生しているようですね。・・・土日は忙しいでせう。賑やかに田植えの由、是も楽しみでせう。

卯の花が咲き、ジャガ薯が咲き、雨期に入ったようです。ジャガ早掘り成功で6/2より食べています。母の忌が十五日で、例年はこの日からです。トウジンビエ少し遅れました。二〇日頃定植。シコクヒエ・もろこしも六月中には植えます。足腰が悪いので思うようには行きません。

(6/29) 田植ご参加お忙しい中で仲々でせう。きつと祭り騒ぎの賑やかな事だったでせう。降りもせず照りもせぬといった梅雨期で降るといふほどの雨でなく、それでも心忙しい毎日でした。

6/13 穂もろこし 20 トウジンビエ 24 シコクヒエ定植で 早掘りジャガ後へ25 小豆を作りました。・・・

昨日廿七日の高温には驚きで 廿二度位になったでせう。今日涼しく雨です。玉蜀黍の穂が出、胡瓜・南瓜・茄子も花が咲きました。雑穀類は夏至から半夏生迄に植るも作りも終ります。玉葱・ジャガ・春蒔きそばの収穫です。

4/15迄は寒波でしたが、15日以後は安定な日が続くが、これから梅雨期が長く、冷夏になるのではと心配です。・・・夏になっても体調回復せず、老妻の二人丈ですので、思うようにいかず閉口です。

(8/2) ミンミン蟬が廿一日鳴き出し、暑い夏です。夏の日程で相変ずご

多忙でせう。早くから暑さが続く夏で、平年より作物は十日も十五日も進みます。秋は早く来るといふこととでせうか。豊作でせうが、私は暑さに負けて体調が崩れました。トウジンビエなど(昨年は)7/30の出穂でしたが、

7/5に出穂は驚きました。宿根そばもサツマ芋畑の如く張って広がって来ました。実生も実が大きくなりました。

(8/6) ここ記録的な猛暑になりました。いろいろ不都合が生じる 正に殺

人的な天候になりました。四・五日に僅か夕立あり。大変な夏になりましたが、水さえあれば豊作でせうが、私も暑さに負けて、仕事も意の如く行かずです。驚いたことに、トウジンビエ、昨年は出穂はじめが7/30でしたが、本年は定

植十日遅れましたが出穂7/5で、そろそろ穂揃いになり、確実に実入るでせう。宿根そばはサツマ芋畑の如く広がっています。実生も二メートル近くに伸びました。今度の高温の日照りで里芋は水不足です。もう少し雨がないと、今後の秋野菜や秋そば作りは手が出ません。

242 (8/16) 暑さが続きます。もう日は一時間も縮まったですが、何といつても僅です。

当方 吾亦紅も姥百合も咲きました。8/12 墓掃除に行き丹精した吾亦紅の良品を寺から貰って帰る。私がやった元です。紅花 今年美しい成績が開花期に天氣が悪く、花は僅摘んだ丈です。近日枯たので取り上げ、実が沢山とれます。実を煎り食べる予定です。戴いた椎の実の味が忘れられず、今度は紅花の実を味はいます。食用菊咲きだしましたが日照りで花小さくて黒くなり、駄目です。水を與ればいいんですのに。

胡瓜も終り、トマトも傍の荒れた桑畑の南瓜、夕顔は元気で又、豊作で、よく人にやります。馬鈴薯迄掘り切れず暑さで腐るようです。掘るは出来るが、家に背負って来るのが駄目です。一番弱ったのは黍の防鳥網張り、二年収量少ないが、無肥料栽培は丈が短く楽でした。本年は二米に達し、暑いのと妻と苦勞しました。8/11 やつと張終る。穂より十糎は上に張らねば網に鳥がのぼりつつきます。今夏は豊作ですが、半月は実のりが早いでせう。黍も發月中か九月早々の収穫です。里芋が不作か？

8/4 から三回の夕立ちで豊作が、又日照りが来たのでー只今秋そば・大根の秋野菜作り期ですが、この日照りで弱りました。15 白菜はポットへ苗として種を入れました。9/5頃定植予定。トウジンビエは8/11 穂揃いで九月中に収穫できる予定。奇蹟のようで、挑戦二年目で成功です。異国のサバンナの幻影が想われます。冬は日本の農民で最初に試食ですね。・・・今日終戦日は大分空港(海軍) 夕方特攻機で司令官宇垣纏中将が沖繩に突入想い出されます。

私は夏力ぜで口内が荒れ歯茎も舌も痛く苦勞して、読むこと書くも元氣なしです。虫の声が夜は聞えます。お盆十五日

(8/23) 十三日からの日照りで一週間 日中は作物もぐったり、生気なし

です。夏野菜も終ります。夕顔・南瓜・大根を送ります。本年の大根について。春蒔き三月廿日(一回目)、四月七日(二回目)、十五日(三回目) 同一の畑に上より作り、四月七日の適期のものが上物でした。

七月廿八日 夏の早生を四〇株作る。現在暑に負けず(小蔭の畑)育っている

ます。秋彼岸より食する予定です。秋大根は立秋十日頃作る予定は、照りで作れず。昨年は沢山作り半分捨てる。本年僅ですが、こんな仕末です。雑穀は照りで収穫がどうなるか。黍が先で次がもちこし、稗出穂中 トウジンビエは流石に良好 豊作でせう。収穫迄に誰かに写して貰いたい。宿根そばも照りに色あせる。秋そば作れず。

里芋凶作に転ず。馬鈴薯残り暑さで腐敗が多し。白菜は九月五―七日定植予定、十五日苗床に蒔入れ

244 (8/29) 突然ご入来、本当に有難いことでした。トウジンビエの丁度見頃でした。勝手な私ですが撮ってもらった写真仕上がりしましたら三部戴きたく、木俣さんに是非送りたいのです。畑が湿っているのも、あれから遅れた秋そばを作りました。九月上旬中に黍もトウジンビエも取り上げになります。シコクビエ、稗が穂揃いで美事です。お目に掛けたいほどです。

245 (9/2) 私の秋作の全部を撮ってくださいって誠に有難く御礼申し上げます。実は記念のトウジンビエの写真が望でした。豊作ではあり、恩人の木俣さんに送りたいのです。・・・どうにか大根を作りました。葱種を蒔き、玉葱の苗を蒔きました。黍は取り入れたいし、雨は欲しいし

ころろぎの 鳴く夜となりぬ 風涼し

九月になりましたら涼しくなりました。お忙しい中写真不躰にもご迷惑かけました。・・・収穫期が早いので秋野菜作りと一緒に、困りました。

246 (9/17) ころろぎの 土間に来て鳴く 雨の宵

ここ雨が降るようになったら急に涼しくなりました。幸いに白菜を定植したり、秋の菜類も発芽します。実りの早い年で、黍・穂もちこし取り上げ、トウジンビエも穂刈して畑に乾くように干しました。写真に撮って戴いたのではありませんに好都合で取り上げられました。残っているのはシコクビエと稗です。

九月 西原はお祭りの月です。然しお祭りへも三・四十年出掛けません。曼殊沙華が咲き出しました。お彼岸が来ます。日の短さが判ります。三回目の西原ふるさと祭りは十月八・九日です。

247 (9/24) 雨が来てより急に涼しくなりました。平年並になったという事で、雨期でもあります。9・19 宿根そばの先端に花穂ができました。お知らせしま

す。

西原は、九月はお祭り運動会 9・23 田和神楽で終ります。十月は10・2 西原の敬老会です。8・9 が西原ふるさと祭りです。実のりが早かったので黍、穂もちこし、トウジンビエは取り上げました。十月は忙しくもお出掛け下さい。

248 (10/5) 秋雨や 秋海棠の 余滴かな

九月中旬より雨が降り、気温も段々平年並みになりましたが、酷暑の夏で作柄は半月早く収穫を迎えました。雨が降るようになり、秋野菜がやっと作れ、これは又平年より遅れ、秋野菜は悪い出来です。西原の秋祭り・運動会みんな雨に祟られました。・・・台風は、被害はあまりありませんが、畑作は倒伏しました。収穫する作物はソバ・小豆・シコクビエです。

本年は、里芋はだめですが、お暇がありましたら、例年のごとく掘りに来てください。十月の半がいいですが・・・お待ち致します。

賀曾利さんは九月半ば中国奥地タクラマカン砂漠めざし出発。

249 (10/15) 収穫の穂ものの作物は終了しましたが、畑の稲架に残ったものもあります。平年より早いです。後脱穀しても乾きません。前後にする柴刈りはこれからです。九日の祭りは大当たりでした。

九日 7・5に雑穀の種を送りし安房の樋口氏が前夜祭の10・8に、三頭荘一泊、10・9 午前白米持参で拙宅を訪ね、お礼を兼ね畑見学で 取り上げた畑一巡でした。安孫子さんと小俣さんのご厚志の写真持参説明 炭焼きの実演を長く見学。ここで別れ、私は祭りの広場へ三頭太鼓の発表を見、一籠を求めて杖に通し担いで帰宅一時でした。

250 (10/25) 貴重な一日をご入来いつも歓待もできず 痛み入ります。豊作の年なのに里芋ばかり不作で、又九月中旬より天候不順に戻り。やつと出た秋野菜も不作のみで申し訳ありません。野外での中食は本年はじめて、金子さんの料理は本当に有難かったんです。

宿根そば、実に私の最後の仕事でした。・・・さつま芋 10・24 三株掘って重くて家には無理で、途中二人にあげました。力は無いにしても三株です。ビツクリです。大きすぎて食べるに面倒で、人気無しです。

とも角 私は老妻と労りあって畑に出る晩年の幸福です。

10・24 室内10℃、戸外4度は低いでせう。木俣さんにつき、一寸申し上げます。もう三十年近い間柄で、今更 先生とも

云えず、四月阪本先生退職後は雑穀研究の総帥です。六月は教授になり、あれこれ忙しい様子。安孫子さんにも逢いたし、拙宅訪問したいらしいが、仲々実現の機がないらしい。山口大学の小林先生は後輩で数の少ない雑穀研究家一員でしたが、本年アフリカのマリに行き、現地か帰国後かマラリヤで亡くなられ落胆の様子。

251 (10/30) 蟪蛄の 末枯れて草へ 縊りつく

悪天候の長期で取り上げ刈り上げは、草が干し上がりません。畑の稲架にはそば・小豆が少々で種の芋と小豆で完了です。秋野菜は虫と病気で成育は悪いです。宿根そば 花が一杯で、実生法は実が付きましたが、完熟すれば落ちるようだ。考えると作物でなく、自生植物ですから自ら落ちて殖えるですね。晴天が来ないで、初霜はまだですが、低温で日照不足で、折角わざわざ苗を持参下されましたが、西原では野菜そばとして菜の代わりにオカズや飯のサイ用ですね。畑に行く度、掌に載るほどの青い実を採ります。二十九日終日雨です。

252 (11/10) 立冬から快晴で 寒いが霜が来ません。紅葉は 十日位は遅れた秋です。晴日になると、あれもこれもと、やりたいことばかりで気が忙しいが、体は動きません。

立冬の日 えんどう・ホウレン草を作り、畑の稲架にそば、小豆をやっと掛け、まだ取り込んだものを二日ほど干し脱穀 調整するものもあり、短日は仕事に追われます 戴いた宿根そば・・・畑に行く度採ってきて、一合位はあるでせう これから里芋の種採りで、斜面の干柴刈が沢山あるが、草は枯れてきて刈り難くなりました。冬にならねば製粉を作れず、出来上がったら又、送れるでせう。暑いが良いのか、はじめて大きな柚がなりました。

253 (11/19) 九日立冬より五日間晴がつづき 畑のはさに掛けたそば、小豆、シコクビエ やつと取入れました。十五日 宿根そば刈り伏せしました。十六日 初霜で十七日と二回の大霜ですっかり青いものは無く、紅葉の盛りです。独り秋野菜が青さがあざやかです。宿根そばの試食は西原では収穫不可能で、根株で植し方は僅で、実蒔は一合位です。今後は菜の代りに食する野菜そばとして西原に普及と考えていて、適地あれば自然生にしてみたいですが？

十七日畑で脱穀したままのトウジンビエ 白でつき、やつと調整終り、沢山収量ありました。短い日照時間ですから三日も干しやつと調整しました。後は又シコクビエの穂を干して白で搗けば終了です。まだ乾柴刈は沢山有り、草は枯弱りました。

254 (11/21) 銀製の 時計うでにし 秋ふかし (子供用を求めやつと腕す)

ここ三寒四温が入り乱れ、例年とは異なる天候です。丹念に採集されました貴重な宿根そば感激致しました。試食ともあれ、まごころのそば実に尊いことです。御礼申し上げます。

トウジンビエやつと製粉所へ依頼しました。木俣教授に送る予定。教授は味も亦調整法も知っているでせう。賀曾利さんなら間違いないですが、まだ帰国の知らせがありません。

寒につけ中川さん 생각합니다。今は何でもものに不自由はせぬ時代ですが、もののない時代の三年目は実に厳しい寒を通りました。私は若さと強い意志とのたたかいでした。晴れると頑張りますが、疲れ果て放心したようになることもあります。

255 (11/25) 冴えない天候で寒さ強く老人は泣き面です。

此の間テレビで青森の三内丸山遺跡がでまして、縄文時代が野生の稗を食していたことが判明して、私は、稗は日本が起源だと思っていたが、決定はしません、ほぼ私の考えていることが近い気がします。

縄文時代に比すれば 現代の文明は瞬間的の如きものではないでせうか。石油が必ず三〇―五〇年後には乏しくなるでせうが、勿論今から対策は講じているでせうが。それが現実化の時代になったらばどうでせうか？ 崩れた山村農が復活するではないでせうか。都会中心が緩和するだろう。飛んだ炉端閑話になりました。

ただいまトウジンビエ製粉が出来上がりました。西原で完全に栽培 収量が多い作物で雑穀では六位の重要穀物だそうです。シコクビエはアフリカ東エチオピア辺りか？ トウジンビエはアフリカ西サハラ砂漠南縁の由。起源は同時代らしく、日本へは弥生時代 稲より先か稲が先かに渡来したんですが、トウジンビエはインドより東へ渡来しなかったことが不思議で、そのため試作した次第。千―二千年前に渡来したら日本でも広く作られたでせう。これから雑穀栽培による土地に普及してみたいです。

256 (12/16) 本年 宿根そばや作物生育写真を丁寧撮って戴き、大変お世話になりました。それに報ずる御礼も出来ず お詫び申し上げます。
送りました雑穀はご迷惑だったかとも思います。弥生時代から伝来したもので、私も齢ですから揃えるのは最後かも知れません。 中川氏 12/8 頃基礎工事に着工の様子、葬儀で遅れたですね。

257 (12/27) 冬耕や 師走の空は 冴えわたり

歳末ご忙殺にも関わらず 高幡不動尊の暦乙亥を頂戴しました。指針として、農耕に奮起してご厚志に報い御礼と致します。 芥子は歳末の忙しさも無く正月の楽しみも無く、ただ怖きは雪の降ることで、南面に日を樂しむことが冬のよろこびです。 杖に縋り、畑の凍らぬうちは冬耕です。一年終る度に氣力が失われて了ひます。

廿六日曇 午後四時頃より雨、1000米級の山頂は雪か?...

(暦)中川さんへは廿六日届けました。冬に成るの起工ですから短日で寒いし、四月頃からはと手間どるでせう。その頃なら進行により完成が判るでせう。

平成七(1995)年 降矢 85歳

258 (1/10) ようやくトウジンビエとシコクビエの粉ができました。三人で機

会をみて笑ってください。・・・トウジンビエも渡来していたら各地で栽培したでせう。調理法も判りませんが、私は手早く試食してみました。天ぷらの衣よりゆるく粉に水を入れかきまぜ、フライパンで焼いて食べてみました。黒くて餅風ですから焼きあがると粘らず、稗(日本に似る)稗性です。噛んでいると特殊の風味があり、食べられました。 純粋の味を知ろうと味噌も砂糖もつけずそのまま食してみました。 これからこねて餅、饅頭、又稗がゆ風にしたり、何回も工夫して試食してみる考えです。 粉に熱湯をつぎ、そばがきにしても勿論いいでせう。 現地は主食で鍋に水を入れ、それに粉を入れて煮て、それを皿で食べるでせう。野菜を入れたり牛乳も入れる時も、香料や油又はカレー粉も使うでせう。アフリカ通の賀曾利さんは知っているでせう。教示に預かりたいものです。

小豆は夏小豆で五月頃作れば秋彼岸のオハギ用になります。穂もろこしは、飯や餅に使う灰には一晩水に浸けてからにします。

259 (1/16) 元旦は快晴で穏やかな珍しい新春でした。青空を仰ぎ山の彼方より何かいい訪れでもと 少年に戻った一日でした。

トウジンビエどうにかして食べられましたですか? 暮から私を支援し下さる方々や畏友といふか盟友達にトウジンビエの粉を送りました。トウジンビエの説明と私が試作に挑戦の動機を添へました。手書きで長文になり後で複写でもすれば楽だったと思しました。 正月入りニ三人で終ります。

それから桐原の長寿館へ暮に穂もろこし・モチキビをはじめ出て荷しました。 正月入りトウモロコシの粉を契約し、二日の仕事はじめに脱粒し、干て八日より始める製粉所へ依頼したんで忙しかったですね。

次に小正月の行事に 十一日に鋤入を済ませてから、粟穂・稗穂切りと称し山へぬるでの木を伐りに行き、この木で粟穂・稗穂や農具・門男を造り門に立てます。この山村の行事もまぼろしになり、惜しむ人々もあります。私は山に行けなくなり三年造りませんが、本年は甥子の協力で木の寄贈で、四年振りです。 写真に撮る人や済んだ山村行事の資料に欲しが人もあり、私も本年が最後です。小菅、丹波山でも昔はあったはずです。丹波山には残っているかも知れません。

十一日の鋤入を済さず、五日より午後冬耕です。暖冬か雪は降らず四日雨でよく湿りました。

260 (2/16) 三内丸山より縄文時代五五〇〇年前 野生の稗を集め食したことが判明したことは興味があり、・・・アフリカのシコクビエやトウジンビエ

の起源と年代が似ていることも妙です。 ところで種子棚を整理したら古い稗種がありました。十年以上のもので採取

年代は忘れましたが、ノゲの長い分ケツする雑草と作物の中間で、焼き畑に蒔いた稗に似ています。ここ五十六年は病院通い等で空白が多く、忘れて了った次第です。四月になると発芽を試みます。発芽したら例の縄文村の庭へ展示栽培四十五株はどうですか。小鳥の食べ憎そうな稗です。私の現在の稗は東北の人間用で、家畜用と区別があったらしく人間用の良質系統らしい。西原では区別は聞きませんが五十六種類は有ったようで、現在は調べたこともなし不明。昨年は沢山取ろうとしたが網掛け半ばで終り、収穫皆無でした。実に良い成績で穂前は美事で豊作の年で惜しいが、老夫婦ですからこんな結果があるんです。御覧になった通りです。

次に木俣教授がシンボルマークに私の門男を使って呉れますが、本年は町の鶴川 小俣さんが門男の行事の絶えるのを惜しみ、資料を残したいとのこと、

二度断ったが甥子の協力を乞い、山から材料ぬるでの木を伐って来て貰い四年振りです。門に立てました。私ももう作れぬでせう。町では西原のみで、山村の小菅、丹波山の奥は、昔は小正月に立てた行事です。発祥は山伝に奥秩父と推定、是も調べたことなしです。耕作と繁栄のためでせう？ 小俣さんは、12/28日より入院・・・2/12日、私の留守中に来て、門男は見ただしうが、・・・

トウジンビエ試食しましたか？ 賀曾利さんは、白玉粉に交ぜ団子にしてア粉と佐藤醤油につけて食べた由、美味しかったお礼でした。

かつての日本は七十年に一度大地震のある説を読んだことあります。関東震災は私が十三の頃で、七十二年位前で今回の兵庫大地震（一月十七日発生阪神・淡路大震災）です。この震災や防災対策の見直しと年度末の忙殺か、近頃は皆音沙汰なしです。・・・

節分の夜小雪が初雪で、続いて二晩小雪で、寒いが平年並みの寒さとか、14日バレンタインデーから小雨です。老衰と筋肉痛で杖に縋って酔歩といった有様です。立春からは休業で独りぼっちも退屈で、炉辺閑話かあれこれ申し上げます。 草々

261 (3/2) さて今年は雪の乏しい冬でした。節分夜と二晩小雪で十四日は雨で、やや湿ったものの乾燥で冬野菜は駄目です。平年の30%とかの雨量です。

次、冬の野菜として山村の昔の干葉や白菜の干したものを送ります。山芋も痛みました。掘ったごぼう・人参は草の根のようで、皮でもとって食べてみて下さい。ジャガ芋は大量あるが暖冬で芽が出て貯蔵に失敗です。

四・五月にならぬと水々した野菜は有りません。ホウレン草、ノラボウは小鳥がよくつきます。露の臺も蓬も桃の節句といふのにだめです。

廿六日が積雪五・六センチでは大雪ですが、三月もスツキリしない天気が続きのようですね。私も妻も急に老化が進み、本年は予定通りには行きません。

鶯は何時鳴くか？ 私の農耕の合図です。

262 (3/6) 雛だんの 蛤なきぬ 雪つもる

座談会―拝読。昭和三十七年より東京以来の経歴というか職歴を伺い、安孫子さんを知りましたことは何よりで、雑穀が縁で久しい親交ですが、はじめ

て全体を知り、矢張り私の先生で、私は聴講生です。敬意表します。三月になり冬眠状態で弱ります。桜は平年並みの開花予想ですが、降る度に積雪量が増、雪になりました。

263 (3/13) 砂糖湯もほつと余寒の咳ぐすり

雪解け後運動不足の身を少し仕事に掛るとふらふらで、お礼申し遅れお詫びします。変化の多い気候に振り回されます。北海道産種薯は完全越冬で、自宅のは芽が出て居ます。彼岸前後にはジャガを少し植る予定です。

264 (4/17) 十六日は朝霧雨でご来車中止と思い、食後又寝床でした。

私は生き残った浦島のようにです。新人ばかりで訪れた人は、十二月より小俣光雄氏が三回で、賀曾利さんやA、TG、TM（ネパールそば種親）来るといふことですが、誰も来ません。連休は、子供は二人来ます。

天候は不順で日照ると翌日は雨で、体はだめだしジャガも里芋もまだ作り終らず。十六日は薄日が出たのであれから玉蜀黍を作りました。僅4さくです。天気当になりませんので。

中川さんの建築は捗っているでせうが、体の方は私と同じでせう。健康状態が悪いので、最期と思つて信州に行つてくる予定です。

265 (4/24) 十七日も廿三日も夏のような暑さで、二時頃雨です。満開の桜も

強風に吹き散りました。岩ツツジが真盛りです。お忙しい処を早々に写真を戴き心謝一杯です。血色いいとは言いますが、体はだんだん駄目です。三月より異常な天候で快晴は乏しく曇りや雨が多く、特に私の体に影響もあるようです。早いジャガは発芽、遅いのは作つた処・トウモロコシも大急ぎで作り、是からは晩霜が心配なのです。

五月になるとキュウリもナスも南瓜植え、雑穀類も十日頃迄に苗は蒔きます。宿根そばも五月になります、どうも思うようには出来ず、あきらめてはいます。漬物まだ戴いています。今日、ウドを食べました。

金子さんも滝川さんもおぼちゃんになると忙しい様子ですね。滝川さんとはほんとうに久しぶりでした。

カタクリは咲いていた由、桜は二十日満開で、鶯は例年より一ヶ月遅れ十七日でした。シヤクナゲ咲きははじめ、牡丹はまだです。

266 (5/6) 新茶の 香ほのぼのと 立夏かな (新茶寄贈に)

高温で雑草が茂りだし弱りました。八十八夜が起点で雑穀の蒔き付けや苗の播種の時期ですが、仕事は進まず、南瓜・夕顔・いんげんをどうにか植えました。キュウリ、ナス、トマトも植えます。連休も独りぼっちで、車も二〇台以上通るようです。廿七日 甲府放送局ディレクターのKさんが畑迄雑穀の話を聞きに来て、空箱に休んで一時間語りました。十二月二日出逢いで、また来るそうです。年に一人か二人はこんな人達が来ます。

四月廿日か？ ネパールそばの種親のTM氏が事故死と中川さんが電話で知せて呉れました。四月にネパールから土産のトウモロコシを送って来たのが発芽したばかりで、若いのに気の毒です。私とは昨年二回来宅の縁でした。

267 (5/13) 牡丹咲くとはいうものの 逝ける人 (田村さんへ弔句)

中川さん亦入院 貧血の由。立川共済でせう。私は倅せな方でせう。

連休はなしで、八十八夜から雑穀作の時期で、ともあれ後はどうなるか、十日迄に苗床に蒔き終る。九日の夏のような日は珍しく、貧血を押して小俣氏が来宅、九日は降矢勝雄さん(山葵屋)に私の百姓七〇年記念にトウジンビエ粉・ネパールのそば粉と特に宿根そば苗を送るので来て貰う。

雨が降ると午前中は安静に床で休み、午後から多少書を読です。・・・猿がはじめてジャガ発芽にかかりました。

268 (5/26) つばくろや 雑穀の苗が 芽ぶきけり

晴れて暑い日が続きます。五月も僅になりました。御忙殺と存じます。

丹下左膳よりひどい体ですから、仕事は進まず諦めてはいます。雑草が茂りました。もう試作は止めるつもりでしたが、土産に送ってくれたネパールの玉蜀黍発芽した4〜30 TMさんは信州秋山郷の山で 事故で他界、形見になりました(四〇粒)。どんな成績が得られるか？

中川さん・・・小俣さん・・・貧血です。どうになりましたか。それに比すれば、びっこを曳きながら畑に立つことは まあ倅せでせう。そろそろ松蟬が鳴くでせう。

269 (6/7) 六月になりました。遺跡庭園に雑穀植付け済みましたでせうか？

古い稗種は発芽したですか。又トウジンビエはいかがですか？・・・以前は田植え、蚕、麦刈りと共に雑穀作りで、五〜六月は忙しいうえに蒔蒔にも柴を刈たんです。

5/30 金子さん一行が突然畑迄来ました。西原の新緑と山葵田を見に来た様子、僅時間語りました。中川さんの経過も話して呉れました。金子さん古代食・・・入選 敬服です。随分元気でした。私は時代からはずれ、人と語ることとまれです。

私の好きな駒鳥が来たでせう。ここ家内も不調で私は独りぼっちで畑です。

6/2 時鳥が鳴き、郭公はまだ鳴かず、谿谷で河鹿が鳴くでせうが、川へも山へも行かず、見える範囲丈です。四月新築完成に行く予定の信州へも後日としましたら、次女(娘)が心配して5/23 忙しい中を二泊して帰り、まだ元氣な親達に安心した様子です。妻も来年は八〇才です。

木俣さんは中央アジアからの栗・黍原種近い麦(出穂)とか、農園は賑やかで忙しい様子、満足な体なら見に行きたいが、思う丈です。日帰りの出来る処ですのに、老人はだめです。

六月は雨が多い予報ですが、是から先どんな天候か？ 6/2 ジャガ初掘り・・・以後食べていますが、不作型です。降り過ぎ、照り過ぎは農人泣かせですね。八〜九月頃迄は、畑を見に来る珍客もあるでせう。

右腕が痛く軟筆が使いにくく、硬筆は力がいり、判読下さい。

270 (6/21) 花栗や しとしと雨は 人恋し

梅雨どきとはいえ、晴れる日が乏しく、降ると半日は安静、後も無気力で退屈するのみ。雑穀作りは七月五日迄が掟ですが、整地に草が多く、ここ三日降らぬので痛む体をどうにか耕す次第です。

七月下旬から八月頃は日照りか？近頃は妻も弱く畑は独りが多く、里芋と玉蜀黍は元氣ですが、竹藪に一度も行かぬが筍は不作だった由、筍の不作は水害に縁がある由、馬鈴薯は不作になりそうです。

272 (7/2) 霧の中の如き毎日です。薄日がさすと蒸し暑い。金子さんの田植

え終りましたですか？ いつまで続くかこの天候、雑草ばかり茂ります。どうにかトウジンビエを十日も遅れて植えました。期待は出来ません。砂漠地帯の作物ですから。

馬鈴薯は急に疫病で黒く枯れました。秋の収穫も心配な二年になる気配がします。4〜17 あの日の夕方作ったハニーバンタム(玉蜀黍)が出穂しました。

273 (7/10) 花栗が 霧の中から 匂いくる

雨・雨・雨です。梅雨はいつ明けるか？ 降り過ぎ、照り過ぎで農人は苦しむ。

私は退屈な毎日ですが、頭の方も老化して思考力も記憶もきわだって悪くなりました。畑を空ける訳にもいかず、十・十日も遅れて作付けですが、秋が早く来たら駄目でせう。

体調は戻らず、天意に従うことを覚悟しています。私を訪れる人もなくなるでせう。農七〇年で幕です。視力も悪く、愛眼といふことで読書もテレビも制限しました。

前に製本お願いした窪田先生が、今度は二十年研究した論文集『つるのふる里』載たがまだ読まず。家居していると夜ごと眠れず、厄介な体になりました。

374 (7/18) 末期とは思うが梅雨明けず、米糠を戴いたので南瓜味よし。トマト疾病、いんげん・キュウリ・玉葱食しています。天候不順と体調不振で、

十五・二十日遅れ畑を空ける訳にもいかず作付けですが、天意に従うのみです。

雑穀最後の夏でせうが、7・14 シコクビエ定植す、トウジンビエ一応植ました。黍・粟がどうなるか。里芋と玉蜀黍は元気で、ハニーバンタムは近日食せます。日本稗もそろそろ出穂、もう放棄しなければならぬものもあり。家庭は平和です。作物より自愛専一です。

お盆は八月です。皆忙しいらしく消息もなく、来る人もなし、行く処もなし、霧の中のような日が多です。老人の当然の時期になりました。でも妻もあり孫もあり、倅ということでせう。紅花も黄金用菊も咲きました。山百合が美しい、あじさいもやつと花盛りです。

275 (8/1) 日照不足の不順から酷暑に、体がついて行けず嬉しい悲鳴です。

「たまのよこやま」万葉調のセンター広報編集者の由、その尊い紙面に無名農人に庭園の四季を使用され、感動です。全く有難し。以前はまた参観するつもりでしたが、こう老化してはだめです。あの日を想い出とする丈です。

雑穀を通じ随分いろいろの方に遭遇しました。まだ本年は、八・九月中には尋ねて下さる方があるかも知れませんか？・・・土用に入り、この高温でどこまで助かるか？天意と覚悟しています。ハニーバンタムは日照不足のため味が悪く、ジャガ薯は疾病と低温で不作でした。夏野菜も味が悪い。これ

からどこまで持ち直すか、恥ずかしい百姓です。今度は暑さで仕事はだめです。無気力で忙しい時代、何するの嫌です。

276 (8/16) 終戦忌 南瓜の蔓は 茂りけり

五十年前も暑い日でした、大分空港用庫係でした。司令官宇垣中将は夕方沖繩に突入、思ひ出します。

土用入三日日から記録的な炎暑が続き、怠慢な作柄 多少復活です。長い日照不足と精力も尽きた私です。今度は暑さに負けました。

これから大根、秋野菜 そば作りですが、十二日一雨ざつと降っただけで畑が乾き照り出したでせうか。お盆中に白菜の苗をポット蒔きます。日程を見ると暁も忙しいですね。八月も訪れる人も無し、TMさん形見のトウモロコシは丈長く房小です。百姓は天候次第です。東北は豊作になりませうか？

277 (8/18?) 糠を頂戴した南瓜は上作ですが、味は食べてみないと判りませ

ん。日照りで又、作物に明暗が出来ます。何年経験しても天候の支配です。知ての如く照りに弱い耕土の畑です。水稻が最高でせう。ダメかと思つた雑穀多少とれるでせうが、親の務めが終つて老妻と余生を共にしている私は、是で満足しなければ。男性では西原で四番目（先輩は三人）で、畑にどうにか出るは私丈でせう。

思いながら宿根そばの葉やつと試食してみました。菊の花の酢漬、天ぷらも今年は食べられます。好物なんです。洋種玉蜀黍は生食用、乾いても粉はとれず、又取れ過ぎ。日本稗は穂が出てから照られて不成績、トウジンビエ七分出穂、遅れているのはシコクビエで、穂はまだです。

安孫子さんや木俣さんに大変配慮に預りますね。四年経ると八十を越れば老人になるものですね。

雑穀も野菜も無理する程は作りません。見栄えする成績の作物はありませんが、九月頃 トウジンビエ取材に山梨日々新聞で来るかも知れません。

工商立国の現代に時代を逆行して山村農に生きた私で、木俣さんや安孫子さんは理解者で感謝いつもしています。子供は親と違って時代に生きていくようです。

8/16・17 両日は軽い雷雨有り それでも作物生気を戻す。大根やぼつぼつ秋野菜が作れそうです。

278 (8/30) 連日暑く 一部照りの被害もありますが、8・23・24と珍しい雷

雨で助かりましたが、五六日経ると又しめりがほしく、秋野菜の発芽や畑に依ると作れずです。日程はよく判りご多忙でせうが、もしご都合がきたら九月十(日)頃午后から半日がかりで私の最後の雑穀見に来ませんか。黍は無肥料で作り、丈低く、妻と8、27網を張り、粟はまだです。トウジンビエは9、10頃収穫予想。遅れたのがシコクビエで出穂五分、穂もろこし穂揃いで。日本種玉蜀黍が照りの被害を少し受ける。珍し芋良好です。暑さに負け、仕事は僅しかやれず、本年が雑穀の最終です。来年から一部作るかどうかです。年齢ですからね。

279 (9/14) ご多忙中 十日はご来車下され、ゆっくり語り又、雑穀収穫前をみて戴き、実に有難いことで、お招きしても格別のご歓待も出来ませんが、まだ夏野菜も幸い残っていたことで救われました。

猛暑の延長は秋迄続き、照りの被害は秋野菜が作れず、蒔ても発芽せず。甲州玉蜀黍が照りの被害の大なる作物で、他の雑穀は見た通りで、私の最後の雑穀と思っています。関東は日照り、東北は雨で作物いかが心配ですね。十一日は真夏の暑さで翌日よりやや涼しく、早いが無肥料栽培の黍収穫しました。次はトウジンビエの熟したのを先にとりあげ、不揃い成績です。稗、ネパールそばは作りません。西原の秋祭りになります。秋雨の季が近づきますね。猪が暴れるようです。

280 (9/18) 丁度十二号台風通過で、祭りの終る日で、祭りは雨から続いて台風でした。被害はありませんが、猪や雀の大群で山付地方は方々が同様ときます。ジャガ薯の処理迄お願いして申訳ありません。不作でも取り上げ後の掘り出しです。

体力が続かず、春から粗放農業で不整地作りや無肥料作りで、収量を望ことより、畑を何とかすること、雑穀を一年延長することで、十日に観て戴いた作物です。是から収穫と秋野菜の作り直しや遅れても一応菜類は作ります。春の葱苗等の苗は遅ると越冬が難しいです。ご配慮の件、追って改めて申し上げますが、十月七―八日頃で結構ですが、たいへんご面倒を掛けるでせう。収穫など関係はどうでもいいですが、今度は秋雨の時期で天候が心配です。涼しくなったので私の好季節です。

281 (9/29) 思いながらお礼遅れて了いました。九月十日 収穫前の雑穀を見て戴けて写真に撮って戴いたことは、実に有難い事でした。誠に感激の極みで

す。体調は悪し不安定な気候の上つい粗放農業になり私の七十年の最終と思われる。雑穀も五十日の暑さの夏で救われ(一部に照りの被害もあり)御覧の作物になりました。

ところが猪騒ぎと雀の大群の暴れる秋になり、イノシシは近く迄来ましたが無事でしたが、黍を取り上げ、秋野菜の植付け、蒔き付けに追われていました。予想外でした。トウジンビエをやられ、穂もろこしもやられました。僅五六日の差でした。ほんとうに有難うございます。お陰で無事な作物の写真を戴きました。・・・

次に、今度私に付てはご配慮誠に忝けなく、ご多忙の中を日程表まで作られ、私は別段支障は有りません。只、知の通りの老体ですからご迷惑をかけるかと存じます。ご面倒なことです。お願いします。

私のもう一度、埋文センター・学芸大農園は訪れたい処で、この老体で実現は不可能と諦ていました。夢のような出来事に有難さで一杯です。

私の都合もなく、木俣さんとは相談で結構です。涼しくなったので、何とか体の方は持つとおもいますが、是非雨にならぬことを祈っています。町までも久しくいかなない私で、あまりご歓待はなさらないでください。安孫子さんと木俣さんとゆっくり語れることも楽しみで、私は格別の支度もせず、畑にいくつもりで出かけます。それでは何卒よろしくお願いします。

最近書くことは仕事より大変です。西原小学校一二〇周年記念誌に寄稿を依頼され、苦労しました。私の大正時代当時の思い出でした。

282 (10/15) 今般は木俣教授と安孫子さんとで発案(十月七、八日の一泊二日 降矢さんを送り迎えて、埋文センターの雑穀畑と学芸大の木俣研究室・実験農場見学)実行によりて、山村無名老人に前例のない賀寿会を催され、感激しました。まだ帰宅後も感激の興奮が残っています。特に賀曾利さん加わり一流人が三人揃ったこと嬉しいことで、久し振りで人里に出た猪のようにながが雄弁になったのです。私の生涯の光栄と喜びの日でした。厚く御礼申し上げます。

再訪は望みのなかった埋文センター、雑穀の殿堂ともいふべき学芸大農園研究室これも亦感動です。僅の間に最初訪れた時より世界の雑穀を集め雑穀界の情報研究室で知ること驚きです。

金子さん・滝川さんの雑穀使用の最高料理の晝食も感激で、半身付随といった私を眞の娘の如くに労わり下されました。沢山の土産、記念品まで戴、申し訳ありません。

八日帰りは車にも酔ず、教授と話しながら予定より一時間早く午後三時帰宅、三〇分ほど休まれて教授は帰りました。長い親交とはいえ、教授に送られたのは是も得難いことで、雑穀界の総帥ですから。

私の桃源郷と云う鈴木さん宅、折がありましたら、よろしくご伝声をお願いします。

九日 雨は止んだらしいが、疲れと興奮で半日、床で安静 午後より畑の見廻りと野菜採り、十日 雨模様 シコクビエ収穫畑の稲架に架ける。珍しい小鳥が是もかかった。余程餌が乏しいのでせう。 帰ると老妻は風邪でした。夏の疲れもあるでせう。三四日独りで仕事です。 私のトウジンビエは脱穀調整が終わったのに大学のはまだ出穂せず 同種というが妙だと思っています。大勢でしたから播種期日をば尋ねませんでした。

安孫子さん、ほんとうに体丈で行った私でした。御礼はトウジンビエの粉でも送る予定で 暇な冬になるかも知れません。猪はまだ出沒する話、雀の大群の残りがまだ居ますが、粟は無事でした。天気回復したので近々取り上げます。僅なソバ、種位取り上げました。

宿根ソバの自生地もお陰で見ましたが、私の宿根ソバも僅遅れた開花振りで、夏の暑さのためか、昨年より開花十日は早いでせう。実が沢山つくかも知れず、二年でも三年でも丹念に実を貯え一升位になったら 普通のソバを加え粉にして、試食してみたいです。その折は安孫子さんを招いて試食会にしたい。老人の望です。

十月はとうとう先輩が又 死去で、男性では西原の三番目になりました。金さん 銀さんに及ばずとも銅さん位迄はと云って笑われる私です。 好天氣に恵まれ、十四・五日 ふる里祭り盛会です。

283 (10/21) 鶴水や まつりの灯うかべ 腕艇と

ご厚志の日より二日程経て好日続になりました。 十四日ふるさと祭り前夜祭の灯を観に行ってきました。年に一回の夜道でした。

記念の写真有難く頂戴しました。多摩の縄文文化有難し、遺跡散歩と共に教科書です。 帰ってから妻が風邪でした。あの粟は猪が通過しただけで、雀から最後までのがれました。独りで収穫でしたが、天氣が好く、稲架から外し脱穀までしています。

皆さんに試食できるように暮の餅つき迄に送るつもりです。白を庭に出すのが大変なので、ワラ叩き槌でたたいて粟と脱穀です。三内丸山で縄文人が自生の稗を石の上でたたいて食したことを思い出し、五一六〇〇年前と今日

の私と近代完備の大学研究室と対照も妙ですね。今日脱穀完了。 賀曾利さんが新刊『一〇〇〇峠を越えて』を送って呉れました。

284 (10/30) 菊の香や 庭で栗打つ 日和かな

異常気象ですね。九十月は例年雨ですが、本年は照りで珍しい事です。お陰で再訪から帰り、あの雨は翌日は止み、……。例年は十一月下旬より脱穀調整ですが、シコクビエを残すだけで全部終了しました。粟は無事で・・・大豊作でした。暮迄には送ります。皆で栗餅食して下さい。

十四日ふるさと祭り前夜祭、十五日は西原芸術品の展示コーナーに観に行くと。書道のリーダーたちと“山晴の夜”の如く、とうとう雄弁になりました。戦死した一つ上友人の遺品の展示もあり、私の葉書があつて大騒ぎつきつけられたが、私は手にも取らず、五〇年前の恥しいボロがでて、今更驚き逃出しました。また反省です。

紅葉は少し遅れます。赤は桜、黄はトチで、二三日曇ったが雨は降らず。今日快晴で十月は終わります。

285 (11/24) 雪虫を 土大根で 追う日かな

十九日 大根を三分の二収穫埋めて困大根、二日雪虫はじめて舞うを見る。一般は不作の様子ですが、大根、白菜見事な出来栄です。廿日四十日振りの雨、雷鳴で大降り 翌日より真冬の寒さで曇日。 疲れた体で干柴刈手枯しています。

286 (12/8) 糯粟 安孫子さんへ代表で送ります。鈴木さんにもよろしくお願

いします。珍しくもないでせうが、本年度の私の上作の雑穀です。世から離れて暮している私は、暮の忙しさも正月も格別のこともなし、日を楽しむ生活です。

埋文センターでの十二月二日 木俣教授の講演盛会の御様子でした。木俣さんの講演要旨有難うございました。資料は好い参考になります。何しろ世捨て人の老人です。講演会後の揃って団らんも楽しかったでせう。「山晴」夜を思い出します。私を一番よく知る人は木俣さんです。

私の句は、退屈の折の空白しのぎに作る句で、上手とかは考えず、その折の感じかしら。句については後日、また語るとしますが、老人の百姓は面白い事があり、収穫したジャガ芋畑より 後から三〇*も出ました。昨日も後から出しました。試食して下さい。現代の縄文人かも知れませんか。

「庭園の四季」には胸が熱くなります。再訪の日、エゴの実を拾う私は、現実にはそれを育てることはばかげた事は判っている老人ですが、心の一部にそうさせるものがあるんです。それは感激の現れです。さて、帰ってより快晴続で収穫したものを稲架にかけて干すと四・五日で乾き、雨を心配して脱穀・調整を急ぎました。例年は十一月上旬の仕事です。それを一ヶ月も早く済んだのです。秋としてこんな好天気続きは珍しいことです。脱穀機は使えず、臼は老夫婦には庭入れが重いし、シートを敷き藁叩き槌でとんとん打つての脱穀です。三内丸山で六〇〇年前、縄文人が野生の稗を集めて石の上で叩いたと同じですね。右腕は痛し 雨はなし 疲れやらで 痛みやらで 晴日を寝込んだです。シコクビエは残っています。

木俣教授はあれから奥秩父で環境教育担当教員の講習会、間もなく北海道沙流川域の調査、アジア太平洋環境教育シンポジウム、次々と多忙の様子。山晴に來た中込青年は、十年前学生時代來宅した方で忘れませんでした。何処かに私を見ている人もあるんですね・・・

蒔蕪玉を送ります。昨年は正月に脱穀した玉蜀黍、本年は粉にして長寿館に出荷、一部を送ります。暇な折。団子汁に、又はコメを入れてカユも妙です。小麦粉を交ぜて造り、冷えたものを味噌塗焼きのもいいです。霜は十一月二日から毎朝 七日は初氷、雨は一カ月間夜のみ三回、畑は堅くて弱ります。まだ枯行く草木を刈って乾柴刈で傾斜ですから大変です。

鈴木さんの立派な論旨 敬服します。喪中の由、十月にお伺いの折、挨拶しませんが一見した方のご他界だったですね。ご冥福をお祈りします。

金子さんも無事帰国、南支は稲の故郷でせう。元気に感服です。蒔蕪作ったり、球から造ったり、蒔蕪の通人ですね。それにしてもよく料理なさいます。私は食べる丈です。皆様にもよろしく ご無事の御越年を祈ります。

高尾山の頂上と同じ標高ですから寒いです。朝室内は一・〇一度、戸外は、〇・五度位でせう。ご多忙のところ、本年も高幡不動尊の暦を御送り戴き、忝く有難く御礼申し上げます。

縄文村の新聞取材何よりでした。私には印象深く感じられます。

現代の縄文人かもしれない私です。暮も正月も有りません。寒いと退屈するのみ、雪は嫌いですが、雪の何処にも見えぬ冬も怪しい眺めです。山蔭でしから短い日脚、痛む体が春暖を待ちます

平成八(1996)年 降矢86歳

拜年 福来 春來 とうとう不用意にも人生の八六頁を汚すことになりました。

もう二月になりますが、松本の研究会(「中部高地をとりまく中期の土偶」)が迫りましたですね。私の次女は松本より一駅離れた豊科ですが、昨四月新築完成祝に行く予定でしたが、とうとう一年経ちそうで、連れて行つて貰えぬと行けぬ身が残念です。もう一度安曇野に行きアルプスの山を眺めたいですが。先月二十日の雪は五センチ位で、初雪でしぶつく雨と風花が舞う丈の冬です。日本海側や東北は豪雪続ですが・・・今は農閑期ですが、日中は運動を兼て堆肥原料集や乾柴運び 春の準備で、雪が無いから続けている次第。

四人(木俣・安孫子・金子・滝川)私の便り保存には有難いと思いますが、一面は浅学不徳の私ですから、旧悪露見と云った気がします。揃って残し置れしは、全く穴があつたら入りたいとはこの事でせう。及第点に達せぬ答案を読まれている気が致します・・・

せう。私が七十年間に三度目ですね。季節ごとに多忙な事と存じます。半年間の乾季が終り、是から雨期といった天候に関東は入るでせうか。二月は農閑期ですが、三月半ばより農耕開始ですが、遅れそうな予想です・・・

週に一回(金)出張の診療所で、外科医の来るときは注射をしますが、服薬は三年ですが年々強まる一方です。家居していると、夜半眠れず、暇はあるが気力は無くなります。脳細胞も減ってきたでせう。

一〇〇才迄として十四年です。七人兄弟ですが(存命は)兄と二人丈で、兄は九二才です。負けたくないですね。私の生きがいはいは孫の成長を一年でも長く見ることです。私も子供の教育費は大変でした。今度は倅の番です。嫁も今年は町へ勤めに通いだし、日中家は留守で、休日は用事です。

金子さん一行雲南視察で、南支からインドシナで作れば西原でも穫れるトウジンビエ、作らね理由判りました。彼地が眞の米の国で、一年中稲が穫れる土地ですから不用だったでせう。賀曾利さんのインドシナ紀行を再読して判明です。私がモロコシと同一栽培は偶然でせう。モロコシも生れはアフリカの由です。・・・。

又、安孫子さんにお願ひがあります。急がないで暇の折に、昨年九月私の最後の作柄を撮って戴いた写真でトウジンビエと私の写るもの、栗畑の近くの杉の木の根元で、二人で話した折の私の姿と、十月(埋文センター)再訪の折、木俣さんと二人でベンチ腰掛しているもの、都合三枚三部位 願ひのみで恐縮です。 遠い農友や雅友に折があつたら送りたいのです。

293

(2/27) 雪雪で かまくらのごと 犬のこや

・・・結構日脚は伸びたのに、寒は厳しく、農閑とはいえ閉口でした。私の部屋は電機炬燵のみで、戸外より五〇六度暖ですが、日中も四度、夜は一〇度で、戸外は一六〇七度でせう。

「たまのよこやま」発行早々お送り戴き、有難き事とお礼申し上げます。特に庭園の四季は、私を対象の事で感激しています。

知つての如く七割の輸入食で本年の稲は減反の時代、時代に逆行した私で、全く恥ずかしい生涯です。それでも杖に縋つても自力で有りたいですね。寒さに弱く、室内が七度位にならぬと腕もシビレ、お礼遅れました。雑穀をまだ送りたい処もあるが、本当に冬眠状態です。二日程日が出ましたが、夜又雪が降り、春雪か雨も交えたようで三〇四センチ位積り、廿六日は曇で夜はまた降りそうです。 雛を飾つたが梅も開かず。

次に、私の生甲斐の孫も大学、高校へ合格しました。親は大変です。倅夫婦も仲々で嫁も町に勤めに通い、日中は老夫婦といふことで、末の小五になった女の子が下校迄は電話用無し。それでも西原では羨望の家です。

金子さんは全く三面六臂の観音さまですね。器と稲と料理 独創的な飾りつけ敬服するのみ、栄のトルフィーを獲得なされ、祝賀申上げたいですね。

木俣さんにはまだご無沙汰のままです。・・・これからの天候と私の体調はどうなることか？

294

(3/2) 畑のみち 春が来ている 露の臺

廿九日 半月振りに妻と山畑へ囲大根・ホウレン草を取に行き、露の臺を得て早速味噌

で旬の味を楽しみました。日脚の伸と暖かさで残雪も解けます。私も玉葱、葱苗はだめです。エンドウもやられました。 昨年三月早々に補種したらよかったです。春が遅い山蔭の土地はだめですね。

テレビで南房を見ました。花が咲き菜の花へ蜜蜂が群がっています。・・・都合がつけば五月半ばが好季です。 浅学、清貧、弱身、今春は何処まで気力戻るやら

295

(3/5?) (送られた蒟蒻玉に添付) 西原で生玉から作るのは十月か十一月から三月迄、それからは粉(西原農協でも半年ある)。蒟蒻も古い時代のもので、里芋の如く煮て食べたでせう。南方系と思います。今も南支方面から自然生のものが干され(荒粉)で輸入されています。

296

(3/11) またの雪 欠伸かみしめ 刻すう

二月の雪で半月雪に閉じ込められ、・・・雛節句が寒が戻り、。再度冬です。運動不足と持病の痛さで弱ります。 退屈ですから、節煙のため刻を併用しています。 政治も経済も騒然らしいが、今回の小地震は大月・河口湖・山中湖が深度5、当方は4位で、5の処は多少被害が有たそうです。

・・・越冬の葱苗・エンドウ・玉葱はだめです。それでもノラボウは元氣です。八日の雪は5センチ、後が曇りでしたが解け、翌日は晴れて又寒し。

先日珍しく老友中川さんが床屋に来たらしく、貴重なる藜(あかぎ)の杖を寄贈にあずかる皿があり、久し振りに声を聞く。私と同様、足が痛む由。・・・数少ない戦前よりの句友で猿橋の方も家庭には恵まれず、この老友に「たまのよこやま」送りました。・・・

297

(3/27) 過ぎしこと 問われるつらさ 老いの身は

二月の雪で戸外出ず、半月過ぎたら衰えて了って気力なく、暖房のない部屋で寒く、日中でも四度が続き 七度にならぬと動けぬようです。 十八日暑い程で、この日梅が咲きました。でもまた寒くなり、暖になり、どうやら春ですね。 苦しみながら畑に出ますが はかどりません。 少しやれば疲れて、無気力です。 何といつても年齢でせいか? 杖に縋つても、人に頼りたくありませんことに努めています。 今夜十三夜です。 お詫びの便りを書きました。 (『雪虫』所収

「農の歳時記」校正) もう少し待つて下さい。 春は遅れました。 どうぞお体をお大切に

(4/16) (「略年譜」「農の歳時記」校正戻しに添えて)

遅れた春も彼岸より春めき 十八日は高温で、梅がやっと開花です。・・・妙な事ですが、自分は気温四度以下の時は戸外に出ず、七度以上になれば活動することが判りました。虫のようで 虫も適温になれば冬眠から目覚める。その温度は判りませんが、廿一日 24度の日に黄蝶が舞い出しました。

廿三日 露の臺の花が咲き、採りに行くと一匹蜜蜂と出逢いました。

廿一日午前 秋九月に黍の種を届けたお礼の晩に招かれた。

さんが、本年は粟・日本稗の種を貰いに例の民宿に来ました。

さんは上野原芦垣(旧甲東村)の方で、秋は郡内近代史研究会の人達と大勢でしたが、今回は一人でした。小平氏役所の教委勤め文化財保存担当で、徳川時代の建物を中心に資料館でも・・・として、そこをおふるさと村にして、一角の空地に、一畝位に昨年の黍と本年は粟、稗を加えたらしく、展示栽培でせうか。埋文センターに似る仕事といました。既に参観したとの様子でしたが、いずれ又再訪するでせう。先方では私の事を知っている様子で、当方説明不十分なんです。私の句を望み、どうも最後農人伝に書きたいらしく、今回テープレコーダーを置き、いろいろ問われまして、疲れたんです。安孫子さんたちと偶然似たことで、・・・。

次に廿一日は日当たりのよい処でカタクリの蕾の出で居るのを見ました。天候次第ですが、・・・十五日頃は咲くでせう。・・・

4-1日は細雨終日。今日は雨が雪に変わり、山は白くなりましたが、里は積もらず。三日晴れ午后曇風花舞う。朝は厳しい寒さで冬の様で氷も厚く凍る。断片的になりました。書出して一週間です。日記のような便りです。

東京の雀は桜の花の蜜を好み、花をチラシ落す。地方の雀はまだ知らぬ様子。然し鳥の名は知らぬが、西原では桜の蕾を喰う芽喰と呼ぶ鳥があり。今年はまだ調べる暇なし、花開は下旬でせう。

キヤベツ枯れ わずな咲く 畑となり

四月は異常の不順で弱ります。当方は梅が盛り、桜はまだです。鶯が何と十三日初鳴きでした。カタクリも八日は咲きましたが、群生地はどうなりましたか、訪ねてみません。大霜があり、真冬のような日も来ます。

昨年お越しの節は桜も咲き、カタクリも咲いていたんですね。二月の雪依頼、体は不調の上、天候も不順ですっかり無気力で、例年より遅れた農作業をなりゆき任せにつづけています。どうなるか考えず静かに暮らすつもりです。

只、急に思い出し、小麦は鳥の被害が無いようで、秋試作すれば良かったに、

春彼岸に隣畑の小麦を貰って、春植えにしました。完熟は遅れるでせうが、秋の試作の種をと思う次第。廿日小雨終日床の中です。

桜爛漫 陛下迎えて みよ栄え

例の山の桜満開の好日(「雪虫」表紙写真の日?) 桐原へ尊し陛下をお迎え

感無量の私です。遙か山かげで奉祝・・・

時に金子さん 突然お越し 畑で半日語る。里芋の種薯も蒔蒔も本年は寒にて

腐敗致し、結果は如何かと心配ものです。急ぐため二種の区別判定不十分です。

4-25夜 三日好日続で花に春が展開です。

きじは鳴いて 萌黄の山の 夏近し

山畑の傍に雉が来ました。廿三日 急激気温が上がり 晴天が続き 初夏の如き暑き日もあり、畑が乾燥して今春作ったものは発芽が悪く、二日は雨と予報でしたが僅か降たのみ。昨年のごとく雨が多いと思ったのは誤りか、全く今後どうなるか?

五月は雑穀を作る時期ですが、雨がないと発芽が悪いのに弱ります。

廿一日の催し、何よりだったですね。三日は庭園の蒔き付けの由。

里芋の種も蒔蒔 冬寒さか乾燥か腐敗して了ったんです。私の丈でなく、全般です。悪い種でした。結果が心配です。

孤独には慣れています。来る人も無し 行く処も無し 空虚な生活です。体調

も悪し 折に触れ木の芽・草採って食べています。清貧に育っているから美食

を好まず。生き残ったことは一面淋しいことですね。

連休は次男と二人の孫が帰り、五日それぞれへ・・・

木俣さんも廿一日は参加でしたね。段々親しくなり何よりです。来月ドイツからデンマークに行く由、日本というより世界的の権威者ですね。私とは遠くなりそうです。それにしても学徒の匂いの頃からの親交で妙な縁です。九月からインド留学だそうで、期間は知りません。きっとインドは二三回行ききました。その度土産を頂戴しています。

廿三日 陛下がご来県の日より好日高温で、桐原長寿館へご訪問の廿五日は私の桜満開でした。たしかに三日見ぬ間の桜かなで、金子さん一行に観桜を願ったんです。

五月に入ると低温で降りそうで小雨で、乾燥した畑は発芽が悪く、今日九日午前中の雨で助かりました。彼岸位に植たジャガ芋がやっと発芽です。玉蜀黍も春蒔たものは皆発芽不良で、鳥が掘るやら、三月からは猿も猪も来るようですが、夏頃までは食べるものも無く、姿を消すでせう。今後どんな天候が来るか？不順な天候に追い打ちのような如き有様です。

南瓜、トマトもこれから植ます。家族も減り、嫁も勤めに出て野菜の必要も減ります。雑穀の普及種の保持を本年で打ち切り、然し家居は退屈ですから畑で過ごします。私の運動場であり、慰安所と社交所かも知れません。工商立国時代になった日本に逆行して生きた百姓七〇年、青春時代から百姓を嫌った私で、広い天地ではばたきかった私です。全く過去の思い出したくない事ばかりです。

子供や孫に私の若い日の夢をかけているんです。

302 (5/17) つんつんと小麦穂を出し 若葉風 (試作の小麦の穂出しました)

不順の異常天候で百姓も弱ります。発芽不良と鳥が玉蜀黍を掘って発芽を更に悪くして、空畑になりそうです。

只今 南瓜・ナス・トマトを植る処、ジャガ芋は急に発芽し伸出しました。どうも私も体調は悪く、畑には行くが、仕事ははかどりません。昨年十月(埋文センター)記念に拾ってきたエゴの実がやっと発芽しました。生えないのかと思っていました。

木俣さんは世界の権威者になった様子、益々多忙でせう。来月はドイツ、デンマークへ行くという。期間は知りませんが、九月はインドへ留学の由、面談の出来る日は遙かになりました。

雑穀は多少作るが、普及も種保持も終わりました。本年は気軽に淡々として過します。畑に出ることが私の生活で、運動、遊び、社交も畑ですが、訪れる人も減り、家居すれば退屈で、生き残ることも淋しいことです。

303 (5/23) 五月は平年並みの日は僅で、発芽や成育不良のものばかり・・・十五日位は遅れているでせう。花が咲く頃は梅雨入ですが、低温と湿りが乏しいので、私の畑は堅く、耕すに大変です。腕や腰は痛し、鋤を使うも嫌になりました。杉の花粉は少ないが、視力は悪いです・・・苦痛ですが畑で暮らしている私です。

父が死んだのは廿四才時で看取りもせず、三日目で死にました。その頃から失

意と困難がはじまりました。宿命か天意か、過去の事は思い出したくないことばかりです。

老人ですが、いつも前進しか考えません。故 T M さんのネパールの玉蜀黍試作二年目、春試作の小麦二つが成績好しです。

304 (5/27) 今年はどうにか竹藪に行きました。少し遅く 筍大きくなり過ぎたがご笑味ください。古い夏小豆 食べるかどうか？拙宅で何もあり、消費

する暇のないのです。ここ二三日に初夏らしくなりましたが、雨がなく乾いて、作物は発芽も意の如くならず、鳥は暴れ 空畑になりそうです。

305 (6/19) つばめの仔 巣へ戻るか 明日も又 (夕方まで若い燕飛び交う)

庭園のエゴの花がそろそろ咲くでせう。昨十月の感激の心の記念のエゴの実が五本生えました。見守っています。

異常の天候と照りに弱い私の畑は、全く良好な作物は無く、野菜も駄目で、年々粗放農業と申せ 張合いもなく、気力もよく出ません。暑さに弱いので、六月初旬の暑さにもう負けて、体調も悪く、畑から戻ると疲れて読書する元気もありません・・・

今も二月の涸水期と同じで、川の水は減水です。

306 (6/27) 急に世間離れの私にも新時代を感じます。まず輸入食七割で、お茶をあまり飲まず、子供から大人までカン入飲み物が流行で、まだ飲用水はないでせうが。野菜は違っても、流しの八百屋が三日置きに来る。メロン、スイカ、胡瓜、ナス、南瓜、キャベツなんて持つてきて、食膳にもう旬の味は判らない。私も野菜作っては身が入りません。

冬から雨不足で畑はカラカラで作っても芽生えず 植られず、六月ご入来の畑の有様ですが、それで不思議と紅花ははじめて成績で一メートル五〇はあり、又、ネパールの玉蜀黍 驚く好成绩で、自然といふものの不思議を感じます。

6/18日 雨の予報 名みの雨 19日は快晴 強風が吹き荒て、玉蜀黍、馬鈴薯倒伏、起こした事は仇かもしれず。24日 農友がサツマ苗の余りを二〇本有 難く戴き、瓶で水を注ぎさす。もう遅いで出来ないかも知れぬサツマ薯ですが、細くても穫ると二〇本です。是もどうなる結果、偶然とはいえ、人の親切と自然です。その夜何月振りかで雨だれの落ちる雨が降り、翌25日 庭に水が溜まる。渇水した川もきつと増水でせう。終日好い気分でした。畑は珍しくよ

く湿り、穂もろこしを妻と植ました。暑い天気でした。一夜で作物は生気を取り戻し 伸び出したようで、私も元気がでました。不揃いの作物もどうにか実が穫れるでせう。

本年は五月末から六月初旬に鳴く松蟬（春蟬）が鳴かず、蝶や蜂、害虫も少ないが、冬の越冬に死んだのか、雨不足のためか。是も珍しく初夏鳥 時鳥は鳴くが、カッコウージヒシン（西原の呼び名？）は鳴かず。ただし小麦にはかからぬと思ひし雀が荒し、FM氏は網を張る。その雀の群は、本年巢立たた奴かと思ひます。鳩は昔からかかりますが、秋小麦を作る事は嫌になりました。是より本格の梅雨入り、八月上旬までの雨期かしら？

やつとインキや便箋が入手でき 不便ですが煙草屋も遠い。人に頼むので時にはなくなり、刻の粉を詰めて吸う 侘しさもあるが、考えてみると豊富過ぎるより不足することもある難さが身にしみる。

本年はトウジンビエやシコクビエの発芽が失敗し、トウジンビエは追蒔きしたから鳥にやられ、天意でせうか、四年目は僅しか植られず。粟・黍は発芽が悪く、黍は間引きして植てみようかと考えています。結果は好いとは思いませんが。私のマスコットは太陽と土でせうか。それでも真夏の太陽は逃避で、これからは雨と日盛りは家居多いのです。

それで甚だ恐入りますが、私のお願いをご多忙とは存じますが、学研の古代史シリーズの『10人の卑弥呼がいた』と『謎の東北王国 三内丸山』の二冊を読みたいでせう。本年は 書籍代は使わずあるんです。送料も含めて同封の五千元で足りると思います。お願い兼て

307
(7/5) 七月になりました。秋作（稲を加え）雑穀は夏至から十日位迄に植付・蒔付も終了せねばなりません。

週一回（金）に診療所に町立病院より医師出張で、私も久しく通っていて、外科医月二回でその都度注射を貰います。独りで行けたら週一回位町立に通いたいですが、それがむずかしい体で、最近ほ町立に眼科もあるんです。

「たまのよこやま」「展示解説 多摩のむら」はまた有難し、厚く御礼申し上げます。・・・

次に、僅九年位の親交で私のため句集を編集して下さること、有難いですが、最 木俣さんはまだ学生の句があった頃で、今は日本の権威者になられました。よく丹念に保存されたものです。二十年位になりませう。ともあれ句集のことはすこしの間ご容赦してください。・・・最近ほ頭の細胞の減じたか、記憶と思考力も悪く、軽いメマイもあり、時には不眠症であり、百姓ももうほ

どほどで周囲の者に厄介をかけぬことも第一と思ひます。西原は短命の土地ですが、男性では生き残つて三位ですから、自重したいとも考えます。―七月お盆です。何やらこころ忙しさも加ります。

308
(7/12) ・・・7日から三日間の雨は降つたりやんだりで、休養したら何もできない状態でした。雨量も増水迄はだめでした。

今やつと先日戴た「多摩のよこやま」と「多摩のむら」に眼を通しました。生きていると欲張りなもので、又、庭園を訪れたい気がします。

面倒な書籍購入迄お願いし、身勝手に恥ずかしく思ひますが、早速ご送付お礼申します。八月は暑いので炎天ではとても畑仕事は無理ですから、日蔭で退屈しのぎに見ようと予定でした。然し今の私の意欲では読むかどうか？

こうした縄文時代の一端を知ろうと考えた訳は、安孫子さんと出逢つて遺跡や出土品のことを学んだからで、私の晩年の進歩なんです。

浅学の私も木俣さんや安孫子さん達にもっと早く出逢たら良かったんです。きつと私も変たかも知れませんが。もう知ろうとしても学ぼうとしても老化して駄目です。又もつと私の全貌が判たでせう。知たのは私の晩年の一隅でせうと思ひます。

木俣さんにもご無沙汰してゐて、元気で帰国の由、よく成果を得られたと思ひます。異常気候と鳥達の被害と私の老化で散々な年ですから、思う半分も実行できません。

紅花 七月三日開花はじめ、七日僅花を摘採る。どうしたものか又開花期は雨で、雨中花盛りでせう。 成育盛りの良いネパールの玉蜀黍試作二年目 今台風はそれたので、本年は試食できるでせう。只今出穂で、八月中旬は収穫になる予想。御入所の折に出穂した洋種の方は、七月下旬収穫で、孫が休暇頃とは思つてゐます。ぼつぼつ私の野菜も出回ります。平年より半月は遅れるでせう。

309
(7/12) 海の日も 山のはたけで ジャガを掘る（暑中見舞い）

公私ご多忙の処を、木俣さんの処へ三人ともお出掛け 私の句集に付きご協議なされた御様子 誠に忝し。私の方は仲々意に添えずお詫び申します。

手紙にては選句も誤字の訂正も今の時分ではむずかしく、面談の上なら楽なんです。

暑さに負け、体調も元気もないのです。三〇度超えると炎天では何もやれず、今夏は三七度（日中）位の日もあります。―盛夏の候 ご自愛の程をお祈りします。

廿七日 中川さんの新築完成祝なれど 当日は家庭の都合で四五日留守不滞。廿一日に珍しく中川さん宅を訪問、祝意を表し三時間程。実に宅地は広く、立派に完成しました。中川さんも元氣ですが、病身の故か私の如く覇氣に乏しい。

310

(7/22) 自炊が危険で、七月末の四五日 町の団地に住む長女の処へ預けられ、帰宅すると翌日から夕立や俄雨が、午後は毎日で困りました。キヤルコーン は出来ているし、急で知人や子供に発送で・・・黍やトウモロコシも出穂していました。トウジンビエも遅蒔きですが、穂が出ていました。

八日 金子さんが沢山の心尽しの数々を恵與なされました。中に陶淵明の詩集もあり、

勉強を促された次第です。 若い日 漢詩にも興味を持ったことは有りました。中川さん 7/27 (土) に新築完成祝をしました(火祭りです)。この祝をして新居移ります。疲れたでせう。三日後には立川共済へ行った様子。 私も体調は悪く、服薬・塗薬・貼薬ですが若さは戻れず、頭も衰えきたようです。防除の網 どこまで晴れるか、天意に従うのみです。

私の為に句集 皆で苦心して下さって有難いことです。特に公私ご多用の皆さん 評議して戴き汗顔 申訳有りません。―八月お盆です。そつちもこつちも心忙しいが思う丈です。 そろそろネパールの玉蜀黍もできそうです。

311

(8/13) 「植物の世界」お礼申し上げます。

在宅中にとネパールトウモロコシ御笑味ください。穀は三米も有り、房の小さなにあき

れました。例の通り金子・滝川さんも含みました。ご面倒を乞う 南瓜も一ケずつにて

312

(8/18) まずかろと 知らねで作りし とうもろこし

二年がかりで試作のネパールの玉蜀黍 期待はずれで飛んだ失礼しました。楽しみにしていただけ がっかりです。ご帰省前にと大急ぎで発送したんです。木俣さんにも出発前と翌日発送。九月早々の出発で、来年の六月頃の帰国の予定との事、先年来朝の折に木俣さんと来宅したシタラム博士の大学で勉強との事です。土産話を楽しみにしています。

私のお盆は平凡でした。安孫子さんからの「植物の世界」、金子さんからの「陶淵明 漢詩、滝川さんからの「農業誌」 涼風に吹かれて日蔭で読ました。八六才の老人の勉強です。第三者から見ると妙な変人でせう。

313

(8/29)

防除網張りは暑いときはとても耐らぬので涼しい時間長くかかりました。無肥栽培でしたがバカにのびて脚(脚立?)を持ち歩き張、その折は雀の群が実入りだした穂先をつつき出していました。何しろ竹の支柱を運ぶさえ大変なこと。 日中はソバを作りで、木俣さんが出発準備中に三種類大量に送ってくれました。いずれも早生系らしく忙しいので説明ありませんが、私からお願いでした。私もソバ作りも最後でせう。暑い時ですし、毎年乾燥期です。 本年は馬鈴薯の後作とキヤルコーンの後作で不整地作ですが、雑草除き 穀やゴミを除き僅しか作れず、二十四日にやつと終了しました。ソバは天候次第の作物で、霜が早いと駄目だし、早蒔しても台風で倒伏しても駄目だし、運任せの作物なんです。ここへ来ると一日を争います。 大根は後にして、是からです。粟は出穂中でいづれ又網張です。白菜は苗植えて蒔いて置きます。兎も角関東は渇水の年でいつもの流は二月頃の水枯れの有様です。畑も一週間照るとカラカラで、瑞々しい野菜は採れません。 ―ところで里芋と蒟蒻の成績は如何です。悪い種薯でしたから?・・・―異常気象で渇水時代と冬の寒さか渇水のため、蟬・蜂・蝶の虫類のすくなく、春蟬は鳴かず、熊蜂来ず、日暮、ミンミンも僅しか鳴かず。狐狸は稀になり、猪・猿で、鳥類は荒します。雀の群が早々黍に来ました。穂もろこし、トウジンビエは喰われきるか? (何日か思いながらかかった便り 久し振りで雨で休養)

私の句集に対し 御多忙中をたいへん配慮下され、私自身は氣力もなくお詫びします。 私は若い頃は文学青年で、短歌の方で同人誌に(いろいろ)参加して、県下の歌友雅友は沢山ありました。詩も好きで、土井晩翠先生を敬慕し、私の処世訓を戴き、今も使っています。『強く正しく 朗に』左は愛用の判です。語ったことは無かったでせう。歌稿も整理し、沢山の同人誌も揃へ歌集も作るはずでした。歌は農民歌人が好で、師事を仰いだ歌人もあり、関係のもの焼けて了ったんです。宿命に反抗した故だったかも知れず。 漢詩を心がけた事もあり、郷土史に熱くなったり。

314

(9/4)

昨年御厚志(に)より十月学芸大実習地で花盛り蕎麦(を見学し)、試作したいと考え、その後 木俣さんにお願ひした蕎麦種を、私も今年が最後だろうと、玉蜀黍と馬鈴薯畑の後作として 炎晝も蕎麦作り不整地蒔と雀のかかった黍の網張りを両方を併せて致したら、疲れと暑で体調が崩れました。幸に蕎麦が終った8/25頃より天候がぐずつき、いつも遅れた秋蕎麦の発芽が良くこの分では霜が遅れたら上作に行くでせう。暑さで一部は予定より五―六

日遅れたものもあり、大根の方は雨があつてから作り 例年より矢張り五―六日遅れました。 フラフラの体ですから、人並みの半分もできません。雨があつてからは休養しますが、何の元氣もなく、時折煙草を吸てみる有様です。遅れた粟は穂が揃い、是から又、野沢菜 カラシ菜 ほうれん草など作りながら網張です。休み休みでない足腰が痛むので続きません。雑穀作りは無理になりました。―春から鳥類が荒れますが けもの類は珍しく姿がありません。狐狸の防除は行ったが用無しでした。

宿根蕎麦は・・・―照りで弱った里芋も回復しました。・・・十月半頃はご都合して、芋掘りに来て下さい。今から待っています。馬鈴薯 後作に大根を作り、今年も掘り残し薯が沢山です。昨年通り 20 キロ位は菜類を作ればなるでせう。百姓の是が余徳でせう。

金子さんよりトウジンビエ試作の成績写真見事です（成熟したら鳥にやられた）。陶芸の方に精進しているでせう。陶淵明の詩集はむずかしいですよ。世間離をした生活で、土地にある出来事も判らなくなりました。お盆もお祭りも私にはありません。敬老会にも出ず、只年に一度の十月のふるさと祭りには見に行きたい。それは 文藝 手芸 俳句 画 活花等の展示があるのを見たいです。九月は秋祭りが町から地区から 昔から盛なんです。

315 (9/20) 背のびして どうかこうかと 黍へ網

九月は秋祭りが続きますが、私には関係が無いが、何やら侘しいですね。

14・15日は一宮の祭りで小学の運動会もあり、22・23は田和の祭りで、10・6 地区の敬老会 10/12・13 西原のふるさと祭りです。

硬種粉用の玉蜀黍は上作 収穫しましたが、9/19 黍で、トウジンビエや穂もろこしも被害で駄目、シコクビエは十月半ばでせう。春から鳥の被害ですが、けもの類は僅の如くです。涼しさが例年より早いですね。蕎麦作りで大根・白菜・五―六日遅れて造りました。

私は二〇―二五度が適温で、是から十一月半迄は凌ぎよい季節ですが、矢張り年齢からか百姓は無理で、疲れると何の意欲も有りません。

316 (10/2) 芋月の (15夜) 雨後の夜半 皓皓と (横書きの便り)

9/27 午前快晴・・・夜半は晴 中天に月有り 気温 6―7 度 寒いので少し眺めて終る。夜露で光って美しかった。

雑穀は雀群と水分不足あつた如く、収穫皆無。雑穀の残骸を始末は張り合い無しです。硬種玉蜀黍は上作で収穫完了。惜しいのは蕎麦 花盛中を台風で倒

伏したこと。

木俣さん インドより 9/25 第一報ありました。廿日程大学で、今度は方々を旅する様子 きつと成果があるでせう。帰国を楽しみ(にし)ませう。

老生は老化が強まり、動作は鈍くなりました。月見に里芋・甘藷を初掘りして供えました。是は上作。大根・白菜遅いが成績好く、他に蕪、ノラボウ、野沢菜、ほうれん草、カラシ菜で発芽上々です。年々自家用は減りますが、あまります。●月以來 訪れる人なく、観賞用慈姑成績好いが、来年への保存(の仕方が)不明で閉口です。

317 (10/16) 天候には弱りました。収穫した物を稲架にかけたままで脱穀もできず、仕事は進まず、それに体は老化するばかりなんです。もう百姓を止め

たほうがよいのでせう。百姓をして書いたものなどの整理は無理で、暇があつても若い頃とは違い、手紙を書くが精一杯で、視力も能力も限界でせう。

10/12 雨の夜を祭りの前夜祭の川の兩岸 川下までつく行灯の灯を慕って行きました。杖を頼りですから傘を被れず、幸い小雨でした。幽玄といふか幻影か、川面に映じて流れている闇ですから 特に良かったです。帰途、雨激しく、スタンド(給油所)の前で祭へ参加の町の神輿が練りだす処に遭いました。是も雨の中の夜ですから神秘的でした。13日 祭の当日も行きました。天候は晴れでしたが、例年より祭は低調になりました。10/9 半年ぶりに OM さんが来宅、試作の慈姑を写真に撮って貰えました。霜に遭えば駄目ですから是で安心しました。拙宅では越冬させる方法が問題です。

九日ソバ刈り始め日です。宿根ソバは花盛りになる処です。平年は十月中に霜が来ますが本年はいつになることか。

318 (10/23) 十九日は好日でした。ご忙殺の処を御入来感謝します。・・・心の通う畏友と語ると、自分の事のみ申し上げて誠に申し訳なく、―毎日妻と会話のみにて珍しいこともなく、退屈しているためであり、多弁になるんですね。本年の収穫の秋が御覧の通りで、徒労に終わりました。これが百姓の実体でせうが。

知つての通り元氣ですが、体の方が駄目で、頑張つてもどうにもなりません。若返る訳には無理ですね。

晴日が来て仕事も段々減りますが、乾柴刈りが問題です。蒔蒔にはどうしても柴が必要です。・・・急に短日を感じます。霜も間近でせう。

二十日投票に妻と行き、帰りに祭りの後の川辺を久し振りに歩き、知人の家に

茶呑に寄り、午前中は遊びました。老夫婦の西原では最高齢です。故に連れだつて投票に行きました。倅せということでしょう。十九日より雨が多く、午後は軒下で玉蜀黍の脱穀を少し行う二十日の私です。

319 (10/29) 初霜の 黍粟がらへ 薄すらと

初霜が廿七日にとうとう降りました。

「たまのよこやま」有難く頂戴致します。縄文土器作り、乾きはいいでせうが、焼のは夏で大変ですね。——中川さん元気で新居移られてる由ですが、細君の亡きことは侘しいでせう。大根も菜類も美味はこれからですね。旬の味がいいです。私の好物の和菊の中輪が咲きました。毎天天ぶらや酢漬を楽しみます。見ることもより食べることもいいです。ソバも脱穀してみると五分作です。——感受性が強いためでせうか、平穏な気候ならいいが、地震や強風の折は前もって体に障り、近頃特にひどく、特に初霜の時は伏す程です。霜の後は天候も崩れることが多く、焦っているが体調はだめです。老夫婦の百姓は年とともに低下するのみです。

植林時代は秋田杉、木曽の桧、京都の北山杉の視察を思い、続て屋久島の縄文杉、白神山地のブナ林に、次には雑穀の起源地に変わりました。現在は三内丸山や中国の長江文明を追う私になり、テレビ、新聞で新しく出土品や遺跡について読むことが楽しく、一度も接したことのない砂漠の幻影はないのです。寒くなると二月に菜の花 桃の花咲く房州や伊豆を憶えます。生きている間は夢を追いつける私でせう。二八日は雨、近所の菊花見に半日でした。

320 (11/12) (水ぬれ汚れ・・・読めるところだけ)・・・多雨の秋 晴天は少なく、

収穫したものも乾かず・・・稲架に架けたままです。あれから忙しい毎日でしょう・・・掘れず、約束の蒟蒻も掘れません。軒下で・・・脱穀して一部製粉所に依頼しました・・・冬は間近ですが、全く・・・一回で晴れると毎朝でせう。十一月まだ寒くも耐え・・・月末からは寒さで虫の如く冬眠ですね。三内丸山や長江遺跡の追求でもしてみたいが、そんな元気もなく・・・文化も崩壊期に入った気もしますが、短日で夜が長く・・・もあります。老人は孤独ですから・・・久し振りでペンを執りました。

321 (11/26) 晴日の乏しい秋で、まだ畑の稲架に架けたままのものもあります。

僅な里芋の種薯をやつと埋めましたが、寒で痛んで又失敗かと心配です。雨で秋野菜は腐りますが、私は今年としては珍しい出来栄で白菜収穫です。一

日位の照りで翌日しぐれて乾かずです。蒟蒻を掘る日もなし、軒下で玉蜀黍脱穀や種もの整理などで、雨読といった気にもなれず、隠棲の身ですから、友の事をなつかしんだり、悠々した気分にもなり切れません。

11/23 曇 24晴です。去る17(火)に中川さんで法要があり、久々で新居に送り迎えて行きました。約二時間でした。四五年ぶりの方ばかりで、話は尽きませんが、二時に帰宅。何しろ知つての体で、日没前でないと寒くなりますので。中川さんも足は痛そうでした。

322 (12/1) 秋しぐれ 炬燵で猪の 話など

蒟蒻やつと掘りました。お暇の折、蒟蒻を造り(加工)して、それをやつてください。他の人は作れぬでせうから。猶十一月頃から年内は球が充実していて味が良いので、年が明けると本格的味が落ち、乾燥した粉製品と大差が無いと思います。

(柚) 木は随分大きく元気もいいが、二年続け柚は一つもならず、夏の照りか？ 柿は降りらしい。貧しい土地ですね。

本年は 雑穀は収穫無しで、何も送れません。例のネパールの玉蜀黍製粉しました。長寿館に玉蜀黍粉出荷しましたので 一部をご笑味して下さい。小麦粉か米の粉に三割位入れて、餅、まんじゅうか、薄焼でどうぞ。粥に少量渉入れてもいいでせう。何しろ穀類では世界で三位の由。冬至用の南瓜も加えました。食することが出来るかどうか？

11/28 青山学院女子短大AO元教授、五月に分譲(して以来音沙汰なし)の種の成果を持参。バスで短日ですので一時間話しました。誰も忙しいのでせう。誠実に敬服しました。

一日朝 室内五度で、戸外は四―五度低いです。十時頃迄は動けません。雪が来ないので助かりましたが、水が凍り、仕事は山積ですがもう駄目です。

323 (12/23) 今年こそ 今年こそとて 年終る

冬至になりましたね。私は毎年冬至の落日を見守り、年の最終日とします。今日も眺めながら、どうにか一年過ごせたことに感謝して独り感無量になり、涙がでました。

こうして一年無事だったことは、安孫子さんたちの厚い真心だと感謝しています。来る年もどうぞよろしくお願いします。

私は歩行が大変になりました。近頃の朝の室内は四度寒に弱いので着物を替え、六―七度にならないと仕事は駄目です。明日が私の元旦です。明日は初日

を押します。

平成九(1997)年 降矢87歳

324 (1/1) 恙なく 初日拝して 老いの倖 (年賀状)

325 (1/4) 門松の 松伐る山へ 孫も来し

寒いけれど 今日は日中 穏やかでした。歳末特にご多忙中を 今年も(高幡不動尊) 暦を御恵與下され、お礼申し上げます。中川さんには正月になってから届けます。 やっと年賀状書き上げて 今宵はヤレヤレという処です。

朝七時頃は部屋が三・四度でして、十時頃 五・六度で山着に着替えて日向の山畑です。

時代にも副えず 工商立国時代 激動の世 何か不安を感じます。正月は南西の日向で 日を楽しみます。

326 (1/9) 良き年を迎えられたと存じます。松の七日も終わりました。雪のない正月

でした。山並に雪の見ぬのも正月らしくありませんが、私は救われました。五日

寒の入りに突如二時頃より雪が本格に振り出し、翌朝止み、約二〇センチ。寒し雪は豊年の吉兆ですが、北面は根雪となり三月頃迄残ります。

雪が怖い私は、暮から正月も痛む体を使いました。耕土は浅いしや瘦地ですから駄目ですが、猪が荒さなかつた山芋を掘り。正月二日は暖でしたから人參掘り。次に、

暮の廿日 木の裏側になっていたのを発見しました。ならないと思っていたのです

が、夏の日照りで裏側になったのでせうか? 採ってみると例年の十一月頃のようにで

熟していませんで、極く小さいんです。冬至は過ぎたが風呂にでも入れて使つて下

さい。私は柚味噌や柚子湯 砂糖漬に使いますが、堅いし味も悪いんです。なにもか

も主人に似て 厄介者なんではせう。

沢山あるは大根やジャガ芋だけです。雑穀は駄目だし。秋小麦を少し作り、五

十年振りか ライ麦を作る。是は以前食べましたが、今度は緑肥用に試作です。四

327 (1/13) 雪ごもり 干魚かみしめ 友恋し

前の坂道は私には難所で 雪後五日目に降りました。過疎化が強められたためか、正

月も年々淋しく、子女の楽しむ小正月の行事も消ようとしている 新時代になりました。

孫七山のSさんの事は憧れで現実の私には及ばず 空虚な身にはうらやましいこと

で、私には夢ですね。庭先や一寸日辺りの悪い所は雪です。野菜畑まで雪を掃き昨

十二日午後より仕事です。午前中は家で蠢いています。五・六度にならぬと冬眠状態

です。

328 (1/31) 廿日ぶりで雨から雪が降りました。今度は10センチ位で 翌日は好天気

日向の雪は消えました。冬至から一ヶ月ですから、日脚の伸びが嬉しいですね。先の

雪は北面の日蔭に根雪として残り、その上に又積たのです。今度は二日程で日向に出

掛けます。然し室内温度は厳しく〇度で一〇時頃五・六度です。

金子さんも食卓祭が間近で忙殺されていることとせう。山芋を送った際に準備してあ

った山葵漬 落してしまいました。味が悪いかも知れませんがご笑味ください。それか

ら僅ですが粟粳を送ります。是は粟飯用です。白米に三割位入れて、粟飯を食べ

(試食) ください。粟の粳はあまり作りません。私も好みではありませんが、今は

珍しがられています。二年分を併せ やつと精白量に達しました。最低七升なければ

精白出来ません。残りは長寿館に出荷です。ジャガ芋まだ味が変わらぬから、是も

入れます。

立春が迫りました。私も後四〇日経ると、暖さを感じませう。西原は立春を元旦に

すれば季節感に似ます。一ヶ月遅れか旧暦がいいです。寒くて季節が新暦では早すぎ

ます。

329 (2/21) 近頃、テレビで白峰村(滝川さんの出身地)の雪だるま祭り、秋田・横

手の雪でかまくらを造る。かまくらと好一對だった、感動しました。その他信州野

沢・山形の雪景 東北一帯や雪国温泉を雪国の人達は元気に活動している姿が、残り

ます。

一方南国は花で、菜の花に蜜蜂がむらがり、月曜の夜ははじめて館山の海を見まし

た。陸上ばかりか海上も春でした。

空風で越冬野菜は半枯 やつとさがした蒔の臺を半枯れ葱味噌。そんな折、流しの青

果物店はもう大きなナス、南瓜があり、南瓜はメキシコ産のようでした。七割輸入食

で残飯を出す国、山村では製材を街から運んで建築、妙な時代ですが、自然界は昔の

ままです。でも三月になれば、花粉は舞うでせう。

大小屋の隅に根雪は残っていますが、庭の日向の盆梅が三四輪咲きました。小雨があ

り、小雪があり、一進一退の早春 日脚の伸びが嬉しい。後一ヶ月で待った暖かさ

なるでせう。

330 (3/17) 室内温度が朝夕七—〇度になりました。「たまのよこやま」毎号有難う御座います。金子さんの祝賀会を三人で催されたこと 麗しい話で本当に羨望の三人です。私は暖になっても寝込みはしませんが、寒のために運動不足と、暖になれば花粉症かも知れません。

一月半ばは、戦前からの老友が他界して愕然としました。戦前からの友は後三人です。私は一番知っている方々なので、次二月は男性で一位だった老人も他界して、私は九〇に達せぬのに二位になりました。後輩の他界より心に來ますね。

・・・私の百姓になる頃に山桜を仕立てた記念木、ことは開花が早い由、いつ開くか？ 梅の花が盛りです。寒い折、句の整理と思いましたが駄目でした。もうし五年前でしたらと老衰が侘しい。

331 (3/29) (碌山美術館 萩原碌山 坑夫 写真絵葉書)

彼岸中 安曇野に行き、あきらめていた二女の新居を訪れ、十日間滞在でした。もう一度訪ねたい碌山美術館、雪のある北アルプスと再会。広い安曇野 山葵畑を終生の思い出に、美術館は笹村草人先生設計で新館には作品もあり、是で私の念願は叶えられた次第。暖になっても畑には段々無理です。カタクリに蕾が出ました。桜も早そうですね。

332 (4/17) 自然界は妙です。今春は桜の開花十日以上も早く、ところが染井系の桜は鳥の被害で花は疎らです。私の山桜もやられ、花はろくろく咲かず、然し遅咲きの白の山桜花は満開ですが、是は鳥がどうして喰わぬのか？

只今 岩つつじ(三つ葉つつじ)が美事で、こぶし又鉢の石楠花も好しく。体調は六年振りの旅の疲れが残り、暖くなればと思いましたが、花粉症も手伝わ

てだめです。帰宅してやつとジャガ芋を植え、里芋を植えました。生き残ったキャベツ、ノラボウも元気になりました。急激に春の展開で追いつけませんですね。今度玉蜀黍やインゲンです。僅やると疲れがきます。

訪れて呉れる人も便りを下さる方も無し、日中は妻と二人です。十一日 用事で倅と大月に日帰り 桂川溪谷 猿橋の雑木林は萌芽から若葉へ移ろう晩春で驚きました。きつと高尾から武甲の辺りも同様でせう。私の一番好景観ですが、新緑の頃は昔から百姓の季節ですから、この景色は旅したことが有りません。

今年には雑穀も作れません。けものは減りましたが、鳥の被害は防ぎようもなしです。

333 (4/30) 桜は十日以上開花が早かったが、四月も下旬から低温で心配した晩霜に被害がありました。山菜の季ですが、山菜迄霜害です。

健やかに子供さん巣立たれて、親鳥丈の家庭になった由。人生はそれが繰り返されるですね。私は二十五年前でした。幸い倅は戻り、後四五年経ると倅が子供に巣立たれたうので、山村は戻る子供は稀なんです。・・・木を植えることは懂れました。今は畑に行くさえ難渋になりました。生き残ることも侘しいものです。

里芋は例年並みに植えました。食べる人も無いでせうが、秋は掘りに都合して下さい。友人達とでも食べるように。少し畑にでると疲れて、老化とはこんなものでせう。

334 (5/14) 鯉のぼり 尾をふるごとく 青葉風

催しものは方々にあつた様子 四月の小菅の源流祭に車が激しく通りました。私は世捨人ですから、人目につかぬよう畑でした。老妻が風邪で半月、私独で畑ですが、私もやつと出掛ける体調で、それに雨が相変わらず乏しく、八日の強風は砂漠の風のようにでした。帰宅すると何の元氣もなく、八日夜から朝迄雨で、半日寝込んでいたら、カンカン照りでした。発芽は悪し、百姓が全く嫌になりました。時代に副えぬ老人は孤独です。

335 (6/10) 六月はまだ快晴の日もなく、それで僅に小雨や俄雨です。冬から雪も雨も乏しい年で、それ故か筈も不作でした。

近代化に副えず、旬なしに食膳に野菜は出るし、張り合いがない精か野菜の種類も僅にして作りました。氣力が衰えたということも体調が悪いからで、少しやれば疲れ、時々雨日もないので、床に半日は居ります。妻が風邪でなかなか元氣にならず、助手無し独りで耕作は駄目なものです。句も作れず、訪れる友もなく、長寿も侘しい。―当然なことなんです。

ジャガ芋の花が咲き出しました。花盛り頃は例年梅雨ですが、今年はこれからどんな天候か。金子さんも六月は田植えでせう。孫さんは何が生まれましたか。・・・六月は木俣さんも帰国でせう。・・・月に二回 診療所に外科医が来るので、注射をしますが、歩行段々難儀です。

336 (6/17) 雨期になりそうです。長い乾期でした。

珍しく小麦を作りました。黄ばみ出しました。ジャガ芋十五日試食 今年も上々の出来です。何しろ気候は遅れる奥郡内で紫陽花など七月半頃咲くでせう。五月廿五日 松蟬が鳴いた丈で、快晴でないとは蟬は鳴ぬらしい。老鶯はしきりと鳴き、時鳥も

やつとやってきました。

木俣さんがインドより五月廿七日付の手紙 六月十四日に戴く。中国經由にて六月末には帰国との事です。広く歩いた様子です。

337 (6/21) 雨なれど 友の恵や 桜ン坊

七号台風の最中でした。台風は雨量も僅、風も軽かったです。

若い日 初夏の山へ登り駒鳥の声を楽しんだことを追憶します。過去を振り返らぬ私
が、最近はともすれば追憶することが多くなりました。父の死は廿四才の七月で、父
の残し刻煙草を失意の中、吸又吸たのが煙草との縁でした。九月両切の十本入りのゴ
ールデンバットが巻煙草との出逢いです。今年信州で新装の二十本いりをなつかしく
求め、味は違うが時々吸っています。母の忌は六月で、六―七月と父母の忌月が続
きます。

338 (7/11) 茎立し 慈姑の今日は 花咲けり

西国は洪水 東国は渇水、梅雨中に三回の台風 汗疹や舐に眼縁はれ、冠雪は致し、
まだ休むことならぬ季節、散々です。秋に収穫へ期待は一つも有りません。

五六日 日暮蟬鳴く 後は絶え、雀も移動か姿なし。 照りの異変でせうか、嬉しいこ
とは二つ。箱に植えた慈姑が、十日花が咲く。台風後 畑に置いた小麦 九日に脱穀完
了。大豊作でした。十日 終日霧雨 梅雨の便り。

329 (7/22) 茎立し 慈姑花咲く 梅雨続く

梅雨が戻ってから気温も下り、日照りは終ったが、異常な夏で散々です。それに冬以
来体調も限界がきたのでせう。世間から遠ざかっている生活ですから静かです。 孫の
高校生が今夏は米国へ三週間行く様子。拙宅では米国行きは最初で、私は西原丈しか
知りません。

当方は八月盆です。その頃は不作ながらもご笑味を乞うものもできるでせう。 紫陽
花や合歓の花が盛りで、照りだして来たら蟬が少し鳴きます。

340 (8/10?) 慈姑咲く 暑さ戻りし 八月の空

・・・ やつと暑さが戻り三二・三度 夜も室内二七・八度です。
慈姑が好く咲き、実が出来ました。誰も訪れる人もなく 写真に撮っても戴けません。
畑の作柄やや持直しましたが、主人がだめなら矢張りだめです。

木俣さん帰国 一ヶ月ぶりで御芳信あり。長い留守したことが持ち帰ったものの整理
で多忙の様子。雀の群も餌場を替たか 僅しか居ません。山のけものは街の方へ行

った話ですが、玉蜀黍はすこし掛かりました。蟬も少ししか鳴かず、雨蛙も今年は鳴
きません。これから平年に戻るか。予報では冷夏らしいが、どうなることか。
コピーしませんから返却のものを少し御覧に入れませう。暇なら訂正の処があるん
です。 整理すればいろいろ有るんですが、もうすっかり気力も落しました。

341 (8/15) 気候の変化が激しいですね。十三日午後の夕立より涼しく、昨十四日は

終日霧雨で、重ね着したい有様です。 野菜も暑さや水分不足か、何も味が悪く失礼
なものばかりでした。 次に、終戦後の文化誌 コピーして送って戴き有難く思いま
す。まだ物資不足の頃のもの、その頃、県の文化人の集まりでした。私は、狐・河鹿
蛙・蝮・ウド等のたしか随筆を書きました。山村人としてです。

俳句は自由律で、二・三年で終り、その後は今の俳句を自分流で退屈しのぎに綴る次
第です。 何しろ学歴はないし、基本から学べるものがない私でして、いつもまとまっ
たものなしです。探せば約五十年間のものがあります、世に出すことも 後に残す
つもりもない私です。百姓も西原の皆好まない土地で 生涯抜けられない宿命に自分
を慰める一〇(?)の空白を埋めるためでした。

木俣さんには帰国一ヶ月以上になりますが、まだ便りを書きません。
暑と八月盆前は、疲れやら、又季節野菜作りにも追われて、九月頃に至らねば落着き
ません。 硬種(甲州)玉蜀黍はこれからです。雑穀作りも今年は止めてシコクビエ
丈です。是は鳥の防除の網をかける予定です。他は種丈でもと二・三少量作りました
が、もう来年は流石の私も百姓は続けられぬでせう。

慈姑の実がとれそうで、実蒔も可能かしら? 北海道の小豆を僅 六月に作りました
らもう収穫できます。普通の夏小豆と一緒に作りに、花が咲く処です。是は秋彼岸
頃収穫です。秋小豆は十月下旬です。大根・白菜は立秋より一週間過ぎです。

(埋文センター) 縄文土器の野焼 人気が高い様子、盛会を祈ります。

342 (8/29) 素枯れたる 慈姑佐しく 鎌を砥ぐ

ご忙殺の中をお出掛け(340 慈姑の写真撮) 思いも及ばぬ事でした。「縄文中期集
落の景観」論文、「北の縄文世界」等は、いづれ疲れが抜けたら拝読いたし度思いま
す。 不安定な天候と老化した体調 御覧の如き有様です。お礼もできず、痛み入り
ます。 全く三人に逢えるとは嬉しいことで、皆元氣そうで何よりで、久し振りで世
にでたような気がしました。十四日無事に帰宅されましたか。 あれから雑草除
きで、濡れていました。 遅れて今日 ソバ作りで、霜の遅れを祈るのみです。ま
だ大根や漬菜も作るですが、運まかせです。

町の夏祭で(長女宅に・・・) 四泊したら 慈姑すがれ了って残念です。

暑と皮膚が弱い精かアセモに苦しみ、涼しから出掛ると蚋や蚊にやられ、散々です。

343 (8/30) 百日紅が咲き 赤蜻蛉が訪れます。写真早速お送り戴、有難くお礼申し上げます。今年初めて撮って戴た次第です。良き本年の記念です。四五日留守したら

慈姑乾上で台無しでした。枯れ切った訳でないのに、種子は実が入るでせう。来年は元氣なら 実蒔する心算です。御多忙をほんとうに痛み入ります。

不安定な天候でやつと大根とソバを作りました。ソバ作れる場所はまだあるが遅いので終りにしました。木俣さんにはまだ手紙も書きません。

二百十日の厄日が近づきました。雑穀二百二十日迄に出穂しなければ実が入りません。夕立ちで里芋は持ち直したようですが、芋煮会の時代でもなく、芋掘りへはだめでせうね。

344 (9/17) 暑さから一転、秋冷になりました。秋雨―秋祭と休日続、やつと我に戻った気持です。残暑の照りでソバ・大根・菜類は発芽が悪く、畑一杯になりません。

六月の照り依頼、雀の群は餌場を替えたか僅残っているのみで、妙なもので九月下旬迄戻らねば、防除の網張不用です。進んだ作物、遅れた作物と異常気象は複雑で、甲州玉蜀黍(硬種粉用)完熟、半収穫。シコクビエも植付が遅れたが収穫は早そうです。苦しんだ汗疹もやつと治り、汗や眼ぶちを虫さされて視力が悪く、老妻も毎日

は手伝いが無理だし、自分も限界で、矢張り見るべき作物は出来なくなりました。休養五日目になりましたが、それが仇になるか。疲れか半病人といふ始末です。台風19号は無事通過、20号はどうだろう。

345 (9/27) 秋霖とでも申しませうか、十三日より秋雨となり、はじめは喜んでいましたが午後は急激の低温、足腰が痛むので難渋しています。二〇度以下になると寒です。八月中旬から九月上旬までの照りで、大根も菜類も発芽が悪く、再三種を蒔直たりしましたので揃いません。それでも自家用には足りるでせう。

多少細雨が降っても玉蜀黍を収穫して稲架にかけますが、雨よけ(屋根)を作るのが大変です。玉蜀黍は上作で、シコクビエも十月上旬収穫で、台風がこなければ倒伏しません。ソバ花盛り、是も倒伏せず。只一部は照で発芽せず徒労です。百姓は何年やつても天候次第です。全部満足した年はありません。

私も作物を作るより植林の方が好きで、木は年々育ちます。だが山村に生きて、好きな植林も植えたい程の自分の山はなし、百姓を始めた頃の記念樹が、柏が一本、山桜と檜が一本、七十年になると大木になりました。・・・

今年になって雨で休日が続いたのははじめて、低温で苦しんだ汗疹も治り、視力もどうにかよくなりました。・・・十五夜に里芋の試食で、例年の収穫期の如く実が入っていました。随分小粒です。戴いた論文やつと読みますが、私には難解です。縄文時代の勉強ですね。

346 (10/20) Yさん(チエコ出身の考古学者でイギリスに留学時にプラハの春事変が起き、祖国に帰れなくなり、米国に回って織物を研究しているときにEさんと知り合い日本に帰化。この当時は伊那・大鹿村に住んでいたが、その後、中川村に移住。ギリシャからヤギの毛を輸入してカーペットを織り、陶器を焼き、さらにストープ製作等で生計をたてている。私が埋文センターに従事するとき、縄文土器の事を知りたいと南瓜を土産に訪ねてくれて以来の親交)と対照的な面があるような気がします。Yさんは数奇的な運命に生きていますね。何だか渡来した縄文人のような気がします。きつと心豊かでせう。郷関を出たこともない私は、一面に憧れもあります。・・・

当方は快晴にて、十一・十二日のふるさと祭りは大当たりでした。私は鶴川を挟んだ前夜祭の長い行灯を見に、今年になり始めて夜道でした。翌日は年に一度人前に顔を出す私で、展示コーナーを見たいばかりに出掛けます。西原の文化のパロメーターが判るんです。車が多いから用心して行ってきます。来年は生きていてもだめかも知れず、見納めかと元氣を出して、独りで無事、戻りました。年寄りには周囲に迷惑をかけたはと注意します。

十一日午前中 末子がきたのを幸いに、是非行って見たい思っていた隣村小菅の松姫峠(千米位の峠で大月に連絡の道)に車で行きました。都留の山波が良いです。十五年振りでした。木木の育ったのに驚き、眺望に障りました。帰途、急激に変る小菅村を一周しました。多摩川の源流 温泉の開発見てきました。三時間の急行でした。良い保養でした。

347 (10/23) 快晴が続き、慈姑は枯れました。代わりに菊が咲き出しました。・・・十月廿日迄に里芋を残し、他の作物は収穫終了です。ソバは少し早い、鳥にやられぬうちと刈、稲架に架けました。例年なら初冬頃ですが、畑で干してある玉蜀黍を乾いているので、畑で木槌で叩き脱穀しています。いつまで続くかこの照り、まだ作りたい菜類があるが是ではだめでせう。

今更芋煮会も終わりで、里芋も必要ないでせう。十一月下旬 蒟蒻でも送りたい考えです。なにか雑穀の粉でも添えてやりたいです。晴天続きで取上げから脱穀迄続けてやることも珍しい年です。廿日ソバを刈っていたら、黄色い蝶がむつまひ合で舞っていました。五千年前のコメ粒が黄河流域に在った由ですね。

(11/7) 紅葉の盛りです。鳥海山麓の広大土地にSさんの健闘に驚きました。私も若い日に似た夢を・・・「たまのよこやま」有難くお礼申します。 畠ジャーナル・インタビュー素晴らしく、十年前とは格段さがあって、貫禄があつて、大成のタイプになりましたね(これは木俣さんのこと?)・・・晴日続きで畑の稲架に干したのも乾き、取入れ終り、十一月一日。三日最後の里芋種穴を掘り貯えました。妻も私も急に老化して、何をしてもはかどりません。種子島から三万年前の生活跡が出土したといふ。中国から五千年前の米が出たといふ。五―六千年前に自然のものを採集した外植えて食するものがあつた気がします。縄文人に付き勉強してみたいが、老て及ばず。スマトラでは雨期に入らねば山火事が消えぬという。私には不思議に想うことばかりです。

(11/20) 晩秋から初冬に移り、快晴になったら木枯しが吹き。十九日の朝は室内が七度で戸外は雪の如き霜でした。 短日、夜長ですが、皆さんお元気で毎日 お忙しくと存じます。

蒟蒻を掘りました。金子さん、滝川さんにもご面倒でもお願いします。柿は照りで不作ですが、柚はなりました。少し早いようですが、三ケずついれました。小豆、是もよろしく。

秋小豆脱穀しました。暇にならねば精選出来ません。今シコクビエの雑穀丈ですが、臼も機械も老夫婦は使えず、縄文人が石で精白する如く、シートの上で木槌でたたきます。体調は依然すぐれず、製粉所へ運べず、玉蜀黍・ソバ等 十二月中には製粉を何か送れませう。

いつも面倒をお掛けします。来る人も行く処もなく、人間時には人と語り合いたい。老妻あるんですが

(11/21) 頬冠り 腰をかがめて 落葉掃く

廿日は県民の日で晝より冷雨で炬燵です。 今縄文人として、又粗末なものを送りました。 今日も霧雨です。寒(い)と元気がありません。 落葉がはげしく初冬です。金子さん・滝川さんにもよろしくお伝え下さい。 七日 雪虫の舞をみました。

(12/6) 雪虫や かこい大根 埋めけり

もし連休暇でしたら蒟蒻料理と思って送った次第です。金子・滝川さんは何に挑戦だったか? 私は相変わらず、人眼を憚った処に密かに仕事です。天候が悪いので、世

捨て人も弱ります。

十二月一日 学校時代からの旧友が、急に嫁さん運転の送り迎えで中川宅訪問、三人で昔話三時間です。長作の一つ年長の人で細君は西原より嫁ぐ、夏に他界は聞いていました。私だけ妻があることが幸福なんです。きつと独りになると侘しさがあるのですね。 春には又一再会の約束で、彼は私たちより丈夫です。孫が矢張り大学で来年は成人なんです。二日より寒が強く晴れました。明朝は0二度か0三度でせう。

(12/15)

山茶花の 朱を落しつつ 日を惜む
世にうとし いか師走か 疼く腰

ご忙殺のおり、本年も高幡不動尊の暦、ご恵與 忝くお礼申し上げます。 拙宅も倅の義父 今秋は他界に依り喪中として 拝年の祝詞は遠慮致します。 どうぞご無事の御越年祈りあげます。 いずれ明年もご面倒かけるでせうが、ご厚情をお願い申し上げます。 天候が回復しましたら、格別の寒です。

金子女史 テーブルウェア入賞の由 陶芸 料理、みんな一流で感服します。想像は尊いことですね。

(12/20?)

あれこれと 思うばかりで 年はゆく

冬至が間近なので柚子を採りました。今度の方が熟しています。小さなのは風呂に入れた柚子風呂です。面倒でも金子・滝川さんと三人分です。

猶食べる方は無かも知れませんが やつと玉蜀黍粉が出来ました。粳種ですから粘りません。小麦粉を加えてください。小さな餅にして、後で味噌を塗り焦がして食べてもいいです。

天候悪いし体の具合も悪いし(シコクビエが今年は収量があります)、今日になり脱穀です。老人は臼も機械も使へず、縄文人が野生稗を石の上で叩いた如き、ワラ叩き槌で気まかせにたたきます。製粉来年のことです。

東北は雪ですね。 雪がふれば冬眠ですから、遅れて貰いたいですね。 日中大働きます。ご笑味下さい。 流石に気忙しいです。 お忙しくも、蒟蒻の生球は年間が最高で、一月になつてでは味が落ちます。

(12/20?)

はや冬至 ゆず風呂の香へ 身を浸し

粗悪な贈りもので御面倒をかけました。それでも冬至を柚子を間に合せたかったです。暖冬と思いきや、冬至から一変厳しい寒です。 早速御返礼痛み入ります。クリスマスというより天皇誕生日に妻と戴きます。義理堅さに感激です。お礼迄

21(日)には長女と三男が歳暮に来て、トンボ帰りでした。・・・私は世間離れの生活ですからいつも変わらず、淋しいといえど淋しいが自分を大切に日が楽しめたらいいです。なにやら気忙しい、それが年尾ですね。

平成十(1998)年 降矢88歳

355 (1/7) 雪もなく 親山小山 かむる雪

木俣さんから暮に10号雑穀研究を戴きました。それによると「国際雑穀学会」を創立準備のようです。インドのシタラム博士と二人が先頭に立つての一年で、先年シタラムさんは木俣さんと来日の折に拙宅へ尋ねられた人で嬉しくなりました。喪中で静かな正月でした。然し孫が成人式で、一番私の喜びなんです。まあ上々の倅年です。

暮の二十一日 町教育委員会で西原の原・郷原遺跡の発掘調査見学会がありました。敷石住居跡とのこと、約三〇〇年前縄文後期です。出土品ある由。私は残念にも知つての如く歩行困難故行ませんでした。

356 (1/22) 冬ごもり 雪で砦をめぐらして

今度の豪雪は恰も東北の様ですね。近年 雪では困ったことが無いようですから、この記録破りで戸惑います。二回迄は降った雪でしたが、三回目は雪の置場もなくそのままで、車道は平常に戻りましたが、畑への道、山への道はそのままです。掃いて積上げた雪は砦のようです。冬眠ならず、籠城で生活線にも響きます。雨が降ったら余計に堅く凍り、手がつけれず。考えると夏から姿を消したけものや鳥達はこの雪を予知して、雪の積もらぬ土地へ移動したとも思えます。山野には餌は求められません。雨の後に雀が一度来ました。どうして一羽居るのか、考えると不思議ですね。

雑穀作りも危くなりました。木俣さんも悲壮な決意を漏して呉れました。雑穀ばかりでなく農そのものが岐路にあるように感じます。

私はもう先は短いし、老化してどうにもなりません。淋しいことです。まだ雪は降るでせうが、いつ畑仕事ができるか。四月に入ってからかしら・炉端で育ったので、炉火が恋しい。炉端が一番心なごみます。

357 (2/3) 節分や 友のめぐみし 魚かな

雪の砦が低くなりました。寒明けますが、南面の山は地肌ですが裾辺は雪で山径・畑

道はそのままです。山里は寒さ厳しく、日向の南枝梅咲けど萎んで落ちました。庭の盆梅は雪の中から掘り出し、家紅梅の如き蕾です。子供持つ親は子供が巣立つと侘し日が続きますが、それが人生でせうか。私も妻とふたりで長い間過ごししました。・・・時に今はご子息と二人の由、休養の時間なしですね。是から年度末で、私が雪前と同様なんですね。東北は雪ですが、テレビで見ると準備が整っていて感心します。近年、雪に苦しまなかった丈に迂闊なことでしたから、良教訓です。果樹地帯は被害が大きいようです。西原でも植林に多少被害があるようです。後遺症は是から知るです。

彼の野菜畑迄で毎日二時間位凍た雪を掘り起しやつと畑迄行き、大根を掘りだし、白い茎のみの葱を採ってきました。他の雑穀を作る畑はそのまま見に行けず。

十二月三日約一ヶ月遅れて作た小麦、雪前に発芽して青かったか、一ヶ月以上雪の下にあつてはどうなるか。是も私の初体験です。最初から駄目と思った試験です。私は是が生き甲斐で、何か新しいことを試みたい老人です。その為生き残っているでせうか。

358 (2/23) 残雪へ 春呼ぶ雨が 今日 はふる

節分の 凍りてピッケル ほしき径

今度は雨になり、日向は雪が消えました。・・・十四日の好日に畑への道の除雪に行き、やつと凍り雪を掃き終り、バス停の傍らで一服していると、数馬(武州)から三頭山へ来た登山家と一寸話す。本格の登山の支度で、ピッケルを持ち、靴の上にカンジキを 是ではすべらないと見られました。といって、今更私が求める訳にもゆきません。若かったならです。翌日は又雪でした。それでも山畑は六分雪が解け、一ヶ月遅れ作たライ麦は健在でした。降らないが乾風の方が悪いらしい。兎も角 五十日も雪の中でした。初体験でした。

十九日の好日の日は、三年振りで賀曾利さんが妻君と同伴で来ました。私が是非連れて来ることを乞っていたんです。・・・賀曾利さんが地球を駆け回る原動力だと語りました。木俣さん・安孫子さんと三人で語たことも聞きました。白芳館へ宿泊の由でした。

暇な上、仕上がったので、小麦粉とそば粉を少量送ります。・・・小麦は十五年振ります。夏 実の入る作物で、思った通り 雀群にやられませんでした。麺類が一番内地ものは好ですが、使う折は外輪小麦と交るというのです。面倒なら天ぶらの衣も好し、味噌汁にはみ込で水とんでも早くいいです。野菜を多めに入れて。

五十日(の雪で・・・)運動不足で体はフラフラです。春の畑の準備も少しもやれず、今年はどうなるか、何かもう送れないかも知れません。

追伸 私も妻が娘の処へ泊りに行き、この処は独りで、仕事は一杯ですがまだかかることもできず、夜はテレビを見、本を読がすぐあきて、自分をもてあましフト縄文人の冬の雪中の生活を想い、私は幸福なんだと感じます。鳥も来ない大雪後です。雨が降り暖を感じたら僅 鳥かげも見ます。三月が待ち遠しい。お天道さまと一緒なら独りでもいいが今日廿三日珍しく晴天らしい。

259 (3/10) 雪掃いて 犬と語りて 雪ばれや

三月一日も雪十センチ 五日又雪十センチ。

「たまのよこやま」有難し 処で帰宅しても誰も居らぬは空虚ですね。然し晝間忙しい毎日はいいです。妻が娘の処へ十日程行き、晝間は独りでした。孤独には慣れています。雪や雨で家居は辛かったです。日を楽しみながら、日向で何かやっていれば満足ですが、家にポツンとしている退屈は格別です。ふと豪雪地帯に住んできた縄文人の生活を想いました。一月の豪雪一ヶ月の経験で特に考えました。鳥やけものの影もなく、雪のみ。一年は二ヶ月は雪掃き丈しきません。三月もよく降るが、日脚が伸びたので日影が段々せばまりますが、北面への道はどうしても雪を掃かねば 残雪が通るのは不都合です。雪の翌日はまた一日雪掃きです。梅が満開にならず、艶のない花です。

他所は暖冬で花は早い様子で、土佐の友人が南国でも珍しい早い春を知らせて呉れました。

良き友の導きで私は本当に幸せなことだと感謝しています。野生児ですから、日を浴び、自然と共に生きているんですね。然し体は修理の方法も無く老るのが当然ですね。

木俣さんも疲れた御様子ですが、私に逢いにも思っています。若ければ私の方で去年中に尋ねられたんですが、・・・ 桜は四月下旬に咲くかどうかですね。

360 (5/1) 葉ざくらや 妻の葬すみ たそがれる

晩春からあつという間に初夏になりました。筈をご笑味ください。三人で適当に分けてください。私が掘りました。

初七日が過ぎ 晝は独りです。畑は鋤を置いたまま一度も行きません。一ヶ月ですね。

私のことは心つかい無用です。皆さんのお健かを念じています。その内又お便りします。連休を楽しんで下さい。(奥様は 4/22 逝去 5/2 届く)

361 (5/6) 亡妻の事、電話で大体申し上げました、如くでした。

三月廿七日発病二週間入院 退院四月九日二週間で死去。入院中は子供が看護交代皆忙しい時代ですから大変でした。退院後は私がつきつきりで看護しました。

葬儀の準備に家をかたづけ 是が大変でした。長男を中心に姉弟で仲良く協力 実に頼母しいことで、私は見ている丈でした。近頃は葬式も近代風で町の如き。近隣も誰もが勤めですから忙しい準備なんです。姉弟がよくやって呉れました。亡妻も満足して成佛したでせう。

通夜 葬儀 初七日を一切二日ですませ、本七日に近所と深い親類ですまし 子供は夕方一同帰り、後は四人家族です。

何しろ昨年頃より私も体調老化した上に正月依りの大雪ですっかり足腰が委しかった上でのことですから、看護も大変で苦労かけた妻のため尽しました。畑の方はもう四十日そのままです。

今後の私は畑も捨てるか、是から一生懸命に身も心も鍛えてみてからです。自家用の野菜でも作れる程度でせうか？ 第一に余り家の世話にならず 余生を過ごすことです。幸子供は親より 生れました社会人になり、自分の事のみ丈のことで、苦労した甲斐がありました。

どうぞ私の事は心配しないでください。疲れと体調が戻ったら、又申し上げられませう。病後の如きたよりです。お許しください。

次に句集についてですが、お預かりした句集に関する資料は、思いながらそのまま、訂正も重複分も抜かず、推敲も朱も入れません。それは体調不相応に働きすぎて疲れるがひどいからでせう。もう三年程 妻も私も老化していて 雑穀作りや試作をやめれば良かったかも知れません。生き甲斐とばかり調子づいた面もあり、妻は特に三年程弱くよく休ませ、独りで頑張ってきたのです。

それでも句集を作って戴くとしたら、私は十五部位入用で、句集費用一部にと貯えて置きます。残そうとしないが三倍や四倍は駄句を作ったでせう。散逸して(いるのを)集めれば一〇〇句程度拾えるかも知れません。

木俣さんとは三十年位の親交で、今では長い一人でせうが、四月(九日)に戴ながら、そのままです。申訳ないと判っているんですが、心・身も空気の抜けた風船のようなんです。そのうちお詫びします。

十日頃来て下さる様ですが、私の事は気にとめず、西原の新緑でも眺めに来て下さい。私はまだ畑に出る気なく、フラフラしているでせう。寝たいですが、これから鍛えるために毎日歩いたり、僅の仕事求めています。日中は私は独りで、お茶も出せぬかも知れません。

妻の死の侘しさはさりながら、不甲斐無いたが恥ずかしいです。ただたどしい便りになりました。お詫びします。

〔雪虫〕所収 五月十八日までの句

すつかり夏です。十日 お繰合せて御来宅お礼申します。

亡妻への焼香忝し、又、野焼きの逸品、私に過分の記念です（金子さんへの文面？）。当日は留守と想っていた倅が在宅にて、後で散々怒られました。私のみにては茶さえ出せぬ始末です。晝飯携帯の訪問、今後（は）畑の近くの民宿かで、前より

人数や期日が判っていると予約して、そこで休息して晝飯を仲良く食べませう。部屋は広し、農家ですから私の生活も違ってきました。土間は片付け食事は一緒になり、何やら自分の家の感じになれず。

五〇日振りで畑に出たが、手の下しようなしです。体は一向に回復せず、新盆に何かとれるか。キュウリ・ナス・玉蜀黍・南瓜・インゲンをやつと作りしました。疲れてお

礼遅れお詫びします。

六月・・・梅雨入りしました。多雨高湿で梅雨まで早いでせう。何時

もご多忙と存じます。十日に鄭重にも焼香して戴いた日に畑を見て、翌日より野菜作りにかかりましたが、雑草は茂るし畔も畑道も草一杯で、何からはじめたらいいかといふ次第でしたが、衰えた体は駄目です。加えて疲れて体調が悪くなるばかりです、それでも毎日畑に出て行きますが、僅の時間なのに家に帰るとグツタリして何の気力も有りません。

こんな訳でそのままで。今日終日小雨で気温十八度です。半日床に、午後やつとお詫びを書く有様です。木俣さんも五日付けで鄭重なお手紙を戴き（乍ら）そのままです。どうも百姓も終りです。せめて本年のみはとかかつてこの次第です。追って改めて申し上げます。

多雨高湿で小鳥も戻ってきました。猿や猪も山畑へ又、出る話です。然し初夏の時鳥はまだで、松蟬がまだ鳴きません。昨年は雨蛙が一度も鳴かず今年は雨蛙鳴くかしら、妙な時代です。

木俣さんから五月九日と六月七日にお手紙を戴き迄 返信を一度（も）

出し（てい）ません。句集のことでお急ぎの様子

苦し（い）中 やつと二日かかつて 句の方は直しました。ご多忙中 痛入ります。改作すればよいですが、いちど 人に発表した句ですからそのまま駄句でいいです。私の人格の現れですから。取り急ぎ 句の返却迄

取乱したままの便りにてお詫びします。句稿も満足でありませんでした。「武蔵野の川」論文、淋し折に拝読させて戴きます。

廿日は暑い日でしたが、足腰の痛みより朝眩暈（めまい）がするので終日家居でした。最近の頭の方も悪いので特に注意します。ほんとうに異常気候といい 私も晩年といふこととせう。

木俣さんへ幾度か便りを書いても破つて了ます。

廿一日 三時より雨 一ヶ月遅れては何かを僅作ります。雑草を取るのに手間取りヤツト夏小麦、甲州玉蜀黍を少し作る。三月作つたままの大根、ジャガイモ、キャベツがとれました。十日御来宅より他には子供が二人来た丈 早二ヶ月は孤独です。寂しさにはなれました。御元気を祈る。

梅雨も明けないのに梅雨明けの如き猛暑が七月初より続き、全く異常です。

六月廿五日 今年になり 便りのなかった滝川さんが早朝 今日お尋ねしたい由電話で独りとの事、驚きました。承諾しましたらバスで正午頃来宅 準備無しで僅休息し飲食店に行き中食を共にと思つたら定休日として 前の饅頭屋で饅頭を求め二時近く別れました。終バスで帰るまで時間あるので聞けば それより中川さん宅へ、それから近くの一宮神社に参拝に来た様子。友人とか単独か登山する様子、北、南アルプスへ登り、最近は大月市の岩殿山へも来た由。

木俣さん、安孫子さん、金子さん、滝川さんと、四人共どうして肉親の如くに親しくなったのでせう。それと共に 私の駄句や手紙を全員が保存してくれたことも不思議です。他によく文通したのは賀曾利さんです。県内には雅友、農友もありますが、保存は聞いたことが有りません。戦前から畏友たちは何人も（居ましたが）生きていません。先立つて了ひました。

句集を作つて戴くのに散々迷惑をかけていることは承知していますが、何という事か、私には変化の多い年になりました。せめて一年か二年前の私であつたらと廻合せを不運に思います。私はどうしたらいいか、苦しんでいるんです。西原では農人が句集を出版して戴くことは前代未聞の事です。

私はどんなお礼をしたらいのか、考えが及びません。それにお礼の一文も当然加えるでせうが、今はそれも書けません。矢張り頭の方は衰えて了ひました。私の語るところを傍で筆記願わなければ、まとまりません。

十二日は涼しいので投票に行きました。小学校が投票所です。今年になってはじめて橋を渡りました。徒歩では一番遠くまで歩いた訳です。学校の花壇や運動場を散策、

それから久し振りに独り河原を楽しみ、照りで弱った草の中から元気の悪い月見草をやつと探し出して採って帰る。今日花壇時代か、何処の家にも植あり、帰途熱心な家により茶を戴たり、世間話したり、とうとう小雨が降り傘を借りて帰宅する（と？）大降りになりました。翌日から低温で、梅雨が戻ったでせう。十日夕方に野菜採りに行き、帰って着替えたですが、それが原因か風邪で十三日から寝たり起きたり、体が痛み、こんな時は妻を想い出します。十五日にやつと傘を返しに行き、又世間話です。――中略――聞くと、今年は山のけものが戻り、鳥獣も暴れだした由。東の初戸、田和あたりには猿や猪、西北の飯尾、原は狐やハクビシン居る由。中央の下城にも来はじめた様子、知らぬは私丈です。寝床でいろいろ書きました。

367

（7/29） 勲章も 定年もなく 句集かな

「多摩のあゆみ」有難う。句集の素晴らしい見本 感謝のみです。

十三日より風邪気味で体全体が痛み、それから毎日半日寝、午後起出し庭にでて歩てみたり、すると風邪薬で口内炎を起し食事也大変で、以後今日迄です。もう寝込のかと思つたが、ここよくなりはじめました。

畑は無人でどうなっているか、仕事も何も考えず、何とか自分の事はと努めている次第、いづれ具合がよくなりましたら又申し上げます。ほんとうに駄目かと心細い有様でした。

長い戻り梅雨も今度は明けて本格の夏でせう。七月のお盆だったと存じます。公私ご多忙の折から 手前勝手のみにて お詫びします。

早速 俳句 雪虫の見本お送り下されて、何とお礼申し上げていいでせう。今更申すべきでもないでせうが、一度人に発表したものですから 表面にだしても裏面に止めても結果は同一と想って何という尊いことであろうか、句集を出して戴くとは。木俣さんにも何と云ふご厚志になることか。安孫子さんとは、前世からの宿縁でせうか、人柄も短いに肉親以上の仲になりました。珍しいことでせう。五月十日植た慈姑花が咲き美事です。

次に前に述べた通り、十五部は入用で、他に寄贈すれば後十部位は必要かも知れず。西原は部落に必要なしです。地方の文化を解する人や私が郷土史にも関係があるんです。私は無名人で終る覚悟でした。世に発表は誠に恥入ることもあるし、後世に残るかも知れません。恐らく考え方や見方によれば、私丈で五十部は必要かも知れず。せめて実費位は受取って戴いです。

平素の私ならお礼の一文を書たいのですが、とても整いません。お詫びします。是非 私を囲む人達によろしく

368

（8/20） 八月は高温に復したと思うと午後は大雷雨で洪水です。バス道路も寸断、交通止になり、知の如く多摩方面も同様だったでせう。この雷雨が終たら、又梅雨です。曇天、雨が時々降り、私も初めての経験です。東海から西は猛暑、関東から東北は不順続 凶作でせう。

私は前便の通り 寝込む寸前ですが、具合が少し快方です。ところが妻の新盆の支度も整のはぬ十日頃より来客があり、やつと家を片づけ 私の居間も併せて客居間にします。十三日から十五日迄は賑やか 歌こそでないが大宴会の有様 実に有難いことです。しかし私の居場はなく、多少お客の相手をしましたが以前より親しい人は僅で、全く閉口でした。親類も方々に暮らしていて、三十年振りという甥やら姪に逢たり。お盆が済んだら気疲れで転居のようですから、又片づけたものを前通りにする苦しさで、ご返事遅れました。やつと筆記用具もだしました。

八月十五日は終戦記念日、大分空港で終戦だった頃が想出されます。戦死した人や当時の悪夢が甦ります。丈夫でも八月は精神的に苦しい月です。

お盆が済んだ十七日は阿知河原（古家実氏の民宿）を訪問して（祝賀会の）都合を聞く予定でした。古家氏は私より大部若く六十何才かでせう。長兄は私より十三才若く良き友人でしたが戦死、実氏は弟です。又古家氏は句友でもあり農友で、私の農法の一部を後継してくれるでせう。猶 拙宅の父とは同族であり、西原の最後の名主の旧家で、長い親交の間柄です。拙宅同様、昭和十九年三月類焼です。

九月四日が皆さまの都合が良い御様子ですが、・・・私は涼しくなる九月末か十月半なら好都合なんです。都合又至急申し上げます。

369

（8/23） 遠雷や 赤とんぼにげて 百日紅

廿一日午後 曇がでて涼しいので三時頃、古家実氏宅訪問。農友であり句友ですが、四・五ヶ月振りに逢ので、話はいろいろありました。九月四日の件 承諾して呉れました。人員数と当日の時間を電話で二日前迄に直接お申込みください。

昨日午後雷雨 軽少でした。今日は話込で（いるうちに）しぐれてきて車で送って戴く。五時に帰宅したら雷雨になりました。お盆疲れと半身不随ですから急がねばと心配でした。句集のマップにも「民宿 阿知河原」でています。

370

（9/14） 初秋や 拙き句集 世に問はれ

今回（9/4）の出版並に米寿の祝賀を催して下さり光栄です。特に西原で私的に対し、朝日新聞（S記者が埋文センターに取材に來た折、安孫子がこの話題を口にしたことから・・・）が臨席は前代未聞の事でせう。木俣さんと安孫子さんには終生忘れ

ぬ 御厚志 胸一杯の私です。

木俣さんとは三年振りでした。私の話は尽きませんでした。猶S記者の対談に流石の私も堅くなりました。翌日 皆様と別れてより、虚勢を張ての元気でしたから神経を消耗してしまつて、虚脱とはこの事でせう。七日の雨は終日床の中でした。

次に、台風が上陸しなかったからよかつたですが、上陸すれば大被害だつたでせう。九日やつと大型車を通れるようになった由。五日の帰途は町の祭りで交通が大変だつたでせう。西原も九月は秋祭りで、最近祭日をくりあげたり下げたりして土・日に行います。一宮が十二・三日、二宮は判りません。田和は彼岸の中日、是で終りです。

敬老会もあり、ですから私は、祝賀会は十月半なら好都合でした。是から亡妻の新彼岸で来客が多少有ります。家の整頓や掃除したり、準備です。

祝賀会には三人ばかり招待したい人がありましたが、私がもう萎えてしまつたというか、老人は駄目ですね。句集は十月一杯に発送が終ればよい予定です。何とか添え書きして送りたい人達が有り、心にゆとりが戻れば書けるでせう。その折、ワープロでお願いします。句集は私の半生の記録です。秘話を語るには二人だけで大勢では駄目ですね。

Sさんはじめ 皆さん、珍味の者や焼物(陶器の皿) いろいろ思いもよらぬお土産を戴き、何の用いも無く、お返しもできずお詫びします。木俣さんにお礼を述べただけです。記念に双眼鏡を戴いたが、十月にでもなり晴天が続いたら使用するつもりです。

朝晩は涼しが、日中は暑く九月下旬のようです。思いのままを綴りました。

371 (9/22) 台風で一日道止めで、十六日朝日の愛読者から私の事が出ていると寄贈がありました。記事を見て満足しました。―私はやつと疲れがとれましたが、被害はないが台風は風が強いので例の畑の隅の桐の枝が折れて畑通れず。妻の初彼岸ですから、今日やつとさつま初掘り行き少し片づけた次第です。台風六号も近づく様子ですから。

雪虫ヤット十部発送しました。祭りだ彼岸だと心忙しいですよ。不遇でも失敗でも努力が足りないと自分自身に反発して来て、神佛へも人へも救いを求めず、自分自身と戦つてきましたですから、句を作り畑を作ろうというのが信念なんです。努力して駄目なら諦めます。

八王子に今度住む三男が、父が朝日紙に出て元氣らしいと信州に住む二女(姉)に早速電話した由。十五日夜二女からその由の電話がありました。矢張り頑固親爺を心配しているんですね。自分はずいぶんやさしくなつたつもりなんです。子供達へは、雪虫は彼岸に来たら寄贈です。新聞の写真は元氣らしく幸ですが、虚勢張るから

後はグツタリですね。社の方からは何も届きませんが、

372 (9/26) コスモスの 抱きあつていて 嵐去り

九月も不安定な天候です。お祭りだ初彼岸だであれから何もできぬのですが、心忙しくて書いた手紙も四五日投函しそびれました。多摩地方も大きな被害はなかつたですか。西原は無事ですが桐原から町の方が雨量多く被害在つたですね。木俣さんは半頃は雑穀研究会で、シコクビエ栽培の多い大井川か天竜川の上流の地に行つたでせう。

朝日の方からはその後、何も送つて戴いてはいません。拙宅は山梨日日で、朝日の山梨版を見て送つて呉れる友人もあり、(雪虫を)送らぬより先に発刊を祝つた便りをいただく友もあります。只今廿部発送しました。予定だけ発送するには十月になります。

初彼岸の来客も多し。天候は九月定まらず、十月はどうでせう。

373 (9/28) 本日廿六日 記念写真有難く頂戴致しました。是も終生の忘れぬ思い出になります。朝日の方からは何も来ません。―新聞の力は怖いです。記事がたのは敬老の日でしたから、記事を切り抜いて送つて下さる友人、記事と共に発刊を祝して下さる方、「雪虫」これから発送です。

西原を嫌い、農を嫌つた私が逃れられもせず、生きる為に農より他になく、酒でも呑んだらやけ酒で自滅するだけだつたでせう。宿命と戦うために句を作り、畑を作つたのです。句は自己の挑戦でした。句の良しあしや句集を作る考えも無かつたのです。無名で終て悔いもなく、自分自身にかたばよかつただけです。何だか奇蹟のように思えます。雑穀との縁も亦そうです。

天候は九月もとうとう多雨です。山形で昨年は三万人、今年は五万人の日本一の芋煮会とは、その大鍋も日本一でせう。東北もテレビでよく見ます。夜七・九時迄がテレビの時間です。秋祭り廿三日が最終、廿六日で妻の初彼岸も終り、来客も終り。新涼の候 是より十一月中迄が私の好季節になります。

374 (10/7) あれから双方来客も絶えた彼岸明けの廿九日 小雨の日に記念写真を持つてお礼かたがた古家実氏の処を訪ねました。すると安孫子さんから矢張り写真贈られて喜でいました。夫婦だけですからいつも忙しいので、その後、民宿の客は知りません。天候が悪いから観光地も暇のようです。

「雪虫」手紙を添えますから送呈に手間取り、村も他所も郵送です。先日は局まで行き、本年三回目の川への散歩です。台風頃は増水が大きく跡が残っていて、まだ濁流

でした。ふるさと祭りは今度の土日です。地区敬老会は毎年十月、五日で、欠席です。この日彼岸は忙しくて欠席した末子が墓参に来て、私も車で寺から墓参で、済んでから帰りを急ぐ車で、今度は急行で川通りから初戸へそれから田和から中群山へ。ここは平野田休暇村につながる遊歩道もあり、小さな牧場もあり、西原の七分が眺められる眺望よく、十年以上行かない間に開発が進んでいました。高原ですから一度も見ないが、夜空の眺めは随一なんです。帰宅早々に銀行が忙しい様子の子供帰りしました。

雪虫は三十部送呈終り、在庫沢山あり四〇部越るかも知れず。新聞の力も大きいようで、反響もある如です。四日路上で「雪虫」を手にした旅人に逢て双方あゆみ寄り、先方は表紙ににている人だと近づき、私は「雪虫」の所持が眼にとまり、聞けば鈴木さん宅に週一度は行く由、金子さんや安孫子さんを知っている由。西原見に来たらしい。私は路上にめった出ないが、珍しい出逢いでした。

375 (10/16) 秋が深まりました。三日間の珍しい晴天は茸の当たり年の由で、友人とどこかへ茸採りにでもお出掛けかと思いましたが、論文で大変だった御様子。それなにご面倒ばかりかけて痛み入ります。

はじめに知ぬ人から(「雪虫」) 讃辞を戴きました。それは八王子の棚さんといふ安孫子さんの知人らしく人柄は判断できる。能筆で立派な人のように推定しました。知の通り私の句は心安らかに、友人達にのみ丈で、宿命と戦うための句ですから、是も雑穀の縁かとも思います。

それにしても十月もはつきりしない天候で難渋します。十五夜は雨で今年こそはと期待したのですが。

幸いに九日より天候回復で、十日・十一日のふるさと祭りは好天気で盛大でした。今年はおもう出かけられないかと思っていたが天気は好し、無理して年に一度の人中に出る楽しみの祭りなのです。いつも云う如く、展示コーナーを見たいばかりで行くのです。書道・俳画・写真・生花・陶器等もあり、例年通りその人達と楽しく語り合いました。

特に町で有名な町議が居り、その方と今は土農工商の時代ではなく工商農になりました、但し士とは今は何を指すべきか、自衛隊でもなく政治家とはやめました。彼も政治家中ですから。現日本は七割の輸入食で米の減反を成し残飯を出す不思議な国と論じました。世界には八億とも九億ともいふ食料不足の人達が在り、平和を盛んに叫ぶのも是は結構ですが、持つ国と持たぬ国の差がない世界が一つになる連邦でも成立しない限り、窮すれば自滅を待たず 必ず窮鼠猫を嘯むでせうと論じやりました。私の苦手は新聞記者との対談ですが、他は持論を述べます。彼も神妙に聴いていまし

た。きつと西原には妙な老人が住んでいると思たでせう。

S様(朝日の記者) 御尊母様御他界の由 あの会に参られてより間なき事のように(中略)一寸妙だと思っていましたら、凶報を知らされ判った訳で。取材に参られた方からお土産を頂戴した事も珍しいことで、木俣さんと安孫子さんの支援とは判断していました・・・ 返礼を考えましたが折悪しく九月は秋祭りが方々に有り 且妻の初彼岸もあり、天候は承知の如くで、やつと上等の山葵が入手できましたので 遅々ですが ご笑味を乞うため本日発送しました。 甲府支局ではなく立川支局ですから、是も理由が判りました。

376 (10/26) (中略) 廿二日Sさんから山葵の礼状共に当日の写真を沢山戴ました。実によく撮れていて 記念に額にしたものもあります。Sさんも世辞か私との対話好感のようでした。

私は句に勲章なしと詠みましたが、今回が勲章を戴いたといふ事だと思います。感激です。名いらぬ無名の野人が勲章を戴くとは、未聞の事でせう。虚勢を張って臨んだせいか、年齢より若々しい写真です。左眼は役立たずで写真は御覧の通りです。

以前に甲府放送局からも取材に来て仲良しになり、二回程遊びに来て 本年も来たいと云っています。忙しい上に悪天候ですから「雪虫」を送呈する予定です。

377 (11/4) 会釈して 別れた畑を 雪虫が

廿九日雪虫が舞いました。冬の訪れの使者でせうか。天候は相変わらずですが、曇天が多いせいか十月は降霜なし。一日の十三夜は、今夜は名月かと想ふと夕方より曇が出て、夜半黒雲からのぞく月をみました。ものずきです。寒いせいか、ちよつと夜明けに雨が あった。濡れていて山は霧で、二日午前中は寝ていました。午後野菜畑にしぶでかけました。足腰は痛み閉口です。今秋は取上げるものは無し、試作したものも試植したものも無く、妙に張り合いのない孤独感です。来年は狭い庭ですが、シコクビエ丈でも鉢に植えようかと考えます。それは春になってからの体調です。畑は雑草が茂っています。

句集「雪虫」は送呈終らず、お互いに疎遠になった友人ですから、一応長い手紙を添えます。根気も無くなりました。萎てくる体ですね。十一月下旬から寒に弱いから四月までは毎年ごとながら大変で、果たしてどうなることか？

棚さんは名望家なんですね。能筆の手紙で判断はしていましたが、敬意を表した礼状を差し上げました。ほかに二三、そうした方が有り、祝賀され、礼状を書くも勉強で無名人には大変です。

何処にも行けず、テレビを見て、先日は屋久島や白神山地のブナ林を見て、屋久島の

五千年といふ杉に驚きました。また今秋の紅葉を名勝地の奥日光、谷川岳、蔵王等を
楽しみます。当方、天候が悪いから紅葉だめです。テレビを見ると不景気らしさは判
らず、秋の行事は何処も賑やかですね。庭に来る虫も冬眠か僅です。黄色小蝶は
時々来ますが蝶で越冬するらしい。虫も鳥も友人です。独りが良い時と誰かと話し
たい時があり、考えると私は勝手な男です。

378

(11/12)

竹筒の 一枝山茶花 朱が冴る

雲は多いが雨は降らず、平年並みに戻りそうな天気になりました。鈴木さんの稲刈り
も終ったでせう。

手入れも柴刈りもせぬ蒔蒔 雑草を除きやつと少し探し出しました。室内におけば痛
みませんから、折を見て笑味ください。秋収穫物ありませんが、体調良ければ荒た
畑の雑草半枯れです。除て集めて乾けば焼いています。

「雪虫」思いもよらず 発刊して戴いたこと 米寿の年の勲章です。都留市の郷土史に
努力する窪田先生から讃辞を頂戴したり、桐原長寿村育てた古守豊甫先生(雑穀通じ
木俣教授と長い昵懇)も素晴らしいと賛美してもらい、お札の手紙を苦勞して書きまし
た。過分の事のみで、とうとう遠い農友へはまだ送呈が遅れます。一文を添えるのが大
変です。何か少し仕事の真似をすれば疲れました。幸いに寒といっても霜来ません
が、短日であつという間に日暮です。

次に、前から尋ねて探し当た 群馬県榛名山の社司徳川二代將軍時代 三百年前に西原
から行った同族で、先代は昭和四十三年来宅。今回 嗣子が私の「雪虫」に私と語り
度、先祖地が恋しく、十一月十一日 急に来宅しました。血が血を呼ぶとは、私が郷
土史に興味があつたので探し当た間柄です。西原寺や一宮神社など案内しました。
熱意があれば人を動かせるのです。しかし熱弁を振へば疲れ果てます。

379

(11/21)

十三日初霜 以来本格の寒で廿日は初氷でした。

汐留遺跡の膨大なこと、丈夫なら一度見学できたでせう。東北の古い遺跡には驚きま
す。数も沢山有り、その時代の日本は私の思ったより開けていたんですね。現の日本
海とは違って、大陸から渡来しやすかったと思います。

天候の精か、本年は雪虫が少なく、私の行動範囲(下城付近)では十月廿九日に初め
てで、気をつけていましたが、十一月十六日以降は見えません

(送ってあげた新聞記事をご覧になり・・・)雪虫がアブラ虫科とは意外でした。こ
の虫の発生する頃は農が忙しい時季で捕って調べる暇なしで、農人は単純なんです。
私は越冬前の交尾期かと推測していました。虻類かと思っていました。今年捕わけ
にはゆきませんが、資料作りの良い勉強です。何才になつても勉強するものです。

380

(12/7)

まごまごと 師走迎える 山の村

今日二日 終日霧雨で 午後から寝て了ひました。

先日は雪虫の学術資料有難く、あれより今年こそはいつまで舞うかと忘れず居り、昨
一日夕方でしたが、三・四匹雪虫舞っていました。まだ寄生する植物みつからないら
しい。調べると虫も真剣十二月三〇迄は飛んでいる。寒いと痛むのに、妙な私も人間で
す。

さて喪中の多い年で、是から喪中付年頭の祝詞欠きます。多事多端で 末寿(?)
も終ります。ずいぶんお世話になりました。改めて厚く御礼申し上げます。

雑穀も作らず 新しい植物や作物も試作できなかった事は 私には侘しいことで、孤独
には慣れていますが、自宅に住みながら他所にでも行っているようです。荒した畑の
雑草を刈たり、むしたりして焼いています。といって来春この畑へ何かを作れるか
は判りません。

昨年は一二月一日に小麦を作り、小麦は刈って束ねたままで、後に半分小豆を作たが
それもそのままです。

雪は十二月下旬からでないと掃く程は積りませんが、近頃の天候は当にならず。雪の
来る迄は雪虫の如く動くのですが、不自由な体は頑張りもきかず。四月迄は耐えるこ
とは仲々です。

381

(12/24)

年の瀬や あれこれ追れ ひと日かな

注文の山葵漬が来ました(製造は友人です)。私の本年最後の贈物です。ご笑味くだ
さい。

廿一日より厳冬の寒です。寒いと痛むし、是から四月迄の長いのは困ったことです。

雪がないと日中は戸外で日が楽しめますが、・・・雪が降ると掃いても前の坂道は路
面が凍り 下る事は駄目です。生き残りも侘しさもあります。

妻が亡く はじめての冬です。正月は静ですが、孫達が学校から帰省を待っている次
第です。

382

(1/4)

朴落葉 がさごそ小鳥 日を浴びて

本年は雪も暮から降らず 暖な歳末でした。天候はいいが景気の精か、誰もが多忙
のためか車はよく走るが正月気分すくない静かなものでした。

平成十一(1999)年 降矢 89 歳

又昨年は葬式も多かった事もあるかも知れませんが、拙宅も賀客はなし、子供も男二人は来ましたが、一人は朝来て晝には帰り、他方は夕方来て一日滞在で帰り。職場は忙しい様子。孫は休暇で帰省しましたが、仲良し兄妹で、三人で楽しい正月らしかった。倅夫婦は一日置き位の休みで、相変らず忙しい様子。結局 正月を楽しむ予定はなく推定通りでした。

洗顔の 水ヒンヤリと 寒の入り

松の七日も済だったので、賀状を戴いた方々へ返信です。昨年の大雪が教訓で、雪が何れ降るだろうと、正月も独りで炬燵に居ても退屈ですから、人の眼に着かぬ処で日中丈は日を楽しみ乍ら仕事です。日没になると寒ですね。

白菜を七日に穫り終わりました。一回に五ケずつです。七日のは寒波でやられました。箱に結て置くと腐敗気味ですから、二ケずつしぼり、日蔭に吊しておきます。野沢菜も余りを捨てるも惜しいから干葉に編でみました。是は食べたことなしで、干葉は蕪菜を干します。乾燥期ですから、良い出来でせう。――夏雨で紅花・食用菊も花は採れず、酢漬けも天ぶらも食られず残念でした。花を干して茶にならず、です。

冬の夜や 戸ゆすり風が ふと眼さめ

(何回に及んで書いた妙な便りです) 雪虫の学術資料送呈に預り 雪虫は西原では「雪ばあ」「山んばあ」と呼ぶと思います。八王子の櫛さん地方では「綿虫」「シロッコ」とも呼ぶ由、地方により「雪虫」「雪ばんば」「白粉(オシロイば)」綿虫が多いらしい。然しアブラ虫の一種とは驚き、少し私の詩感が狂ました。私は交尾期すんで越冬に思っていました、新しく寄生する植物探しとは意外、害虫ですから。十二日 晴天でいつまで舞ているか、根気よく見守ったところかなり寒くなった廿日庭に数は少ないが来て、最終は十二月廿九日でした。

やつとはたき落し指でつまむとつづれ、よく見ましたが綿がとれ羽根がとれた姿は、視力は悪いし、寄生している姿はつかめず、ハイ取紙へでも捕って虫眼鏡でも使い 針かピンセットでも使わねばだめでした。

次に畑の雑草を刈り 集めて燃して(十二月早々折々に) ところが雑草の中に作らぬシコクビエがあるので刈り出して置き、集めて脱穀したら、一升位あります。天理が実に不思議です。是は 来年は作りなさいといふ暗示に思えます。雑草の中で鳥も食残し、長雨の中残っていたんです。

鶴蔭の 親山雪なし

初日さし(元旦) 荅子八九才数え
本年は男性で最高齢者としての拜年ですが、衝撃です。それに二日は兄が他界。司法と農で、住む社会が違うから兄弟愛は薄い。それでも生きていることはお互い心

の支えでした。甥三人あるが親しんだことなし。葬儀は倅と他の子供と一部の甥達で、老人同士ですから十年以上逢っていません。
今年も亦多事か、昨年と違って日照かしら？

383
(2/8)

立春や 庭へ風花 ちらつきて

立春から厳しい寒です。木俣さんは、三月はタイだそうです。八月はアメリカの由、都合がつけば春には訪れるそうです。昨四月は会えませんでした。独りぼっちで、冬で孤独には慣れていても暖房のない部屋は侘し。――処で私に同情して南穂高の次女が、暖房があり暖だからと云って、九日に外孫が自動車で迎えに来ます。信州の二月は初体験で、行ってみないと好か悪かです。三月下旬ならいいですが。
一月廿日雨の翌日 暖いからといって珍しく交友が訪ねて呉れて日盛りに二人でゆつくり語りました。嬉しかったです。寒いといっても雨がなかったので、日を楽しんでいます。春になつて体調が良ければと思います。退屈していても(眼が悪いので) 便りを書くのもなかなかです。

384

(2/20)

安曇野の そらの青さも 春めきて(浮く曇か)

二月九日から厄介になつていきます。十四日より好天気で憧れのアルプスや白馬の曇を戴く山々の遠景を楽しんでいます。白鳥や鴨の集っている犀川も珍しい情景です。暖房があるので暖です。戸外は西原よりやや寒い日照時間は長です。又天気は崩れそうです。三月までには帰宅したいですが、孤独はなれていても、日中は何処に居ても独りぼっちです。

四 385

(3/1)

水中に 河童しやがみ(?)

池を訪う

(苦しい句です。昭和三十

年頃の創造でせう)

私も予想より滞在が長くなりました。安曇野の冬の風物をよく楽しみました。荘厳な雪のアルプス、白馬の現実の眺望、終生の感動です。土地を離れたことのない私です。ので、今回は松本の(澤?)池小学校校庭隅の笹村先生の創作の河童池をやっと探し、先生の創造の河童を見ました。私も恐らく今回で終りでせう。

一月二日は兄の他界に接したが、私は葬式にも七七忌にも行かず。きつと兄ももう一度語りたかったでせう。94才でした。先年訪ねた折、二人で埋葬する墓も定めておきました。兄妹で私が一人残った次第で、人生当然のことですが衝撃ですね。――
三月中には帰宅しますが。

タイに三月探訪する木俣さんにもう一度帰国したら語ってみたいです。

段々句も作れず、畑も作れず、皆さんとも遠くなるでせう。

西原よりやや寒いが暖房の家で、はじめて一人の冬を無事過します。海拔五三〇メートルで西原と同じです。しかし日照時間が長いです。

386 (3/19) 彼岸が来るので、小雨の十五日に松本平(安曇野)から送って貰って帰宅しました。長い滞在でした。雨の帰途は車窓から風景も見えずでした。何処も未知ですから何処も心に残れます。

寒い独りぼっちの冬を暖く又退屈せず過した果報者でしたが、家に帰れば気が緩む精か、気力もなく、寝てしまった私です。

春が早く桜も早そうですが、留守が長く、何から行ったらいいか 手も出せず追って便ります。

387 (3/23) 春が早いと思ったら、彼岸から小雨から雪でした。東南の権現山にはまだ残雪があり、廿二日から天気は回復ですが、大風のあと廿三日は氷が凍る。何も出来ず、休養つづけています。

時期を失いました。乾菜、干菜、ご笑味ください。馬鈴薯 男爵を求めすぎ、伯爵(白早生) 品切れの由、試作してみてください。

388 (4/1) あかつきや 梅花滴して 今日も雨

菜種梅雨とでも申しますが、暖です。廿六日路の臺を探しに行くとき日向で八株カタクリが咲いていたのには驚きです、半月位早いです。雪が乏しく暖冬だった精か、花も葉も小さいです。鶯はまだ鳴きません。展示替えの「土と木と炎と」「たまのよこやま」折を見て熟読です。

廿四日 町内の文化人の畏友OM氏が他界67才 長い交友でした。毎年カタクリの群生を見にきました。弔電で済ませました。葬儀は廿六日で、参列できぬ私ですから仕方ありません。(カタクリの開花) 小俣さんに関連在りそうで 侘しくなりました。

去年の四月 カタクリの咲く頃は亡妻の看護でした。二年ともカタクリは侘しい花になりました。 シコクビエの製粉やつとできました。

389 (4/6) カタクリや 先立人の 精霊か

東京も甲府も桜開花の様子なれど不安定な天候で、西原は今年は一週間位早そうな桜も 矢張り四月廿日頃でせう。 私は信州の冬を楽しんだ方がいいが、留守が長かったので、何から整理したらよいか弱りました。やつと雑穀を精白したり、ジャガ薯も

早掘りを植えたりで天候は悪し、一般も遅れた様子。それに昨年と同じ運動不足か体調は悪し。

特に昨年から知人、同輩、近親者も他界してしたので人生当然の出来ごとですが、生き残ることも流石に孤独にはなれていても、生きる張り合いが抜けず。

先般は失礼な乾燥野菜の干葉、初体験で信州へ持参試食しました。是ならばと思い、ご笑味を乞った次第でした。

松本から長野までは 仲々遠く、善光寺参りを進められ、車で十時頃善光寺へ一時頃(着)で、月曜日でしたから混雑せず楽でしたが境内を歩くは大変で、そばの晝飯、私の記念に求めたいものもなく、一輪挿しの花瓶代わりに五合入位の百?丁と観音經を土産と求めれば、娘が荷を持つが大変で、私は杖一本の体ですから。日本で一番先に來たのが善光寺の本尊ですが、縄文人のお天道さん尊敬の私ですから。でも淋しい時写経でもと思います。帰宅五時頃で結構疲れました。

雑穀 僅ですがやつとご笑味戴けます。雑草の中から縄文人のごとく集めたシコクビエと思ってください。甲州玉蜀黍はカユへ少し入て食すも面白いです。餅も団子もいいが、皆が工夫して食べるようです。なにしろ山村も農は崩れた時代です。貴重になりました。小麦はパン用ではなく麵用で、小麦粉、シコクビエ二三割交ぜ ウドンを作ればそば風ものが出来ます。

鉢の寒紅梅は散り、日蔭に置いた盆梅は咲き出した処です。日向に置いた鉢の彼岸桜五日三分咲で毎年桜のさがけです。侘しい花になります。

390 (4/19) なずな咲く 畑へ捨置く 鍬へ雨

桜の咲く頃は農人は忙しい。矢張り四十五日桜の満開は早まりました。

十五日(木)十時 親友が車で来て花見に連れて貰いました。八九年振りで原・飯尾 西原の半分の上を一巡しました。道路はよくなり、家も世相も変った事が判りました。中川さんも同乗でした。随分と種々に出遭った精か、神経が疲れきって下へました。然し何年振りかで天気はよし、桜は十六日頃が満開でせう。蕎麦を食べて別れました。二時半帰宅。

安曇野で四〇日も遊んだのが祟り、春の準備が無いので閉口です。

誰も忙しい時代なので、忌日より早い方がよいと十一日(日)に近親者のみで亡妻の一周忌を営みました。翌日は(月)なので、此日遅く帰宅の人もあったでせう。私も疲れていました。五月は子供誰か来るでせう。年々体は衰えるのみです。

391 (5/11) 御疎遠になりました。向いの山が裾辺が青葉 中腹が若葉 上は萌芽が一日と云えず変ります。高尾の山頂と拙宅は同じ高さですから。戦前若い日に一度頂

上迄登って六十年超でせう。新宿は廿六年行きません。

時に先般は早速苦心した土偶の論文頂戴し、お礼遅れお詫びします。猶小林先生編の『最新縄文学の世界』は私の教科書になり、大変縄文学に付き教えられます。浅学ですから自己判断で推定の縄文学ですから、折々再読します。新聞で時々新しい出土が眼につきます。矢張り弥生時代から農は始まっていた。それは私の推定が近かった。農と考古学は興味があります。雑穀が縁でずいぶんいろいろの先生たちと結ばれた私はその事だけでも生き甲斐があります。

安曇野の冬、山の遠望を楽しんだが、それが原因か、淋しい時は書籍で山の遠望を楽しみ日本百名山、山梨百名山、甲斐百名山、と集めました。花の百名山もあるらしい。写真で名山を見るも慰めですね。

畑作はもう駄目で、畑を作らねば句も作りません。でもはじめて新しい俳句の歳時記を信州の書店を久し振りで訪れ、求めました。新聞広告は見ただけで実物を一見しないと私に合うかどうかは判らないで、是も老人は不都合です。暖になっても体調は思わしくありません。

毎日日中は独りぼっちで、何だかふるさとを離れないが他処へ住でる様で、いうなれば生き残った浦島のようなです。昨秋以来、安孫子さんや木俣教授のみ便りを戴くのみで、慌しい時代か、消息もありません。私の方からは差し上げたのですが。

四月十一日亡妻の一周忌を近親のみ招き営みました。当日も珍しい甥や身内が来て語り合いました。亡妻の姉が一人あり、妻より三つ位年上で塩山市に定住、久し振りで逢いました。子息に連れてきてもらい、結構老いていて、よく来てくれました。

昨年は木俣教授三月下旬、奥の丹波山に來た折に拙宅へ立ち寄る予定が、妻の重態で会えませんでした。今四月は多忙で七月休暇頃に研修の人達と御来駕の様子ですが、――ともあれもう一度会いたいものです。

四月末期二朝の晩霜で、僅しか作らぬ野菜も馬鈴薯もやられがっかりです。それは一般でも、私丈ではありません。木も草も焼けましたが、平然としている草木もあり、作物が一番弱いらしい。

五月の連休、末の子が一泊で来て、山菜や筍を掘って帰り、他には子供も来客もなし、畑には流石に出ていませんが、私は家居も侘しいので仕事でした。家は何やら用事らしく、毎日一人でした。何やら気力もなく、思い出している書いた便りです。御機嫌よう そのうち又申し上げます。(書き出して手間がかかり、十日位でせうか。老化してしたのでせう。)

十五日は万障繰合せして御来宅下されましたが、失望なされてお帰りとお詫び申し上げます。心をこめた土偶を戴、飾る処もなし、私のマスコットですのに。非農家ですから、私の使う場所が段々減りました。今は社会がサラリーマンで、私の如き自由の生活はありません。悟ってはいませんが、全国衣食住が同一時代ですね。炉辺で育った者には淋しい。

二十二(土)には昔の句友が、西原やまめ会の研究家が迎えに来て、原迄話に行き四時帰宅。あつたはずの資料が紛失して弱りました。五体が老てきました。

一週間照りましたが、24日は小雨で午後は寝ました。15日御来宅下されてより毎土曜は、人に接します。22日は、知つての西原やまめ句会を、研究家が旧句友を訪ね旧友が迎えに午後車で送り迎えで原まで行き、四時帰宅、29日は木俣さんの紹介で家の光から月刊誌『地上』の雑穀特集をだすため取材に來ます。カメラマンも同行らしい。六月五日に桐原で古守豊甫博士の講演に招待されました。私と語りたいでせうが、是は連れて行く人がないから行けぬでせう。畑の忙しい時期になり、毎(土)でも元気がないから困ります。と云つて来宅されても茶も出せず、――24日は雨らしいので、昨日十日は遅れたがシコクビエと穂モロコシ、種切つては済まぬと、紅花を作りました。

七日は木俣さんが学芸大で研修している上野原高校の先生と訪れ。五体も老化し、何やら根性も折て了った私です。矢張り独り静かな毎日がよいで神経を使うと疲れて、頭が具合は悪いし。畑を作り、句を作る元気がないとそれにてです。小雨で午前中、やつと慈姑の箱に植えました。菊も植替しなければ。紫が濃く花しようぶが咲きました。五〇六月は、私の何といつても一番の多忙忌です。

五月から現在迄に上野原町にも光化学スモッグが三回発令(西原除き)。霜にあつた馬鈴薯も元氣になり、六月五日と推定したが三日に(花)咲きました。キュウリ、夕顔、南瓜は霜にやられ、後植したら照りで枯し散々です。

(木俣さん紹介の「地上」の来訪が五月二九日午後二時)当日はカメラマン同伴の由で、床屋にかかるやら、知て通り散逸してしまつた雑穀の種を探すやら、又どうして写真に撮るや考えて、取材時間二時間半でしたが、準備に一日半もかかりました。五・六月は私の一番忙しい時期です。精神的には疲れるし、体調悪し、暑には負るし、精根、気力も尽き果て了った次第です。取材などは神経使うのでこりごりです。

六月五日の土曜 桐原で古守豊甫医博の公園に先生から招待がありましたが、農協まつりや町長町議選告示七日で、私を連れて行く車なくでした。

六日は、私は欠席ですが、外孫が立川で結婚式で、孫が外孫にしろ最初でして長命したよろこびの一つです。

七日は午前雨、午後止む、入梅だから降るかと思ったら又天気です。とうとう七日より寝込んで了次第。心身の疲れと暑さにやられたらしい。

万緑や 握手交せる 町候補 やつと一句です

八日午後 西原候補が訪れたので握手、彼も遠縁なんです。町長と町議が同一なので、それから車道は賑やかです。お祭り騒ぎです。

以上、私のその後と一ヶ月ご無沙汰の理由の訳です。今日で五日寝込み、床の中で書く始末、お許しください。十一日金はなんとか診療所へ自力で行くつもりです。断片的です。何日かかの便りになりますやら。

395 (7/8) (便箋4枚のうち一枚目を欠く)・・・を持つ由ですが、私は来年やつと90で

すが、最早 鋏が使えなくなります。六月七日に寝込んでから、十一日(金)にどうにか自力で前の診療所に行き いろいろ手当をいたしたら多少具合が良く、翌日から雨が降らぬと盆栽の手入れかたがた庭を歩き、運動です。16日は五十年忌以上になります、亡母の忌日で、毎年この日は新ジャガを掘って供えます。野菜畑行つて掘って供えました。

遠き亡母 忌日へ供えし 新ジャガや

もう畑の事も考えず静養ですが、孤独にはなれて居ますが、流石に侘しく過去の事が浮びます。淋しいことで、覚悟はしているんですが。

七月三日、(五月二十九日に)取材のあった家の光の姉妹紙「地上雑穀特集号」

掲載誌が来ました。折が有ったら、コピーでもして送りたいです。七月二日午後五時 光化学スモッグが発令されました。この日は珍しく時鳥が仕切りに鳴き、蒸し暑い日でした。雑穀(を作るの)は今日を中心に三日位で、5日遅いながらも苗床に蒔いたが、後はそのまま寝込んでしまったんです。段々体調は持ち直してきましたが、早くも一ヶ月になりまして、五体不満足な体もメマイは遠のきました。九月半ば頃は或いは回復するか?幸いに休養中は雨が多く涼しく、寝ているには温度適します。

七・八月の夏の休暇を得て、子供も孫も顔を見せるでせう。・・・痛むところをなでたり、薬を塗ったり貼たり、内服薬もあるです。七月の空はいつ快晴になるか 自然観察も怠り勝ちで 朴や栃の花も知ず、

栗の花は気が付ききました。紫陽花は咲く処です。

396 (7/28) (安孫子が問合せた・・・) カラムシは西原でも私が百姓をする頃までは

多少採る人がありました。私の父は折には採り、縄用で下駄のはな緒や小包を作る小縄用でした。麻より皮は薄いが丈夫でした。織物用は明治時代迄でせう。父は夏の土用中が採集の時期と云い、刈つて束ねて干したものを暇なときに水漬して加工したでせう。生ではなく麻同様で、麻もその刈た後に、畑の後作は味がいいといって、干菜用の蕪菜を作りました。織物用は古い時代、楮、麻、カラムシ、或いは桑だったでせうし、煮てからさらしたでせう。

中川さん宅には焼ける前その頃の反物があり、タホと云いました。カラムシの根は掘つて、摺つて小麦に混ぜ、打撲した所へ貼る民間薬として用います。猪が掘つて喰います。人が喰った話は聞きません。兎に角、糸にする迄には手間がかかるが、遠い昔には草木の皮で布を作ったですね。

・・・小倉遊亀画伯は104で絵筆を執り、尺八の島原帆山さんは99で元気に尺八の指導をしている。私は来年やつと90ですのに、鋏が使えません。老醜ということですが。五体が不満足は仕方なしです。淋しくも独り、生きる間は周囲の人に厄介にならぬよう頑張っています。・・・真夏の暑さをどうにか越して、九月彼岸迄に無事なら90迄生きられるでせう。暇があれば、あれこれ整理も行いたし、亡きあとは、大方は屑として捨てるでせう。

若い日からもがいた私も、宿命で清貧と浅学に苦しみました。もちろん名もいらず、句も残す必要もなし、安孫子さんは私の半生知り知りませんが、随筆も何編か地方紙に書きました。整理した中から、読んでいただくよう同封します。一冊笹村先生と私の事もでています。(判読ください)

297 (7/28) どつしりと 石に腰かけ 夏の空(夕方に)

梅雨明け23日より猛暑です。東は猛暑 西は洪水ですね 五体不満足の私は、鋏を捨て二ヶ月です。この暑さに耐えて、秋までに静養に努めます。日暮蟬が鳴きます。お盆当方は八月です。

398 (8/30) 炎天を 逃れ樹下で 蟬をきき

夏も終わります。猛暑の夏、八月は局地的の豪雨でしたが、西原は今年初めて出水で何処よりも雨量は僅で被害なしでした。

お盆は雨で何も楽しめず、家の者は新盆廻りに追われた様子、子供も亦慌しいか、十五日夕方一泊で墓参に一人来ただけで、相変らず孤独のお盆でした。

廿六日午後 木俣教授学生と五人達で来宅 一時間程でした。小菅泊りの由。米国には十日間在来とのこと。相変わらず多忙でせう。随分元気な雄姿でした。やく一年

振りで会った次第。・・・
今夏は、日本大学生物資源から学生が調査と木俣さん丈です。もう来訪する方々も無くなるでせう。

廿二日 末子（三男）が墓参に来て、一緒に私も墓に 本年初めてです。忙しい中を平野田の亡甥の焼香と新築した家を見に行きました。

399
(9/7) 芋の露 晝でも光る 秋である

猛暑の夏 極地的な洪水 銚を捨てた私は、矢張り健康で働ける事が一番楽しいとしてみみ思うこの頃です。但し いつも野生児ですから 気ままに自分の事由の毎日でした。山のけものに近い生活であろうか？とも感じます。

生命力は強でせう。駄目と覚悟したが、又三ヶ月経たら回復してきましたが、昨年とは十年も経たように老いて了ました。―何かを学び何かが行えることが活きていることとせう。

九月になると感激な句集の祝賀会を思い浮かべます。それにしても一年経る老化したものです。ぐちのみ書いたが、生き残ったことを誇りとし、頑張ります。西原地区除き、九月五日迄、光化学スモッグが6回発令、空気丈はいい方です。

夏の発掘現場、お疲れですね。オオタカは山梨でも話題です。

五日 山形では日本一の芋煮会でした。種類は違いますが、当地は十月で無ければ芋が出来ません。十五夜が当方では芋の年と言伝えられます。

400
(9/20) コスモスの うす紅色や 秋である

涼しくなりました。然し快晴とはならず曇天です。 九月は秋祭りで十八・十九が一宮です。敬老会はいつも十月で、三日です。―お盆もお祭りも一人でテレビでも見る丈です。孤独には慣れています。―涼しいから元気が出て、来年のことは当にならないのに春は続く―と頭が変です。―涼しいから元気が出て、来年のことは当にならないのに春は何か作れるかと、荒れた畑を時おり開墾の支度をするが、豊作らしい秋も収穫するものなしです。是も物足りぬが、いつかは当然のことと予期していたが、現実となると淋しい。知の通り生活は不自由ないが、五体不満足は辛いことです。彼岸には子供も忙しいから当てにならず、それでも九月半ばすぎから十一月半ば迄は私には好季節です。何とか越冬が出来ればと体力づくりです。

日がさすと蝶や蜻蛉が来ます。―やっと虫眼鏡入手しました。今年こそ「雪虫」観察します。視力が悪いから暑いうちは双眼鏡も使いません。
お祭りや物日（行事）は特に孤独感が深まります。

401
(10/6) マゴノ手で 背を搔く夜長 虫鳴きて

山頂から秋が来ます。青色があせて病葉が散ります。暇ですがまだ読み書き事に気力がでません。近代化とは慌しいこととせう。・・・お盆も秋祭りも又彼岸も忙しさが訪れる者なく、そうした物日の折は家は留守が多く、ひとりぼっちの私です。

診療所へは週に一回か二週に一回通うが、知人もまれで世間話の相手もできず、生き残れば残るほど、孤独で余所者のようです。珍しく照り年の一年で、豊作の秋ですが、収穫する者もなし、侘しい秋です。・・・

夏の想い出は、木俣教授と学生が来宅した事で学生の一人は町の方で、便りしたら早速返信がありました。矢張り町の人とあれば恋しいですね。他に日本大生物資源科学部の学生が二人きました。世間には通用しない老人を訪ねる人も絶えるでせう。小菅には100才の人がいました。桐原・小菅の間の西原は両地区より短命です。そんな事を考えます。それにしても労働力も弱い私が生き残るとは不思議です。

十月 鉢の彼岸花が咲き誇る。夏の照りで遅れたでせう？ 山野の自生とはきつと十日位遅れたでせう。十月は快晴乏しく、急に低温です。

402
(10/20) 冠雪の 鳥海へありと 友とも会へ

鳥海山へも白山へも初冠雪の由、寒さが急ぎました。

秋は会えぬと思っていました。いつも私は多弁ですから、注意しても嬉しさのあまり駄目で、人前では食事も恥ずかしい次第。三歳児のようです。

世代がちがうから、親しく語る相手も無く、無言の日が続きます。午後は薄日がさし、あれから残りのさつま薯を掘りました。金子さんとは一年振りでした。ここまですると会った時が終り日、六月から五ヶ月目で、宿命と戦いながら最後修行です。十二月半ばから厳寒でこれから無事に越冬できれば200年で卒寿ですが。

間もなく霜が来るでせう。西原の秋色は霜が来てからです。菊も満開は十一月です。予報では暖冬だという。地球も段々高温らしい。

403
(10/28) 友と別れ さつまを掘れば 遠山日

年に一度、人中に出る祭りです。前夜祭は危ないので、十日、展示コーナーを見に行き室内を杖なしで休みながら見て、今年は早々に帰りました。盛上がる頃には車が激しいから安全の時間に帰宅しました。五体不満足の上巻碌気味で、恥をさらしてはと思います。それでも四五人 知友に会いました。晝食にヤマメ、センベイを食し、それから寝込みました。天気は実に快晴で上々でした。帰っても語る相手は無し、今縄文人の休養は寝るのみ。

紅葉の早い行楽地をテレビで見ますが、格別美しいのは上高地、奥日光、北海道でしたが、新潟の秋始末と題した「小さな旅」で、紅葉ばかりが秋色ではなく、黄に実った田圃もいいですね。鳥海山の秋は田あり海有り、私の夢の風景です。ふるさと祭りは前夜祭がいいです。お神酒呑、芸能楽しみ、町のおはやし、檜原？からの和鼓、お祭りすきな甲州睦会の神楽や川をはさんだ行灯の灯、土地の和鼓、太鼓の音、ふるさと西原の匂い、遠い昔の祭りが浮びます。それにしても全校四五人（だけの）小学生、山村の行末はどう打開できるでせうか。

404 (11/10) 遠山日 仰いで暮と 落葉風

立冬になりました。気温は平年並に戻りましたが、曇が多いので珍しく初霜まだです。

今日は嬉しいお便り有難うございます。猶、私の無聊に温かい読物（書籍）を戴き、重ね重ね御礼申し上げます。御入来の折のお土産のまんじゅうはとも角、包紙に私の思慕する近藤・土方の事が書てありました。高幡に記念碑あるは青年時代から知ていましたが、銅像迄は知りませんでした。四十万人になっても今まだ両雄の如し傑物は出ませんね。甦った次第です。

八日雪虫を見ました。午後小雨で認めた丈です。虫眼鏡を入手したので、今年こそ良く調べたい。それから花木の花芽を調べます。是が私の行楽代りです。夏の日照りで菊も不成績の由。もう拙宅は日照時間は六時間です。冬至が近いが本格的寒に入り、体を鍛えて是非、新年を迎えたいものです。

405 (11/20) 小春日の 黄昏れ三日月 見つけけり

二日間快晴で十五日は終日雨で急に冷えしました。十六日は晴れたが、木枯し一番が吹き荒れて今冬初めての寒でした。柿の葉も落ち尽したが、実は一つもありません。五月の晩霜（のせい）でしょう。是も怪しい風景で、凋落の色濃くなりました。予報では暖冬の由なれど、雪が多いかどうか心配で、森蔭ですから雪が降ると全く冬籠りです。知て通り足が不自由ですから向の山を眺める丈です。

車の通るは僅に見えるですが、例年より行楽への車は少ないですね。もう少し動けたら終日一人でも退屈しないですが、何も御送りできぬことは張り合がありませんね。それでも老人としては倅せの方と思います。生活に心配はなく、何とか自分の身廻りが自分です。只今は小籠で落葉掃きが運動です。柚も蒟蒻も送れません。雑草で荒れ果てました。

新千年を迎え度、体調を鍛えています。兎も角。過疎化には困りました。

406 (12/4) 霜柱 踏ゆく足ざはり 山の冬

今朝一番寒く部屋が六度で、もう二・三度下がると炬燵から離れられないです。霜柱が立ました。地面が凍る支度です。廿日が私の誕生日です。満八十九才で新千年を迎えれば九〇です。私も何とか頑張り新千年を迎えたいんです。

短命の村で十一月から葬式三つです。―小菅村の六十年間の老友が八五才で先立つ。十一月廿一日でした。衝撃でした。―次に、兄甥姪が死去で、本年も喪中で年賀は欠ます。正月明けに申し上げます。静かな正月が三年続きます。

オオタカの保護は大変ですね。肉食動物は狼が減び、貂や狸狐も餌不足で移動です。雑食の弱いが鼠やウサギは餌にされても絶えませんが、鷹類は大木に巣を造らしく、西原では松や樅の大木に小さな鷹がいました。

末筆恐縮です。良き越年をお祈り申し上げます。家の廻りの落葉掃きをしています。

407 (12/14) 黙々と 冬枯の山 見入りけり

体調は幾分良いですが、寒と痛みます。なにもすることも無いが、正月は来客もありませんが、家の中の整理や掃除でもと思います。無事の御越年お祈り申します。

冬枯れや 襟かき合す日 葬の列 (弔句 十二日友人が死去 葬式後 六日経って知りました。七〇歳 実感ではありません)

日本海側は本格的雪の季になり、交通も混乱ですね。

西原産の山葵漬 一番早く入手 御笑味を乞う。・・・種薯本年遅れ 昨日入荷 私は昨年の半分注文ですが、造れるか作れないかは、一、二月寒を越した体調次第です。昨年は半分捨てました。空白があるから何個か入れましたので試作してみて下さい。体調 相変わらずで、朝は室内三度です。戸外へ日当りが遅れる家です。十時です。日照時間が短いから、支度をした雪虫は観察せず、それに本年は雪の降るさま程の群は一度もなく、五、六匹です。花芽は観察します。

廿日誕生日で翌日から九十才を数えます。どうにか新千年の初日が拝せます。

平成十二(2000)年 降矢90歳

408 (1/7) 双手あげ 新千年の 日を仰ぐ

慌しい時代故 好天気でしたが庭に眺める処、実に静かな正月でした。私は喪中故にとさら侘しいは当然、子供は次男が四月以来はじめてで 他には来ません。私はいつも通り一人で午後庭にでるのみで 炬燵です。

期待と何か不安な拜年で 男の長老雀はいつまで続くことか？

409 (1/14) 冬萌て 木々の梢の 芽が光る

今冬の初雪が十二日午後以降り出し、思いがけず二女が迎えに来たので三時出発で安曇野に向う。甲府は雨で松本盆地は小雨で六時到着。但し、自動車でしたが、車窓から何も見えずでした。何日か娘の世話になります。

越冬白鳥が十二月頃から来ている由です。特に疲れひどく、一日位は静養です。元氣になったら白鳥を見に行き、白馬やアルプスの遠望も楽しみです。川は西北に流れ信濃川になりますので、西原は西北が水源ですから反対です。九十才を迎えた出発ですが、矢張り老化増して今度は一つの冒険ですね。然し小雨で西原より暖か、気象変化は妙ですね。三月を想わせる暖です。冬芽といいますが、その通りです。

今度長く滞在しないで帰宅の予定。世相慌しいようで、期待と不安な出発です。ご

410 (1/25) 冬萌の あずみ野の麦 つややかな (十四日の句作です)

九十才を迎えたものの当然ですが体調は老化するのみで、兄の喪中のみでなく、心の浮かぬ侘しい正月でした。

十二日、・・・(松本行) 翌日は一日雨で疲苦で寝込みました。

十四日 三月を想わせる暖な晴天にて 真冬の遠い盛あがつている白馬やアルプスの雄大な山々を仰ぎ その荘厳な遠望あきません。午後は川に越冬する白鳥・鴨の群を見に行きました。

411 (2/7) 日向追う 冬のみぢか山かげに

二月二日 廿日ぶりで信州から帰りました。二年続けて冬の信州を見ました。今年は珍しい暖冬の由ですが、豪雪地帯は例年通りで、私の遠望を楽しみたい処は五・六月でなければ行けません。幸いに除雪された白馬のジャンプ場へ廿四日(競技の前日) 好天氣に見に行きました。八方尾根スキー場も遙か望みました。

三年つづいた喪中がやっと明けましたので、諏訪大社に行き、諏訪湖も眺めました。何処も見納です。元氣と云っても齢には勝てません。五体は老化するのみです。

帰宅しても三月下旬迄はじっと冬眠する私です。四日は待望の立春で私の正月元旦この日が農の起点です。

二日に帰宅したら室内は二度で、暖房の生活とは格段です。それでも我家です。四日は〇一度で外は〇七度でせう。暖冬とはいえ、越冬は仲々です。疲れがでたか又、軽い貧血です。

412 (2/7) 帰宅したら 何やら氣抜けしてしまいました。私もいよいよ老化は増し、

当分私もご無沙汰します。

桜の花の咲 四月にでもなったら、私も氣力がでるかどうか？

413 (2/14) 冬麗ら 坂みち下る 杖つくる

日脚が伸ましたが、庭へは九時頃で、夕方は三時四〇分の日の入りですが、午前中は炬燵です。暖冬とは申しても、一月僅か降った雪が日蔭には残っていて日向は風が吹くと土埃が立ちます。秋から照りが多く乾燥で、当方は雪も降らず。帰ってから何も手に就かず、毎日孤独です。何をなす氣力も出ません。異常氣象はいつまで続くか、水不足になるか？山梨は乾燥で梅花の咲くも遅れる由です。爛漫の春も異常有ですね。花の無い庭に鉢の水仙がポツネンと芽をだしました。

二月一日は末子が八王子支店より北巨摩高根町支店長に昇格栄転しました。今夏は甲府の自宅から通勤でせう。十二日は町に住む長女が掃除にバレンタインのチョコを持って入来、半日仲良く語る。好日続です。

414 (2/28) 暖冬も残寒が仲々去り難く、雪も降らず乾燥しきった庭には花も無く、水仙が芽を出しただけです。南房の農友の便りには菜の花盛りで春耕が終り、野菜作りだとの事。当方は例年より春が遅れそうです。四月では菜の花は、二月に帰る折、街では桜や紅梅が咲いていました。あれから一ヶ月ですが、町の北隅の日蔭の我家はそのままで。然し日脚はもう一時間長くなりました。年は改まっても世相は慌しい様子、是から若者達は実に大変ですね。

地図を求めたので時には虫眼鏡で方々を見ます。秋に二回も探訪された木俣教授の奥群馬の豪雪地帯の雑穀の残っているという片品村・新治村や今秋研究会を開く六合村等を丹念にみています。西原に似た特色や伝統があるのか知れませんがね。

415 (3/5) 桃の節句 当方は梅も咲かぬ珍しい節句にて、二月は一度も雪も無く、是

も史上はじめてでせう。残寒が厳しいうえに乾燥で 日向は土煙、日影は凍って、二月は毎朝厚く氷です。町の北隅、海拔500mですから町より一ヶ月も春は遅れそうです。

雪が降らぬので暖でしょうから、現場は予定通り進行なされているでせう。新聞に珍しい出土の事もよくでますね。東京ドームの洋蘭展や盆栽の国宝展も見たい事ですが、想像や推定ですますのです。

自分は縄文人ですから、立春が元旦で天文学や氣象の崇拜者です。八十八夜の十日前後から雑穀作りで、彼岸頃から例年はジャガ植です。申し遅れたがジャガ種は男爵ではなく伯爵です。男爵より病害に強い早生種です。

帰宅して一ヶ月何もせず、午前に炬燵午後やと戸外ですが、山の南面まで一度も行

こんな私で、九〇才にして私の表面は至極幸福そうでせう。

五月連休明け頃、お出掛けの予定のようですが、金子さんからもそんな便りでした。西原も年々静寂です。サラリーマン時代は山村は特にそうですね。・・・畑を見る処もなし、それに雑穀の方も作れない私ですから、訪ねてくれる方も稀です。体がもう少し具合がいいと楽ですが、生きている間は介護を受けず苦痛でも自力で余生を過ごしたいですね。

(以下は反故紙にメモ書き)

実は色紙と短冊を求めて来ましたが 九〇才の記念に友人に贈ろうと練習中で もう老化が進み最近では体がふるえ特に筆を持つとふるえて駄目かも知れませんが、五枚ほど老人のありのままで書いて贈りました。

浅学の上 習字の基本も習った事がないから無理です。特に句の選定も大変です。

双手あげ 新千年の日を仰ぐ (元旦の句)

河鹿啼く川辺の桜 友を訪う (昨年四月の句)

① 立春や 山葵 萌出す 鶴の川 (山葵屋君へ)

② 天日浅し 土手を背にして 爺一人 (同人へ)

③ 山渡る 風よ春をも 道連に

④ 花の春 閨浮檀金は 夢の夢

⑤ 春遠し 水仙寄添う 日射しかな

⑥ 梅咲きぬ 雛の節句や 山の村

⑦ 菜の蕾 寄添う日射し 春浅し

⑧ 息かけて 梅の蕾や 息白し

⑨ 厚着して 風吹く空や 曇はとぶ

⑩ 道ふさぐ 大風後の 落た枝

十句は最新の即興でこの中から選で書きます。

句歴五十年でも素養も人格も低く 老人は駄目です。

表の記も面倒をかけましたが句集に加えるは恥ずかしき事多きで、静かに余生を過ごしたいのみです。取り急ぎ書き加えました。

420 (5/2) 日脚伸ぶ 辛夷の寺や 夕の鐘

私は思いも依らぬ 本年も桜の花見を十八日好日に友人の御厚志で、車で花見をしました。山葵屋さんです。十一時頃中川さんに行き三人車で原文にしました。間もなく晝で、花の里(蕎麦店)で中食をとり、三人で歩き帰りに中川さんで談別れました。一年振ります。家が建たり道ができ、空家ができて、一年でも変わるものです。

廿三日も好日で 亡妻の三回忌を子供達だけで営みました。早いもんです。三年です。

忙しいから(子供達)日帰ります。連休も私は独りです。

萌芽から若葉に変わりますね。

天候が不順故かこの処足腰痛み何も出来ません。五月一日運動にやっと歩くと松姫峠から十六年前に十才幼苗を採ってきた五葉つじ(学名八汐)が十六年でやっと開花を見つけ、足の痛みも忘れるほど嬉しかった。やっと念願の花も見ただ嬉しい一日です。 いずれ又

421 (5/2) 28日付けの御葉書五月二日 拝見しました。いろいろご多忙の御様子、連休明けの例年の十五日頃と期待していました。私は四日も五日でも在宅暇ですが、何の用意もできぬお詫びします。連休で郵便物遅れたそう、お返事が届くかどうか、二日に投函します。久々に会談させよう。

422 (5/11) 明暗をこめて咲きにし 躑躅(やしお) かな

五月晴の好日御来訪下され 全く有難いことでした。貴重な連休を本当に嬉しいことでした。例の通りで歓待も出来ずお詫びします。どこか車で散策をと申されたが、東部落遍益へ小型車で一周の道が完成しては是を望みましたが、久し振りの面談も恋しく止めたんです。

愛蔵の松二鉢 枯死され落胆している四月でした。

五月一日足の運動にとふと五葉つじの咲くのを見つけ嬉しくなったのです。十七年前に松姫峠より実生10才の苗を採って植えたものが、私が九〇才を祝して咲いて呉れた気がして元気ができました。五葉とは葉五つのつじ学名やしおで つじ科で一番大きくなるつじです。 安孫子さんに撮って戴き これ又何よりでした。

423 (5/18) 記念の写真美事にて 早速御送付下され忝く御礼申し上げます。子供に送る予定 親しい友人にも。偶然といふか、卒寿を躑躅が祝して呉れた気がして、嬉しくて毎日眺めに行きました。安孫子さんが今年に限り連休にご来宅も偶然の取合わせか満開を撮って戴けたのも幸運で、十五日頃は散りました。十七年振りの偶然かしら？

十五日に金子さんと滝川さんで 私の卒寿を祝賀して記念品を鄭重に下さいました。色紙は汗顔でしたが五日に書いていたんですが、下手は承知ですが、人格が現れますからね。浅学農人耄碌気味なんです。でも病弱で生き残ったことも不思議です。若葉から青葉への鶴峠越し奥多摩経由の帰途は好感だったでせう。私も武甲トンネルから桧原山岳有料道路へ鶴峠への初夏を想うことがあります。

ここ毎日俄雨が二三回あって、時には沢山降る日もあり閉口です。

母の日や 白い躑躅が 悦びて咲き

母の日にしたら変な味ですが、妙です。この句を金子・滝川さんご兩人への返礼の句を副えてお礼状を差し上げたんです。
西原も地方色は亡くなり、五月節句の伝統も段々失せ 近代化はいいが私には怪しい。体調もすぐれず、毎日独り単調な生活ですが、それでも考えると老人としてはいい方かも知れません。

424 (5/27) 偶然の 重なり 躑躅 友を呼ぶ

全く私には好都合なやしおでした。廿六日写真焼増しありがたし。立派な写真で子供に送りました。私も案外元氣に見えますね。天候が悪いのに五日は好日和でした。私は一番適温の季節ですが体調はよくありません。・・・同級生では生き残ったことですが、誰より勝利者とも思います。浅学でも亡き笹村先生と三十年近く交際したことが聴講生でもあったでせう。その後 木俣教授と是も聴講生であったでせう。次は安孫子さん、この三人に巡り合ったことが私の一生の人格を高めて戴いたのですね。宿命と挑戦の力でもあったと信じます。
向いの山に藤の咲くが見えます。大きい藤株でせう。・・・急に真夏日が来ました。廿五日は町に光化学スモッグ発令で西原は除くです。
暑いと暑さにも負けます。なるべく世話かけぬよう頑張ります。

425 (6/12) と ぬつと出た 枝に咲たる 山法師 (小正月に団子をさし) (山桑)

暑さが早く五月下旬から真夏日が来、雨は乏しく照りにやられました。馬鈴薯の花盛りに入るところです。作物に依ると照りにやられますね。
私は五月下旬より昨年の如く体調が悪く何もできず、畑は荒たままです。生活も心も豊かさがほしいですね。まだ色紙も又沢山送って戴いたまま 本年の記念写真もそのままです。暇はあるんですが、心の豊かさが無い時はだめです。随筆や論説や民話も書いた日もありましたが。
中川さん西隣の源久さん 五月27日 74才で亡くなる。原では昨年十一月から男性五人目の他界です。後輩がよく先立つて了う。気候も異常で松蟬も鳴かず、蛙も特に雨蛙は見ません。まだ時鳥も来ません。それで人影も少ない西原です。

426 (6/26) 青葉冷え たずねて呉れた ほととぎす

雨の日は低温で梅雨晴には特に高温ですね。廿日の暑さは三二度位でした。廿二日も暑く、光化学スモッグが五回発令の由ですが、西原は除外です。・・・

雨の日が続くと戸外に出られぬから退屈します。然し雨の日は時鳥が忙しく啼きます。松蟬、雨蛙も近年は鳴かず。六月半珍しく農友古家実君を訪ねて半日語りました。十九日は野菜畑に行くと思えず、親友山葵屋さんが留守に四月の花見の写真出来上がり、沢山置き、会えず残念でした。

父の日に末子が十時に来て晝飯食し帰る。二人でジャガの發掘り、ダイコンを持たせる。例年より遅れています。当日、子供達が卒寿を祝ってテレビを呉れました。壊れて四ヶ月使えませんでした。

427 (7/18) 紫陽花がまだ小さな蕾ですが、週日小雨が降ったりやんだりです。

沛然と 雷雨に散れる 沙羅の花

前略 暑い事ですすが梅雨が明けた由で、是から夏本番どんなに厳しい暑さか。・・・次に何も送るものではありませんが、インゲンを今日採りに行きました。採ったままですので 選別してご笑味ください。鉾を捨てて遊びに作った野菜です。昨年ほどではありませんが、五月下旬より体調はどうもよくなくて、歩行が特に不自由で、家の周りの丈の運動です。

・・・忙しい時代に暇な身も怪しいです。それで句作も読書もやれません。齢という事でせう。九月彼岸頃までは暑で大変でせう。

428 (7/27) 山百合や 人気なき郷 日にひそむ

梅雨明けよりの猛暑には驚きました。室内で八・九時までになつても30℃31度を指します。日中戸外は36℃37度でせうか。昔のようではなく 早く雨戸を閉め、風通し悪い室内ですから閉口で、布団に転がっているが、夜明けは10℃12度位に下がります。眠るのはきつと一時頃でせう。

朝は遅いから、午後から四時頃まででむしろ日盛りは風のある緑陰の方が涼しいです。・・・五月に安孫子さんが御来宅下されてから、それでも月に一人位は訪ねてくれる。六日の選挙には男の長老として自力投票に行き、自己満足しました。一年振りです。皆忙しい時代に安閑としている身です。然し生きている故に二〇〇〇年札を手にしました。昨日より今日も雨で十度以上低温。

429 (8/8) 暑い日が続きます。夏のお祭りの土地は賑やかですね。東北が有名、富士五湖、八王子で手近もあります

八月は想い出の多い月です。敗戦になり、大分空港から三日がかりで廿四日に復員したら、留守中家は類焼していて、生きる為に必死でした。それから四〇年前、八月十

四日退院（半年入院）いつも清貧に生きなければならぬ宿命でした。それでも生命はあるのでせうか、生き残ってきました。

◎木俣さんが学生と八月十七日訪て下さる由。木俣さんと会えることが楽しみです。又、賀曾利さんは八月一日東北からサハリンに出発、一ヶ月走る由。

暦では立秋ですが残暑という事でせう。例年はからが暑い。大根、白菜作りが大変です。立秋後一週間後が平均の季●です。秋そばそうです。

上野原は八月のお盆ですが、私は物日も独りです。盛んに蟬が鳴き、蜻蛉が訪れます。五月 近くに森の芸術館ができ、三月より一ヶ年予定で農村公園を築設中。村の様子が判らぬ老人です。ソバ作り名産の目的●そばどころ三軒あり、まだ増す由。然し山村はいずれも過疎化同一です。

430 (8/21)

秋立り 荒れた畑の 竹煮草

十七日 期待していた木俣さんは御不例にて会えませんでした。学校の改革や記念行事、米国講演等で御心労も加わったでせう。当日は学生三人で中に一人井上典昭君は三回で上野原出身です。小菅泊りの由、少し遅かったので短時間でした。午後五時頃より大

雷雨で、雨降る頃着いたでせう。

十三日から雨で涼しいお盆でした。誰も来客なし、子供は町ですが、七月に一寸来ました。家の者は新盆が多いし行事もあり、相変らず独りぼっちで戸外に出られず、侘しいお盆でした。・・・暑さも彼岸迄ですから、一ヶ月ですね。涼しくなったら 元氣に戻りたいです。朝は雨でしたが暑くなりました。

431 (9/5)

さりげなく 秋の虫聞く 夜となりぬ

(暇はあっても心が和まぬ)

と句作れず)

七月タイ国に行った学芸大学生が帰国して、日本の夏の方が暑いという便りを呉れました。たしかに八月お盆が過ぎたら残暑が厳しく盛返しました。体の管理が仕事で涼しい処を探し一日が終るが、雨戸を閉めると部屋蒸し、私も寝不足でいろいろ思うのです。孤独の侘しさですね。しかし伊豆諸島を思えば、まだまだ我慢できます。一度北海道から日本海側を通って見たかった夢がありました。日本海は表であつたからです。奈良・京都も恋しいが、今は夢を捨て静かに余生をと氣弱になりました。昨夏のように寝込みはしませんが、一年経つと齡が寄るですね。

八月十七日 一年振りで会えるを楽しみにしていた木俣さんが風邪で延期は残念でし

た。秋は都合するとは云いますが、多忙なのでどうなりますか？
九月になれば日照時間も短くなるので涼しくなりますね。

432 (9/14)

新涼や 風に。揺れてる コスモスが

一と畑へ 南瓜胡瓜も ゆうがほも

九月二日は記録的な暑さ、翌日小雨で気温下がる。三日は終日雨で二日より一〇度以上低く涼しさを越え寒さを感じ、慌てて重ね着をしました。富士は初冠雪の由。

私は若い時から病院に行き、いつも生活に追われて旅には行けず、妻には進めて団体旅行や時に温泉へ行かせました。私は日帰りには稀に行くのみで、以前は家禽を飼っていて家を留守できず。手作り農は暇なしで、晩年、家畜も飼わず、養蚕も止めてよりやつと●と何とか保養しました。望みはもつと若い日に出掛けたかったです。自分反省してすすめています。

五月下旬の暑さから体調が崩れ、遊と運動を兼た畑や盆栽類の手入れもできず、然し生き残っているは不思議です。話せば愚痴のみ、お詫びします。

僅の間に 氣候の変化にも驚きます。照り出すと暑いし、体の管理が大変です。雨が降れば適當の温度ですが、戸外に出られぬと独りの侘しさです。便りは書くが、五・六日投函できないことが多くなりました。

伊豆諸島を思えば倅せだと思ったら、多摩ニュータウンや秋川へ島民が避難は都庁の人事では？(註・教育庁の担当だった。私も秋川の避難先に3日間手伝い)。それから全国的の豪雨ですね。東海が最も●、九州・四国は長引きますね。当 上野原方面被害無く、西原は出水せず、十一から十二日は晴れて、晴れ渡った名月を十時 戸外で中点に輝く月を●●かです。●に一度位の記憶です。(●汗？の滴で読めない)

433 (9/14)

素枯れたやさしい 御笑味ください

434 (9/18)

百日紅 花尽き彼岸の 回向かな

先日の豪雨は笹子峠より桂川沿いは被害なく 小雨で甲府中心の富士川は被害があつた様子、何といつても伊豆諸島や東海でせう。西原 十二日午後四時頃から晴天で素晴らしい十五夜、私の記憶でははじめて、夜空高く曇ひとつなく九時と十時に仰ぎにできました。句作るにも感動強く、「おお名月や名月や」でした。

翌日曇り、十五夜は半曇りで敬老の日に町に住む長女久し振りで来て、私の部屋の整頓と掃除をして呉れました。十六日は雨で雷雨になり、夜は西原の秋祭りの代表で、雨の中を神輿が廻りました。子供や若者が乏しい過疎の山村祭も淋しく、地方色もなくなりす。夜は幸い雨が止み、台風逸れたか、十七日も午後日がましました。

私はいつも独りで、関係なしです。新生せねばならぬ日本も実に激動な時代です。私は想う丈です。男の西原の長老です。生きている間は自分だと努めています。

435 (10/5) 天変地異とでも申しますか、本土全体 局部的豪雨で名古屋付近が最高でせうが、山梨も笹子峠を境に何年振りの洪水、都留郡内は小雨で被害ありませんが。九月は当方 秋祭りですが十日過ぎのお祭りはみんな雨に祟られました。お祭りも過疎地は子供も若者もすくないですから、きつと年々さびれてゆくでしょう。

畑へは時々野菜採りのみでしたが、八月は日照りでしたから日蔭(森かげ)畑が幸いして好成績でした。実は二回目の野菜は追肥せずに不出来でしたが、考えると来年は野菜作りが不可能と思つて、子供や知人に発送したんです。一個発送も二日ばかり畑から採り入れが一日以上で 荷造りして三時までに農協に出さぬと翌日です。農協は祭日、土日は休業です。今日四日やつと発送完了で、発送すると疲れて後は何もできず、思いながらご無沙汰になりました。

木俣さんは秋中には都合して来訪されるとは云うが？ 賀曾利さんは八月一杯北方で九月は韓国を いずれもバイクです。十月は久し振りで帰宅の様子と便りがありました。

秋しぐれ 初栗膳へ 旬の味

世日 町在住の長女が栗を煮て訪れました。九月敬老の日は長女祝賀に來り、信州の孫娘(園芸館に勤)が水仙と水も土も不要で卓上に置けば花が咲くというコルチカムと称する球根が届き、県と町の祝賀金が戴け、盆と正月が一度にきた如き佳日でした。私は火氣厳禁の生活で、煙草も室内では吸わず、戸外のみで畑で仕事にかかる前や終った折に吸うのです。畑で一段落した折 空箱に腰をおろし 自然を眺めながら吸うのが実に好い幸福感です。

こおろぎよ 明夜も歌へ 夜長かな

436 (10/17) 宵祭り 山裾にかすかな 灯が見えて

秋風が肌にしみます。男は辛いですね。

十四・十五日の西原ふるさと祭りは天候に恵まれましたが、本年はこの不自由な体で自分の齡を忘れては行けません。楽しみの祭りですが、車は多いし間違ひでも起こしてはと思い、家に独りで居ました。付添でもなければ不用意ですから。川面に映ずる祭りの灯は好ですが、庭では川の望めぬ家で、祭りの音を聞くのみ。仕事着で何かやるにも人目につくし、退屈な二日間でした。五〇人あつた旧友はほとんど先立って生き残った事は、幸か不幸かと考えます。

山が色付づきはじめました。下旬から十一月が紅葉の盛りで、菊も咲きます。処で、

以前木犀の咲く頃は稲刈りでした。

行動範囲が狭いから、西原の風物も判明できなくなりました。本年は里芋も作らず、蒟蒻畑も荒してしまいました。昨夏より記念桜のある処まで行きません。

死ぬ人が多いので、死んだつもりと考えれば諦めがつきます。死とは自然に帰ること、後はどうなるか？こう思うといいですね。暇で野生児ですから、折々投函が遅れます。

437 (10/24) 山の秋 都庁の友よ 紅葉せり

秋が深くなりました。十月もしぐれる日が多いですね。新生する時代でせうか、忙しい時代ですね。・・・以前十月半ばには里芋採った時代がなつかしい。しぐれる日は日中部屋は十二度です。

桜や山うるしは紅葉しましたが、霜が来ないと紅葉の盛りにはなりません。

・・・西原文化人の作品を展示コーナーで見たいので毎年行きました。・・・菊も咲き出しましたが、文化の日頃から満開になりますが、異常時代ですから遅れそうです。

秋は私には丁度好い季節です。体調も快調ですが、矢張り、年々体力は低下です。皆忙しいから、拙宅も空家のように、毎日一人です。テレビを見ると行楽やスポーツが休日には賑やかですね。

ツが休日は賑やかですね。

438 (11/4) ゆく秋の 歩めば咳して 草紅葉

雪虫か 短か日舞して 冬隣る

晩秋ですね。愚図つく天気ですが、霜はないが紅葉で文化の日頃菊も盛りですが、少し遅れました。この連休 休息できましたか。三日も雨模様です。何か又ご多忙ですか。十一月といえば気温も低くて室内は十一度です。皆この連休で行楽・スポーツと秋を楽しむでせう。拙宅でも皆、何処かへ出かけました。もう私は世代交代ですから、今日も弁当を貰つて相変わらず対話もなく、一人家居です。

天気だと日向が恋しく、日を楽しみます。十二月下旬迄は、寒にも負けず、好期で苦しみながらも夏より体調は良いのです。

昨日 友人が訪ねて来て三十分ほど語り、みかんを戴きました。私の求めたのは酸味です。家居していると食欲も進みません。

森影の日蔭の畑に菜類をいろいろ作り、間引き菜を子供、知人に與えます。家では僅使用のみ。何年振りで京菜を作りました。この菜の漬物が好きですが、今の人はやわらかな漬物が好きです。静岡では正月の雑煮に欠かせぬ由。私は煮て喰った事が

ないから、煮て喰う試食です。他の菜で十二月は干菜一寸作ります。野沢菜はもう取り上げたい程で、町の長女に持ち来るように葉書を出しました。

439 (11/11) 初霜や こうべ下げたり 里芋も (十日朝 初霜あり)

残念なのは六日(月)に木俣教授が突然の御入来、晝頃だったでせう。近くの畑に菜類の間引き

に行き、農協に一寸寄った折だったでせう。留守と思い会えずでした。小菅宿に泊る由、土産に

記されていました。学生同伴でせう。毎日一人で退屈な私ですのに。

七日の立冬は暖でしたが、翌日から曇 急に低温でその後は小雨がパラついたり薄日で、十日朝は初霜でした。兎角短日で朝日遅く 家で晝は三時に日が陰ります。

西原は紅葉盛りを過ぎそうです。・・・私は初霜や初雪の折は体に障ります。なれると多少いいですが、今は九度ですが、十二月廿日頃は五度になる。それから虫の如く冬眠ですね。

440 (11/13) 追憶の 京菜漬たり 小春日を

又しぐれそうでしたが、晴れたので日を楽しみながら畑に行き、やつと菜類の間引きを終えました。きつとご迷惑であることを承知で、間引き菜(京菜・冬菜・のらぼう、小蕪)四種類を送ります。京菜の漬物は若い日の好きな漬物で、今の人達は結球白菜好みで京菜漬けません。・・・容器を探して野菜菜の如く湯を通してと思います。私の事ですから、味良くできるかどうか？三度食べれば気が済みます。京菜は茹でて永谷園のあさげ(粉みそ)に熱湯を注ぎお汁にし、満足しました。

畑は、日向は沢山あるのに、もうこんな有様でさつま薯など遅れて作ったら小さく日かげですのでこれこそ捨てるでせう。農人の最後はどうにもなりません。・・・

441 (11/22) 短日や たばこ輪に吹き 夕映えを(戴いた煙草の句です)

草紅葉 土手に憩いて たばこ吸う

北海道は雪ですね。下は一度のみで、桑はまだ青いです。・・・

十一月十五日、里芋を沢山作った隣の畑で野菜売り場には仔芋のみ出し親芋は捨ててあるのだ。

折よく出合ったので来年種用に所望し、心よく貰いました。慾をだして沢山貰い受け、

日影の畑

に深く掘り埋めました。 来四月は腐っているかどうかはその時のことで、多分、役

立つ予定で

す。上手に保管できれば植えきれぬで、結果により四月中に元気でしたら種薯としてお送りします

す。本年は種用の芋を知らぬ間に喰って下さい 植えませんでした。・・・(痛む不自由な体なの)

で来春の畑作りは無理といいながら、捨ておれば無駄にしたくない農人の習性がよくでている

る)・・・謝礼に京菜を差上げたたら大喜びでした。・・・気に入れば彼も作るでせう。

短日ですから晴れると気忙しい一日で、何か仕事らしいことやれば疲れてしまいました。・・・私は子供を満腹させる為、親は空腹であつても我慢し、子を世に出すのに自らは乞食になつてもという教育に育ちました。今日の時代は違つてきたようです。

処で飛んだ菜類を差し上げ痛み入りましたが、ご利用下され何よりです。特産品の乏しい土地で、捨てるよりと思った次第です。

町在住の長女夫妻 野沢菜採りに来て、是は役立ちました。早いがといつて私の誕生祝を持ってきた。倅夫婦は留守で、冬籠りの支度として雪、矢張り子供はいいですね。

短日を ねつ造きき 空を仰ぎ

442 (12/18) 寒菊や 三頭風におのきて

霜柱 踏めば音する 日影道

木守りの柿へ こどくな 小鳥かな

慌しい時代の師走も半ばになりました。例年より寒が早いですね。・・・

私は西原を小学校から約七十五年見てきました。只一人の子を戦死された親、子に先立たれて孫と暮らす人、又は孫の無い人、独り暮らしの人、現在寝たきりの人も六七人はあるらしい。わたしは五人の子供は健在で、内孫も健在で、只妻が先立った丈です。半身不随の不自由な体でも戸外に出て、庭で自然を眺め、時には僅でも野菜や花を作り、長男と同居で生活に不安は有りません。只、毎日が独りぼっちであるのみ。

時に十一月馬鈴薯種入荷、伯爵で白早生ともいう。男爵より病気に強い。いづれ折が有ったら送ります(一箱求めたら多いから)。宅配は農協で近いから便利です。

浅学ですから、生涯苦しみます。小学校で教えられた日本史を信じて 建国記念節に、

ゝ曇にそびえる高千穂の・・・と唱って、子供頃にも感激し、大和民族を誇りに思っていました。そして応召にも国のためと戦死を覚悟で遺言書き、爪と髪を遺品として

出しました。海軍でしたから戦死すれば海底で、歌の如く水つくかばねを覚悟したが、日本史は余りにねつ造が多く、応召の折、盛大に村境に送って貰った事は、是が私の

葬式と心で思ったがどうも大本営発表も捏造の報道が多かったことを知りました。日本

本史は勝った事の歴史で、負け事は無い歴史ですね。・・・私は古事記も日本書紀も

藤原氏等の捏造したものの気がします。

ですから、私は太陽信仰の縄文人が好きで、大和民族よりも縄文人の子孫であることを夢にして、天道様崇拜で、天道様に恥じないことを根本にして自分の宿命に挑戦して来ました。一応神仏は敬うが頼ったり願ったことは一度もありません、生涯自分の闘いですね。……

443 (12/20) 冬冬だ 裸木を見あけて 空がある

明日は冬至ですが雨らしく、向いの山への日没はだめでせう。

朝室内も極めて寒くて、まるでヤマネの如く炬燵で丸くなっています。寒いと痛むし、終日一人ですから、食欲もないですね。……舞茸を待ったが不作、出回しません。……私も一を加えると九十一ですが、正月はともあれ、是から三月迄は難渋です。でも雪の降らぬ間は戸外に日盛りは出られます。

444 (12/26) 冬日背に 宅配便へと 作る小包

冬至は晴天で、落日を見ました。縄文人には節分の翌日の方が正月に好く、今の正月は意に添えず、農人には旧暦の方が適します。即興の句です。

……金曜は診療所に医師が来る日で、腰が痛むので注射をしたり、痛み止め薬（安眠の）も寝る前に。但しこれは自発的、一晚置きに一錠を半分です。……雪が怖い

です。降ると前の坂道は私には交通止です。

生きている間は介護されず、自力でと体の管理は怠りません。

平成十三（2001）年 降矢91歳

445 (1/1) 洗米を 供えて若水 汲む柄杓（賀状）

446 (1/10) 松七日 明けて初雪 仰山に （七日夜半から降り出し

た雪でせう。朝初雪が十五^サ積もっていてびっくり）

．．．正月三日は寒風が強く、門松まで吹き倒されそうでした。当方は日頃の疲れか 寒さのためか、実に閑散とした正月で車も人氣も無い有様、皆炬燵をかこんで酒でも楽しんだでせう。次男が一人二泊して帰りましたのみ。来客は僅でした。

『縄文時代の渡来文化』是非実現下さい。知つての通り縄文文化に憧れているんです。

◎木俣さんは、タイ国から大晦日に帰国、早速 手紙を戴きました。タイは流石に冬でも暑い由、教壇の方が忙しく、農村視察の暇は一寸の様子、五日はハワイ学界へ、秋は学生とインドへ希望の如く。是から三月迄新設の建物に引越しをしたり、展示所を造るとのこと。

◎賀曾利さんは、年末東北に行き大吹雪で困難した由です。

◎金子さんから山葵の札の年賀状ありました。

処で、暮に入手して置いた蒔菰芋 年末に送れませんでした。是は自家産ではありません。私はとうとう二年放置で荒地地になりました。．．．遅れても寒が入ったばかりですから、まだ味が良いでせう。．．．干葉、子蕪を用意しました。干葉はご存知でせう。味噌汁で酒粕を加えれば寒い折のご馳走です。茹でて凍らせると味がいいです。夜は少しみぞれが降りました。

447 (1/19) どてら着て 夢の亡父に 似たりけり

Sさんの孫七山便りなつかしく、心の友でお礼申し上げます。私の理想の生活で成功・不成功はどうでも、そうした生活は憧れです。会談すれば話がはずむでせう。私と似たところが沢山あります。．．．鈴木さんも齡をとられた様子、私の桃源郷で憧れた地です。南面で眺望はよし、畑有り、田有り、小山有り、氣候もよし、近くに湧水があれば天国です。．．．珍しい厳しい寒さです。晴天がつづいても残雪は解けず、北面の軒先に氷柱がたれて長く、珍しい眺めです。昔は草屋で軒に氷柱たくさんありました。今

は屋根に樋があり、氷柱は見られません。冬ごもりで運動不足で歩行ますます悪くて心配です。何はともあれ温かくなる日を願うばかりです。．．．私の水仙は雪中で芽は出ていますが四月開花でせう。朝は辛く晝近くやつと気温が上がりまます。

448 (1/24) 雪の日や どてらの姿 亡父に似て

八日の初雪以来ときどき庭に出ますが、北面のみ眺めて根雪になった雪なので、全く雪中同様です。—金曜日は診療所医師出張で降雪後に坂道を通るは初めてでした。廿一日は二回目の雪でしたが十五^サ位で、翌日は珍しく暖、南面は大半が消えた様で、北面は残雪積り、三月迄残るでせう。．．．廿一日日曜日に御恵与の小包を戴きました。拙句を収録の有難く、知ての通り即興の句ばかりです。何しろ庭が天地ですから着想同じの句です。いずれ朱線をいれてお送りします。病気には悪いが痛め止めを一日置きに半錠服用です。．．．

449 (2/19) 掃き積で 雪の砦を 廻しけり

正月七日間迄は昊天続きで、土煙り立ち、烈風が吹き、暮から寒は厳しく。ご健勝ですか？新世紀の幕開けに期待をかけたが、一段と激動は続きそうです。ね。．．．私は格別寒い冬を迎え、山のけものの如く炬燵ぐらし二ヶ月です。孤独にはなれて居ますが、森蔭の家ですから困難しています。．．．今冬は珍しく家での越冬です。二ヶ年は信州の次女の家で寒さ知らずに過したですが、慌しい時代は何処もまた生活が厳しいですね。本年は迎えにも来ませんし、他の子供達の時代でせう。忙しく次男が大晦日に来て二日に帰り、ほかには来客も無しでした。私は知の通り寒に負ける異常体質ですから、持病の筋肉痛に苦しみ、転んで骨折した左腕はうずくし、部屋は午前中は冷蔵庫の如くです。．．．修行は続きます。

廿七日の大雪は朝から夜迄大吹雪で、軒下迄雪が吹き込み、幸い翌朝は好天気で終日除雪でした。二日間は封鎖で翌日から平常に復した様子でした。寒中の雪でしたから軽くて木は折れず、倒れず、停電のないのが何よりでした。日本海側の記録的な雪を味わった次第です。大雪に対する準備、対策のないので大変でした。掃た雪の置場も捨場はなし、是が大変です。

山梨県はこの大雪で果樹地帯の被害は大きい様子でした。町は四〇^サ、西原は五〇^サ以上、小菅方面は更に多かったです。私は不自由な体で除雪もろくろくできず、今も夕方凍った残雪を箱に入れて曳き出しています。南面は済ませましたが北面は一杯です。

立春の 陽光さんさん 野も山も
春ごころ 柳の花芽 皮をぬぎ

立春が過ぎましたので、日脚ののびに元気づきます。日の入りが拙宅でも四〇分遅れ、四時近くになりました。・・・残雪の中から化粧柳の花芽が皮脱ぎしました。梅も蕾がふくらみました。

時には暖な日もありますが、変化の多い天候で 豪雪後 二十日もたつのに残雪の上に小雪が有り、寒波が来る度ふるえます。

残雪に 猫と犬との 足あとや

多摩地方は雪もすくなく、百草園の梅も咲いたでせう。とうとうこの梅園は夢でした。立春から一ヶ月経過すれば、雪が降っても流石に春らしくなります。十四日のバレンタインデーも小雪で 朝庭は真っ白で終日雪模様、時折雪虫の飛ぶ如く雪舞う一日でした。

町に住む長女が今年初来宅でチョコを頂戴しました。 毎日何度か庭にでも日を楽しく暖はまれで、戸外も部屋と同じで、退屈で炬燵からはいだし読書すると手が冷えて駄目です。暖かい日の午後の障子越しがいいですね。御便りを書き出しても手がかじかんでいい、何日かかりました。 面談の代わりです。ご判読ください。

多忙の寸暇 一年間の句をまとめて戴いてもそのままで、訂正の朱を入れません。どうか新世紀を迎えましたが、齢を重ねる度に老化するのみです。

450

(3/6) 一人来て 二人出て行く 春床屋

月末は急暖で春めいたと思ったら、一日は終日雨で寒と思たら夜は雪でした。二日は十時より晴て 4℃位積もった雪も晝すぎ解け 残雪減りました。

私は寒と雪で暮から数えると八十日近く炬燵ぐらしです。・・・二日(金)診察で二週に一回通います。運動不足と動かないので食欲不振ですから衰弱です。もう半月で彼岸ですが体力を戻す迄は仲々です。

二・二六事件を知っていますか？昭和十一年です。その頃戸外は忘れもしません。十八度、西原記録です。本年も寒いが〇・一〇度が一度か二度あったかです。室内温度から推定ですが。あの事変から軍部が政治に関係して、やがて満州事変から戦争になったでせう。私はその頃は青年の幹部でした。長生すれば大きな異変に遭います。関東大震災、青島戦(ドイツと)、大東亜戦争、敗戦、戦後の動揺は昔なら三百年以上の変動だったでせう。

451

(3/29) (新聞スクラップ挿入) 彼岸の入りより急に春らしくなりました。

今は、自家野菜作りで日曜百姓時代ですね。 彼岸の入りに森影の雪が消えました。拙宅は日影ですから梅が咲き出した処で、盆梅は大雪の重さで枝が折れ、見栄えのものは有りません。桜は例年より早かろうとの事、当方は遅れそうです。私の鉢の彼岸桜 花芽が膨らみ始めました。是が一番早い桜です。

長い冬籠りですっかり老化してしまいました。筋肉は落ち、気力も無し、手紙を書くのも仲々です。 次に四月十日頃、(前に話した・・・)里芋の種用を出す予定です。親芋ばかりですが、雪や寒で腐ったかどうか？沢山貰って埋めたのですが、無事ならお送りします。

四月になりどの程度体調が戻るか、毎日僅ずつ運動しています。

お中日(二〇日)正月来なかつた末子が十時頃入来し、墓参に行く由で連れて貰って私も墓参しました。昨年四月以来 車にも乗らず、僅一年でも変たのが目につきました。寺の辺りは日向で水仙の蕾が見えました。墓所は暖で彼岸の入りに家の孫が花を供えてありました。末子は晝飯を済ませて帰りました。

昨四月頃より体が不自由だし、齢を考え、独り歩きは間違ひでも起こしては人手の処には得に行きません。西原の様子さえ知らず、丸で他所者のようです。もう時代離れた現代に通用しない老人になりました。然し、私は村では一番倅せな老人かと思えます。子供は今の時代に自分で選んだ道に進み、皆丈夫で私の様な一つも望み叶えらぬ代りに、私より生まれ増したんです。 体は不自由ですが私の一生はこれでいいんです。食事の他は、厄介掛けず、どうか自分の事は自力でやっています、幸いに知っての通り、診療所、役場(支所)、農協も近いので、自力で行きます。只、七〇以上でないとい知人は無く、語る人も無い事です。

今日三月廿九日は朝から雨で肌寒く、一枚重ね着して炬燵です。花の春を呼ぶ雨で背う。

(一月二二日 朝日新聞?スクラップ かいじネットワーク 「上野原の農村公園名「羽置の里」 体験施設は「びりゅう館」に決まる」||この施設名は降矢さんの応募が当選の由)

452

(4/11) 木の芽風 菜の花さくら 咲くほどこに

寒と大雪で三ヶ月は冬眠状態が祟り、急激に急ぐ春に体がついて行けず、ここまで老化してしまつては終りです。少しづつ鍛錬していますが、役に立つ事はなにもできず、自分の体の管理が精一杯です。

急激に春が好天気で、例年より遅れると思つた桜も一週間早いです。それでジャガ薯植えは始まつたばかりです。十日頃は里芋の種薯を送るはずでしたが、

遅れます。多分、腐敗はしていないと思います。
御多忙ですから、お出掛け下さらぬでも結構です。誰も訪れず、毎日一人はな
れています。

453 (4/26)

花から葉へ 新緑の世や 鯉のぼり (過疎の里にそれ

でも鯉登りが僅か見えます)

廿一日はあいにくの天候でした。当方は終日霧雨で草木の葉が濡れた程度でし
た。但し肌寒く日中一〇度で前日と十三度低かった。

晝頃 甲府主任末子が来ました。珍しく一泊し、夜は倅(長男)とビールで遅
くまで話したようで、翌日は倅も休。翌日は十時半頃 安曇野の次女が一年振
りで、嫁にやつた娘と親子で来て賑やかでした。末子は四時に帰り、次女は一
泊せず五時頃帰りました。後は何だか淋しいものです。皆元気でした。

日照りには弱ります。廿二日は快晴 日中は汗ばむほどです。朝夕は低温です。
いろ

もう私は現代では通用できぬ老人で何も話せず、話せば愚痴になり、慌しい時
代、全く無用な人間になりました。花見にも行ず、庭で遠望するのみでした。

454 (5/1)

山若葉 待つ友来ず 雨となり

(昨廿九日 午後より小雨となり、廿日は朝より続いた小雨にて一年
振りの対面もむなしく 午後は止み道路も庭も乾き霧も去り、山の湧かばが映えて美
しいが、夜は又雨。閑散とした一日です。)

昨日より休日 稼ぐ人の姿も無く、皆どうしているか、行楽にか? 何か行事が
あったのか? 人の気配もなく、時折車が通る二日間でした。

慌しい時代に、来訪の予定は(雨で)駄目でしたね。お逢いするは楽しみです
が、私の様な老人はもう世間知らずで、西原の事さえ知らず、丸で他所者のよ
うです。

455 (5/10)

山若葉 菜たねつゆの世 今日も雨

六日天気 七日は珍しく好天気でしたが八日はもう小雨、止んだと思ったら又
降る。私は乾燥した畑では作っても発芽せずと何も作らず、六日やっと大根を
作りトウモロコシをと思ったら、盆栽入用者が来て、こいだ根枝の切込みをし
てやる。八日は好天気 連休明けで皆仕事で活気づいた日で、トウモロコシを
作り、ナスやキュウリの植場を作る。近日きつと農協の苗がくるのでせう。私
の苗は発芽するところです。日照りのためか五葉つつじ本年は僅咲いたのみ、

隔年性でせうか。筍も不作の由です。

456 (5/24)

草青む 羽置の里の 美流館

庭から僅かに見える農村公園ですが、お陰で見ることができました。四五年経
過しなければ整はないでせう。水車で昔ながらの石臼で蕎麦をひき、蕎麦処を
作る由、山村は何処もこれが売りもの、野菜即売所等でせうが。西原は水源ま
で四^きで、小菅・丹波山は十二^きあり、山は高し奥は都有林で源流は多摩川で、
都有林の水源林は理想林で原生林が多いのです。林道も戦前に完備されてい
ました。戦前はよく限なく歩いた私ですが、戦後は訪れる機会も有りません。
ただ国道を大月線へ何度か通り、青梅街道(丹波山より甲府の街道)は三回通
ったのみ。柳沢峠からは甲府盆地が一望できるんですね。

私は六月の山は農繁期ですから一度も登ったことが有りません。新緑の候は
一度、鶴峠を越えて山岳有料道路へ、そして桧原村へ武甲トンネルの川乗から
― 桐原― 西原へ一周は二時間半位と思いますが、夢です。知っての通り不自
な体は、もう思う丈ですね。話が逸れました。

平年でしたら筍の出盛りですが、こんな不作も珍しく、あれきり出ません。親
竹を一本残しただけで、冬の寒か大雪か、三月から四月の日照りの乾燥かいろ
いろ異常のある春で 鶯もまれに四月に入り聞くのみ、五葉つつじにしても変
です。ジャガ薯が花どころか生え揃う有様です。

(疲れて何度かに書いた礼状です)

◎ 本年もお写真忝く御礼申し上げます。九十一才の記念です。

照りが小雨で、降るを願ってやつと廿二日より雨期らしい。疲れ果てて思いな
がら不躰してしまいました。三十日は二時帰宅でした。畑のものは散々で、雨
になり寝ています。

457 (6/4)

万緑や 食膳にある 桜んぼう (どこの国かの桜ん坊が出回
りました)

五月廿二日より雨が降り出し 走り梅雨かぐずつく天気で変な筍が出て暖か
ら急に伸び、驚きです。植えた野菜作たもの照りで駄目ですが、やつと元気
になります。

六月二日農村公園 美流館開館のよう準備に忙しそうです。 五月廿九日
きょううものはれたが不安定な天気で気忙しく送ります。

458 (6/7)

六月や 眼ざめにききぬ ほととぎす(一日に時鳥が鳴

き)

新しい出土品や遺跡の報道もありますが、私には興味はあっても一度も見ることが無しです。ただ苦しい時は縄文人の生活を考えて 現代の進化を想います。箭を発送した午後から雨になり、翌日より喜んで休養したら疲れが出たか、半病人の有様で散々です。六月に入り今度は炎天に日盛りです。然し齢でせう。体調は老化するのみです。二、三日は美流館開館で賑やかなようでした。種々町も催しものあったようですが、家居で何も分かりません。友人達も僅ですが、音沙汰なしです。すっかり時代からも(取り残されて)孤独です。(一日) たった雨から山野の茂りは急激ですね。

459 (6/20?)

茄子の花 つゆの晴れ間 惜しむかな

つゆ入りの 雷雨にぬれて 青葉冷え

私は知つての通り不自由な体ですから、日向の畑は荒て手近の森影の畑のみです。本年は春の日照りで発芽が悪く、気温は高いが十日位は遅れ、ジャガ薯六

月半から食するが月末(に掘る・・・) 予定です。

近年 暑くなると枯葉になり、病気の精か以前と変りました。キャベツは腐敗し始めるし、作る処が不足で南瓜や夕顔を盆栽(素木です)をこいだり 伐採して空地を作り植えます。キュウリも購入の苗は照りで枯らし、南瓜や茄子は助かりました。去年失敗したのでスイカを二本植えました。スイカは八月でせう。今年は大丈夫ですが、一ケ五〇〇円位のが青果物で来ます。遊びと運動です。

実は連休明けの日照り、日中は真夏の暑さもあり、炎天下でちよつと働きすぎ、暑さに負けました。やつと快方したら 今度は入梅入りに雷雨で野菜取りに行き 逃げ遅れて全身ずぶ濡れになり、大急ぎで着替えたが発熱で苦しみました。私の話は話せば愚痴になります。とんだ宿命に生れたものです。ろくろく何もできぬでも、雨の日や物日に家に取り残されるも 覚悟はしてもやつぱり侘しい。

460 (7/11)

花栗や むつと暑さに 花さかる (森林公園の栗の花が庭で見えます)

知つての通り、暑さに弱く食欲も不振で気力も衰えて、便り書く元気もなく弱音です。

七月に入り雨なく、草木も生気が有りません。野菜も失敗で近隣の人より半月は遅れます。南瓜、夕顔がやつと実ができ、トウモロコシも食べられる頃です

が、八月になるでせう。

御来訪の度に記念写真を撮って戴き 熊谷草やつと暑さをさける日よけを作りました。僅の時間でも助手がほしいです。九日 中元を兼て 長女夫妻が来て掃除整頓を行って呉れました。車できたから茄子、葱、大根、胡瓜をそれぞれやれました。

461 (7/20)

五、六月も日照りで、特に七月は連日の猛暑で雨は降らず、木・草も作物も日中は萎んでいます。私は日照りと暑さで失敗、・・・矢張り不自由な体では駄目です。語れば愚痴のみです。それでも寝たきり老人よりまだ倅せかも知れません。・・・

十一日に日暮蟬が鳴き出しました。この日梅雨明けとか、妙なものでそれから毎日鳴きます。十三日間雨なしで、十四日僅な雷雨あり、十七日雷雨丈で小雨がパラつくのみ。山百合が咲きました。

462 (7/23)

海の日や 山百合咲きぬ 山の村

方々へ局部的の雷雨がありますね。当方へは僅で 曇は出るが降らず、作物も草木も雨を望んでいます。

野菜物豊富の処へ 照りで駄目ですが、今日いんげんがありました。南瓜初なです。暑さで体調崩して気力なしです。然し甲府に十七日雷雨(雹が加わって)から朝晩涼しく、夜に安眠で少し快復、でも昨夜より暑さ戻りそうです。

463 (7/27)

遠雷や 急ぎ洗濯 ものを入れ

今は南瓜も青果物が車で月三回は来て、正月頃からキュウリ、南瓜あつて町と変りませんが、自分で作れば出来が楽しみだし、味もいよいなので。僅ながらこの体で遊と運動を兼てです。

廿四日は暑い日 町へは光化学スモッグ十回目が発令され(西原は除く)・・・夏本番で、山も海も賑やかならしい。スポーツ、夏祭り、暑中休暇ですから、当方は八月お盆です。しかし私は毎日が独りですから変なしです。・・・賀曾利さん八月はオーストラリアへ、小菅では修学旅行にも行く人気な土地になりました。

夕立が続いてから夜涼しく安眠ができますが、九月の彼岸明け迄、私は暑さとの戦いです。

(8/3) 里芋の葉 日に焦げたる 暑さかな

雷雨があつてから四・五日涼しく楽にしのげましたが、廿九日より暑さが戻りました。・・・八月二日終日の曇りで時々霧ですが雨は降らず、涼しい一日です。夕顔は是からで、胡瓜など暑さで弱り夕立ちから少し回復です。

(8/28) 朝顔の 蔓のびほうけ 晩夏かな

八月お盆は午後曇 降りそうで降りませんが静かなお盆でした。土・日で無ければ出勤ですから、若い人達は行楽か盆踊りもあつたようです。私は来客もなし相変わらず一人ぼっちでした。 退屈で夏野菜終りを集め子供達と友人に送りました。夕顔盛りでした。

今夏は暑さで体調を崩し、時々休養します。秋の彼岸頃から私の好季節です。先日台風は平穏で通過が知るほでした。 是から秋野菜作りで、もう慾も無く。どれ丈作れるか僅ですね。

蟬が鳴き出したが曇天や台風で鳴きません。盆蜻蛉は盆には庭まで群が来るが途中迄で来ません。炎暑が好きらしい。それに桑畑の無き事が原因か？昨日、今日も午後四時頃はしぐれます。

(9/9) 新涼や こわばる腰へ 葉はり

八月のお盆は年々淋しいです。・・・家の者はよく出掛け、いつも独りです。来客はなし、本年は学生も訪れず、子供達は七月末に来たから八月お盆は来ません。・・・八月は七月の如く炎暑が少なく、午後は曇天で涼しかったです。

九月はことさらに時にはしぐれたりですね。

私の野菜類は例年より素枯るのが十日は早いと思っていましたら、四日には富士山へ初冠雪だそうでした。部屋の温度が日中二十四度から二十七度で、よるは二十二度、ときに二十度になります。早彼岸頃の如くです。

八月は思い出の多い月 一人で退屈すると皆悪いことのみ思い出し、一つ嬉しい思い出は、八月十九日 男の初孫が生まれたこと丈です。その孫は大学院を来春卒業です。

遅かったが夕顔が盛で、・・・丸い夕顔を初めて作りました。是がかんぴよう用らしい。一寸料理方が判りませんが、輪切りにして皮をとるでせうか？私も食せず味を知らず。そば畑で昨年作った種を貰ったが変形したようです。・・・只今 秋野菜作りで僅大根、結球白菜、野沢菜、ホウレン草を作り。畑が狭いし日影だし、日向の畑へは(ちよつと遠いので)行けず、情けないですよ。

九月は町一帯が秋祭りの時期、各地区部落それぞれ祭りで、敬老会は、西原は

十月です。私は敬老会にも祭りにもいかず、相変らず一人です。庭に来る虫や小鳥が仲間です。・・・九月七日 朝から霧です。降りそうです。侘しい時は縄文人の生活を推定します。するとフトンの上に寝られるだけでも倅せだと思えますね。

(9/12) 新涼の タベの庭に 虫の声

台風が近づいたか夜から大雨で、今日の日曜は日中少し止んだが雨で一日部屋でした。

九月は、当方は秋祭りの季節で、三日の町の牛倉社から 何処でも氏神様のお祭りをします。昔と違って土・日です。西原は、・・・

涼しさが早いと思つたら、四日には富士に初雪で、十日早いという。曼殊沙華が昨年は彼岸にやつと咲きはじめてのがもう咲きました。植物も観察すると妙なもので 涼しいと急ぐものと成育が遅れるものがあるんですね。彼岸花が咲くもみればもうたしかに彼岸頃の気温です。必然秋野菜の発芽は遅れます。秋菊の開花どうなるかしら、入梅明けも十日早くに訂正しましたね。丹念に見ていると植物は妙なものです。

(9/22) 夏果てて 秋の野菜や 雨が打つ

北海道旅行(ニテロの日、台風の余波で深夜に帰宅したところ、息子から鈴木昇さん脳梗塞で倒れ意識なしを訊かされる)お疲れの様子に丁寧な紀行文有難う存じます。「交易関連の研究史」ご苦心の成果、私の雑穀渡来の推定に良き指針で敬仰いたします。時局についての週刊誌まで添えて、彼岸の連休に読ませて戴きます。感謝いたします。

改革新設の慌ただしい時代に、更にアメリカ(同時)多発テロ、世界はどう変わるでせう。老化して現代に通用しない老人は、茫然とするのみ。

夏野菜をかたづけ秋の支度でホウレン草は発芽を台風で失敗、野沢菜は成功、京菜も好し、大根は失敗、何しろ日影ですから、日向の畑は沢山あるのに、実に残念です。 信州の孫娘が敬老の祝に菊を送ってくれました。彼岸に八分咲きで、私のは今つぼみです。

(10/18) 秋茄子を もぐ手にらむか かまきりが やんでまた 降り出す雨や そぞろ寒

本十七日は秋のよろこび珍重る木の実(椎の実)有難く頂戴致しました。私の付近には昔から椎の木はありません。暖な海抜の低い西原東にはありますが、

遠くで見ると樫に似ていますね。でも櫓の木に作っても茸は椎茸と呼び櫓茸とは云いません。先年頂戴した木の実は栗より美味しいのに驚きました。今回も沢山戴き秋のよろこびとして楽しめます。私はこうした真実の山の幸が好きです。自然の昔からの尊い味です。

今日は雨と云う予報でしたが、朝霧が少し降り、先日、テレビで秋の彩の早い北海道や山形の月山、蔵王の紅葉の美しさに酔いました。十六日 今日も終日雨です。

470 (10/22) 米国多発テロやらで、前に申し上げたかと思えます。私の一番思い出深い八月を迎え、五十六年前の戦時下や終戦後の開拓移民の如き生活が甦ります。・・・退屈の毎日ですが、何かできそうな日は心が安定せず、雨の日の心が和みます。是が農人の心です。老いても、天気よい日休息して吸う煙草は実に有難いです。

鈴木さんの回復をお祈りします。二回か三回の訪問ですが、私の描く理想の桃源郷ですね。調べませんが近くに山葵でも作れる湧水でも有ったら天国です。然し来訪はもうできない。それ丈に又忘れられません。

伊那市の私の外孫二女の子供が園芸店に勤めているから伊那も浮びました。月一度は絵葉書で短信があり、塩尻の大きな園芸店で職場結婚して市外に住宅、四月から自分のみ伊那市へ通勤で、妙な事に私に盆栽のことの質問があり、手紙は説明不十分で困ります。・・・この孫が老人の日に、私に敬老の祝として菊一鉢を送って呉れて・・・

若いころ(戦前)は俳句でなく短歌で歌集を夢見て、歌稿は大切にしています。出征の折、もしも帰ったら整頓して、歌人有名人の歌集あり、斎藤茂吉先生のもあり慕っていました。家が類焼の際灰になりました。戦後俳句に変ったが、今度は句帳もなく保存や発表も心せず、ただ自分の宿命へ挑戦のため、只便りには時候挨拶に代え一句を作ります。ですから自選句集を考えていませんでした。「雪虫」は私を支援して下さる方々の尊い御厚志で、恐らく「雪虫」に集まった句より句数は二倍や三倍作ったでせう。(送って戴いた句稿はそのまま朱を入れません。本当に氣力が失せました)

まだ秋野菜の様子も添えたいですが、いづれ又片手に拡大鏡を持ってですから判読ください。眼だって老化します。今日の土曜日は快晴ですが、霜近づくでせう。蕾の堅い菊咲き終わるかも知れません。秋野菜は一霜か二霜かかると本味です。

471 (10/28) ここよりは 川の名かわる 相州路 (追憶の句です。昭和十八年十月第二国民兵で西原の一号で出征、戦死覚悟でした。県境を越えて相模川です。はじめて横須賀に向った日を今思い浮べました。)

とんだ時代になりました。西原に住む私は、五十六年前の戦争かが甦ります。・・・

寒さが早かったが、雨や曇で平年より降霜が遅れました。薄氷が凍ても不思議ではありません。それでも寝込みもせず耐えています。昨日好天気ですが今日しぐれて一日炬燵です。人が恋しく短信します。

話はかわりますが、秋野菜の手入れやる余裕がありますか。私は京菜好成绩です。ホウレン草は発芽を台風で失敗冬用有りません。長カブ種がなく作れず、干葉に作れません。野沢菜大きくなり、近日子供が採りにきます。大根も結球白菜も不用ですが少し作りました。報告しませんでした。戴いた山形の紅花と食用菊、種切れになりました。

紅葉やつとはじまり、菊が早生八分咲き、晩生は蕾かたし、初めて植たサルビアは小鉢、赤く咲いています。

472 (11/1) 菊匂う 月のかがやく 後の月

天候が定まらぬので、寒いけれど十月は霜が来ません。平年は十一月初でも薄氷が凍るが今秋どうでせう。

秋野菜の収穫も十日は遅れます。茸や山葵漬を送る予定ですが、両方どうなりますか？茸は不作で入荷するかどうか、山葵は山地の多摩川源流が台風で異状の雨量で、丹波山で何戸か避難した部落あった様子。山葵田はどの程度被害か判りません。・・・鶴峠の山なみを境に当地は二回の台風。案外雨量も少なく平穏で山野も道路も被害なしで、きつと局部的の集中豪雨の地区だったでせう。

廿九日の十三夜は日中曇りましたが、夜は珍しい名月でした。森を離れた名月を眺めに夜半外に月見にできました。夜半は中空ですから西北の鶴峠の山なみまで庭で遠望できます。晴れ渡った空には白雲が二すじで、山の裾部へ霧一条浮いていて、何の音なし風もなし、絵のようです。ただ月の光は満開の黄菊が白く実に平和な夜で、皆寝静まったでせう。一寸寒いが煙草を吸いました。前便で申し上げた如く、五十六年前の戦争下がテロから戦火の今、強く思い出され、米国群の猛攻撃が頭裡に浮かびます。硫黄島で南方は破れ最前線に四月勤務したんです。爆撃はもちろん、後には友軍は空中戦も終り、飛行機亡くなったです。艦砲射撃は受ける。何しろ物資多い国ですから、

私は幸か不幸か弱身ですから戦病で入室（入院のこと）して一週間後送還予定者になりそれから一週間、島へ物資を運ぶ輸送艦の内地へ戻るのに夜中送還されて、今日があるんです。送還後一ヶ月も経ぬのに完全に封鎖され、硫黄島は孤立したのでした。私が横須賀病院から湯河原の温泉旅館の假病棟に変わった翌三月総員玉砕だったらしい。最近の硫黄島は島民不在で、日本では自衛隊が僅居るが米国基地ですね。毎年遺骨故国へ収集ですが、まだ一五〇〇〇柱位が残っている様子です。

・・・廿三日は雪虫が二・三飛びました。雪虫は何時頃群が見れますか。時局はどうなることか、老人はおろおろするばかりで、現代の人達は何時安眠が得られるでせうか。

473 (11/20) 北海道・東北は雪の季節になりましたね。

奥多摩から多摩は紅葉の盛りのニュースですが、当方盛りが過ぎました。落葉です。葉が落ちたら柿が見えず 不作で侘しい情景ですね。

麦も稲も雑穀さえ作れぬですが、何やら気忙しい毎日です。以前は勤労感謝の日迄に麦を蒔き終り、農休を楽しんだのです。新米を食べることにしていました。それが済むと雪が来るのが一ヶ月後ですから、暗いのに起きて干草や干柴を山に背負いに行きました。それを思えば極楽ですがね。

474 (11/27) 勤労感謝の連休、天気が定まり快晴ですが、毎朝霜で今朝初氷です。

以前は麦蒔を終了して農休を楽しんだもので、今年の新米を食べるのも慶びでした。野良姿になる訳にもいかず、日中は暖なので芋殻の皮をむきました。何もせず居るのも侘しいものです。八月何処の山に登って来たか、次男が私へ杖を二本造ってきました。何の木だか判らず、仕上げてきたら手間を要したでせう。杖を造って貰ったのははじめて、私の杖は舟頭が使う竹サオと同じで長いです。杖で漕ぐようにして体の調子をとるのです。その長い杖を次男が持つて来てくれました。生ですから乾して置き、本仕上げにかかりました。手直しして、後を紙ヤスリで磨きます。それが済むと丁寧に布で何回も拭き、それから塗料を塗ります。次男は暮か正月に来るでせうから、一本仕上げにかかり、八分仕上で使い出しました。是はいづれ私の遺品となるので、杖に銘をいれたく、何と銘を付けたらいいか、是もむずかしいが、又楽しみです。現在使っている杖は、土井晩翠先生から戴いた座右の銘で「強く正しく朗に」です。私は書画を見るのが好きで、展覧会に行きたいが行けません。多病の上、今は

丈夫なら都内へバスで行っても半日は遊べます。昔町へ用事で行って、徒歩時代は一日がかりでした。

時に本年は最後でせう。小菅産の山葵漬をやつと入手したのみ、他は例の京菜と結球白菜と試作のからし菜では越冬させて春に花が咲き出したら採って塩で漬漬して白いご飯にかけて食うと味より調和がよく春のよるこびが感じられます。・・・

既に申し上げたでせうが、戦時下から敗戦後の苦しみが甦えてきました。

子供頃から病身で同級生（小学）五二人だったでせう。運命かと思っていたら宿命か生き残った妙な運命です。

昭和十八年十月 第二国民兵の私は西原の一号として、應召で海を知らぬのに海軍で勝ためと村境まで盛大に軍歌で送られました。その出征した時代が生々しく昨日の如く追憶されてたまりません。

ここよりは 川の名変わる 模州路 （横須賀の海軍へ急ぐ日）

の追憶の句）

昭和十九年五月 硫黄島が中継基地に派遣され（一等兵でした）、翌六月より南方が破れ、島は最前線になりました。六月半より米国軍の砲撃で兵舎は灰と化して、活火山の硫黄島に水は無く、全島に火山脈は走り一部に火山活動して、狭いので雨水が飲料水で蓄蔵水樽も失い岩くつで雨露をしのぐ居住地になり、狭いので一班ずつの居住でした。砲撃は日々激烈し、弱身の私は十月戦病にて倒れ、十月半に内地より物資を運ぶ輸送船で送還されました。送還されし傷病者は再起不能者（不治者）で深夜に厳しい警戒網を脱出して三日五日に横須賀に入港、私を加え四名でした。島で戦死か内地で病死かです。

幸か不幸か運命は不思議で、翌二月は快方に向かい、三月は経過退院で海平団に復帰し、昭和二十年五月 下士官を加え二〇名程で大分の海軍空港に赴任しました。空港も爆撃され、山間の僻の三角兵舎です。沖縄は決戦場でした。空港には飛行機も僅で、大分市街二キロ位の地です。ここで八月十五日敗戦でした。終戦が遅れたら、当然沖縄の決戦場に支援だったでせう。終戦の夕方に司令官宇垣纏中将は特攻機にて沖縄へ自爆したのです。実に混乱でした。

私は八月廿日一部の人が残り、解散して復員になり、大分の農家に一泊（遠路のため準備のため）して、廿一日大分駅より早朝出発、あの混乱の最中真夏の暑さと食料不足 是又戦乱の様でした。 当時は電鉄は大分迄で他は列車時代で、家には廿四日の夜明けにやっと辿り着きました。それからは知っての通り、物資は統制で配給時代で。家は出征跡の翌年三月に類焼でしたから丸で

開拓民の如き生活でした。

475
(12/18)

山茶花や 師走の風に うつむいて
短日や 音立てず部屋に 一人かな

驚く寒になりました。雪こそ降らねど例年の十二月波です。(室内が三度になり日中も十度の日あり)五度以下になれば着替られず 炬燵に入ったままで動けません。日かげは畑も凍たままで 十一時 戸外にでて庭に当る日を浴びて、ほっとして動き出します。森かげですから、雪の来ない間は冬籠の支度ですが、是はもう冬籠同然です。一・二月は当方は極寒ですから、虫達のように冬眠ですが、南房や伊豆の二月に菜の花の咲く丘でシートを敷いて日を浴びながら寝てみたいですね。

十一月半より天気でしたから、子供達や支援して下さる友人に秋野菜を送れました。これが楽しみであり、よろこびなのです。然しいつまで続くか？

鈴木さんを思うと人ごとでは無く、そうした日は遠くないでせう。

寒日が続き 炬燵にちつとして手を出すとしびれる様です。枕元近くの書籍を見る元氣もなく、然し心は和みません。晝頃にやつと軒先に出て煙草を吸って風に急に裸木の山を眺めました。

五十余年前 應召で出征した私は二年間に七回配置替で一カ所に五〇一六〇日でした。新しい処に行く度に一ヶ月は上司を覚え、同年兵でも一日でも早い人は先輩として敬意表するので そうした調をし、夕食の折に新任としての挨拶を述べるのです。軍隊は一番厳しい社会です。生涯農人で終る私には今考えるといふ勉強になりました。

妙な宿命と云うか、運命というか、僅二年で横須賀管区の他に呉や佐世保管区にまたがって勤務しましたので、日本の三分の一の府県人に逢いました。是は今になれば立派な勉強でした。西原で農人暮らしでは得られぬ事でした。命を賭した体験でした。毎日一人ですと覚悟はしても人が戀しい時があります。相変わらずの無駄話を書きます。

里芋を少し作りました。日かげで芋より茎がとれました。芋茎の皮をむいて干しました。干葉の代用に使えます。私の好きなものの一ですよ。

十一月半 馬鈴薯の種が入荷しました。昨年と同じ白早生(伯爵)ですが、(昨年種送って上げた・・・)成績はいかがでしたか？・・・ 自家の種はありますが、馬鈴薯は若いのがいいで、家で穫れたものは七月か八月の収穫の故老衰しています。北海道は十月頃収穫し間もなく発送です。春は保管しますからその分高価です。家で種を穫るなら二化性にして 十月から十一月に収穫した

ものが理想、親指位の大きさでいいですよ。面倒でもそうした二化性迄はやりません。代りに毎年買うのです。もう六キロもあればいいんです。

もう春の野菜でも出来ぬ間は御送りするものは有りませんが、長カブ作れなかつたから、結球白菜の苗があるので 空き間に入用もないまま植えたのが沢山あり。堅く結球しないが是を日影に吊して干す予定です。箱保管も穴を掘り貯蔵しても二月頃はだめですね。外側を捨てると野菜不足の頃、食べられるかも知れません。

476
(12/26)

かそへ日の 通院の頬に 雪舞つて (廿一日は本年最後の診療所 十時頃雪降り出す)

歳末は忙しいのに連休で一息ついた様に見えます。廿一日の雪は、日向は積らず、物陰や日かげは真つ白。積もったという程ではないが根雪となつて残れます。・・・十一時頃に替えて何か仕事で、晝飯は二時です。食べ終ると日が陰り 続きを少しやると五時には暗くなり、気はせつても一日三時間です。・・・もう畑はそのままでせう。五十六度にならぬと動けません。若い時は、雪前は暗いのに起きて干草や柴を山に背負いに行つたですが、帰ると顔に汗がにじんでいました。

廿四日十時頃に 音沙汰なしだった親友の山葵屋が突然例年通りの山葵漬を持つてきました。(音沙汰なしは人手不足と忙しかった為)。是より奥多摩へ山葵引き取りに行く途中で、後日ゆっくり語る予定。西原特産品として恥かしくなと思いますのでお送りします。又、例の京菜・・・芋殻・・・結球白菜を加えます。

廿日 満九十一才の誕生日で、すぐ数の上では二です。実に妙の宿命を背負います。病弱が生き残るんですから。信州の次女が祝を送つて呉れました・・・長女は十九日に来て誕生祝やら私好みの駄菓子やカップラーメンで、整理整頓、障子の切り貼りでした。正月は他分 男子供が来るでせう。無事の御越年を祈ります。御礼厚く申し上げます。

何枚かの年賀状やつと今日廿五日出し、書き疲れです。

平成十四(2002)年

477
(1/1)

卒寿越へ 明治は遠し 初日かな (年賀状)

(1/15) 次男が二泊で来ましたが、体力作りに休日は登山家で、元旦は六時か七時に久し振りに三頭山へ登り(私の起きる前に)、丈夫ですから晝頃には帰り、一杯やつて休養したでせう。二日は私が起ぬ前に帰りました。五月の連休か春の彼岸に来るでせう。忙しい様子です。

小正月(十五日正月)は山村も農家の時代は賑やかでした。今は門男を祀る人もないかも知ず。土間には鯨神様や白神様をまつり、座敷には団子さし繭玉という白・赤・黄色づけ餅花ともいい、養蚕の神様です。松焼き(ドンド焼)行事は一杯でした。

拙宅は近代化して、門松は立てたが団子も作らず、丁度連休で出掛けました。独りは慣れています、ちよつと暖な連休で午後からは洗濯ですが、洗濯場は日が当らず、寒い時は水道も凍り使えません。洗い終る頃は日がかげり、軒下に吊るしておきます。知つての通りですから乾すのも大変で、乾くのに二三日かかります。疲れて終ると炬燵です。(一通目 一月十五日)

暮の廿一日に小雪があつてより、寒は格別例年より寒く・・・今冬はもう欲得なしで 十時頃に日当る軒下日を浴びると元気づくが五―七度でせう。

畑の白菜を正月前やつと家に運び、無用ですが日かげの軒下に吊しました。次に馬鈴薯の種 10.k で 11.k で 11.k です。そのうちお送りします。

・・・今は年賀に行き来するは深い関係のみです。ですから賀客も僅で、家の人達もほとんど出掛け、毎日一人です。日中軒下の日向にでて、杖を造りはじめているが、続ける元気なしです。(二通目)

(1/15)

親雀 仔雀も軒に 氷柱かな
森かげの おらが住み家 雪つもる

関東へも雪が来て寒さ厳しく、暮からの冬ごもりで運動不足になりました。・・・東北の豪雪を思えば、私の生活は楽なものでせう。正月は寒いうえに今や近代化したといふか、勤め人時代で皆ひごろのつかれを忘れる為か車で出掛け 本当に人影はすくなく閑散とした時代です。おかげで初春は迎えました、生き残りは世代交代で取り残されて了ったからいつも一人で相手をして貰える暇人の無い時代で、承知はしていますが正月らしくありません。非農家ですから正月の行事はせず、只、成人式の連休に休養した家の人達です。一寸暖で好天気でしたから、日中の日盛りに水道が凍らぬので三日度戸外にでて洗濯でした。不自由な体ですから洗うは好き、干したのを入れたり、洗ったものの始末が大変で、疲れた一日は珍しい大降りの終日雨で雷鳴りました。翌日は好天気と思うと廿七日(廿六日の夜)は心配した雪で、積雪は20cm以上らしいが、

雨が加わって私には掃けない重い雪でした。翌日は好天気でしたが日陰は三月まで残るでせう。春彼岸過ぎまでは、相変らず冬眠状態ですね。気力も衰えて了つて、庭に日が当る十時迄は寢床か炬燵です。春が待ち通しい毎日です。

480 (2/18)

立春や 背戸の氷柱に 日がとどき

節分は終日雪でしたが、翌日は快晴で暖な日になりました。知の通り私の元日は立春で 是から数えて五〇日経ると野菜やジャガ薯植にかかるんです。処で馬鈴薯種を送ります。・・・縦に割り切り口を上に向けて植て下さい。切り口を上に向けるは芽が明るい方へ伸びたがる作物だからで・・・。

良き拜年でした。日頃のお疲れの休養なされましたか。・・・年賀状以来 信州の孫娘が月に一回は絵葉書で短信ですが呉れます。二月八日 町在住の長女が年賀を兼ね 例の如く掃除整頓と蒲団を干したりして貰いました。昭島に住む子供が一月に女児誕生で早速行つたとの事です。曾孫(ひこまご)が誕生とは 私も長生したよろこび 早速お祝いを届けました。めでたい年になりました。

二月九日 昨日は好日和で暖でした。甲府在住三男(末子)が年賀に晝頃来て、三時頃帰りました。彼は地方銀行(山梨中央)高根町支店長で甲府より通勤が、二月異動で 昔赴任した中央沿線国分寺支店に転勤の由。

病弱な私でしたから末子が十八歳迄生きたいという念願だったのが 四十を越えました。中川さんのHさんより一つ下です。

雪が降つたら軒下の日だまりで、農具でも直したり、接木の道具でも砥ぐ予定が 異常気象で、凍つた雪掃きや最近の寒の戻りの厳しい寒で苦しんで居ます。・・・日脚は伸びて三時半に日のかげりになりました。暖になるのが待ち遠しい。伊豆や南房総は菜の花・水仙が花盛りですが、そうした丘でシートでも敷き寝てみたいですね。

二月十八日 今日天気回復で一吋暖です。戸外七度

481 (2/18)

独り居に 部屋の広けり 三月(やよい)まつ

四温三寒か 暖が交します。日陰に根雪がありますが、盆梅が一輪咲きました。山形は積雪でせう。伊豆河津は桜が咲き、南房では菜の花盛とか。平年は立春より五〇日経ると畑に掛かるですが、運動不足か吐息つくばかりです。・・・。

482 (2/27) 北は積雪、南は菜の花盛り、残寒去らずとも中間地帯ですね。節分の後は又乾燥期になり雪の多い日が多く、相変らず冬籠りから抜け出せません。盆梅が二・三輪咲きました。黄梅 猫柳 化粧柳もうるんで来ました。運動

不足で歩行に難渋で仕方が有りません。困ることは時代から取り残されて何も判らず、他所者の様なんで。

式月を終り桃の節句が来しました。私は変わりなく平凡ですが、サラリーマンは忙しい毎日のようです。平年は廿日を経ると畑に出るんですが？

日脚は伸びましたが、冬は山頂から降りてきます。春は町の方から上つてきます。日陰の根雪も僅になりました。

483 (3/30) 杉花粉 くすくす眼鼻へ 沈丁花 (彼岸の中日は烈風で土煙が空を曇らせ、眼花口中 苦しかったです。その折 沈丁花が花盛りで香て呉れた一句です。)

桜が平年より十日以上早いので 花見の支度の方が遅れたそうですね。もう満開でせう。西原も四月十日頃は満開か？ 二月の節分に終日雪でしたがそれより数えると五〇日降らず、日向も日陰も乾燥して了ひ 彼岸明けたら暖ですが畑を耕した人があります、降ぬうちは何も作らず居ります。・・・

・・・昨五月にオープン前の農村公園に見に連れて行つて戴てより、あれから車に乗ったことなしです。生き残りは時代に取り残され 世代交代で何も判らずです。

正月は長女の処で初孫が生まれました。女の子で私には曾孫です。長生した是はめでたいことでした。三月十五日は甲府在住亡兄の妻 義姉上様の葬式九十四歳でした。これは凶報です。人の世はまったく平和は続きません。

廿九日は終日小雨で久々御伺い迄

484 (4/22) 葉ざくらや 森の樹下に 山吹が

暖冬といつても暮から寒さが早く 雪の来ないうちに冬籠り三ヶ月、何もやることなしに過したら老化が進み、とうとう季節に追い越されて、是から畑に、・・・ 彼岸明けから暖で 雨で今度はぐずつきましたが、三月廿一日午後 雹交り大雷雨で庭が白くなりました。然し、四月一日が快晴、気温上昇し桜も二週間早く咲き。昨年五月以来に御来訪以来車に乗ったことなし、・・・いつも家で一人ぼちです。

時に三月十日に西隣の大家の奥さん他界七十二才、十二日通夜、十三日告別式、家の周りを清掃大変でした。私はもう扶養家族ですから 済むまで家に閉じこ

もりました。私の亡妻は四月十二日で四年目、その年は桜が満開でした。畑に少しでると疲れて駄目です。

485 (5/1) 新緑五月になりました。昨年より祭りも花見も何かあつても出掛けず、自分

の家に住みながら西原の事も知らず、他所者のようで 家の付近のみしか歩きません。

毎日一人です。但し食事は作つたのを朝一日分戴、勝手に独りで食べます。出勤の人達

では早すぎ(私は)九時頃です。なるべく世話にならぬよう自分の身の身は段々大変で

すが努めています。

四―六月中旬迄は私の好季節で、七―九月の秋彼岸迄は暑すぎます。森影の日陰の畑は危なげなしですから、遊と運動を兼て野菜作りです。知つての通り坂道を下ると農協と診療所で、診療所は二週に一回通います。週に一回(金)町立より出張です。農協は時々行きます。私の使うものは七分あり、三分は誰かに依頼して町よりです。電話番号は出来ないし、自分丈使うのも勝手ですから四―五年使いません。一寸生活の説明でした。

暮しも急に変わりましたね。とんだ時代です。都会も田舎も住みよい処はなくなり、小正月も雛祭りも彼岸も無しで、ただ連休か休日を利用するのみで、勤め人の出勤は大変で、以前の地方色は消えます。事故が老人は多いので間違いを起こさないように 管理が仕事で背うか？

時に五月の連休は休養ですか？・・・ 五葉つっじも半月開花が早かったです。もう散るでせう。藤が咲き、花蘇芳が咲き、山吹はあつという間に終わりました。自然はどうなっているか、四月廿日 鶯がはじめてきました。

年々老化が強まります。休み休み畑にでも疲れて読むことも書くことも続かず、実を横たえるが楽なんですね。

五月の連休は天候がさっぱりしませんね。誰も訪れる人もないでせうし、誰も待っても居ません。矢張り独りです。

486 (5/9)

卯の花や 空家の垣に 咲きにけり (二年振りで原の奥迄連れ戴き過疎化和部敷く 卯の花が咲いていましたね)

時代には取り残され、季節には追い越されて、追いつけず、知つての通り不由な体で生き残りですから、間違いでも起こしたらと何処にもいかず、何かあ

つても出掛けませんが、五月連休に本年も逢えたことは最高のよろこびでした。四日はめずらしく私への来客があつて帰ったところでした。

美流館 小籠ほしくて 友に乞う (写真有 完成の美流館へは
じめてでした)

五日は立夏ですね。二年振りで世の中(西原)を見ました。

五日は客も無く、昨日神経が疲れて家は留守で独りですから半日寝込みました。午後庭で煙草を吸つて山を眺めると紫の山藤が映じました。六日も相変わらず一人で畑にでる人もないが、茄子五本 南瓜一本 夕顔一本植える。水を運ぶのが大変です。曇は多いが、又日照りです。

487
(5/13)

若葉冷え ひねもす霧で 竹の子掘り (七日の一句)

六月オープンの農村公園は考えず、ただ二年振りで原・郷原を一周したかった希望でした。美流館も賑やかでした。まだ露は珍しいと思つてお土産に差し上げようとしたら財布なしで、反対に私の方が籠を願つて了った。全くボケてました。

十日朝から小雨降り止んだり、金曜の診療所に二週一回行きます。中川さんの事を近所の人が居てから聞くと、四月に立川共済病院に入院の由、八王子から立川まで彼は子供や兄弟が沢山住んでいて、よく見舞つて貰うでせう。それに倅は通勤しているので 毎日立寄るでせう。

三日は長作観音様の縁日、四日は小菅の源流祭で、自動車よく通ります。此日活性化のため、いろいろ催し、西原からも近隣からものです。西原も美流館は賑やかで、私の方は知らが、西原では私の事を知る人は多いから長居は出来ません。もう二年間かくれている生活ですから。午後からは雨で心が和みまして筆を執つたが老化が進めば駄目ですね。ご判読下さい。

栃咲きぬ 小豆の匂と 亡母(はは)はいい (七十余年前
栃の花が咲いたら小豆を作る匂だと母から教わりました。 栃の花が
咲きました)

御礼の言葉が後になりました。写真沢山有難く存じます。私も写真で見ると半身不随には見えませんですね。遠い友人や甥・姪たちに折りが有れば送つてやる考えです。暇な折、美流館で籠と煙草を吸っているのが私らしくて、是非(この写真を)四―五枚焼増をお願いします。

西原に住む人はいいが、今は他所に多く住んでいて、三十年合わぬ人の身で安孫子さん位の年配で、定年退職した者もあり、今の時代は誰も慌しいですから。

488
(5/22)

若葉冷え ジャガへつぼみだ 晴れを待つ (廿日 終日雨
で、土だらけの野良着洗つて軒下へ)

連休が終つたら翌日より天候悪くなり、丸で入梅の様です。美流館前の写真が私の真実の姿でせう。虚勢も張れず、畑で煙草吸てる私です、傍の籠は大切な籠です。西原の長老のボケて来たのが出ているでせう。本年の真実の姿の私でよい記念です。自然に反しません。厚く御礼申し上げ、子供に送るつもりです。・・・苦しい時は縄文人の生活を思うのです。大和民族だと誇りをもつた私は、出征してさとりました。渡来はいずこか、私は北方系民族だと思ひました。故に幼い頃より南を恋し 燕の国、常世の国を探しています。肌寒く晴れた日とは十度以上の差です。

489
(6/25)

(一通目 6/17記)

父の日や ジャガの花咲く 山は霧

暦に入梅と有りましたが、十一日梅雨か、涼しく日はささず濃霧で時には細雨があり、終日露です。五月連休に來なかつた子供が父の日を祝つて贈物が来ました。黄色い造花が一本添えてあつたり、母の日は赤いカアネーションですね。・・・例年ジャガの花盛りは雨期ですが、本年は、三月は日照りで、烈風で土埃の日のみ、誰もジャガは遅れて了いました。例年十六日は亡母忌で掘つて供えるが、本年は遅れて、皆の日向の畑より花が遅れたので、月末まで延しました。父の日も独りでは、午後畑へ行きました。子供の頃から病弱で、スポーツも音楽もいったことも見たこともない私は、テレビも用無しですからよけい退屈なのです。

今日は朝から結構な雨で、薄寒く厚着して、家居で、自分の事から筆を執りました。五月連休が済んだら丸で梅雨のような雨期に入り、特に低温続きで私の初めての経験です。冷害でせう。農協に注文した野菜苗植えましたが、大半腐り、スイカ完全枯れ、次がキュウリ・ナスは芯が腐り根からです。キュウリ大半駄目で、南瓜もやられ、まだ自分で仕立てた苗を植えています、育ちません。収穫は七月下旬可、散々です。・・・

正月に長女の処で生まれた女の子を五月廿二日に初めて夫妻で連れてきました。私には外曾孫ですが抱いてやりました。泣きもせず、鼓動が伝ひ合いました。生き甲斐があり、その感動で甦つたのは昭和十八年六月に長女が生まれ、十月出征でしたから、是が見納めかと抱いた想い出です。同じ五カ月の嬰兒で戦死覚悟でした。悲壮と感激での対照の思い出す。

(二通目 6/24記)

沙羅散つて 梅雨つづきけり 夕の空

私の甥の若い人達（末の姉の子供）は同じ年配で、私を叔父さんと呼びます。上の姉たちの子供は兄さと呼びますが、四つ下の甥が生き残って、私と兄弟同様の人達は五人戦死で、もう一人か二人生き残れば話が合って良かったです。次に、金子さんから露・葱を戴いた信がありました。祭や物日には孫達が集まり仲々賑やかで忙しいらしい。それにしても都市も田舎も住みにくい時代ですね。慌ただしいこんな時代は暮しも急に変わり、扶養者の私は申し訳のないような毎日で、何の役にも立ぬ老人は厄介をなるべく掛けぬよう努めます。今は青果物が車で売り回り、キュウリも南瓜・サツマでも何時も有り、産地は何処か、スイカもメロンも持ってきます。私の野菜等は迷惑かも知れませんが、友人や子供に宅配便で送るもよろこびあり、楽しみなんです。毎日一人は退屈であり、運動不足といっても歩行が難渋で、もう二年裏山にも行きませんが筍を喰いに猪がきたそうで、後で聞きました。

十一日から肌寒い日が続き、雨が降らぬも終日露で畑に行く濡れて了う。家居のみも苦しいが、むしろ肌寒の気候は又厚着しては気分は薄着より妙ですね。

490 (8/21) (一通目 8/20付)

私は長男と同居で扶養されているので、他の子供は兄に敬意を表しいつも沢山土産持参で私には僅です。実によい嫁ですが、共に町へ勤めに出勤で、出勤迄に私に一日の食事を持ってきます。帰ると又食事の支度、頭が下がります。ですから僅ながら食事代を差し上げます。私は六時出勤の朝飯と一緒に食べられず、後で八時頃に独りで済せ、晝食は一時頃で、夜八―九時に済せお膳を返します。食事代のみ新聞電気代は出しません。故に新聞は一―二日遅れをゆつくり見、電気もラジオも無料で、ボケ老人に段々なり、物忘れは多く、知ての通り不自由体ですが、生きている間は食事の他、自分の身の廻りの事は厄介掛けぬよう努めている次第。・・・今の世で電話は使えず、便りを書いても投函も遅れ 四―五日経過珍しくありません。八月廿日の台風は無事通過、お盆も終り涼しくなりました。

いづれ又 暑さに弱り欠礼です。

(二通目 8/21記) 目まどい(ブヨ)に 追われてお盆の 草むしり 午後五時頃より家の廻りの草むしり 炎天にはいませんが、日が傾くと蚊より小さい蛇の群で、顔・手足に喰いつき痒いうえに腫れあがり難渋です。

・・・七月は誰も尋ねて来ません。行く処も無し、毎日孤独の生活です。覚悟はしていますが、侘しいんですね。 七月に入ると気温が上がり、四日から真

夏の暑さになりました。町へ光化学スモッグ発令 十二―三回(西原はのぞく)。六月はジャガ諸掘れず、猛暑の七月に入り収穫で大豊作ですが、掘るは早いが畑へやっと行く体ですから運ぶに困難で、とうとう暑に弱ったのに無理して体調崩し、やっと海の日の連休二十日に終了。 こんな次第でご無沙汰でした。この二十日で梅雨明けの由。

正午から格別暑い家で、夜中に32度あり、四日より蒲団の上にはいますが夜半二時迄寝つけず、寝返りを何回するのか、日中は木陰の風ある処はいいんですね。こんなに連日の猛暑続きも異常でせう。

五月の連休が終わったら天候が替わり、雨つづきで農協注文の夏野菜の苗は冷害でせうか、皆腐ってしまいました。七十八年やった百姓の初めての経験です。照って枯らすは当然ですが、雨が降ってですから。自分が仕立てた小さな苗に植替えました。例年より十五日から一ヶ月遅れて収穫を始めた次第です。

・・・宅配便で荷作りして農協に三時まで運ぶとその日の発送で・・・助手が有って僅でも手伝えは楽ですが、時には宅配便を運んでから晝飯を食べ、四時頃まで涼しい処で休養です。 暑さに弱のに無理を重ねたので食欲は無し、寝不足あり、男の長老も形無しです。

491 (9/11)

しぐれけり 今宵は裏で 虫鳴けり

厳しい残暑も九月六日より秋の雨期になりました。台風一過後も夕立があり、山野生氣に復し、やっと大根、葱苗を蒔たら、残暑真夏に戻り忽ち乾き発芽せず、異常天候で散々です。・・・当方も八月お盆で、私はお盆の支度は家の周りの掃除と草筆りでした。西隣が新盆で来客が拙宅の前を通るから倅と忙しく掃除でした。拙宅は来客は子供二人のみ、他の子供は忙しくて来ません。お盆が過ぎ、九月は町から秋祭りです。四日から七日まで町にそった部落で、西原は十五日がお祭り開始 終りは秋の彼岸です。

五月以来、私を尋ねて下さる方も無く、私は盆でも祭りでも家居で、少年の頃より病弱で、スポーツもやったことも見もせず、・・・犬が居りますが、散歩したがる犬と歩行困難ですから散歩もできず、犬も独り、私も独りという毎日です。すべて再三申し上げる通り覚悟はしています。・・・老化が強まり、物忘れが多く、ボケ老人といふ事です。視力も弱し、根性も無くなります。何度かかかつての便りです。敬老の日は子供でも来るか、然し待ってもいません。雨の家居は人が戀しいが

薄曇り)

処で前便で申しあげたか、本年の小菅村での雑穀研究大会は九月二七日より三日間で、初日は旅館、二日目は丹波山村や小菅村の雑穀畑を訪ね、三日目上野原町の雑穀畑を訪ねたり 長寿食を味わったりの様子。

(木俣さんが)敬老の日に五時頃に来訪下されたのは、終了後と勘違いでした。小雨が降り出し時間はなし、折よく畑から戻って来た私は雨衣と汚れた野良着を脱いだだけ 家には入らず、二三年振りなので自分の事のみ談笑して別れました。柚さん、学生一人(の) 三人(連れ)でした。その日は降りそうな曇で雨衣を持って畑に野沢菜作りで、雨が振りだし帰宅(したために)逢えた次第。

五月、六月は記録的な低温で、五月に農協から購入の苗、冷害でせう。雨なのにみんな腐って、八十何年かの農体験ではじめてでした。ですから遅れている自分の苗を植え直しました。茄子の初なりは半月も遅れました。茄子は枯れた根から芽生えたのが僅になったのみ。例年は五本で家で三分の一、後は子供や友人へ送るのです。七―八月は記録的猛暑、雨は降らず四十日の日照りでした。

申し上げると豊作はバレイショと洋種トウモロコシ、インゲン(蔓有)、是は籠で若葉を大量に敷いたのがよかった。不作は夕顔と南瓜 是は水不足です。当方九月半より秋祭りで・・・必ず雨で、本年も終ると快晴までとはならずとも雨は止み、日がさす日もあり。

漬菜やホウレン草作り遅れ、秋野菜 初冬から越冬野菜は心配です。

雨でテレビを見ましたら、偶然に南房総館山在三芳村の巨大南瓜の品評会。

三芳村には農友(次便に樋口守氏とアリ)有り 精農家と云か篤農で長年の交際で年に三―四回は文通です。早速手紙を出したら丁寧な返事がありました。村の収穫祭の一つとの事です。西原には以前三頭荘一泊で秋祭りに来遊して、私も再三招待されましたが 付添いほしい体ですから行けません。

記録によれば天明年間の大飢饉は、三月頃までは異常な暖で四月は霜降って寒くなり、五月の田植頃より二百十日頃まで雨降り続き、麦は腐り 稲青立ちして結実せず。信州浅間山が大噴火して関八州に灰降り、死者二万人余。小田原の大地震もあり、餓死は多数、伝染病、病虫害の発生、松皮・葛・蕨の根・草等食べられる物は食べたでせう。東北も凄惨だった様子では五年位つづいたらしい。私の初体験の本年以上の事はあったですね。

まだ出来はどうでも初冬から越冬野菜作ります。秋と春は私に適した好期で

すから。崩れた体調も回復するでせう。

思いながらご無沙汰になります。アット云う間の台風でした。上陸前雨が多いですが小振りで風を心配したが風も弱く、何時通過も知らず 翌朝は晴で、被害はソバの倒伏のみでせう。秋が深まる精か寒が早いようです。

十五日は五時頃雨が降り出し 帰宅したら木俣教授の来訪に逢え(雨具と野良着を脱ぐと言えに入らず門で珍しさで談笑しました。雑穀大会の準備下調べ小菅より帰途で、もう時間はなし、でも小一時間だったので遅くなったのでは。大会、廿七日から二泊三日、丹波山・小菅・上野原、雑穀畑見たり同会の研究に関わる発表、学生会員多数参加者だったでせう。研究会長は有名な阪本寧男先生ですが、一度も会ったこと無しです。二十九日は上野原で雑穀畑を訪ねたり農家より直接話を聞いたり、民宿でアワ・キビを使った長寿食を味わったりして、上野原で解散だったらしく、当日、拙宅前を行ったり来たり車が通ったが、大勢ですから拙宅へは立寄る時間無で、私も車繁く通は見ました。阪本寧男会長の後任で木俣教授が会長に就任です。

◎九月十六―七日だったか、テレビ一寸見たら 偶然南房総館山在三芳村の収穫祭・・・農友の樋口守氏に、・・・急に巨大南瓜を作ってみたくなり、種が入手叶えられたらとお願いしてみました。目的は農協傍の五葉つじ近くに一株作り、成功したら農協へ寄贈して入口処に飾りたいのです。私に運ばなければ職員に運ばせませう。是も一興でせう？ 是は夢で終わらせたくありません。ぼけ老人になり、物忘ればかりして弱ります。ですから葱苗を蒔たり、南瓜、キュウリ、夕顔の種を採っています。種は購入しますが、自家取りの種を加えば、直播きしても厚蒔で購入の種二粒位です(?)。でもこの齡では来年は畑に出られるか？ でも人間は生きていることは働くといふか稼ぐ務めでそれが実行出来ねば死と同じです。運命というか宿命といふか、五体満足に生れ半身不随になった親不孝罰かとも思えますね。拙宅では一番おろか者とかか病弱で不器用な上に浅学なんです。私のために子供や孫も恥しい思いをさせては親類一門に対しても同様醜い姿はなるべく見せたくなく、人に愛される人にと努めているんです。毎日一人ですが、世代交代で時代に残され判らなくなり、私の話相手して下さる方はまれです。今の世何処住み難くなりました。

十月晴日が続いたが又天氣が崩れました。

多年の研究の「縄文時代の渡来文化」完成なされる由、心よりお祝賀申します。――山形県羽黒町中川代遺跡からの、浅川氏との共編も大変な仕事ですね。〓老人相手はご苦労さまです。

時に 鈴木さんは多少快方でせうか？ 金子さんが見舞いに行きたしの知らせではあり、金子さんも稲も収穫とは存じますが 慌しい時代ですね。

晩秋に至り 霜が来はじめたら山も紅葉が映えてきました。急に寒も加わりました。日陰の家ですから短日になるといつもながら苦労します。

縄文人の生活を思つては畳の上に蒲団を敷いて寝ることは倅せと耐えます。とうとう異常体質で寝込んで了つたら起き出せませんが、覚悟していても終日のひとりも侘しい。たばこを吸に出ても心はずみません。

霜で焼けた草木が眠につきました。朝は四―五度になります。今日は文化の日ですね。

本五日「縄文時代の渡来文化」有難く頂戴致しました。浅学の身にいつもご教導感謝いたします。生きる事は学ぶ事でもあり、一歩前進するでせう。文化の秋は何処も行事や催し物で一杯のようです。東北は初冬でせうが、ご健在で実家へお寄り何よりです。

夏の暑さに少し無理を致し、体調を狂わせとうとう氣候に負けて、十月末頃より寝込んで了いました。異常な体ですから足腰は痛み節々迄病んで、昨日盛りんに畑にやつと行き 自分局の野菜を採ってきました。

からし菜は洗面器に洗つて漬けます。重しはビニール袋に砂を入れて使い、四―五日で漬り、自分局です。冬菜は茹でて使つて下さい。京菜は汁やラーメンに入れて食べます。野菜の不作で散々です。

鈴木昇さん御永眠の由、遙かにご冥福を祈り致すのみ
老人は誰も同様で、他界する迄ですが 急激の寒に寝込んだら食欲もなく、意志も張れず衰えるばかりです。私も何時まで生きるのか？ 裸で生まれ裸で自然に帰ることが生物ですね。覚悟はしていますが、いつも申す通り、自分との闘いで、生きている間は学び何かをやる（働く意）。

五月五日 安孫子さんとドライブしたきりです。 毎日一人ですが、日陰の家ですから日盛りに軒下（都外）で煙草を吸いに出て庭から自然を眺めるんです。煙草が美味しいならいいですが、吸つてみるのみ。
また愚痴になりましたね。

台風一過より晴れ日ですが 例年より寒さ急で十二月中旬同様です。雪こそ降らぬが日陰の家で室内五―六度、日当は九時です。夏の暑さに無理したため体調衰えて寝込んで了いました。食欲もなし、起き出す意志もなし、ぼけ老人になりました。物忘れは多いし、寒さのみでなく足腰の筋肉痛はやめ右腕のみ使うから痛み（左腕は使えず）、でも十時頃戸外にでて見ますが、煙草も駄目で、どうにか（金）診療所に行き、点滴をしたらいいようで、二週出張の度に願いました。最初は先生（医）が送つて下さいました。元気がでると食欲も出ます。もう駄目かと思つたが、宿命というか運命というか尽きず、生きる事は学事で何かを行う（働）ことで 縄文人の生活を思つて 畳の上に蒲団を敷けることは倅だと思ひます。

毎日一人は流石に覚悟していても侘しいが 自分との闘いはつづけます。

東北の吹雪の景観をテレビで見ました。講演や集会大変でした。老人は誰も似たもので、然しご両親は悦んだでせう。

長い百姓の初体験の夏も秋に入り 野菜の凶作には驚きました。

やつと元氣になり里芋を収穫、殻の皮を剥き干しています。十三日は暖でした。風が冷たい。十六日雲 雪が来そうです。

異常な氣候で例年より寒が一ヶ月も早く、雪こそ降らぬが住み難い寒です。東北は吹雪を講演や出土品を鑑賞や会集で大変だったことと存じます。

果てしない改革刷新、何処の職場も大変ですね。ご存知の通り九時にならないれば日の当たらぬ日陰の家で 置炬燵と湯沸せるポット丈の居間で掘炬燵でないから膝は立てられず、足は延ばして寝て了うだけです。

七―八月の四十日の大日照りで、五―六月の冷害からやつと穫れだした野菜はすぐ末枯れ、八月末に大根・野沢菜・ホウレン草は作れず、九月半の雨間をやつと作りました。インゲン、キュウリ、トウモロコシの後作の切り換えですから暇はかかるし、それに段々ぼけて了い 物忘れが多く、年齢でせう。二年長カブの種がなく乾期は作れず、九月に作つた大根ははじめてですが、大きいのを輪切りにして ヒモを通して干してみました。

家では日向（の畑に倅が）白菜を沢山作り 好成績で漬物は白菜のみです。私はからし菜や京菜も作つたが僅で、十月に入り京菜作つたが是は遅すぎ、見込みなしです。

一寸お尋ねしますが、東北のブナは冬葉が落ち、関東のブナより春芽吹が早い
ですか。私は東北のブナを何本か植てあります。

平成十五（2003）年

498 (1\1) はりねずみのごとく まるくなり しんねんな（年賀状）

499 (1\17 最後の便り) 例年より一ヶ月早い冬到来に降参です。鈴木昇さん

他界間無しに浅川利一先生の死去は残念ですね。「縄文時代の渡来文化」共
編は読み始めたところです。百歳にて絵筆を執る人、百歳を超えて畑に出る
人もあり、実に不思議なものです。吹雪きの東北に再三御来駕 大変です。
連続三日間の積雪に散々です。知つての不自由な体ですから、戸外は雪後は
0.5-0.6度でせう。室内が四度-二度で、置炬燵とポットで湯を沸せる生活で
す。炬燵に膝が立てられず、座しは尻が冷えて長く続かず、足を延ばせば寝
れるが 厚着しても寒いですね。なにしろ九時にやつと日の当たる日陰の家で
難渋です。電気毛布にスイッチを入れ 寝て居る事にしました。暖ですが、体
重のかかる処を替えるので、寝返りばかりする次第です。終日寝る日も多く、
でも戸外に日に三回でて煙草吸うですね。畑に行くとは五本です。

今日師走廿日は誕生日で満九二才です。忙しい折 祝て呉る子供もあります。
寝て居ると食欲もなく独りボッチは過去の思い出したくない事のみが浮ぶ。
今日は長女が暮の大掃除に来ましたら 安孫子さんから暦、柚味噌、名物の高
幡不動尊のおまんじゅう、長女にも分けてやりました。

21日 足どりよけて柱に頭を打ちつけて瘤ができ 頭まで痛みます。泣面蜂
です。頭は痛い床屋へ最終の日に行きました。

例の畑の傍の妻の同級生が先日死去七ツ下です。ショックですね。

元旦早々雪で、山野も一面 白一色です。正月は誰か来客があるかと投函遅れ
ました。御礼迄

木俣さんへの句

しぐれけり 野沢菜作れず 戻りたり

野沢菜の 蒔き遅れ雨 をきにしぬ